

令和5年度

男女共同参画に関する市民意識調査業務委託

意識調査報告書

令和6年1月

長崎市市民生活部人権男女共同参画室

扇精光コンサルタンツ株式会社

— 目 次 —

第1章	調査概要	1
第2章	回収結果・属性	4
	1. 回収結果	4
	2. 回答者の属性	5
第3章	回答結果	10
	1. 男女共同参画に関する意識について	10
	2. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	22
	3. 家庭生活の中での男女共同参画について	37
	4. 職業生活の中での男女共同参画について	64
	5. 地域活動などでの男女共同参画について	70
	6. 防災対策における男女共同参画について	76
	7. 男女共同参画を阻害する暴力について	79
	8. その他	92
第4章	基礎数値	101
第5章	記述データ	114
	（参考）調査票	142

第1章 調査概要

1. 調査の目的

長崎市男女共同参画推進条例第16条の規定に基づき、家庭、職場、地域、その他の分野における男女共同参画に関する市民意識調査を行い、その結果を本市の男女共同参画計画の策定や、男女共同参画の推進に関する施策に反映することを目的とする。

2. 調査内容

男女共同参画に関する市民意識調査

3. 調査対象

(1) 母集団

市内に住所を有する年齢「18～19歳」・「20代」・「30代」・「40代」・「50代」・「60代」・「70代以上」の市民。

(2) 標本数

1,500人（内訳は表を参照）

標本内訳

18～19歳 (人)		20代 (人)		30代 (人)		40代 (人)		50代 (人)		60代 (人)		70代以上 (人)		合計 (人)		
31		143		163		216		235		251		461		1500		
2.1%		9.5%		10.9%		14.4%		15.7%		16.7%		30.7%				
女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	総数	女性	男性
15	16	74	69	84	79	114	102	125	110	134	117	278	183	1500	824	676
1.0%	1.1%	4.9%	4.6%	5.6%	5.3%	7.6%	6.8%	8.3%	7.3%	8.9%	7.8%	18.5%	12.2%	100.0%	54.9%	45.1%

(3) 抽出方法

各世代の人口比率を基に抽出数を算出した上で、住民基本台帳から無作為に抽出した。

4. 調査時期

令和5年11月

5. 調査方法

調査票の郵送による配付・回答及びインターネットによる回答を基に調査を行った。

6. 調査項目

1 男女共同参画に関する意識について

- (1) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について
- (2) 社会のあらゆる分野で男女がともに参画していくために必要なこと
- (3) 女性が増えた方がよいと思う職業や役職
- (4) 男女共同参画に関係する用語の認知度

2 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

- (5) 家庭生活、仕事、地域活動の優先度
- (6) 女性が職業をもつことについての意見
- (7) 男性の育児休業制度の利用が進まない理由
- (8) 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと

3 家庭生活の中での男女共同参画について

- (9) 家庭での役割分担

4 職業生活の中での男女共同参画について

- (10) 職場における男女間の待遇の差（有職者）
- (11) 性別にかかわらず、各自が能力を発揮して働くために必要なこと

5 地域活動などでの男女共同参画について

- (12) 地域活動での現状
- (13) 女性が地域活動で役職についたり、意思決定の場へ参画していくために必要なこと

6 防災対策における男女共同参画について

- (14) 男女がともに安心・安全な防災体制を整えるために必要なこと

7 男女共同参画を阻害する暴力について

- (15) 身近なところでのDVの有無
- (16) DVに該当する行為の範囲
- (17) DV相談窓口の認知度
- (18) 長崎市によるDV防止に関する広報・啓発の認知度

8 その他

- (19) 男女共同参画に関する講座・講演会受講の有無について
- (20) 長崎市による男女共同参画に関する広報・啓発の認知度
- (21) 行政が男女共同参画社会の実現に向けて取り組むべきこと
- (22) 男女共同参画社会を実現するためのアイデアや意見（自由記述）

回答者の属性

- ①性別
- ②年齢（年代区分）
- ③職業（職種・雇用形態区分）
- ④既婚・未婚の別
- ⑤世帯構成
- ⑥子の有無

第2章 回収結果・属性

1. 回収結果

(1) 調査票配付数

・1,500件（郵送1,500件）

調査票配付内訳

18～19歳 (人)		20代 (人)		30代 (人)		40代 (人)		50代 (人)		60代 (人)		70代以上 (人)		合計 (人)		
31		143		163		216		235		251		461		1500		
2.1%		9.5%		10.9%		14.4%		15.7%		16.7%		30.7%				
女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	総数	女性	男性
15	16	74	69	84	79	114	102	125	110	134	117	278	183	1500	824	676
1.0%	1.1%	4.9%	4.6%	5.6%	5.3%	7.6%	6.8%	8.3%	7.3%	8.9%	7.8%	18.5%	12.2%	100.0%	54.9%	45.1%

(2) 回収数

・628件（郵送：487件・インターネット：141件）

回収内訳（郵送・インターネット）

18～19歳 (人)		20代 (人)		30代 (人)			40代 (人)			50代 (人)			60代 (人)			70代以上 (人)			年代 不明	合計 (人)		
5		32		56			93			98			136			197			11	628		
0.8%		5.1%		8.9%			14.8%			15.6%			21.7%			31.4%			1.8%			
女性	男性	女性	男性	女性	男性	他回答	女性	男性	他回答	女性	男性	他回答	女性	男性	他回答	女性	男性	他回答	年代 不明	総数	女性	男性
2	3	22	10	36	19	1	54	34	5	58	40	93	42	1	104	88	5	11	628	369	236	
0.3%	0.5%	3.5%	1.6%	5.7%	3.0%	0.2%	8.6%	5.4%	0.8%	9.2%	6.4%	14.8%	6.7%	0.2%	16.6%	14.0%	0.8%	1.8%	100.0%	58.8%	37.6%	

(3) 回収率

・41.9%（回収628件/配布1500件）

※平成30年度調査：37.3%・平成26年度調査：31.9%

(4) 集計方法

調査結果の数値は、有効回答票のみの回答率を記載している。なお、単数回答の設問に複数回答したケースについては無効とした。

集計結果は、有効回答票を基数（N）とした百分率（%）で算出し、小数点以下第1位までを表記している（小数点第2位を四捨五入）。なお、小数点第2位を四捨五入しているため、単数回答の合計が100%とならない例、及び複数回答可能な設問において百分率の合計が100%を上回る例が存在する。

また、調査票の回収数は628件であるが、集計においては、「未回答」を除外するため、有効回答票（N）は設問によって異なる。

2. 回答者属性

(1) 性別

有効回答者 628 人 (N) の性別の内訳は表のとおりである。なお、「未回答」はいずれの選択肢にも記入がなかった票である。

回答者の内訳は「女性 58.8%・男性 37.6%」である。なお、平成 30 年度の調査では「女性 60.7%・男性 39.3%」であり、男女ともに割合が低下しているが、その理由は、平成 30 年度の調査は選択肢が「女性」・「男性」のみに対して、今回の調査では、「その他」・「答えない」の選択肢が加わったこと、及び未回答が複数あったためである。

「その他」・「答えない」・「未回答」の回答者属性は不明であるが、全体の傾向としては平成 30 年度と同様に女性の割合が 2 割程高い。

なお、性別における「女性」及び「男性」は自認する性に基づくものである。

性別内訳

実数 (人)						構成比 (%)					
全体 (N)	性別					全体 (N)	性別				
	女性	男性	その他	答えない	未回答		女性	男性	その他	答えない	未回答
628	369	236	1	5	17	100.0%	58.8%	37.6%	0.2%	0.8%	2.7%

(2) 年齢

有効回答者 628 人 (N) の年齢の内訳は表のとおりである。なお、「未回答」はいずれの選択肢にも記入がなかった票である。

年齢内訳

		実数 (人)					構成比 (%)						
		全体 (N)	性別					全体 (N)	性別				
			女性	男性	その他	答えない	未回答		女性	男性	その他	答えない	未回答
全体 (N)		628	369	236	1	5	17	100.0%	58.8%	37.6%	0.2%	0.8%	2.7%
F2. 年代別	18~19歳	5	2	3	0	0	0	0.8%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	32	22	10	0	0	0	5.1%	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	56	36	19	0	1	0	8.9%	64.3%	33.9%	0.0%	1.8%	0.0%
	40代	93	54	34	1	3	1	14.8%	58.1%	36.6%	1.1%	3.2%	1.1%
	50代	98	58	40	0	0	0	15.6%	59.2%	40.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	60代	136	93	42	0	1	0	21.7%	68.4%	30.9%	0.0%	0.7%	0.0%
	70代以上	197	104	88	0	0	5	31.4%	52.8%	44.7%	0.0%	0.0%	2.5%
	未回答	11	0	0	0	0	11	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

(3) 職業

有効回答者 628 人 (N) の職業の内訳は表のとおりである。なお、「未回答」はいずれの選択肢にも記入がなかった票である。

有職者 (自営業者・家族従業者・雇用されている者) の割合は 50.2% であり、平成 30 年度の調査の 59.3% から 9.1 ポイント減少している。

職業内訳

		実数 (人)						構成比 (%)						
		全体 (N)	性別					全体 (N)	性別					
			女性	男性	その他	答えない	未回答		女性	男性	その他	答えない	未回答	
全体 (N)		628	369	236	1	5	17	100.0%	58.8%	37.6%	0.2%	0.8%	2.7%	
F3. 職業別	自営業者 (経営者)	農業、林業、漁業	3	1	2	0	0	0	0.5%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	9	10	0	0	0	3.0%	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業 (開業医、弁護士等)	12	3	9	0	0	0	1.9%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	2	0	0	0	0	0.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業 (開業医、弁護士等)	1	1	0	0	0	0	0.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 (役員を含む)	役員・管理職	34	11	22	0	1	0	5.4%	32.4%	64.7%	0.0%	2.9%	0.0%
		専門・技術職	91	59	29	1	2	0	14.5%	64.8%	31.9%	1.1%	2.2%	0.0%
		事務職	53	35	18	0	0	0	8.4%	66.0%	34.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		販売・サービス・保安職	65	39	25	0	1	0	10.4%	60.0%	38.5%	0.0%	1.5%	0.0%
		農林漁業職	1	0	1	0	0	0	0.2%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	4	15	0	0	0	3.0%	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	15	11	4	0	0	0	2.4%	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 (役員を含む) の勤務形態	正規の職員・従業員	166	78	84	0	4	0	26.4%	47.0%	50.6%	0.0%	2.4%	0.0%
		非正規の職員・従業員 (パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	103	77	26	0	0	0	16.4%	74.8%	25.2%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	9	4	4	1	0	0	1.4%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
	無職	無職—主婦・主夫	167	133	32	0	0	2	26.6%	79.6%	19.2%	0.0%	0.0%	1.2%
		無職—学生	9	4	5	0	0	0	1.4%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職—その他	61	23	37	0	0	1	9.7%	37.7%	60.7%	0.0%	0.0%	1.6%
		未回答	5	2	3	0	0	0	0.8%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答		71	32	24	0	1	14	11.3%	45.1%	33.8%	0.0%	1.4%	19.7%	

F3. 職業別	職業形態	実数	割合
	自営業者 (経営者)	34	5.4%
	家族従業者	3	0.5%
	雇用されている者 (役員を含む)	278	44.3%
	無職	242	38.5%
	未回答	71	11.3%
	合計	628	100.0%

勤務形態 (雇用されている者)

雇用されている者 (役員を含む) の勤務形態	雇用形態	実数	割合
	正規の職員・従業員	166	59.7%
	非正規の職員・従業員 (パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	103	37.1%
	未回答	9	3.2%
	合計	278	100.0%

(4) 結婚

有効回答者 628 人 (N) の結婚についての内訳は表のとおりである。なお、「未回答」はいずれの選択肢にも記入がなかった票である。

有効回答者のうち、62.6%が結婚しており、「離別・死別」を含めると、77.4%が結婚中、又は結婚歴があるという結果であった。これらの割合は平成 30 年度調査と大きな差はない。なお、「未婚」は 17.7%であり、平成 30 年度調査の 20.7%から 3.0 ポイント減少している。

結婚内訳

		実数 (人)						構成比 (%)					
		全体 (N)	性別					全体 (N)	性別				
			女性	男性	その他	答えない	未回答		女性	男性	その他	答えない	未回答
全体 (N)		628	369	236	1	5	17	100.0%	58.8%	37.6%	0.2%	0.8%	2.7%
F4. 未既婚別	結婚している (事実婚を含む)	393	216	170	1	4	2	62.6%	55.0%	43.3%	0.3%	1.0%	0.5%
	離別・死別	93	65	21	0	0	7	14.8%	69.9%	22.6%	0.0%	0.0%	7.5%
	未婚	111	71	36	0	1	3	17.7%	64.0%	32.4%	0.0%	0.9%	2.7%
	未回答	31	17	9	0	0	5	4.9%	54.8%	29.0%	0.0%	0.0%	16.1%

(5) 世帯構成

有効回答者 628 人 (N) の世帯構成の内訳は表のとおりである。なお、「未回答」はいずれの選択肢にも記入がなかった票である。

平成 30 年度調査と比較して、「本人と配偶者」の割合は変わらないものの、「単身世帯」の割合が 3.7 ポイント増加した一方、「本人と配偶者、子ども」の割合が 2.7 ポイント減少した。

世帯構成内訳

		実数 (人)						構成比 (%)					
		全体 (N)	性別					全体 (N)	性別				
			女性	男性	その他	答えない	未回答		女性	男性	その他	答えない	未回答
全体 (N)		628	369	236	1	5	17	100.0%	58.8%	37.6%	0.2%	0.8%	2.7%
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	64	32	0	0	6	16.2%	62.7%	31.4%	0.0%	0.0%	5.9%
	本人と配偶者のみ	189	96	92	0	0	1	30.1%	50.8%	48.7%	0.0%	0.0%	0.5%
	本人と配偶者、子ども	166	92	68	1	4	1	26.4%	55.4%	41.0%	0.6%	2.4%	0.6%
	本人と配偶者、子ども 父や母 (三世帯世帯)	26	17	9	0	0	0	4.1%	65.4%	34.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	本人と子ども	30	25	4	0	0	1	4.8%	83.3%	13.3%	0.0%	0.0%	3.3%
	本人と親	51	35	15	0	1	0	8.1%	68.6%	29.4%	0.0%	2.0%	0.0%
	その他	27	22	5	0	0	0	4.3%	81.5%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	未回答	37	18	11	0	0	8	5.9%	48.6%	29.7%	0.0%	0.0%	21.6%

(6) 子どもの有無

有効回答者 628 人 (N) の子どもの有無の内訳は表のとおりである。なお、「未回答」はいずれの選択肢にも記入がなかった票である。

子どもが「いる」が 63.5%、「いない」が 30.7%であった。平成 30 年度調査 (69.6%) と比較して、「いる」が 6.1 ポイント減少している。

子どもの有無の内訳

	実数 (人)						構成比 (%)						
	全体 (N)	性別					全体 (N)	性別					
		女性	男性	その他	答えない	未回答		女性	男性	その他	答えない	未回答	
全体 (N)	628	369	236	1	5	17	100.0%	58.8%	37.6%	0.2%	0.8%	2.7%	
F6. お子さんの有無 (成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む)	いる	399	235	154	1	3	6	63.5%	58.9%	38.6%	0.3%	0.8%	1.5%
	いない	193	116	71	0	2	4	30.7%	60.1%	36.8%	0.0%	1.0%	2.1%
	未回答	36	18	11	0	0	7	5.7%	50.0%	30.6%	0.0%	0.0%	19.4%

回答者属性（クロス集計）

		実数（人）						構成比（％）						
		全体 (N)	性別					全体 (N)	性別					
			女性	男性	その他	答えない	未回答		女性	男性	その他	答えない	未回答	
全体（N）		628	369	236	1	5	17	100.0%	58.8%	37.6%	0.2%	0.8%	2.7%	
F1. 性別	女性	369	369	0	0	0	0	58.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	男性	236	0	236	0	0	0	37.6%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	1	0	0	1	0	0	0.2%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	5	0	0	0	5	0	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	未回答	17	0	0	0	0	17	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
F2. 年代別	18～19歳	5	2	3	0	0	0	0.8%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	32	22	10	0	0	0	5.1%	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30代	56	36	19	0	1	0	8.9%	64.3%	33.9%	0.0%	1.8%	0.0%	
	40代	93	54	34	1	3	1	14.8%	58.1%	36.6%	1.1%	3.2%	1.1%	
	50代	98	58	40	0	0	0	15.6%	59.2%	40.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
	60代	136	93	42	0	1	0	21.7%	68.4%	30.9%	0.0%	0.7%	0.0%	
	70代以上	197	104	88	0	0	5	31.4%	52.8%	44.7%	0.0%	0.0%	2.5%	
	未回答	11	0	0	0	0	11	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	3	1	2	0	0	0	0.5%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	9	10	0	0	0	3.0%	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	12	3	9	0	0	0	1.9%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	2	0	0	0	0	0.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	1	1	0	0	0	0	0.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）	役員・管理職	34	11	22	0	1	0	5.4%	32.4%	64.7%	0.0%	2.9%	0.0%
		専門・技術職	91	59	29	1	2	0	14.5%	64.8%	31.9%	1.1%	2.2%	0.0%
		事務職	53	35	18	0	0	0	8.4%	66.0%	34.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		販売・サービス・保安職	65	39	25	0	1	0	10.4%	60.0%	38.5%	0.0%	1.5%	0.0%
		農林漁業職	1	0	1	0	0	0	0.2%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	4	15	0	0	0	3.0%	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	15	11	4	0	0	0	2.4%	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）の 勤務形態	正規の職員・従業員	166	78	84	0	4	0	26.4%	47.0%	50.6%	0.0%	2.4%	0.0%
		非正規の職員・従業員 （パート・アルバイト・ 契約社員・派遣社員等）	103	77	26	0	0	0	16.4%	74.8%	25.2%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	9	4	4	1	0	14	1.4%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	155.6%
	無職	無職—主婦・主夫	167	133	32	0	0	2	26.6%	79.6%	19.2%	0.0%	0.0%	1.2%
		無職—学生	9	4	5	0	0	0	1.4%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職—その他	61	23	37	0	0	1	9.7%	37.7%	60.7%	0.0%	0.0%	1.6%
		未回答	5	2	3	0	0	0	0.8%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答		71	32	24	0	1	14	11.3%	45.1%	33.8%	0.0%	1.4%	19.7%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	216	170	1	4	2	62.6%	55.0%	43.3%	0.3%	1.0%	0.5%	
	離別・死別	93	65	21	0	0	7	14.8%	69.9%	22.6%	0.0%	0.0%	7.5%	
	未婚	111	71	36	0	1	3	17.7%	64.0%	32.4%	0.0%	0.9%	2.7%	
	未回答	31	17	9	0	0	5	4.9%	54.8%	29.0%	0.0%	0.0%	16.1%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	64	32	0	0	6	16.2%	62.7%	31.4%	0.0%	0.0%	5.9%	
	本人と配偶者のみ	189	96	92	0	0	1	30.1%	50.8%	48.7%	0.0%	0.0%	0.5%	
	本人と配偶者、子ども	166	92	68	1	4	1	26.4%	55.4%	41.0%	0.6%	2.4%	0.6%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	24	15	9	0	0	0	3.8%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	本人と子ども	30	25	4	0	0	1	4.8%	83.3%	13.3%	0.0%	0.0%	3.3%	
	本人と親	51	35	15	0	1	0	8.1%	68.6%	29.4%	0.0%	2.0%	0.0%	
	その他	29	24	5	0	0	0	4.6%	82.8%	17.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	37	18	11	0	0	8	5.9%	48.6%	29.7%	0.0%	0.0%	21.6%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	399	235	154	1	3	6	63.5%	58.9%	38.6%	0.3%	0.8%	1.5%	
	いない	193	116	71	0	2	4	30.7%	60.1%	36.8%	0.0%	1.0%	2.1%	
	未回答	36	18	11	0	0	7	5.7%	50.0%	30.6%	0.0%	0.0%	19.4%	

第3章 回答結果

1. 男女共同参画に関する意識について

問1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(単数選択・1つだけ)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「そう思う」(2.4%)及び「どちらかといえばそう思う」(8.8%)と回答した人の割合は合計で11.2%(平成30年度調査:17.1%)、「そう思わない」(53.8%)及び「どちらかといえばそう思わない」(15.7%)と回答した人の割合の合計は69.5%(平成30年度調査:63.5%)であった。平成30年度調査と比較して、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した人が5.9ポイント減少、「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」と回答した人が6.0ポイント増加している。

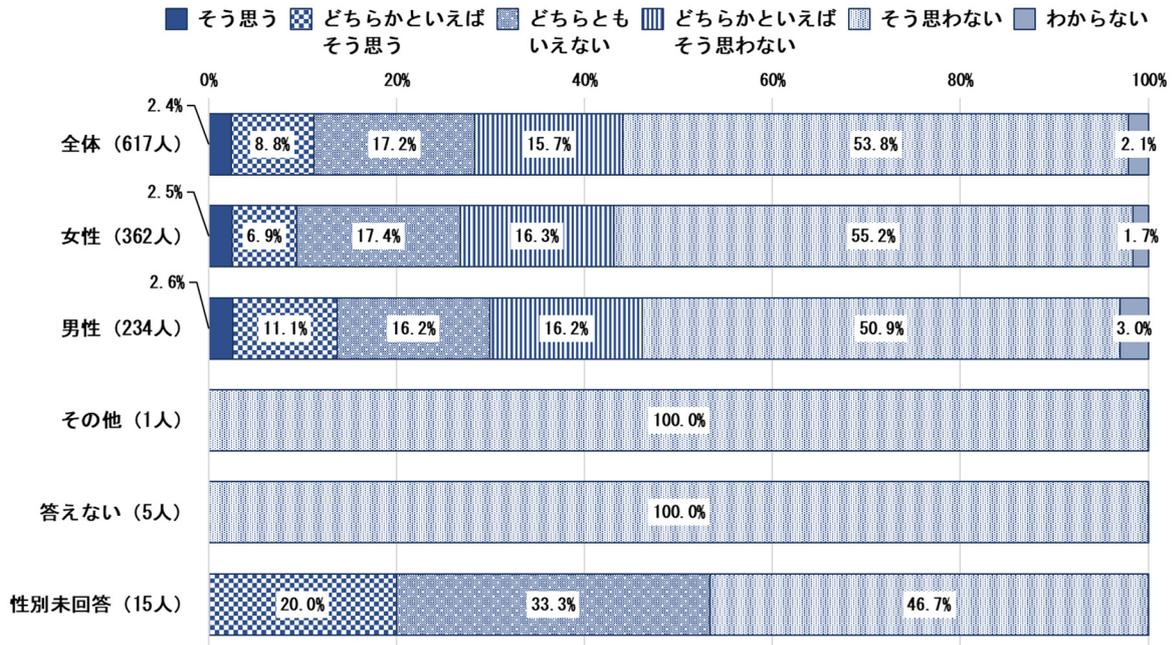
性別で比較すると、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合の合計は、『女性』が9.4%(平成30年度調査:14.5%)、『男性』が13.7%(平成30年度調査:21.1%)であり、いずれも減少している。なお、『女性』(9.4%)と『男性』(13.7%)の差は4.3ポイント(平成30年度調査:6.6ポイント)であり、平成30年度より2.3ポイント減少している。

年代別で比較すると、「そう思わない」と答えた人の割合について、『50代』以下は50%以上であった一方、『60代』と『70代以上』は、50%以下であり、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合は他の年齢層より高い結果であった。なお、この傾向は平成30年度調査と同様である。

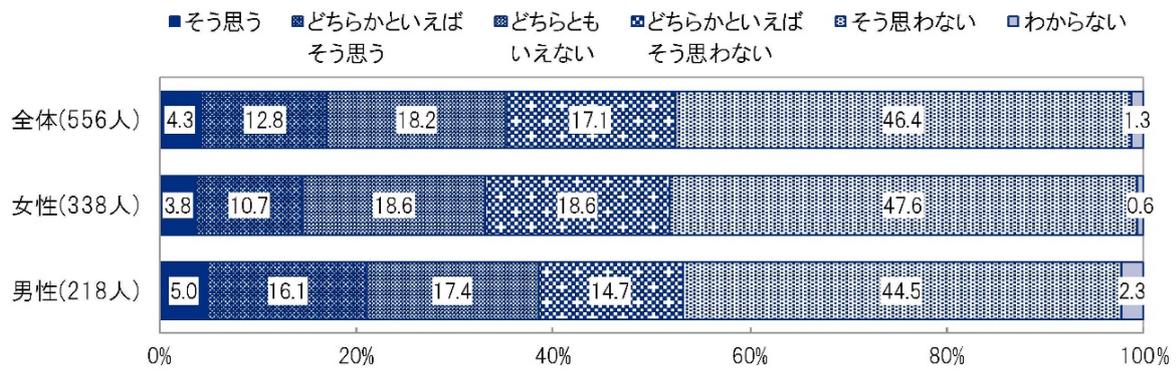
問1 回答結果

	標本数	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体(617人)	617	2.4%	8.8%	17.2%	15.7%	53.8%	2.1%
女性(362人)	362	2.5%	6.9%	17.4%	16.3%	55.2%	1.7%
男性(234人)	234	2.6%	11.1%	16.2%	16.2%	50.9%	3.0%
その他(1人)	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
答えない(5人)	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
性別未回答(15人)	15	0.0%	20.0%	33.3%	0.0%	46.7%	0.0%
18~19歳(5人)	5	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%
20代(32人)	32	0.0%	3.1%	6.3%	15.6%	71.9%	3.1%
30代(56人)	56	1.8%	5.4%	7.1%	8.9%	76.8%	0.0%
40代(91人)	91	0.0%	6.6%	17.6%	14.3%	60.4%	1.1%
50代(98人)	98	0.0%	6.1%	20.4%	15.3%	57.1%	1.0%
60代(135人)	135	4.4%	8.9%	17.0%	20.0%	46.7%	3.0%
70代以上(191人)	191	4.2%	12.6%	19.4%	16.2%	44.5%	3.1%
年代未回答(9人)	9	0.0%	22.2%	33.3%	0.0%	44.4%	0.0%

問 1 回答結果



問 1 平成 30 年度 (参考)



問1 クロス集計

		標本数	そう思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちらと もいえ ない	どちらか といえ ばそう 思わ ない	そう思わ ない	わからない	未回答	
全体		628	2.4%	8.6%	16.9%	15.4%	52.9%	2.1%	1.8%	
F1. 性別	女性	369	2.4%	6.8%	17.1%	16.0%	54.2%	1.6%	1.9%	
	男性	236	2.5%	11.0%	16.1%	16.1%	50.4%	3.0%	0.8%	
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	17	0.0%	17.6%	29.4%	0.0%	41.2%	0.0%	11.8%	
F2. 年代別	18～19歳	5	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	
	20代	32	0.0%	3.1%	6.3%	15.6%	71.9%	3.1%	0.0%	
	30代	56	1.8%	5.4%	7.1%	8.9%	76.8%	0.0%	0.0%	
	40代	93	0.0%	6.5%	17.2%	14.0%	59.1%	1.1%	2.2%	
	50代	98	0.0%	6.1%	20.4%	15.3%	57.1%	1.0%	0.0%	
	60代	136	4.4%	8.8%	16.9%	19.9%	46.3%	2.9%	0.7%	
	70代以上	197	4.1%	12.2%	18.8%	15.7%	43.1%	3.0%	3.0%	
	未回答	11	0.0%	18.2%	27.3%	0.0%	36.4%	0.0%	18.2%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	0.0%	5.3%	15.8%	21.1%	57.9%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	12	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）	役員・管理職	30	0.0%	6.7%	20.0%	0.0%	73.3%	0.0%	0.0%
		専門・技術職	91	0.0%	9.9%	14.3%	14.3%	61.5%	0.0%	0.0%
		事務職	53	0.0%	5.7%	17.0%	13.2%	62.3%	0.0%	1.9%
		販売・サービス・保安職	66	1.5%	6.1%	10.6%	18.2%	60.6%	1.5%	1.5%
		農林漁業職	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	18	11.1%	5.6%	11.1%	27.8%	38.9%	5.6%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）の勤 務形態	正規の職員・従業員	166	1.2%	9.0%	13.3%	14.5%	60.8%	1.2%	0.0%
		非正規の職員・従業員 （パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	102	1.0%	6.9%	16.7%	14.7%	59.8%	0.0%	1.0%
		未回答	27	7.4%	14.8%	22.2%	7.4%	44.4%	0.0%	3.7%
	無職	無職－主婦・主夫	167	3.0%	11.4%	26.9%	13.8%	39.5%	3.6%	1.8%
		無職－学生	9	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%
無職－その他		61	1.6%	6.6%	8.2%	31.1%	47.5%	3.3%	1.6%	
未回答		14	14.3%	7.1%	42.9%	14.3%	14.3%	7.1%	0.0%	
未回答		71	4.2%	7.0%	15.5%	11.3%	50.7%	4.2%	7.0%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	3.1%	8.7%	16.8%	15.8%	52.9%	1.3%	1.5%	
	離別・死別	93	1.1%	10.8%	19.4%	12.9%	51.6%	3.2%	1.1%	
	未婚	111	0.0%	8.1%	15.3%	17.1%	55.9%	3.6%	0.0%	
	未回答	31	6.5%	3.2%	16.1%	12.9%	45.2%	3.2%	12.9%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	1.0%	9.8%	13.7%	16.7%	53.9%	3.9%	1.0%	
	本人と配偶者のみ	189	3.2%	8.5%	16.9%	19.0%	48.7%	2.1%	1.6%	
	本人と配偶者、子ども	166	2.4%	9.6%	14.5%	14.5%	58.4%	0.0%	0.6%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	24	0.0%	12.5%	25.0%	16.7%	37.5%	4.2%	4.2%	
	本人と子ども	30	0.0%	10.0%	26.7%	13.3%	46.7%	0.0%	3.3%	
	本人と親	51	2.0%	7.8%	15.7%	11.8%	56.9%	5.9%	0.0%	
	その他	29	0.0%	3.4%	24.1%	6.9%	65.5%	0.0%	0.0%	
	未回答	37	8.1%	2.7%	18.9%	10.8%	45.9%	2.7%	10.8%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	399	2.8%	10.0%	16.5%	14.0%	53.4%	1.8%	1.5%	
	いない	193	0.0%	6.2%	17.6%	19.7%	53.4%	2.6%	0.5%	
	未回答	36	11.1%	5.6%	16.7%	8.3%	44.4%	2.8%	11.1%	

問2 今後、社会のあらゆる分野で、男女が対等な立場でともに参画していくためには、どのようなことが必要だと思われますか。（複数選択・2つまで）

社会のあらゆる分野で男女がともに参画していくために必要なことについては、全体でみると、「性別による様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」と答えた人の割合が57.1%と最も高く、平成30年度調査（55.1%）と同様の結果であった。その一方、平成30年度調査では50.3%を占めていた、「女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」については、38.5%と11.8ポイント減少している。また、「法律や制度の見直しを行い、男女が対等になるよう改めること」が31.2%（平成30年度調査：22.2%）、「政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用すること」が22.4%（平成30年度調査：16.9%）であり、平成30年度調査と比べて増加している。

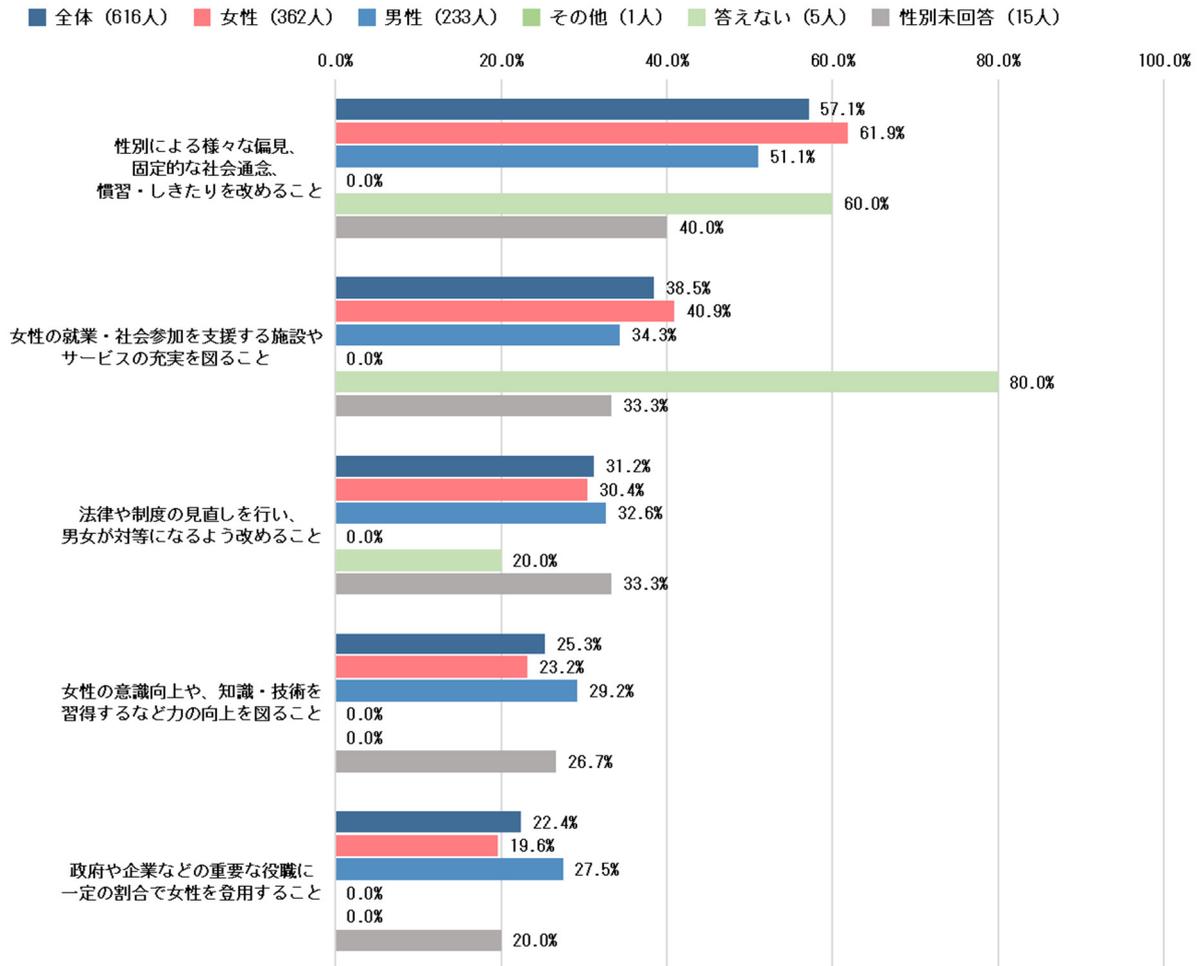
性別で比較すると、「性別による様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」について、『女性』が61.9%、『男性』が51.1%であり、『女性』が10.8ポイント上回る。「政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用すること」については、『男性』が27.5%、『女性』が19.6%であり、『男性』が7.9ポイント上回る。なお、平成30年度調査において『女性』（57.9%）と『男性』（38.5%）で19.4ポイントの開きがあった、「女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」については、『女性』が40.9%、『男性』が34.3%であり、その差は6.6ポイントに縮まっている。

年代別にみると、『60代』以下では「性別による様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」と答えた人の割合が50%以上であるのに対し、『70代以上』では46.8%であった。この傾向は平成30年度調査と同様である。また、「女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」について、平成30年度調査では、『40代』から『60代』までは50%を上回っていたが、今回の調査では全ての世代で50%を下回っている。

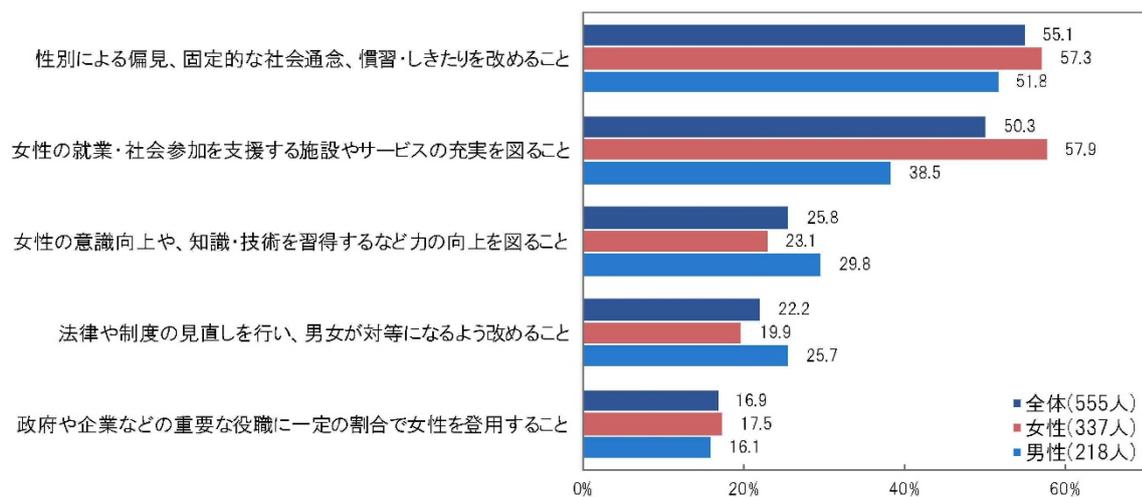
問2 回答結果

	性別による様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること	女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	法律や制度の見直しを行い、男女が対等になるよう改めること	女性の意識向上や、知識・技術を習得するなど力の向上を図ること	政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用すること	特に必要なことはない	わからない	その他
全体（616人）	57.1%	38.5%	31.2%	25.3%	22.4%	3.7%	5.0%	4.4%
女性（362人）	61.9%	40.9%	30.4%	23.2%	19.6%	3.0%	4.1%	4.4%
男性（233人）	51.1%	34.3%	32.6%	29.2%	27.5%	4.3%	5.6%	3.9%
その他（1人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
答えない（5人）	60.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（15人）	40.0%	33.3%	33.3%	26.7%	20.0%	6.7%	20.0%	6.7%
18～19歳（5人）	80.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（32人）	59.4%	31.3%	40.6%	25.0%	18.8%	0.0%	3.1%	3.1%
30代（56人）	58.9%	39.3%	32.1%	14.3%	23.2%	3.6%	3.6%	8.9%
40代（91人）	67.0%	34.1%	28.6%	15.4%	23.1%	2.2%	4.4%	11.0%
50代（98人）	65.3%	33.7%	34.7%	18.4%	28.6%	3.1%	3.1%	3.1%
60代（135人）	57.8%	45.2%	32.6%	29.6%	11.1%	5.2%	4.4%	3.7%
70代以上（190人）	46.8%	40.0%	26.3%	34.2%	27.9%	4.7%	7.4%	1.6%
年代未回答（9人）	44.4%	33.3%	44.4%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%

問2 回答結果



問2 平成30年度（参考）



問2 クロス集計

		標本数	法律や制度の見直しを行い、男女が対等になるよう改めること	性別による様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること	女性の意識向上や、知識・技術を習得するなどの向上を図ること	女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	政府や企業などの重要な役割に一定の割合で女性を登用すること	特に必要はない	わからない	その他(具体的に)	未回答
全体		628	30.6%	56.1%	24.8%	37.7%	22.0%	3.7%	4.9%	4.3%	1.9%
F1. 性別	女性	369	29.8%	60.7%	22.8%	40.1%	19.2%	3.0%	4.1%	4.3%	1.9%
	男性	236	32.2%	50.4%	28.8%	33.9%	27.1%	4.2%	5.5%	3.8%	1.3%
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	答えない	5	20.0%	60.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	未回答	17	29.4%	35.3%	23.5%	29.4%	17.6%	5.9%	17.6%	5.9%	11.8%
F2. 年代別	18~19歳	5	60.0%	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	32	40.6%	59.4%	25.0%	31.3%	18.8%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%
	30代	56	32.1%	58.9%	14.3%	39.3%	23.2%	3.6%	3.6%	8.9%	0.0%
	40代	93	28.0%	65.6%	15.1%	33.3%	22.6%	2.2%	4.3%	10.8%	2.2%
	50代	98	34.7%	65.3%	18.4%	33.7%	28.6%	3.1%	3.1%	3.1%	0.0%
	60代	136	32.4%	57.4%	29.4%	44.9%	11.0%	5.1%	4.4%	3.7%	0.7%
	70代以上	197	25.4%	45.2%	33.0%	38.6%	26.9%	4.6%	7.1%	1.5%	3.6%
	未回答	11	36.4%	36.4%	18.2%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%
F3. 職業別	自営業者(経営者)	農業、林業、漁業	3	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	26.3%	47.4%	36.8%	52.6%	26.3%	0.0%	0.0%	5.3%
		自由業(開業医、弁護士等)	12	8.3%	58.3%	41.7%	41.7%	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業(開業医、弁護士等)	1	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者(役員を含む)	役員・管理職	34	20.6%	47.1%	35.3%	50.0%	17.6%	5.9%	2.9%	8.8%
		専門・技術職	91	33.0%	64.8%	17.6%	40.7%	24.2%	3.3%	0.0%	7.7%
		事務職	53	24.5%	71.7%	15.1%	43.4%	18.9%	1.9%	0.0%	3.8%
		販売・サービス・保安職	65	35.4%	61.5%	10.8%	36.9%	24.6%	1.5%	4.6%	6.2%
		農林漁業職	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	31.6%	52.6%	21.1%	31.6%	31.6%	10.5%	15.8%	5.3%
		未回答	15	53.3%	53.3%	13.3%	40.0%	20.0%	0.0%	6.7%	0.0%
	雇用されている者(役員を含む)の勤務形態	正規の職員・従業員	166	30.1%	62.0%	18.7%	42.8%	24.7%	2.4%	3.0%	6.6%
		非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	103	34.0%	62.1%	17.5%	39.8%	18.4%	3.9%	3.9%	4.9%
		未回答	9	22.2%	55.6%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%
	無職	無職-主婦・主夫	167	24.6%	56.3%	31.7%	40.7%	19.2%	3.6%	5.4%	3.0%
		無職-学生	9	44.4%	66.7%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職-その他	61	39.3%	47.5%	23.0%	31.1%	34.4%	6.6%	4.9%	0.0%
		未回答	5	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
未回答		71	38.0%	42.3%	29.6%	25.4%	15.5%	4.2%	11.3%	2.8%	
F4. 未婚別	結婚している(事実婚を含む)	393	27.7%	55.5%	26.0%	42.2%	20.9%	3.1%	4.8%	5.1%	
	離別・死別	93	28.0%	50.5%	29.0%	40.9%	21.5%	6.5%	6.5%	3.2%	
	未婚	111	43.2%	63.1%	17.1%	22.5%	26.1%	4.5%	5.4%	2.7%	
	未回答	31	29.0%	54.8%	25.8%	25.8%	22.6%	0.0%	0.0%	3.2%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	38.2%	51.0%	20.6%	29.4%	25.5%	7.8%	4.9%	2.9%	
	本人と配偶者のみ	189	27.5%	53.4%	31.2%	41.8%	22.2%	3.2%	4.8%	3.7%	
	本人と配偶者、子ども	166	30.7%	59.0%	18.1%	43.4%	19.9%	3.0%	3.0%	7.2%	
	本人と配偶者、子ども 父や母(三世帯世帯)	24	16.7%	45.8%	29.2%	41.7%	25.0%	4.2%	8.3%	4.2%	
	本人と子ども	30	26.7%	60.0%	40.0%	43.3%	20.0%	3.3%	3.3%	3.3%	
	本人と親	51	41.2%	66.7%	19.6%	23.5%	19.6%	2.0%	9.8%	2.0%	
	その他	29	17.2%	65.5%	31.0%	44.8%	27.6%	0.0%	3.4%	0.0%	
	未回答	37	32.4%	51.4%	21.6%	21.6%	18.9%	2.7%	8.1%	5.4%	
F6. お子さんの有無 (成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む)	いる	399	26.8%	55.4%	27.3%	42.9%	21.8%	3.5%	5.0%	2.8%	
	いない	193	37.8%	58.0%	20.7%	29.0%	22.8%	4.1%	5.2%	7.3%	
	未回答	36	33.3%	52.8%	19.4%	27.8%	19.4%	2.8%	2.8%	5.6%	

問3 今後、男女共同参画社会を進めるために、女性が増えた方がよいと思う職業や役職などはどれですか。(複数選択・2つまで)

女性が増えた方がよいと思う職業や役職については、全体で見ると、「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」と答えた人の割合が42.4%と最も高く、平成30年調査の35.8%から6.6ポイント増加している。次いで「都道府県、市（区）町村の首長」が33.1%で続く。なお、平成30年度調査において次点（29.4%）である「企業の経営者・管理職」は26.8%に減少している。

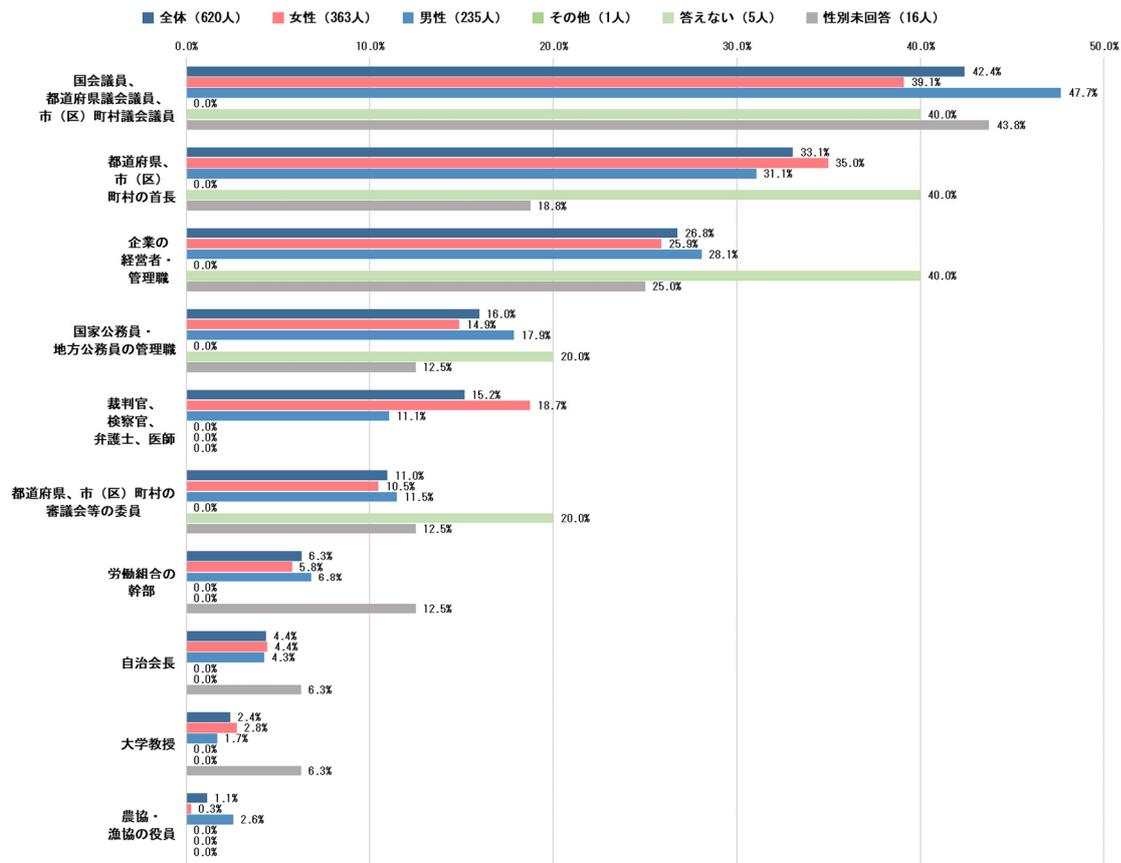
性別で見ると、「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」と答えた人の割合が、『女性』が39.1%、『男性』が47.7%で差が8.6ポイントと最も大きかった。なお、平成30年度調査において性別での差が9.3ポイントと最も大きかった、「裁判官、検察官、弁護士、医師」は、7.6ポイント差に減少している。

年代別では、『20代』は、「都道府県、市（区）町村の首長」と答えた人の割合が18.8%と他の年代より低く、平成30年度調査（17.4%）と同様の傾向を示している。また、『30代』は、「裁判官、検察官、弁護士、医師」と答えた割合が5.4%と最も低く、平成30年度調査の15.6%から10.2ポイント減少している。その一方、「都道府県、市（区）町村の首長」と答えた割合が42.9%と最も高く、平成30年度調査の21.9%から21.0ポイント増加している。

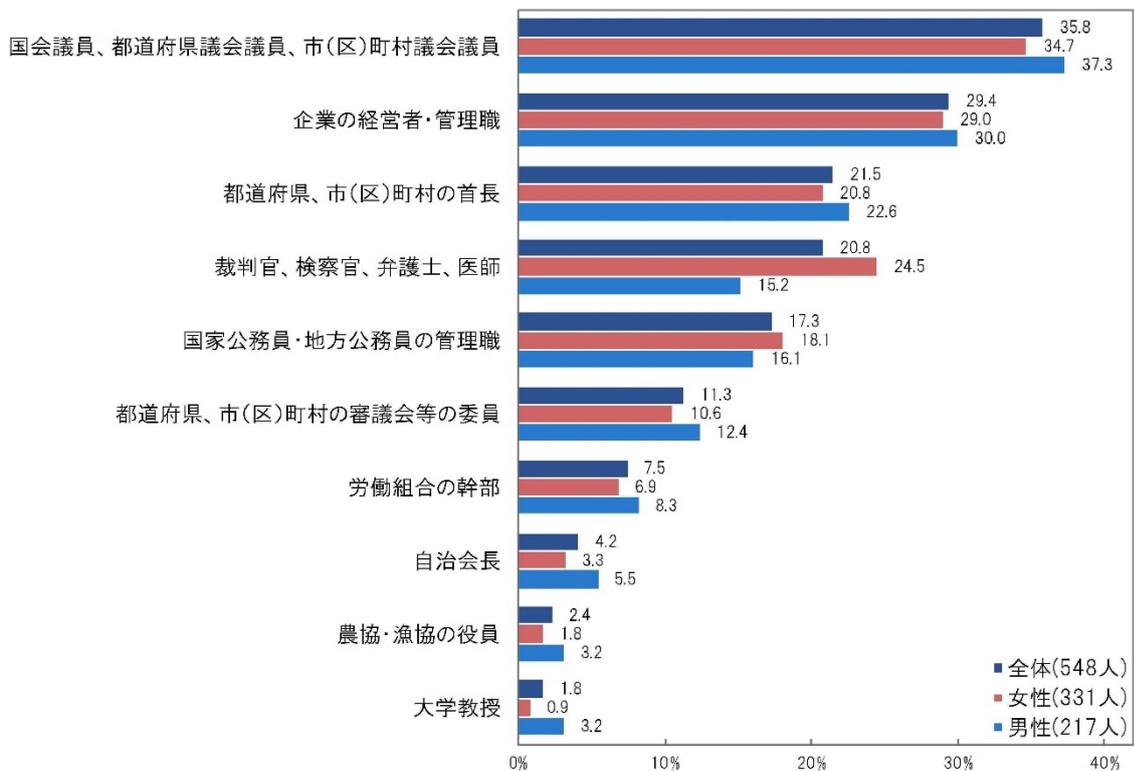
問3 回答結果

	国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員	都道府県、市（区）町村の首長	企業の経営者・管理職	国家公務員・地方公務員の管理職	裁判官、検察官、弁護士、医師	都道府県、市（区）町村の審議会等の委員	労働組合の幹部	自治会長	大学教授	農協・漁協の役員	特にない	わからない	その他
全体（620人）	42.4%	33.1%	26.8%	16.0%	15.2%	11.0%	6.3%	4.4%	2.4%	1.1%	11.3%	10.2%	2.6%
女性（363人）	39.1%	35.0%	25.9%	14.9%	18.7%	10.5%	5.8%	4.4%	2.8%	0.3%	10.7%	10.7%	2.8%
男性（235人）	47.7%	31.1%	28.1%	17.9%	11.1%	11.5%	6.8%	4.3%	1.7%	2.6%	11.9%	8.5%	2.1%
その他（1人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
答えない（5人）	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
性別未回答（16人）	43.8%	18.8%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	18.8%	18.8%	0.0%
18～19歳（5人）	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
20代（32人）	43.8%	18.8%	25.0%	21.9%	25.0%	6.3%	3.1%	0.0%	3.1%	0.0%	9.4%	12.5%	3.1%
30代（56人）	41.1%	42.9%	26.8%	14.3%	5.4%	5.4%	7.1%	8.9%	1.8%	7.1%	5.4%	12.5%	1.8%
40代（93人）	31.2%	39.8%	29.0%	16.1%	14.0%	4.3%	7.5%	2.2%	4.3%	0.0%	11.8%	7.5%	5.4%
50代（98人）	43.9%	34.7%	32.7%	18.4%	16.3%	8.2%	12.2%	3.1%	2.0%	0.0%	10.2%	5.1%	2.0%
60代（135人）	44.4%	37.8%	26.7%	12.6%	16.3%	12.6%	3.0%	3.7%	1.5%	0.7%	11.1%	9.6%	2.2%
70代以上（191人）	46.1%	25.7%	23.6%	17.3%	16.2%	17.3%	5.2%	5.8%	1.6%	1.0%	13.6%	13.6%	1.6%
年代未回答（10人）	40.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%

問3 回答結果



問3 平成30年度(参考)



問3 クロス集計

	標本数	都道府県、市(区)町村の首長	国会議員、都道府県、市(区)町村の審判員	都道府県、市(区)議会等の委員	国家公務員、市公務員の管理職	裁判官、検察官、弁護士、医師	大学教授	企業の経営者・管理職	労働組合の幹部役員	憲法・漁協の役員	自治会長	特にない(わからない)	その他(特にない)	無回答		
F1. 性別	全体	628	32.6%	41.9%	10.8%	15.8%	15.0%	2.4%	26.4%	6.2%	4.3%	11.1%	10.0%	2.5%	1.3%	
	男性	369	34.4%	38.5%	10.3%	14.6%	18.4%	2.7%	25.5%	5.7%	4.3%	10.6%	10.6%	2.7%	1.6%	
	女性	236	30.9%	47.5%	11.4%	17.6%	11.0%	11.9%	1.7%	28.0%	6.8%	4.2%	11.9%	8.5%	2.1%	0.4%
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	答えがない	5	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	17	17.6%	41.2%	11.8%	11.8%	0.0%	5.9%	23.5%	11.8%	0.0%	5.9%	17.6%	17.6%	0.0%	5.9%
	18~19歳	5	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	20代	32	18.8%	43.8%	6.3%	21.9%	25.0%	3.1%	25.0%	3.1%	0.0%	0.0%	9.4%	12.5%	3.1%	0.0%
	30代	56	42.9%	41.1%	5.4%	14.3%	5.4%	1.8%	26.8%	7.1%	7.1%	8.9%	5.4%	12.5%	1.8%	0.0%
	40代	93	39.8%	31.2%	4.3%	16.1%	14.0%	4.3%	29.0%	7.5%	7.0%	11.8%	7.5%	5.4%	5.4%	0.0%
F2. 年代別	50代	98	34.7%	43.9%	8.2%	18.4%	16.3%	2.0%	32.7%	12.2%	3.1%	10.2%	5.1%	2.0%	0.0%	
	60代	136	37.5%	44.1%	12.5%	12.5%	16.2%	1.5%	26.5%	2.9%	3.7%	11.0%	9.6%	2.2%	0.7%	
	70代以上	197	24.9%	44.7%	16.8%	16.8%	15.7%	1.5%	22.8%	5.1%	1.0%	5.6%	13.2%	13.2%	1.5%	3.0%
	未回答	11	18.2%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	
	職業、林業、漁業	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	自営業(開業、サードエース)	19	26.3%	63.2%	10.5%	21.1%	0.0%	0.0%	36.8%	15.8%	5.3%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	
	自営業(開業、サードエース)	12	41.7%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	16.7%	
	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	自営業(開業、サードエース)	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	自営業(開業、サードエース)	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F3. 職業別	役員・管理職	34	50.0%	41.2%	8.8%	11.8%	8.8%	0.0%	32.4%	8.8%	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	2.9%
	専門・技術職	91	42.9%	42.9%	1.1%	13.2%	12.1%	4.4%	27.5%	6.6%	3.3%	11.0%	9.9%	2.2%	0.0%	
	事務職	53	41.5%	39.6%	5.7%	20.8%	11.3%	3.8%	26.4%	3.8%	1.9%	9.4%	3.8%	3.8%	0.0%	
	販売・サービス・保安職	65	27.7%	35.4%	7.7%	21.5%	16.9%	4.6%	33.8%	9.2%	0.0%	10.8%	6.2%	1.5%	0.0%	
	農林漁業職	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	生産・輸送・建設・労働職	19	31.6%	31.6%	5.3%	15.8%	0.0%	26.3%	21.1%	5.3%	10.5%	26.3%	5.3%	5.3%	0.0%	
	生業・職	15	26.7%	13.3%	0.0%	26.7%	20.0%	0.0%	26.7%	6.7%	0.0%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	
	正職の職員・従業員	166	39.8%	41.0%	4.2%	17.5%	10.8%	3.0%	31.9%	7.2%	1.2%	4.8%	10.2%	6.0%	1.8%	0.6%
	非正職の職員・従業員(パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	103	35.9%	35.9%	5.8%	15.5%	15.5%	3.9%	23.3%	9.7%	1.0%	2.9%	10.7%	13.6%	2.9%	0.0%
	未回答	9	33.3%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
F4. 未婚別	未婚-主婦・主夫	167	28.1%	43.1%	15.6%	13.8%	21.0%	1.8%	25.7%	3.0%	2.4%	13.2%	12.0%	3.0%	1.2%	
	未婚-学生	9	33.3%	55.6%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	
	未婚-その他	61	34.4%	44.3%	14.8%	18.0%	9.8%	1.6%	24.6%	3.3%	4.9%	13.1%	14.8%	1.6%	1.6%	
	未回答	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
	未婚-その他	71	21.1%	40.8%	21.1%	15.5%	16.9%	1.4%	19.7%	7.0%	2.8%	8.5%	9.9%	0.0%	5.6%	
	結婚している(事実婚を含む)	383	34.6%	42.2%	11.5%	15.3%	15.5%	2.0%	28.5%	6.1%	1.0%	4.1%	9.7%	9.2%	2.8%	1.0%
	離婚・死別	83	26.9%	43.0%	18.3%	17.2%	10.8%	3.2%	18.3%	7.5%	1.1%	9.7%	11.8%	14.0%	1.1%	
	未婚	111	34.2%	40.5%	3.6%	17.1%	17.1%	3.6%	27.0%	6.3%	0.9%	0.0%	14.4%	8.1%	2.7%	0.9%
	未回答	31	19.4%	38.7%	6.5%	16.1%	12.9%	0.0%	22.6%	3.2%	3.2%	6.5%	16.1%	16.1%	3.2%	6.5%
	未婚-その他	102	30.4%	40.2%	11.8%	17.6%	13.7%	2.9%	24.5%	4.9%	1.0%	3.9%	13.7%	12.7%	0.0%	2.0%
F5. 世帯の構成	本人と配偶者のみ	189	31.7%	43.4%	11.6%	14.8%	16.9%	0.5%	30.2%	6.9%	4.2%	9.5%	8.5%	3.7%	1.1%	
	本人と配偶者、子ども	166	38.0%	41.0%	10.8%	17.5%	10.8%	3.0%	26.5%	4.2%	1.2%	9.6%	9.6%	1.8%	1.2%	
	本人と配偶者、子ども(成人しているお父さん、お母さん(三世帯世帯))	24	41.7%	45.8%	4.2%	8.3%	29.2%	8.3%	25.0%	12.5%	4.2%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	
	本人と子ども	30	26.7%	46.7%	16.7%	13.3%	10.0%	10.0%	26.7%	6.7%	0.0%	10.0%	20.0%	6.7%	3.3%	
	本人と親	51	29.4%	39.2%	5.9%	13.7%	13.7%	7.8%	29.4%	5.9%	2.0%	9.8%	11.8%	5.9%	0.0%	
	その他	29	34.5%	41.4%	10.3%	17.2%	27.6%	0.0%	13.8%	17.2%	0.0%	6.9%	10.3%	10.3%	0.0%	
	未回答	37	21.6%	40.5%	10.8%	16.2%	13.5%	0.0%	18.9%	2.7%	2.7%	5.4%	16.2%	16.2%	2.7%	5.4%
	いる	399	32.8%	43.1%	13.5%	17.3%	14.5%	2.8%	26.3%	5.5%	1.0%	6.3%	9.5%	10.0%	1.5%	0.8%
	いない	183	34.2%	40.4%	5.7%	13.0%	16.1%	2.1%	27.5%	8.3%	1.0%	0.0%	13.5%	8.8%	4.1%	1.6%
	未回答	36	22.2%	36.1%	8.3%	13.9%	13.9%	0.0%	22.2%	2.8%	2.8%	5.6%	16.7%	16.7%	5.6%	5.6%

問4 次の1～8の男女共同参画に関する言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉をすべて選んでください。(複数選択・当てはまるものすべて)

男女共同参画に関する用語の認知度について、全体でみると、「セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)」と答えた人の割合が89.9%と最も高く、「配偶者からの暴力(DV=ドメスティック・バイオレンス)」と答えた人の割合が88.1%で続く。平成30年度調査と比較して、上位2項目は同じであるが順位が入れ替わっている。

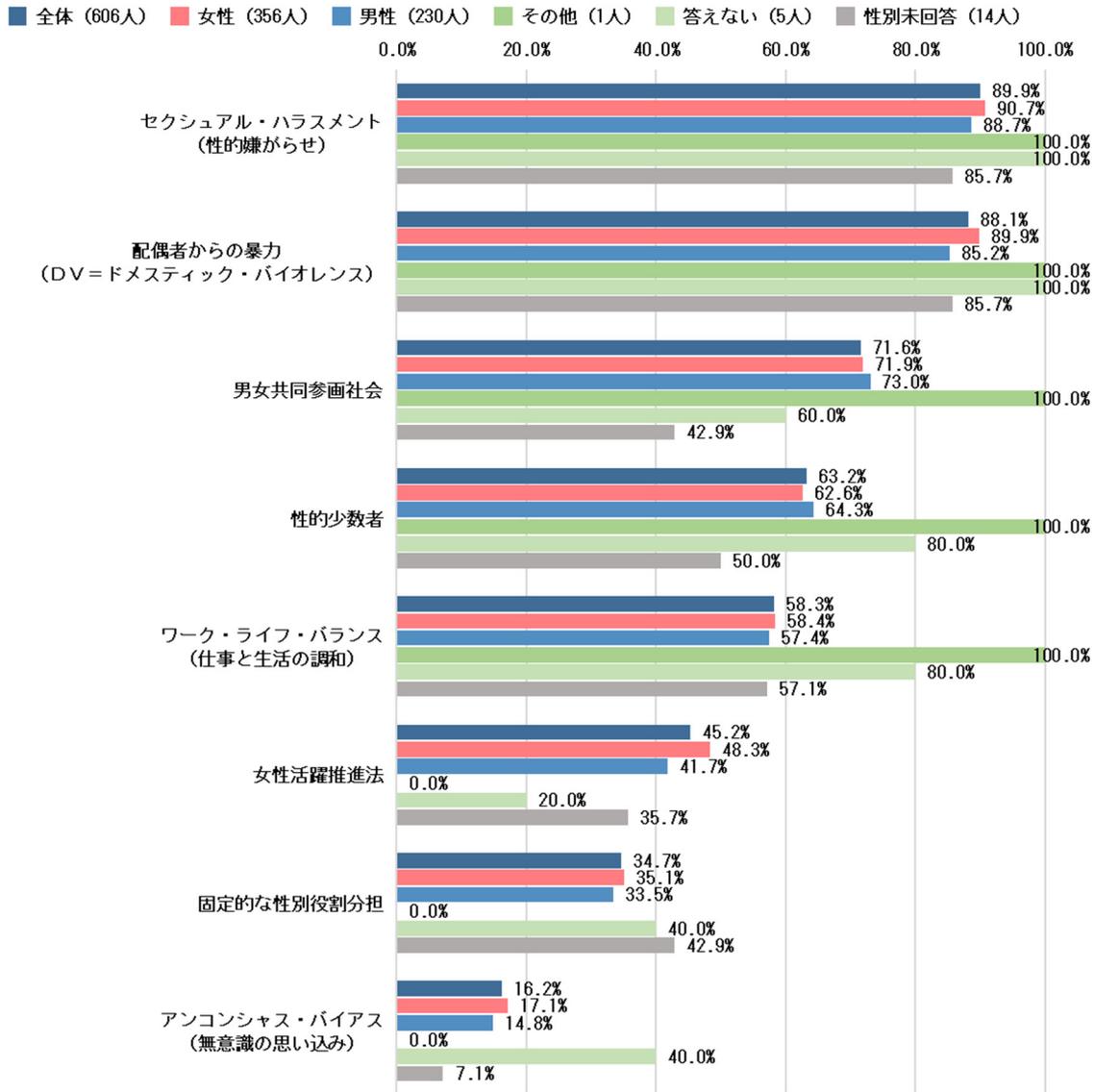
性別でみると、「男女共同参画社会」について、『女性』が71.9%、『男性』が73.0%であり、その差は1.1ポイントである。5.2ポイントの差があった平成30年度調査(『女性』:65.8%・『男性』:71.0%)と比較すると、『男性』の割合は2.0ポイント減少した一方で、『女性』の割合が6.1ポイント増加している。

年代別にみると、全世代において、平成30年度調査時と比較して認知度が上昇している傾向がみられる。

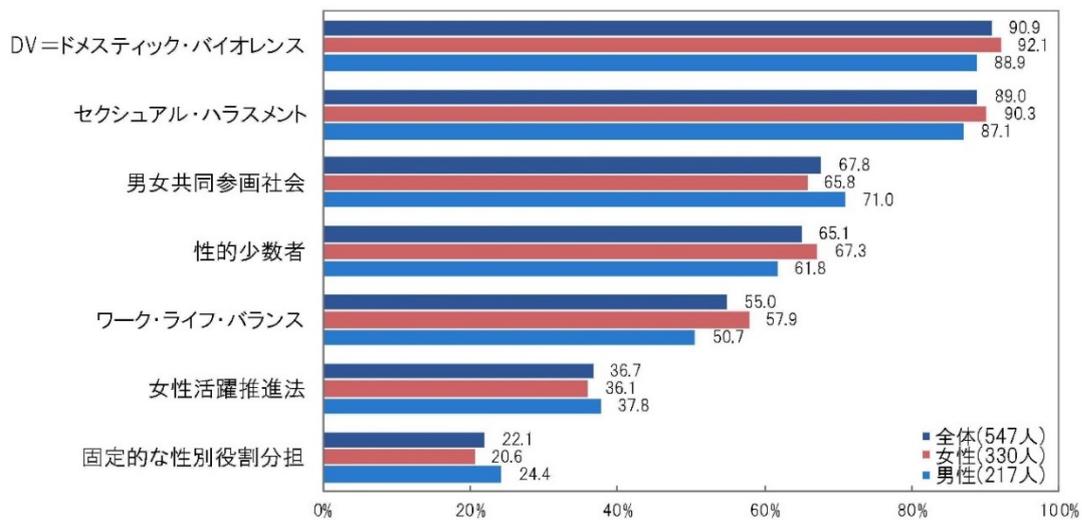
問4 回答結果

	セクシュアル・ハラスメント	配偶者からの暴力	男女共同参画社会	性的少数者	ワーク・ライフ・バランス	女性活躍推進法	固定的な性別役割分担	アンコンシャス・バイアス	見たり聞いたりしたものはない
全体(606人)	89.9%	88.1%	71.6%	63.2%	58.3%	45.2%	34.7%	16.2%	1.2%
女性(356人)	90.7%	89.9%	71.9%	62.6%	58.4%	48.3%	35.1%	17.1%	0.6%
男性(230人)	88.7%	85.2%	73.0%	64.3%	57.4%	41.7%	33.5%	14.8%	1.7%
その他(1人)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない(5人)	100.0%	100.0%	60.0%	80.0%	80.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
性別未回答(14人)	85.7%	85.7%	42.9%	50.0%	57.1%	35.7%	42.9%	7.1%	7.1%
18～19歳(5人)	100.0%	80.0%	100.0%	60.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代(32人)	90.6%	84.4%	78.1%	50.0%	78.1%	31.3%	31.3%	12.5%	3.1%
30代(56人)	87.5%	91.1%	69.6%	58.9%	75.0%	53.6%	21.4%	21.4%	1.8%
40代(93人)	94.6%	89.2%	64.5%	61.3%	69.9%	38.7%	33.3%	19.4%	0.0%
50代(97人)	96.9%	95.9%	73.2%	75.3%	75.3%	53.6%	40.2%	19.6%	0.0%
60代(132人)	93.2%	90.2%	72.7%	70.5%	53.0%	48.5%	36.4%	16.7%	0.0%
70代以上(181人)	81.8%	81.8%	73.5%	56.4%	37.0%	43.1%	36.5%	12.2%	2.8%
年代未回答(10人)	90.0%	90.0%	50.0%	60.0%	60.0%	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%

問4 回答結果



問4 平成30年度 (参考)



問4 クロス集計

		標本数	男女共同 参画社会	女性活躍 推進法	アンコン シャス・ バイアス (無意識 の思い込 み)	固定的な 性別役割 分担	配偶者から の暴力(D V=ドメス ティック・ バイオレン ス)	セクシュ アル・ハ ラスメン ト(性的 嫌がらせ)	ワーク・ ライフ・ バランス (仕事と 生活の調 和)	性的少数 者	見たり聞 いたりし たものは ない	未回答	
全体		628	69.1%	43.6%	15.6%	33.4%	85.0%	86.8%	56.2%	61.0%	1.1%	3.5%	
F1.性別	女性	369	69.4%	46.6%	16.5%	33.9%	86.7%	87.5%	56.4%	60.4%	0.5%	3.5%	
	男性	236	71.2%	40.7%	14.4%	32.6%	83.1%	86.4%	55.9%	62.7%	1.7%	2.5%	
	その他	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	5	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	100.0%	100.0%	80.0%	80.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	17	35.3%	29.4%	5.9%	35.3%	70.6%	70.6%	47.1%	41.2%	5.9%	17.6%	
F2.年代別	18～19歳	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	100.0%	100.0%	60.0%	0.0%	0.0%	
	20代	32	78.1%	31.3%	12.5%	31.3%	84.4%	90.6%	78.1%	50.0%	3.1%	0.0%	
	30代	56	69.6%	53.6%	21.4%	21.4%	91.1%	87.5%	75.0%	58.9%	1.8%	0.0%	
	40代	93	64.5%	38.7%	19.4%	33.3%	89.2%	94.6%	69.9%	61.3%	0.0%	0.0%	
	50代	98	72.4%	53.1%	19.4%	39.8%	94.9%	95.9%	74.5%	74.5%	0.0%	1.0%	
	60代	136	70.6%	47.1%	16.2%	35.3%	87.5%	90.4%	51.5%	68.4%	0.0%	2.9%	
	70代以上	197	67.5%	39.6%	11.2%	33.5%	75.1%	75.1%	34.0%	51.8%	2.5%	8.1%	
	未回答	11	45.5%	36.4%	9.1%	36.4%	81.8%	81.8%	54.5%	54.5%	0.0%	9.1%	
F3.職業別	自営業者(経営者)	農業、林業、漁業	3	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	57.9%	57.9%	10.5%	52.6%	89.5%	94.7%	57.9%	68.4%	5.3%	0.0%
		自由業(開業医、弁護士等)	12	100.0%	58.3%	33.3%	33.3%	91.7%	100.0%	75.0%	91.7%	0.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		自由業(開業医、弁護士等)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 (役員を含む)	役員・管理職	34	70.6%	44.1%	23.5%	23.5%	97.1%	91.2%	67.6%	61.8%	0.0%	0.0%
		専門・技術職	91	69.2%	46.2%	23.1%	34.1%	90.1%	92.3%	71.4%	76.9%	1.1%	0.0%
		事務職	53	83.0%	50.9%	18.9%	37.7%	94.3%	94.3%	79.2%	66.0%	1.9%	0.0%
		販売・サービス・保安職	65	66.2%	40.0%	13.8%	36.9%	96.9%	96.9%	64.6%	60.0%	0.0%	0.0%
		農林漁業職	1	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	52.6%	42.1%	10.5%	31.6%	78.9%	73.7%	42.1%	47.4%	5.3%	0.0%
		未回答	15	53.3%	40.0%	6.7%	13.3%	80.0%	93.3%	40.0%	53.3%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 (役員を含む)の 勤務形態	正規の職員・従業員	166	72.9%	46.4%	23.5%	34.3%	91.6%	92.2%	72.9%	65.1%	1.8%	0.0%
		非正規の職員・従業員 (パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	103	63.1%	43.7%	11.7%	31.1%	92.2%	92.2%	59.2%	67.0%	0.0%	0.0%
		未回答	9	77.8%	33.3%	0.0%	33.3%	100.0%	100.0%	55.6%	66.7%	0.0%	0.0%
	無職	無職-主婦・主夫	167	70.7%	43.1%	15.0%	34.7%	81.4%	83.8%	47.3%	59.3%	1.2%	4.8%
		無職-学生	9	100.0%	33.3%	0.0%	11.1%	88.9%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%
		無職-その他	61	75.4%	45.9%	8.2%	31.1%	77.0%	80.3%	42.6%	57.4%	0.0%	6.6%
		未回答	5	60.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%
未回答		71	52.1%	32.4%	12.7%	29.6%	74.6%	71.8%	40.8%	42.3%	1.4%	12.7%	
F4.未既婚別	結婚している(事実婚を含む)	393	74.0%	44.3%	16.3%	34.6%	87.5%	88.5%	58.3%	66.4%	0.8%	2.5%	
	離別・死別	93	55.9%	38.7%	14.0%	32.3%	76.3%	76.3%	47.3%	51.6%	3.2%	6.5%	
	未婚	111	67.6%	45.0%	12.6%	30.6%	82.9%	90.1%	60.4%	52.3%	0.9%	4.5%	
	未回答	31	51.6%	45.2%	22.6%	32.3%	87.1%	83.9%	41.9%	51.6%	0.0%	3.2%	
F5.世帯の構成	単身世帯	102	68.6%	41.2%	14.7%	34.3%	77.5%	82.4%	54.9%	56.9%	1.0%	7.8%	
	本人と配偶者のみ	189	77.2%	47.6%	16.4%	37.0%	88.9%	87.8%	58.7%	70.4%	0.0%	2.6%	
	本人と配偶者、子ども	166	70.5%	39.8%	14.5%	30.1%	85.5%	88.6%	59.6%	57.8%	1.8%	1.2%	
	本人と配偶者、子ども 父や母(三世帯世帯)	24	66.7%	50.0%	25.0%	33.3%	95.8%	100.0%	45.8%	83.3%	0.0%	0.0%	
	本人と子ども	30	43.3%	23.3%	13.3%	33.3%	66.7%	70.0%	36.7%	36.7%	6.7%	6.7%	
	本人と親	51	66.7%	51.0%	9.8%	29.4%	88.2%	92.2%	62.7%	54.9%	2.0%	3.9%	
	その他	29	69.0%	55.2%	17.2%	31.0%	86.2%	82.8%	62.1%	65.5%	0.0%	3.4%	
	未回答	37	48.6%	40.5%	21.6%	35.1%	86.5%	86.5%	40.5%	48.6%	0.0%	5.4%	
F6.お子さんの有無 (成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む)	いる	399	70.2%	43.6%	15.5%	35.8%	85.2%	86.0%	53.1%	62.2%	1.3%	3.3%	
	いない	193	69.9%	43.5%	14.5%	28.0%	85.0%	89.1%	65.3%	61.1%	1.0%	3.1%	
	未回答	36	52.8%	44.4%	22.2%	36.1%	83.3%	83.3%	41.7%	47.2%	0.0%	8.3%	

2. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問5 生活の中での「家庭生活」「仕事」「地域活動」の優先度について、「1 あなたの希望・理想」と「2 あなたの現状・現実」について、それぞれア～クの中からあなたにあてはまるものを1つ選んで○で囲んでください。

生活の中での「家庭生活」「仕事」「地域活動」の優先度について、全体で見ると、「希望・理想」においては、「家庭生活と仕事をともに優先」と答えた人の割合が43.9%と最も高い反面、「現状・現実」においては23.5%であり、20.4ポイントの差異がみられる。

一方で、「仕事を優先」は、「希望・理想」においては2.4%であるのに対し、「現状・現実」においては26.0%と、23.6ポイントの開きがあった。なお、この傾向は平成30年度調査と同様である。

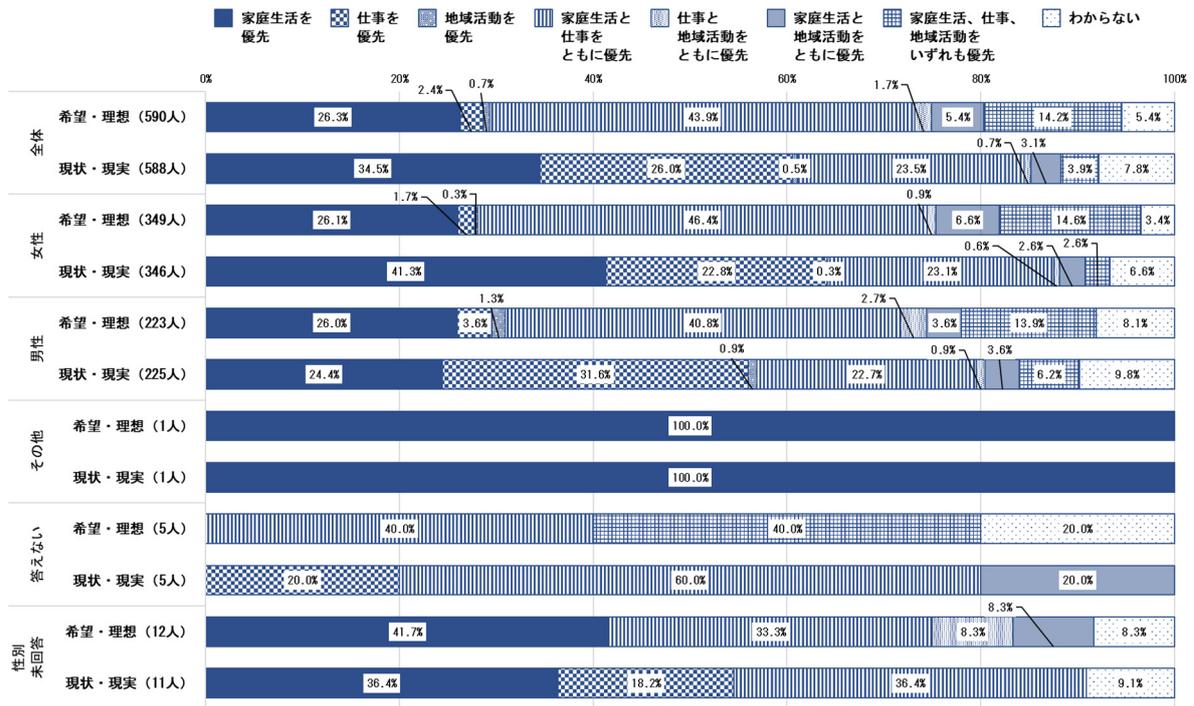
性別で見ると、男女ともに「家庭生活と仕事をともに優先」を「希望・理想」（『女性』：46.4%・『男性』：40.8%）としつつも、「現状・現実」においては、『女性』の41.3%が「家庭生活を優先」であり、『男性』の31.6%は「仕事を優先」と回答している。

年代別にみると、『20代』以上で、「希望・理想」においては「家庭生活と仕事をともに優先」と答えた人の割合が最も高いが、「現状・現実」においては、『20代』～『40代』は「仕事を優先」、『50代』以上は「家庭生活と仕事をともに優先」の割合が高い。

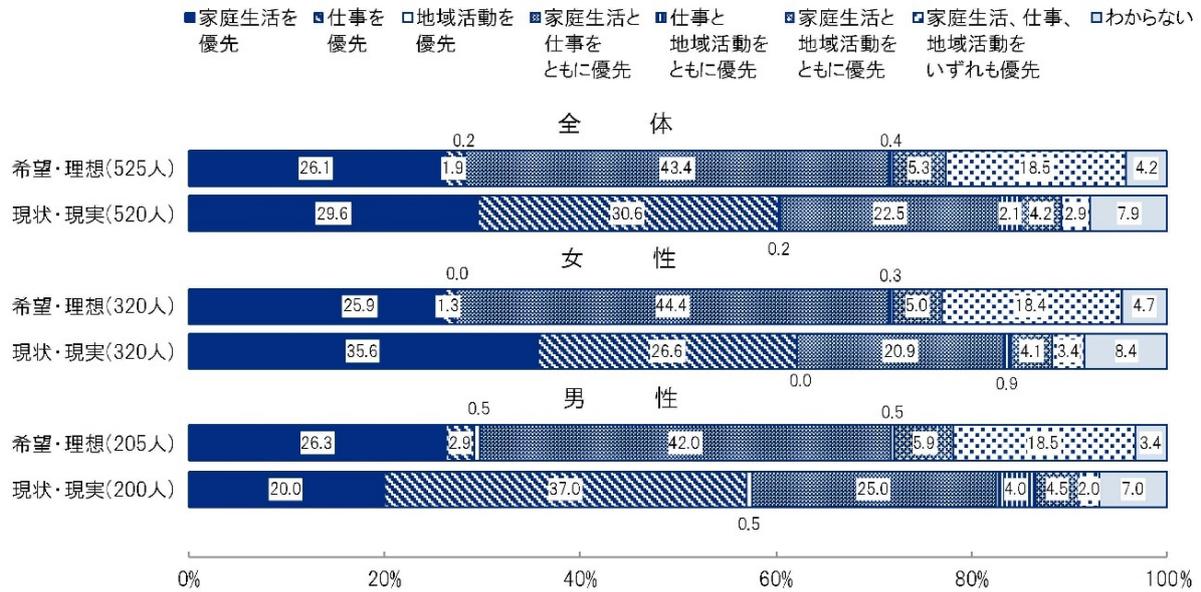
問5 回答結果

		家庭生活 を優先	仕事を優先	地域活動を 優先	家庭生活と 仕事をとも に優先	仕事と地域 活動をとも に優先	家庭生活と 地域活動を ともに優先	家庭生活、 仕事、地域 活動をいず れも優先	わからない
全体	希望・理想 (590人)	26.3%	2.4%	0.7%	43.9%	1.7%	5.4%	14.2%	5.4%
	現状・現実 (588人)	34.5%	26.0%	0.5%	23.5%	0.7%	3.1%	3.9%	7.8%
女性	希望・理想 (349人)	26.1%	1.7%	0.3%	46.4%	0.9%	6.6%	14.6%	3.4%
	現状・現実 (346人)	41.3%	22.8%	0.3%	23.1%	0.6%	2.6%	2.6%	6.6%
男性	希望・理想 (223人)	26.0%	3.6%	1.3%	40.8%	2.7%	3.6%	13.9%	8.1%
	現状・現実 (225人)	24.4%	31.6%	0.9%	22.7%	0.9%	3.6%	6.2%	9.8%
その他	希望・理想 (1人)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	現状・現実 (1人)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えなし	希望・理想 (5人)	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%
	現状・現実 (5人)	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
性別 未回答	希望・理想 (12人)	41.7%	0.0%	0.0%	33.3%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%
	現状・現実 (11人)	36.4%	18.2%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
18~19歳	希望・理想 (5人)	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	現状・現実 (5人)	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	希望・理想 (32人)	28.1%	0.0%	6.3%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	3.1%
	現状・現実 (32人)	21.9%	43.8%	0.0%	18.8%	0.0%	3.1%	0.0%	12.5%
30代	希望・理想 (54人)	40.7%	5.6%	0.0%	44.4%	0.0%	1.9%	5.6%	1.9%
	現状・現実 (54人)	37.0%	42.6%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%
40代	希望・理想 (93人)	25.8%	2.2%	0.0%	53.8%	1.1%	1.1%	10.8%	5.4%
	現状・現実 (93人)	31.2%	32.3%	1.1%	24.7%	1.1%	1.1%	3.2%	5.4%
50代	希望・理想 (92人)	23.9%	0.0%	1.1%	56.5%	0.0%	0.0%	15.2%	3.3%
	現状・現実 (94人)	24.5%	33.0%	0.0%	38.3%	1.1%	1.1%	0.0%	2.1%
60代	希望・理想 (127人)	22.8%	1.6%	0.0%	46.5%	0.8%	7.1%	16.5%	4.7%
	現状・現実 (127人)	30.7%	21.3%	0.0%	30.7%	0.8%	3.1%	5.5%	7.9%
70代以上	希望・理想 (180人)	23.9%	3.9%	0.6%	30.6%	3.3%	11.7%	17.8%	8.3%
	現状・現実 (176人)	46.6%	13.6%	1.1%	12.5%	0.0%	6.3%	6.8%	13.1%
年代 未回答	希望・理想 (7人)	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	現状・現実 (7人)	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%

問5 回答結果



問5 平成30年度調査 (参考)



問5-1 クロス集計

		標本数	家庭生活 を優先	仕事を優 先	地域活動 を優先	家庭生活 と仕事を ともに優 先	仕事と地 域活動を ともに優 先	家庭生活 と地域活 動をとも に優先	家庭生 活、仕 事、地 域活 動をい ずれも優 先	わからない	未回答
全体		628	24.7%	2.2%	0.6%	41.2%	1.6%	5.1%	13.4%	5.1%	6.1%
F1. 性別	女性	369	24.7%	1.6%	0.3%	43.9%	0.8%	6.2%	13.8%	3.3%	5.4%
	男性	236	24.6%	3.4%	1.3%	38.6%	2.5%	3.4%	13.1%	7.6%	5.5%
	その他	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	答えない	5	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	未回答	17	29.4%	0.0%	0.0%	23.5%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	29.4%
F2. 年代別	18～19歳	5	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	32	28.1%	0.0%	6.3%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	3.1%	0.0%
	30代	56	39.3%	5.4%	0.0%	42.9%	0.0%	1.8%	5.4%	1.8%	3.6%
	40代	93	25.8%	2.2%	0.0%	53.8%	1.1%	1.1%	10.8%	5.4%	0.0%
	50代	98	22.4%	0.0%	1.0%	53.1%	0.0%	0.0%	14.3%	3.1%	6.1%
	60代	136	21.3%	1.5%	0.0%	43.4%	0.7%	6.6%	15.4%	4.4%	6.6%
	70代以上	197	21.8%	3.6%	0.5%	27.9%	3.0%	10.7%	16.2%	7.6%	8.6%
	未回答	11	27.3%	0.0%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	3	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	5.3%	10.5%	0.0%	36.8%	5.3%	5.3%	26.3%	5.3%
		自由業（開業医、弁護士等）	12	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）	役員・管理職	34	35.3%	2.9%	0.0%	47.1%	0.0%	2.9%	8.8%	2.9%
		専門・技術職	91	26.4%	2.2%	0.0%	54.9%	1.1%	1.1%	12.1%	0.0%
		事務職	53	34.0%	0.0%	0.0%	54.7%	0.0%	1.9%	9.4%	0.0%
		販売・サービス・保安職	65	21.5%	0.0%	1.5%	53.8%	1.5%	1.5%	13.8%	4.6%
		農林漁業職	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	26.3%	5.3%	0.0%	31.6%	0.0%	0.0%	5.3%	15.8%
	雇用されている者 （役員を含む）の 勤務形態	未回答	15	26.7%	6.7%	0.0%	46.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
		正規の職員・従業員	166	31.3%	1.8%	0.0%	50.0%	0.6%	1.2%	9.6%	3.6%
		非正規の職員・従業員 （パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	103	21.4%	1.9%	1.0%	54.4%	1.0%	1.9%	13.6%	1.0%
		未回答	9	33.3%	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	167	25.7%	1.8%	0.0%	31.7%	2.4%	11.4%	12.0%	7.8%
		無職－学生	9	33.3%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%
		無職－その他	61	13.1%	1.6%	1.6%	34.4%	0.0%	8.2%	21.3%	11.5%
		未回答	5	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
未回答		71	22.5%	2.8%	1.4%	29.6%	4.2%	4.2%	14.1%	4.2%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	25.4%	2.3%	0.0%	42.7%	1.5%	5.3%	13.2%	4.3%	
	離別・死別	93	21.5%	1.1%	1.1%	41.9%	1.1%	7.5%	12.9%	7.5%	
	未婚	111	26.1%	2.7%	2.7%	39.6%	0.9%	0.9%	15.3%	7.2%	
	未回答	31	19.4%	3.2%	0.0%	25.8%	6.5%	9.7%	9.7%	0.0%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	26.5%	2.9%	1.0%	34.3%	1.0%	2.9%	17.6%	7.8%	
	本人と配偶者のみ	189	24.3%	1.6%	0.0%	38.6%	1.1%	6.9%	15.9%	5.8%	
	本人と配偶者、子ども	166	26.5%	2.4%	0.0%	48.2%	2.4%	3.6%	9.0%	3.0%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	24	41.7%	0.0%	4.2%	20.8%	0.0%	4.2%	25.0%	4.2%	
	本人と子ども	30	20.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	10.0%	6.7%	6.7%	
	本人と親	51	23.5%	3.9%	0.0%	52.9%	2.0%	2.0%	5.9%	7.8%	
	その他	29	10.3%	0.0%	3.4%	48.3%	0.0%	6.9%	20.7%	0.0%	
	未回答	37	18.9%	5.4%	2.7%	27.0%	5.4%	8.1%	10.8%	2.7%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	399	23.8%	2.0%	0.3%	41.1%	1.5%	6.3%	14.3%	5.3%	
	いない	193	26.9%	2.1%	1.6%	44.6%	1.0%	2.1%	12.4%	5.2%	
	未回答	36	22.2%	5.6%	0.0%	25.0%	5.6%	8.3%	8.3%	2.8%	

問5-2 クロス集計

		標本数	家庭生活 を優先	仕事を優 先	地域活動 を優先	家庭生活 と仕事を ともに優 先	仕事と地 域活動を ともに優 先	家庭生活 と地域活 動をとも に優先	家庭生 活、仕 事、地 域活動 をい ずれも優 先	わからない	未回答
全体		628	32.3%	24.4%	0.5%	22.0%	0.6%	2.9%	3.7%	7.3%	6.4%
F1. 性別	女性	369	38.8%	21.4%	0.3%	21.7%	0.5%	2.4%	2.4%	6.2%	6.2%
	男性	236	23.3%	30.1%	0.8%	21.6%	0.8%	3.4%	5.9%	9.3%	4.7%
	その他	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	答えない	5	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	未回答	16	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%
F2. 年代別	18～19歳	4	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	32	21.9%	43.8%	0.0%	18.8%	0.0%	3.1%	0.0%	12.5%	0.0%
	30代	56	35.7%	41.1%	0.0%	16.1%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	3.6%
	40代	93	31.2%	32.3%	1.1%	24.7%	1.1%	1.1%	3.2%	5.4%	0.0%
	50代	98	23.5%	31.6%	0.0%	36.7%	1.0%	1.0%	0.0%	2.0%	4.1%
	60代	137	29.2%	19.7%	0.0%	28.5%	0.7%	2.9%	5.1%	7.3%	6.6%
	70代以上	197	41.6%	12.2%	1.0%	11.2%	0.0%	5.6%	6.1%	11.7%	10.7%
	未回答	11	18.2%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	3	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	5.3%	57.9%	0.0%	21.1%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	12	16.7%	8.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）	役員・管理職	34	14.7%	44.1%	0.0%	29.4%	2.9%	0.0%	2.9%	5.9%
		専門・技術職	91	17.6%	44.0%	0.0%	36.3%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%
		事務職	53	24.5%	37.7%	0.0%	26.4%	0.0%	1.9%	5.7%	1.9%
		販売・サービス・保安職	66	24.2%	27.3%	1.5%	30.3%	0.0%	1.5%	4.5%	6.1%
		農林漁業職	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	18	11.1%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	15	33.3%	6.7%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）の 勤務形態	正規の職員・従業員	166	14.5%	48.2%	0.6%	30.1%	0.6%	0.6%	1.8%	3.0%
		非正規の職員・従業員 （パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	103	30.1%	18.4%	0.0%	41.7%	0.0%	1.0%	3.9%	1.9%
		未回答	9	22.2%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%
	無職	無職－主婦・主夫	167	57.5%	7.8%	1.2%	7.8%	0.6%	4.8%	3.6%	9.0%
		無職－学生	9	22.2%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
		無職－その他	61	42.6%	8.2%	0.0%	3.3%	0.0%	8.2%	4.9%	23.0%
		未回答	5	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%
未回答		71	23.9%	21.1%	0.0%	21.1%	1.4%	1.4%	4.2%	7.0%	
F4. 未婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	35.9%	22.1%	0.3%	25.2%	0.5%	2.5%	4.1%	5.3%	
	離別・死別	93	29.0%	21.5%	1.1%	15.1%	1.1%	6.5%	3.2%	11.8%	
	未婚	111	23.4%	36.9%	0.9%	18.0%	0.9%	1.8%	1.8%	11.7%	
	未回答	31	29.0%	16.1%	0.0%	16.1%	0.0%	0.0%	6.5%	3.2%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	28.4%	28.4%	1.0%	13.7%	1.0%	4.9%	2.0%	11.8%	
	本人と配偶者のみ	189	38.1%	18.5%	0.5%	23.8%	0.5%	3.2%	5.3%	6.3%	
	本人と配偶者、子ども	166	32.5%	28.3%	0.0%	25.9%	0.6%	1.8%	2.4%	4.2%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	24	37.5%	8.3%	0.0%	37.5%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	
	本人と子ども	30	23.3%	26.7%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	10.0%	13.3%	
	本人と親	51	25.5%	31.4%	2.0%	25.5%	2.0%	0.0%	0.0%	11.8%	
	その他	29	20.7%	37.9%	0.0%	13.8%	0.0%	6.9%	6.9%	3.4%	
	未回答	37	35.1%	13.5%	0.0%	16.2%	0.0%	0.0%	5.4%	24.3%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	399	33.6%	20.8%	0.5%	23.3%	0.5%	3.5%	4.8%	7.5%	
	いない	193	29.5%	33.7%	0.5%	20.2%	1.0%	2.1%	1.0%	7.8%	
	未回答	36	33.3%	13.9%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	2.8%	

問6 一般的に、女性が職業を持つことについて、どのように思いますか。

次の1～8の中から、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んで○で囲んでください。

女性が職業を持つことについては、全体で見ると、「仕事と家庭生活の両立ができるのであれば、職業をもつ方がよい」と答えた人の割合が53.9%と最も高く、次いで高かった「結婚、出産、育児にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい」の27.9%を26.0ポイント上回った。なお、平成30年度調査では「結婚、出産、育児にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい」の割合は22.2%であり、今回の調査では5.7ポイント増加している。

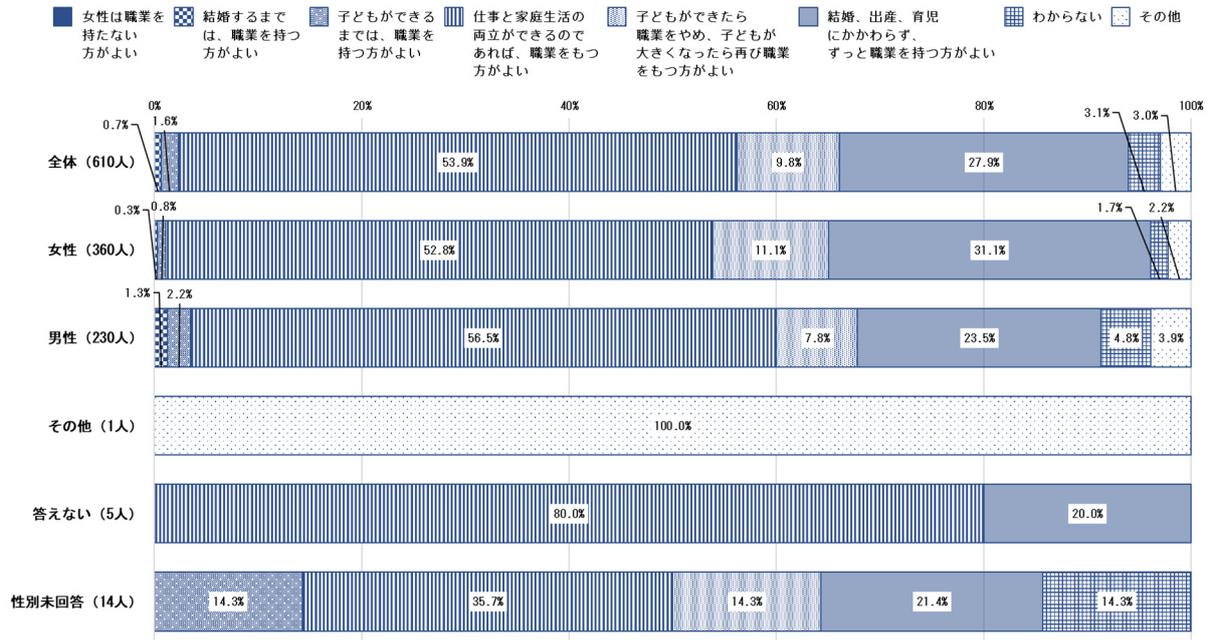
性別で見ると、「仕事と家庭生活の両立ができるのであれば、職業をもつ方がよい」と答えた人の割合は、『女性』が52.8%（平成30年度調査：47.9%）、『男性』が56.5%（平成30年度調査：59.6%）と『男性』の方が高い。一方で、「結婚、出産、育児にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい」は、『女性』が31.1%（平成30年度調査：25.6%）、『男性』が23.5%（平成30年度調査：17.0%）と『女性』が高い。同様に、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と答えた人の割合は、『女性』が11.1%（平成30年度調査：18.8%）、『男性』が7.8%（平成30年度調査：12.4%）と女性が高い。これらの傾向は平成30年度調査と変わらないが、性別による割合の差は小さくなっている。

年代別にみると、「結婚、出産、育児にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい」と答えた人の割合は、『20代』～『60代』において20%以上を占める。『60代』の割合は28.9%であり、平成30年度調査の15.0%から13.9ポイント増加している。

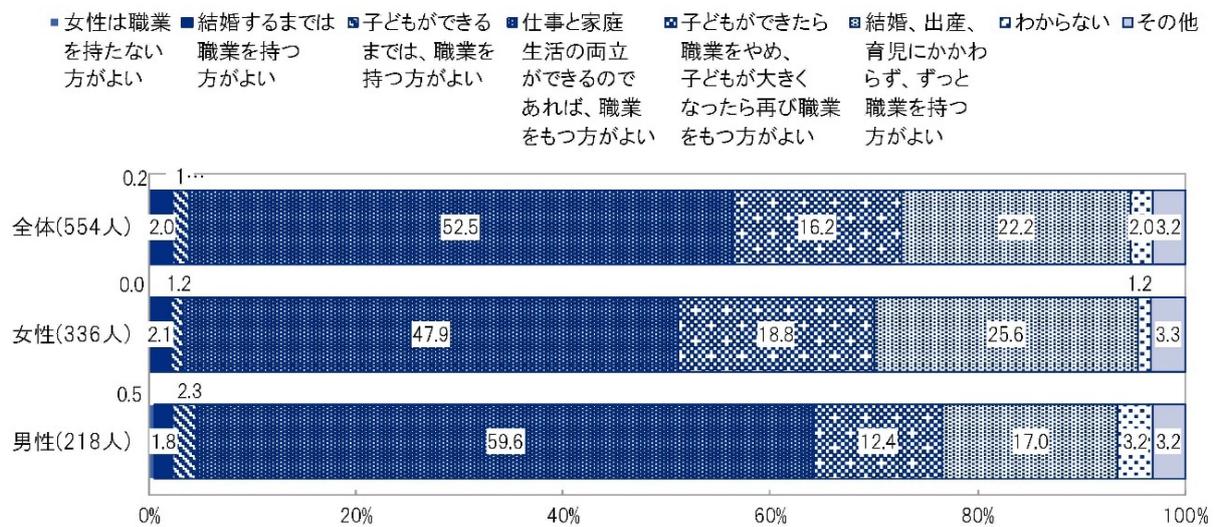
問6 回答結果

	女性は職業を持たない方がよい	結婚するまでは、職業を持つ方がよい	子どもができるまでは、職業を持つ方がよい	仕事と家庭生活の両立ができるのであれば、職業を持つ方がよい	子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい	結婚、出産、育児にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい	わからない	その他
全体（610人）	0.0%	0.7%	1.6%	53.9%	9.8%	27.9%	3.1%	3.0%
女性（360人）	0.0%	0.3%	0.8%	52.8%	11.1%	31.1%	1.7%	2.2%
男性（230人）	0.0%	1.3%	2.2%	56.5%	7.8%	23.5%	4.8%	3.9%
その他（1人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
答えない（5人）	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（14人）	0.0%	0.0%	14.3%	35.7%	14.3%	21.4%	14.3%	0.0%
18～19歳（5人）	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（32人）	0.0%	0.0%	3.1%	46.9%	12.5%	31.3%	0.0%	6.3%
30代（56人）	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	1.8%	55.4%	1.8%	5.4%
40代（93人）	0.0%	1.1%	0.0%	47.3%	7.5%	34.4%	2.2%	7.5%
50代（96人）	0.0%	0.0%	0.0%	59.4%	4.2%	27.1%	5.2%	4.2%
60代（135人）	0.0%	0.0%	0.7%	58.5%	9.6%	28.9%	2.2%	0.0%
70代以上（184人）	0.0%	1.6%	3.8%	58.2%	15.8%	16.3%	3.3%	1.1%
年代未回答（9人）	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%

問6 回答結果



問6 平成30年度 (参考)



問6 クロス集計

		標本数	女性は職業を持たない方がよい	結婚するまでは、職業を持つ方がよい	子どもがでるまでは、職業を持つ方がよい	仕事と家庭生活の両立ができれば、職業をもつ方がよい	子どもができれば、職業をやめた方がよい	結婚、出産、育児にかかわらずずっと職業を持つ方がよい	わからない	その他(具体的に)	未回答
全体		628	0.0%	0.6%	1.6%	52.4%	9.6%	27.1%	3.0%	2.9%	2.9%
F1. 性別	女性	369	0.0%	0.3%	0.8%	51.5%	10.8%	30.4%	1.6%	2.2%	2.4%
	男性	236	0.0%	1.3%	2.1%	55.1%	7.6%	22.9%	4.7%	3.8%	2.5%
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	答えない	5	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	未回答	17	0.0%	0.0%	11.8%	29.4%	11.8%	17.6%	11.8%	0.0%	17.6%
F2. 年代別	18～19歳	5	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	32	0.0%	0.0%	3.1%	46.9%	12.5%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%
	30代	56	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	1.8%	55.4%	1.8%	5.4%	0.0%
	40代	93	0.0%	1.1%	0.0%	47.3%	7.5%	34.4%	2.2%	7.5%	0.0%
	50代	98	0.0%	0.0%	0.0%	58.2%	4.1%	26.5%	5.1%	4.1%	2.0%
	60代	136	0.0%	0.0%	0.7%	58.1%	9.6%	28.7%	2.2%	0.0%	0.7%
	70代以上	197	0.0%	1.5%	3.6%	54.3%	14.7%	15.2%	3.0%	1.0%	6.6%
	未回答	11	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	18.2%
F3. 職業別	自営業者(経営者)	農業、林業、漁業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	0.0%	0.0%	0.0%	68.4%	5.3%	26.3%	0.0%	0.0%
		自由業(開業医、弁護士等)	12	0.0%	8.3%	0.0%	33.3%	0.0%	41.7%	0.0%	16.7%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		自由業(開業医、弁護士等)	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者(役員を含む)	役員・管理職	34	0.0%	0.0%	2.9%	55.9%	8.8%	23.5%	5.9%	2.9%
		専門・技術職	91	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	4.4%	48.4%	0.0%	4.4%
		事務職	53	0.0%	0.0%	0.0%	56.6%	3.8%	30.2%	3.8%	5.7%
		販売・サービス・保安職	65	0.0%	0.0%	0.0%	63.1%	7.7%	26.2%	0.0%	1.5%
		農林漁業職	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	0.0%	0.0%	0.0%	42.1%	21.1%	26.3%	10.5%	0.0%
		未回答	15	0.0%	0.0%	6.7%	40.0%	6.7%	33.3%	0.0%	6.7%
	雇用されている者(役員を含む)の勤務形態	正規の職員・従業員	166	0.0%	0.0%	0.6%	50.0%	4.8%	38.0%	3.0%	3.6%
		非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	103	0.0%	0.0%	1.0%	56.3%	10.7%	26.2%	1.0%	2.9%
		未回答	9	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	55.6%	0.0%	11.1%
	無職	無職—主婦・主夫	167	0.0%	1.2%	2.4%	56.9%	15.6%	18.0%	1.8%	1.2%
		無職—学生	9	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%
		無職—その他	61	0.0%	0.0%	0.0%	49.2%	8.2%	23.0%	8.2%	4.9%
未回答		5	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
未回答		71	0.0%	0.0%	4.2%	46.5%	9.9%	22.5%	5.6%	1.4%	
F4. 未婚婚別	結婚している(事実婚を含む)	393	0.0%	1.0%	1.8%	54.7%	8.7%	27.5%	2.0%	2.5%	
	離別・死別	93	0.0%	0.0%	1.1%	53.8%	15.1%	20.4%	4.3%	2.2%	
	未婚	111	0.0%	0.0%	1.8%	45.9%	9.0%	31.5%	5.4%	4.5%	
	未回答	31	0.0%	0.0%	0.0%	41.9%	6.5%	25.8%	3.2%	3.2%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	0.0%	0.0%	2.0%	49.0%	10.8%	25.5%	4.9%	3.9%	
	本人と配偶者のみ	189	0.0%	0.5%	1.6%	55.0%	9.5%	24.9%	2.1%	2.1%	
	本人と配偶者、子ども	166	0.0%	1.2%	2.4%	56.6%	6.6%	30.1%	1.2%	1.8%	
	本人と配偶者、子ども、父や母(三世帯世帯)	24	0.0%	0.0%	4.2%	29.2%	20.8%	25.0%	8.3%	12.5%	
	本人と子ども	30	0.0%	0.0%	0.0%	56.7%	10.0%	26.7%	0.0%	3.3%	
	本人と親	51	0.0%	0.0%	0.0%	52.9%	7.8%	35.3%	2.0%	2.0%	
	その他	29	0.0%	0.0%	0.0%	48.3%	17.2%	24.1%	6.9%	3.4%	
	未回答	37	0.0%	2.7%	0.0%	43.2%	8.1%	21.6%	8.1%	2.7%	
F6. お子さんの有無(成人しているお子さん、別居しているお子さん含む)	いる	399	0.0%	0.8%	1.5%	56.6%	10.0%	24.1%	2.3%	2.3%	
	いない	193	0.0%	0.0%	1.6%	46.6%	8.3%	34.2%	4.1%	3.6%	
	未回答	36	0.0%	2.8%	2.8%	36.1%	11.1%	22.2%	5.6%	5.6%	

問7 育児休業取得率は、令和4年度長崎県労働実態等調査によると、女性の91.4%に対し男性は16.3%と、男性の取得率は増加傾向にあるものの、女性に比べて男性の制度利用はなかなか進んでいません。その理由としてどのようなことが考えられますか。（単数選択・1つだけ）

男性の育児休業制度の利用が進まない理由については、全体でみると、「職場の理解が得られないから」と答えた人の割合が38.6%と最も高く、次いで「経済的に影響があるから」が20.3%で続く。なお、「経済的に影響があるから」は平成30年度調査の15.7%から4.6ポイント増加している。

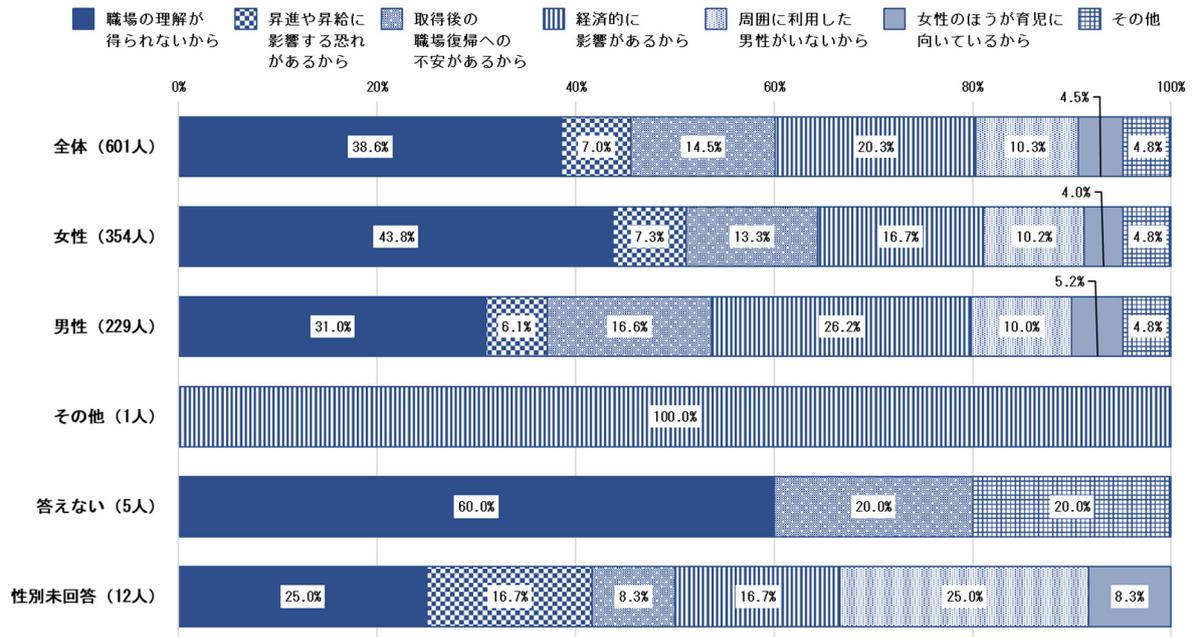
性別でみると、「職場の理解が得られないから」と答えた人の割合は、『女性』が43.8%、『男性』が31.0%であり、『女性』が12.8ポイント上回るが、平成30年度調査（『女性』：45.9%・『男性』：36.8%）より『女性』、『男性』ともに、割合が減少している。また、「経済的に影響があるから」は、『女性』が16.7%、『男性』が26.2%であり、平成30年度調査（『女性』：12.8%・『男性』：20.3%）と比較して、『女性』、『男性』ともに割合が増加している。

年代別にみると、「女性のほうが育児に向いているから」と答えた人の割合は、『18～19歳』が20.0%、『70代以上』が8.2%であり、他の年代より高くなっている。

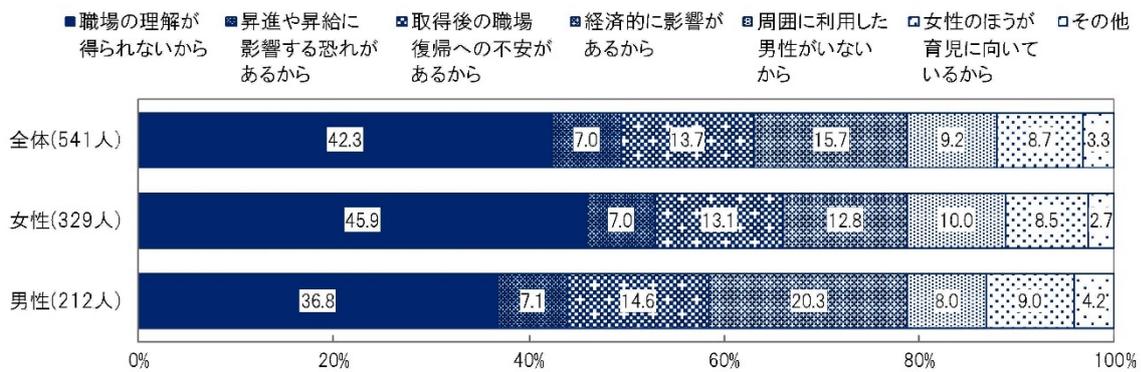
問7 回答結果

	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	経済的に影響があるから	周囲に利用した男性がいないから	女性のほうが育児に向いているから	その他
全体（601人）	38.6%	7.0%	14.5%	20.3%	10.3%	4.5%	4.8%
女性（354人）	43.8%	7.3%	13.3%	16.7%	10.2%	4.0%	4.8%
男性（229人）	31.0%	6.1%	16.6%	26.2%	10.0%	5.2%	4.8%
その他（1人）	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない（5人）	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
性別未回答（12人）	25.0%	16.7%	8.3%	16.7%	25.0%	8.3%	0.0%
18～19歳（5人）	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%
20代（32人）	37.5%	12.5%	9.4%	18.8%	15.6%	3.1%	3.1%
30代（55人）	43.6%	7.3%	7.3%	18.2%	14.5%	1.8%	7.3%
40代（91人）	33.0%	7.7%	13.2%	30.8%	6.6%	2.2%	6.6%
50代（94人）	40.4%	4.3%	11.7%	22.3%	10.6%	4.3%	6.4%
60代（133人）	41.4%	9.0%	17.3%	16.5%	9.0%	2.3%	4.5%
70代以上（184人）	38.0%	5.4%	18.5%	17.4%	9.2%	8.2%	3.3%
年代未回答（7人）	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%

問7 回答結果



問7 平成30年度調査 (参考)



問7 クロス集計

		標本数	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響があるから	取得後の職場復帰への不安があるから	経済的に影響があるから	周囲に利用した男性がいから	女性のほうが育児に向いているから	その他(具体的に)	未回答
全体		628	36.9%	6.7%	13.9%	19.4%	9.9%	4.3%	4.6%	4.6%
F1. 性別	女性	369	42.0%	7.0%	12.7%	16.0%	9.8%	3.8%	4.6%	4.6%
	男性	236	30.1%	5.9%	16.1%	25.4%	9.7%	5.1%	4.7%	4.7%
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	答えない	5	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	未回答	17	17.6%	11.8%	5.9%	11.8%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%
F2. 年代別	18～19歳	5	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	20代	32	37.5%	12.5%	9.4%	18.8%	15.6%	3.1%	3.1%	3.1%
	30代	56	42.9%	7.1%	7.1%	17.9%	14.3%	1.8%	7.1%	7.1%
	40代	93	32.3%	7.5%	12.9%	30.1%	6.5%	2.2%	6.5%	6.5%
	50代	98	38.8%	4.1%	11.2%	21.4%	10.2%	4.1%	6.1%	6.1%
	60代	136	40.4%	8.8%	16.9%	16.2%	8.8%	2.2%	4.4%	4.4%
	70代以上	197	35.5%	5.1%	17.3%	16.2%	8.6%	7.6%	3.0%	3.0%
	未回答	11	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
F3. 職業別	自営業者(経営者)	農業、林業、漁業	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	42.1%	0.0%	26.3%	21.1%	0.0%	10.5%	0.0%
		自由業(開業医、弁護士等)	12	58.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		自由業(開業医、弁護士等)	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者(役員を含む)	役員・管理職	34	23.5%	17.6%	8.8%	14.7%	11.8%	11.8%	8.8%
		専門・技術職	91	41.8%	5.5%	16.5%	20.9%	6.6%	0.0%	6.6%
		事務職	53	30.2%	3.8%	7.5%	22.6%	18.9%	5.7%	11.3%
		販売・サービス・保安職	65	44.6%	9.2%	6.2%	26.2%	10.8%	1.5%	1.5%
		農林漁業職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	36.8%	0.0%	10.5%	36.8%	15.8%	0.0%	0.0%
	雇用されている者(役員を含む)の勤務形態	正規の職員・従業員	166	32.5%	8.4%	10.2%	23.5%	12.0%	3.6%	8.4%
		非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	103	46.6%	3.9%	10.7%	19.4%	14.6%	1.9%	1.9%
		未回答	9	22.2%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職	167	38.9%	6.6%	16.2%	17.4%	7.8%	4.8%	3.6%
	無職	無職一主婦・主夫	9	44.4%	0.0%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%
		無職一学生	61	34.4%	8.2%	24.6%	11.5%	6.6%	1.6%	6.6%
		無職一その他	5	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
		未回答	71	31.0%	7.0%	9.9%	16.9%	8.5%	9.9%	2.8%
F4. 未既婚別	結婚している(事実婚を含む)	393	37.7%	7.1%	14.2%	21.4%	8.9%	3.8%	4.6%	
	離別・死別	93	36.6%	7.5%	11.8%	14.0%	8.6%	5.4%	6.5%	
	未婚	111	34.2%	6.3%	16.2%	18.0%	13.5%	2.7%	2.7%	
	未回答	31	38.7%	0.0%	6.5%	16.1%	12.9%	12.9%	6.5%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	37.3%	5.9%	15.7%	12.7%	8.8%	3.9%	5.9%	
	本人と配偶者のみ	189	37.0%	7.9%	16.4%	20.1%	8.5%	4.8%	3.7%	
	本人と配偶者、子ども	166	38.6%	7.2%	9.6%	24.1%	10.2%	3.0%	4.8%	
	本人と配偶者、子ども 父や母(三世帯世帯)	24	33.3%	4.2%	20.8%	20.8%	8.3%	8.3%	4.2%	
	本人と子ども	30	33.3%	10.0%	10.0%	16.7%	10.0%	10.0%	0.0%	
	本人と親	51	35.3%	3.9%	13.7%	19.6%	15.7%	2.0%	7.8%	
	その他	29	34.5%	6.9%	20.7%	17.2%	10.3%	0.0%	3.4%	
未回答	37	37.8%	2.7%	8.1%	16.2%	10.8%	8.1%	5.4%		
F6. お子さんの有無 (成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む)	いる	399	37.3%	7.0%	14.8%	19.0%	9.0%	4.5%	4.5%	
	いない	193	36.3%	6.2%	13.5%	21.2%	11.4%	3.1%	3.6%	
	未回答	36	36.1%	5.6%	5.6%	13.9%	11.1%	8.3%	11.1%	

問8 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数選択・2つまで)

男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なことについては、全体で見ると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」と答えた人の割合が39.0%と最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度、柔軟な勤務制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」と答えた人の割合が35.2%であった。なお、平成30年度調査では、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」と答えた人の割合は38.6%と今回の調査とほぼ変わらないが、「労働時間短縮や休暇制度、柔軟な勤務制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」と答えた人の割合が38.9%であり、今回の調査では3.7ポイント減少したため逆転している。

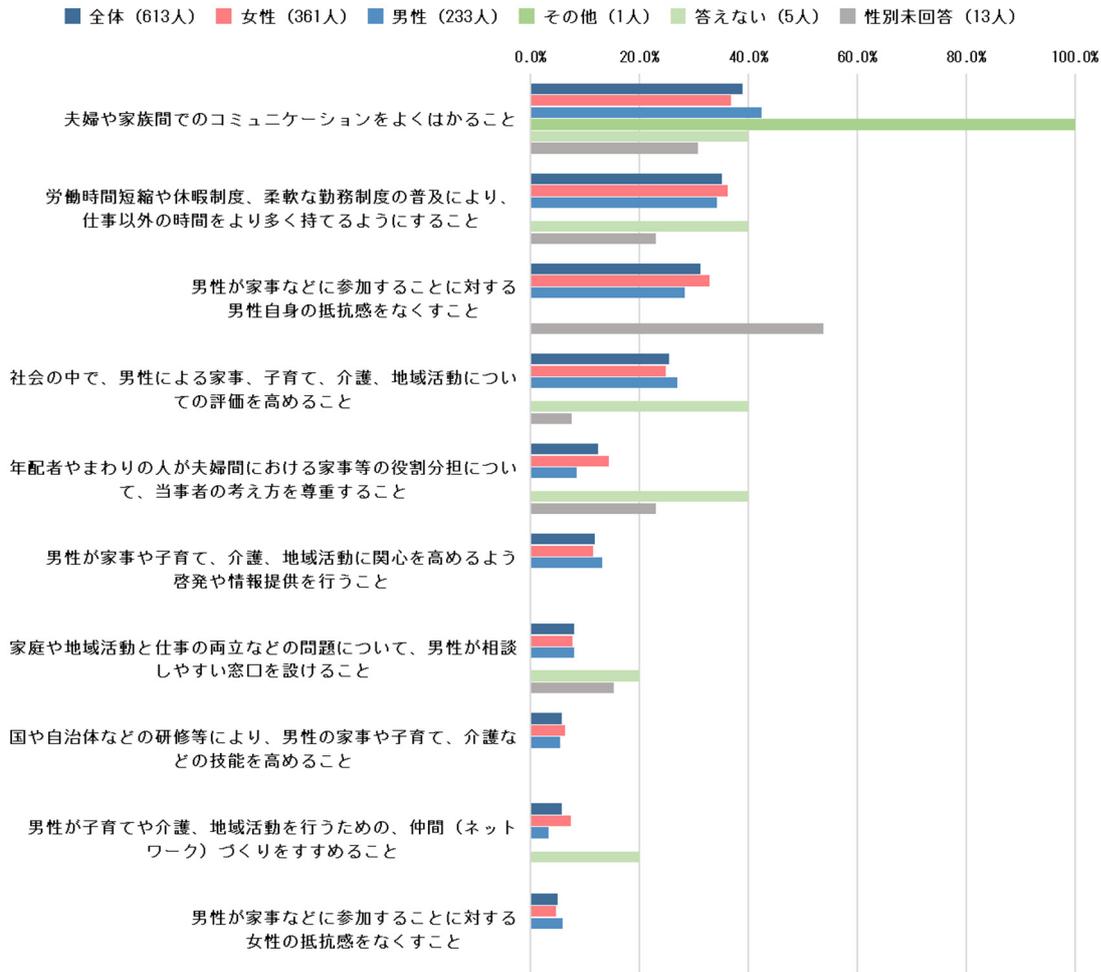
性別で見ると、今回の調査及び平成30年度調査いずれも「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」と答えた人の割合は『男性』が『女性』より高い。一方、「労働時間短縮や休暇制度、柔軟な勤務制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」について、平成30年度調査では『女性』が37.2%、『男性』が41.7%と『男性』が上回っていたが、今回の調査では、『女性』が36.3%、『男性』が34.3%であり、逆転している。

年代別にみると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」と答えた人の割合について、『18歳～19歳』(20.0%)及び『40代』(28.3%)はその他の世代と比べて低くなっている。なお、平成30年度調査において、最も低い世代は『30代』(27.7%)であった。また、「労働時間短縮や休暇制度、柔軟な勤務制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」について、『70代以上』を除く年代は、30%を上回っているが、その中で『40代』は37.0%であり、最も低かった。なお、『40代』は「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動について評価を高めること」と答えた割合が33.7%であり、最も高かった。

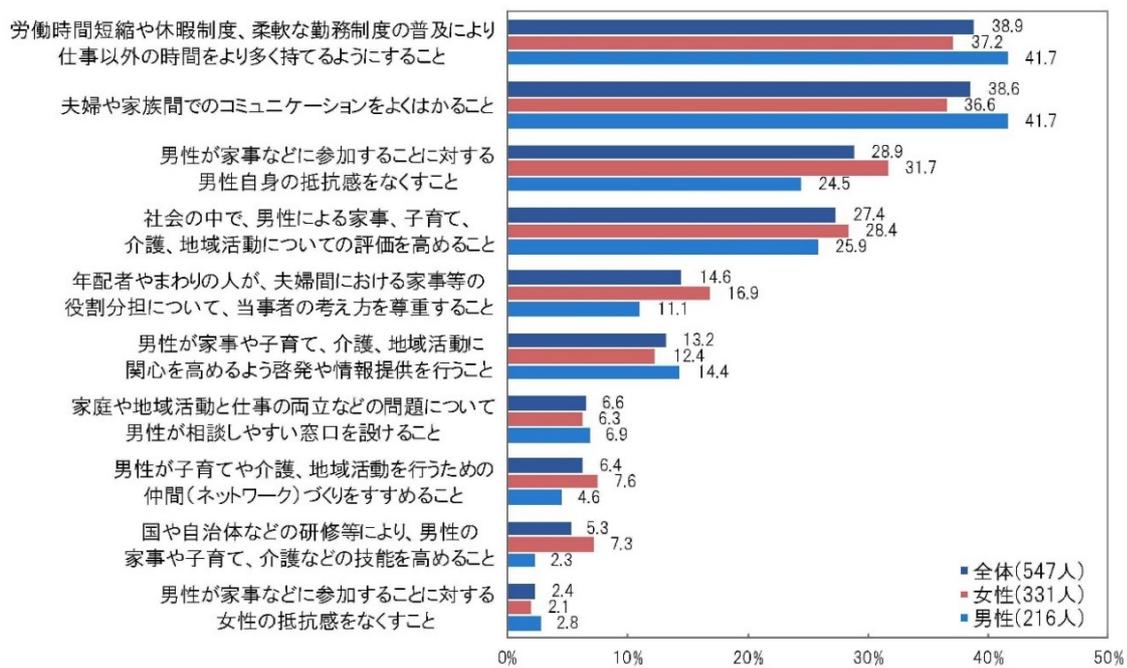
問8 回答結果

	夫婦や家族間で のコミュニケーション がよくなること	労働時間短縮や休 暇制度、柔軟な動 態の普及により、 仕事以外の時間 をより多く持て るようになること	男性が家事などに 参加することによ る男性自身の 抵抗感を なくすこと	社会の中で、男性 による家事、子 育て、介護、地域活 動についての評価 を高めること	年配者やまわりの 人が夫婦間におけ る家事等の役割分 担について、当事 者の考え方を尊重 すること	男性が家事や子育 て、介護、地域活 動に関心を高める よう啓発や情報提 供を行うこと	家庭や地域活動と 仕事の両立など、男 性が相談しやすい 窓口を設けること	国や自治体などの 研修等により、男 性の家事や子育 て、介護などの技 能を高めること	男性が子育てや介 護、地域活動を行 うための、仲間 (ネットワーク) づくりをすすめる こと	男性が家事などに 参加することに対 する女性の抵抗感 をなくすこと	特に必要なこ とはない	わからない	その他
全体 (613人)	39.0%	35.2%	31.3%	25.4%	12.6%	11.9%	8.2%	5.9%	5.9%	5.1%	1.8%	4.6%	2.6%
女性 (361人)	36.8%	36.3%	33.0%	24.9%	14.4%	11.6%	7.8%	6.4%	7.5%	4.7%	1.4%	4.2%	1.9%
男性 (233人)	42.5%	34.3%	28.3%	27.0%	8.6%	13.3%	8.2%	5.6%	3.4%	6.0%	2.6%	4.7%	3.4%
その他 (1人)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない (5人)	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答 (13人)	30.8%	23.1%	53.8%	7.7%	23.1%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%
18~19歳 (5人)	20.0%	80.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代 (31人)	41.9%	41.9%	48.4%	12.9%	12.9%	6.5%	3.2%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	3.2%	6.5%
30代 (55人)	43.6%	43.6%	29.1%	21.8%	14.5%	3.6%	3.6%	0.0%	9.1%	7.3%	0.0%	1.8%	5.5%
40代 (92人)	28.3%	37.0%	33.7%	33.7%	10.9%	10.9%	5.4%	5.4%	4.3%	3.3%	2.2%	3.3%	6.5%
50代 (96人)	34.4%	44.8%	33.3%	27.1%	9.4%	14.6%	4.2%	6.3%	4.2%	5.2%	2.1%	2.1%	4.2%
60代 (134人)	39.6%	41.0%	25.4%	30.6%	14.9%	9.0%	10.4%	5.2%	7.5%	4.5%	0.0%	3.7%	0.7%
70代以上 (192人)	44.8%	21.9%	29.7%	21.4%	12.5%	16.7%	10.9%	9.4%	6.3%	6.3%	3.6%	7.8%	0.0%
年代未回答 (8人)	37.5%	12.5%	50.0%	12.5%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%

問8 回答結果



問8 平成30年度（参考）



問8 クロス集計

性別	年齢	職業	婚姻状況	世帯タイプ	配偶者との関係	就業状況	収入	住居	通勤手段	育児・介護	家族関係	健康	その他
全体	628	30.6%	4.9%	38.1%	12.3%	24.8%	34.4%	11.4%	5.7%	8.0%	1.8%	4.5%	2.5%
女性	369	32.2%	4.6%	36.0%	14.1%	24.4%	35.5%	11.4%	6.2%	7.6%	1.4%	4.1%	1.9%
男性	236	28.0%	5.9%	41.9%	8.5%	26.7%	33.9%	13.1%	5.3%	8.4%	2.5%	4.7%	3.4%
その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えなし	5	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	17	41.2%	0.0%	23.5%	17.6%	5.9%	17.6%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	11.8%	5.9%
10～19歳	5	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	32	46.9%	3.1%	40.6%	12.5%	40.6%	40.6%	6.3%	0.0%	3.1%	0.0%	3.1%	0.0%
30代	56	28.6%	7.1%	42.9%	14.3%	21.4%	42.9%	10.8%	0.0%	3.0%	0.0%	1.8%	5.4%
40代	93	33.3%	3.2%	28.0%	10.8%	33.3%	36.6%	10.8%	5.4%	5.4%	2.2%	3.2%	6.5%
50代	98	32.7%	5.1%	33.7%	9.2%	26.5%	43.9%	14.3%	6.1%	4.1%	2.0%	2.0%	4.1%
60代	136	25.0%	4.4%	39.0%	14.7%	30.1%	40.4%	8.8%	5.1%	10.3%	0.0%	3.7%	0.7%
70代以上	197	28.9%	6.1%	43.7%	12.2%	20.8%	21.3%	16.2%	9.1%	10.3%	3.6%	7.6%	0.0%
未回答	11	36.4%	0.0%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%
農業、林業、漁業	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
加工業、製造業、サービス業	19	10.5%	0.0%	47.4%	15.8%	36.8%	36.8%	10.5%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	5.3%
自由業（開業、弁護士等）	12	33.3%	8.3%	16.7%	8.3%	33.3%	25.0%	25.0%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%
農業者、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
加工業、製造業、サービス業	2	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自由業（開業、弁護士等）	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
役員・管理職	34	23.5%	0.0%	40.7%	8.8%	41.2%	41.2%	8.8%	2.9%	8.8%	2.9%	2.9%	2.9%
専門・技術職	91	34.1%	3.3%	40.7%	9.9%	31.9%	41.8%	4.4%	4.4%	4.4%	0.0%	1.1%	1.1%
事務職	53	43.4%	11.3%	28.3%	13.2%	22.6%	32.1%	20.8%	7.5%	0.0%	0.0%	3.8%	5.7%
販売・サービス・保安職	65	36.9%	3.1%	38.5%	9.2%	18.5%	52.3%	10.8%	1.5%	9.2%	0.0%	3.1%	1.5%
農林業職	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生産・輸送・建設・労務職	19	36.8%	5.3%	21.1%	5.3%	21.1%	52.6%	5.3%	10.5%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%
未回答	15	20.0%	6.7%	40.0%	13.3%	33.3%	40.0%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%
正社員の職員・従業員	166	33.1%	4.8%	36.1%	10.2%	30.7%	38.8%	9.0%	4.2%	6.0%	1.2%	4.2%	1.2%
非正社員の職員・従業員 （パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	103	35.0%	3.9%	36.9%	11.7%	24.3%	47.6%	12.0%	3.9%	5.8%	0.0%	0.0%	4.9%
未回答	9	55.6%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
無職	167	24.6%	3.6%	41.3%	15.0%	25.7%	27.5%	13.2%	9.6%	5.4%	2.4%	4.8%	2.4%
無職	9	33.3%	11.1%	44.4%	11.1%	11.1%	55.6%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	61	36.1%	9.8%	41.0%	13.1%	16.4%	27.9%	14.8%	6.6%	13.1%	1.6%	3.3%	0.0%
未回答	5	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
結婚している（専業主婦を含む）	71	28.2%	5.6%	38.8%	12.7%	18.3%	23.9%	7.0%	5.6%	2.8%	4.2%	11.3%	2.8%
離婚している	393	27.7%	5.3%	39.4%	12.7%	29.5%	34.1%	12.0%	5.6%	6.1%	1.8%	3.8%	2.3%
未婚	93	32.3%	3.2%	36.6%	11.8%	15.1%	30.1%	7.5%	10.8%	4.3%	1.1%	8.0%	3.2%
未婚	111	37.8%	3.6%	33.3%	9.9%	18.9%	44.1%	11.7%	2.7%	5.4%	1.8%	3.6%	2.7%
未婚	31	35.5%	9.7%	41.9%	16.1%	16.1%	16.1%	19.4%	3.2%	6.5%	3.2%	3.2%	3.2%
未婚	102	33.3%	4.9%	31.4%	11.8%	16.7%	34.3%	8.8%	3.9%	5.9%	2.0%	8.8%	2.0%
本人と配偶者のみ	189	28.6%	4.8%	38.1%	12.7%	29.1%	33.3%	14.8%	7.4%	6.3%	2.6%	3.2%	1.6%
本人と配偶者、子ども （同居しているお父さん、お母さん、同居しているお父さん、同居しているお母さんを含む）	166	29.5%	5.4%	42.8%	13.9%	28.9%	33.7%	9.6%	4.8%	7.2%	0.6%	3.0%	2.4%
本人と子ども （同居しているお父さん、同居しているお母さんを含む）	24	20.8%	8.3%	37.5%	8.3%	33.3%	37.5%	12.5%	0.0%	16.7%	4.2%	4.2%	8.3%
本人と子ども （同居しているお父さん、同居しているお母さんを含む）	30	36.7%	6.7%	53.3%	10.0%	13.3%	23.3%	10.0%	16.7%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%
本人と親	51	39.2%	0.0%	33.3%	9.8%	19.6%	56.9%	11.8%	2.0%	9.8%	0.0%	3.9%	3.9%
本人と親	29	24.1%	3.4%	20.7%	10.3%	10.3%	34.5%	10.3%	10.3%	10.3%	3.4%	3.4%	6.9%
本人と親	37	32.4%	8.1%	43.2%	13.5%	13.5%	18.9%	13.5%	2.7%	5.4%	5.4%	8.1%	5.4%
本人と親	399	27.3%	5.0%	38.8%	13.8%	28.1%	32.1%	12.5%	6.3%	5.5%	1.5%	4.3%	2.0%
本人と親	193	36.8%	3.6%	36.3%	8.8%	18.7%	18.7%	9.3%	5.2%	6.2%	2.1%	4.7%	2.6%
本人と親	36	33.3%	11.1%	38.9%	13.9%	22.2%	13.9%	13.9%	2.8%	5.6%	2.8%	5.6%	8.3%

3. 家庭生活の中での男女共同参画について

- 問9 現在ご結婚されているかた（事実婚を含む）におたずねします。
 あなたの家庭では、実際にどなたが次の1～9までの役割を行っていますか。
 （単数回答・1つまで）

1. 掃除

現在、結婚されているかた（事実婚を含む）の家庭における役割のうち、掃除について、全体では、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が62.5%で最も高い。

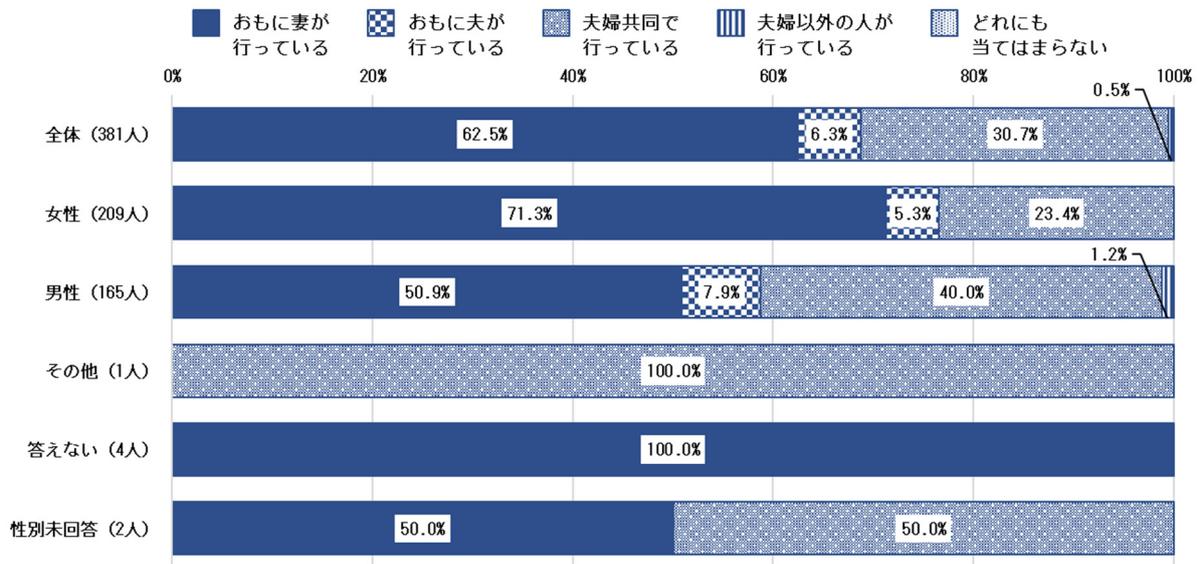
性別では、『女性』が71.3%（平成30年度：74.8%）、『男性』が50.9%（平成30年度：61.3%）と、女性が男性より高い割合を示している。次いで高い「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合は、『女性』が23.4%（平成30年度：19.8%）、『男性』が40.0%（平成30年度：28.8%）であり、『男性』が16.6ポイント上回っている。この傾向は平成30年度調査と同様である。

年代別にみると、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合について、『20代』が83.3%で最も高く、『50代』の68.7%、『60代』の67.7%が続く。また、「夫婦共同で行っている」と答えた割合は『30代』が47.2%で最も高く、40%を上回る。また、「おもに夫が行っている」と答えた人の割合は『70代以上』が他の年代より高くなっている。

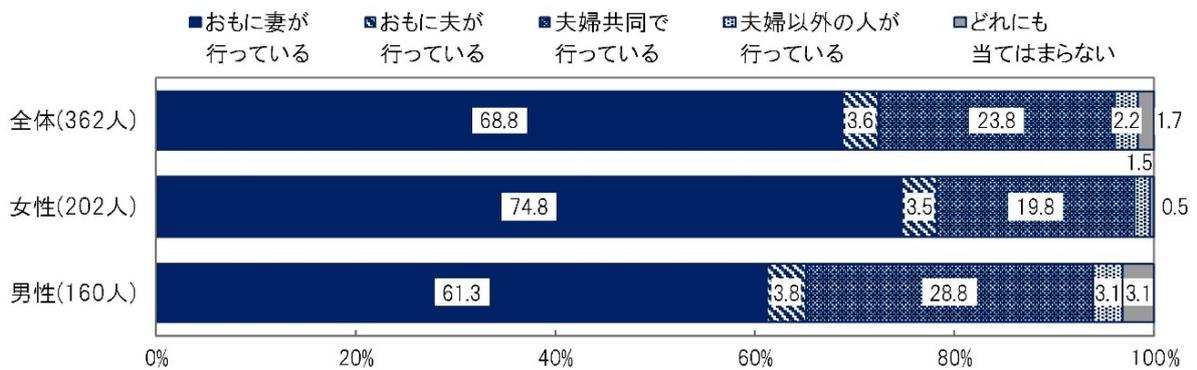
問9-1 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（381人）	62.5%	6.3%	30.7%	0.5%	0.0%
女性（209人）	71.3%	5.3%	23.4%	0.0%	0.0%
男性（165人）	50.9%	7.9%	40.0%	1.2%	0.0%
その他（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
答えない（4人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（2人）	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（6人）	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
30代（36人）	52.8%	0.0%	47.2%	0.0%	0.0%
40代（61人）	55.7%	4.9%	36.1%	3.3%	0.0%
50代（67人）	68.7%	4.5%	26.9%	0.0%	0.0%
60代（93人）	67.7%	5.4%	26.9%	0.0%	0.0%
70代以上（117人）	60.7%	11.1%	28.2%	0.0%	0.0%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-1 回答結果



問 9-1 平成 30 年度 (参考)



問9-1 クロス集計

		標本数	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない	未回答	
全体		393	60.6%	6.1%	29.8%	0.5%	0.0%	3.1%	
F1. 性別	女性	216	69.0%	5.1%	22.7%	0.0%	0.0%	3.2%	
	男性	170	49.4%	7.6%	38.8%	1.2%	0.0%	2.9%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	6	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30代	36	52.8%	0.0%	47.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40代	61	55.7%	4.9%	36.1%	3.3%	0.0%	0.0%	
	50代	67	68.7%	4.5%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
	60代	94	67.0%	5.3%	26.6%	0.0%	0.0%	1.1%	
	70代以上	128	55.5%	10.2%	25.8%	0.0%	0.0%	8.6%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	15	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	10	50.0%	10.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	26	61.5%	3.8%	26.9%	7.7%	0.0%	0.0%
		専門・技術職	54	57.4%	5.6%	35.2%	0.0%	0.0%	1.9%
		事務職	34	79.4%	2.9%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		販売・サービス・保安職	38	55.3%	5.3%	36.8%	0.0%	0.0%	2.6%
		農林漁業職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	11	45.5%	9.1%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	10	70.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	102	61.8%	4.9%	29.4%	2.0%	0.0%	2.0%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	67	62.7%	6.0%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	5	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	128	57.8%	7.0%	28.1%	0.0%	0.0%	7.0%
		無職－学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職－その他	26	61.5%	11.5%	23.1%	0.0%	0.0%	3.8%
		未回答	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答		34	61.8%	5.9%	32.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	60.6%	6.1%	29.8%	0.5%	0.0%	3.1%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	6	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	
	本人と配偶者のみ	187	58.3%	9.6%	28.9%	0.0%	0.0%	3.2%	
	本人と配偶者、子ども	166	64.5%	3.6%	29.5%	0.0%	0.0%	2.4%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	21	47.6%	0.0%	42.9%	9.5%	0.0%	0.0%	
	本人と子ども	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	8	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	62.9%	6.7%	27.3%	0.3%	0.0%	2.9%	
	いない	75	12.1%	1.0%	9.8%	0.3%	0.0%	0.6%	
	未回答	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	

2. 洗濯

現在、結婚されているかた（事実婚を含む）の家庭における役割のうち、洗濯について、全体では、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が72.7%で最も高く、次いで「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が20.8%であった。

性別では、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合は、『女性』が74.8%、『男性』が71.3%であり、女性が男性より高い割合を示している。次いで多い「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合は、『男性』が21.0%、『女性』が19.5%であり、『男性』の割合が高かった。

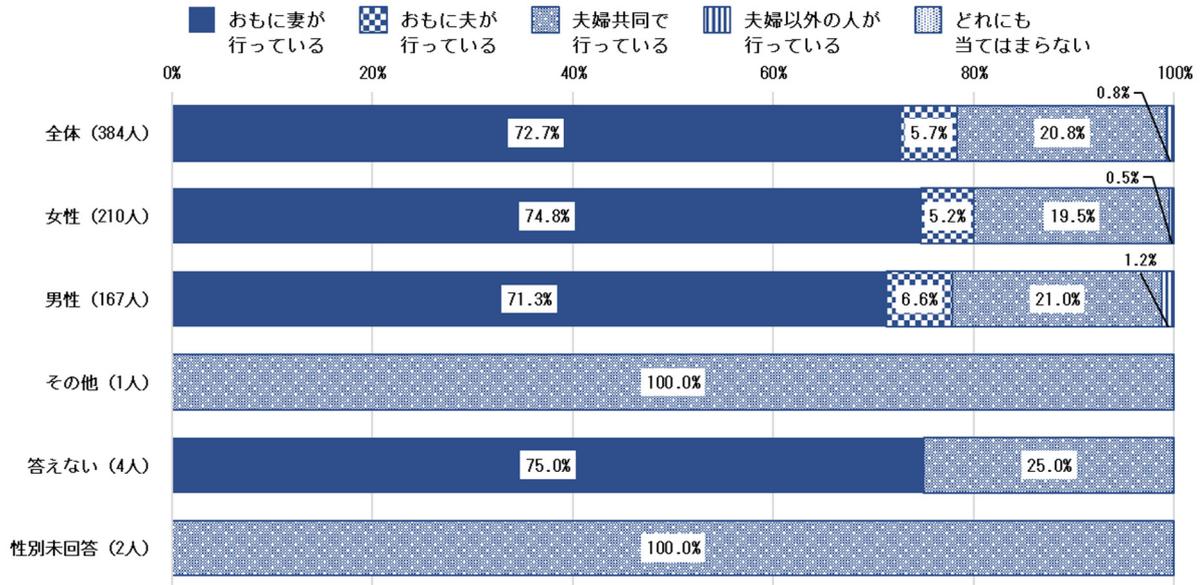
年代別にみると、『30代』以上は、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が他の年代より高い。また、『20代』と『30代』では、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が他の年代より高い。

全体的な傾向としては平成30年度調査と同様である。

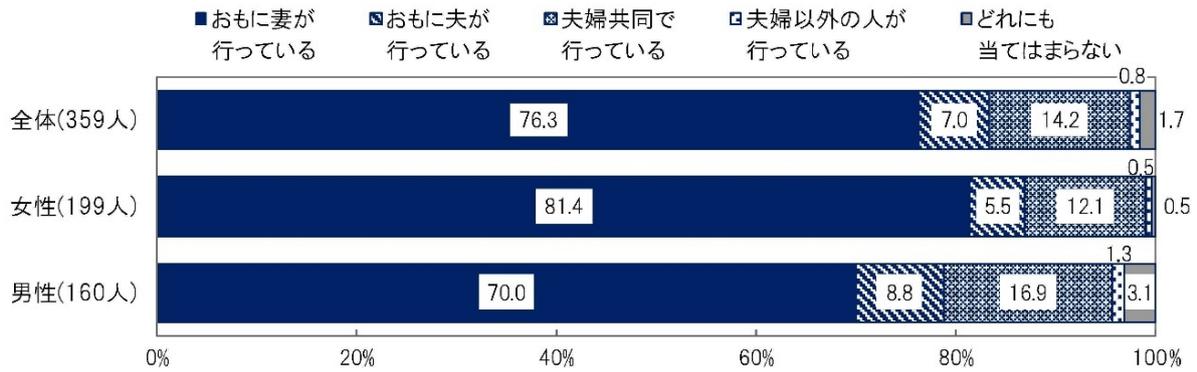
問9-2 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（384人）	72.7%	5.7%	20.8%	0.8%	0.0%
女性（210人）	74.8%	5.2%	19.5%	0.5%	0.0%
男性（167人）	71.3%	6.6%	21.0%	1.2%	0.0%
その他（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
答えない（4人）	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（2人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（6人）	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%
30代（36人）	55.6%	2.8%	41.7%	0.0%	0.0%
40代（61人）	60.7%	6.6%	29.5%	3.3%	0.0%
50代（67人）	80.6%	3.0%	14.9%	1.5%	0.0%
60代（94人）	78.7%	5.3%	16.0%	0.0%	0.0%
70代以上（119人）	78.2%	6.7%	15.1%	0.0%	0.0%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-2 回答結果



問 9-2 平成 30 年度 (参考)



問9-2 クロス集計

		標本数	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない	未回答	
全体		393	71.0%	5.6%	20.4%	0.8%	0.0%	2.3%	
F1. 性別	女性	216	72.7%	5.1%	19.0%	0.5%	0.0%	2.8%	
	男性	170	70.0%	6.5%	20.6%	1.2%	0.0%	1.8%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	4	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	6	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30代	36	55.6%	2.8%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40代	61	60.7%	6.6%	29.5%	3.3%	0.0%	0.0%	
	50代	67	80.6%	3.0%	14.9%	1.5%	0.0%	0.0%	
	60代	94	78.7%	5.3%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	70代以上	128	72.7%	6.3%	14.1%	0.0%	0.0%	7.0%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	15	73.3%	0.0%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	10	70.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	26	57.7%	7.7%	26.9%	7.7%	0.0%	0.0%
		専門・技術職	54	74.1%	5.6%	18.5%	1.9%	0.0%	0.0%
		事務職	34	79.4%	2.9%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		販売・サービス・保安職	38	63.2%	5.3%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		農林漁業職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	11	72.7%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	10	60.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	102	65.7%	5.9%	26.5%	2.0%	0.0%	0.0%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	67	76.1%	4.5%	17.9%	1.5%	0.0%	0.0%
		未回答	5	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	128	73.4%	6.3%	14.1%	0.0%	0.0%	6.3%
		無職－学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職－その他	26	84.6%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
未回答		34	58.8%	11.8%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
F4. 未婚婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	71.0%	5.6%	20.4%	0.8%	0.0%	2.3%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	6	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	
	本人と配偶者のみ	187	71.7%	7.0%	18.2%	0.0%	0.0%	3.2%	
	本人と配偶者、子ども	166	71.7%	4.2%	23.5%	0.6%	0.0%	0.0%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	21	66.7%	4.8%	19.0%	9.5%	0.0%	0.0%	
	本人と子ども	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	8	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	74.0%	5.1%	18.4%	0.6%	0.0%	1.9%	
	いない	75	58.7%	8.0%	29.3%	1.3%	0.0%	2.7%	
	未回答	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	

3. 食事の支度、あとかたづけ

現在、結婚されているかた（事実婚を含む）の家庭における役割のうち、食事の支度、あとかたづけについて、全体では、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が68.6%と最も高く、次いで「夫婦共同で行っている」が25.7%であった。

性別で見ると、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合は、『女性』が73.3%、『男性』が63.1%と、女性が男性より高い割合を示している。また、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合は、『女性』が22.9%、『男性』が28.6%であり、『女性』より『男性』が5.7ポイント高い。

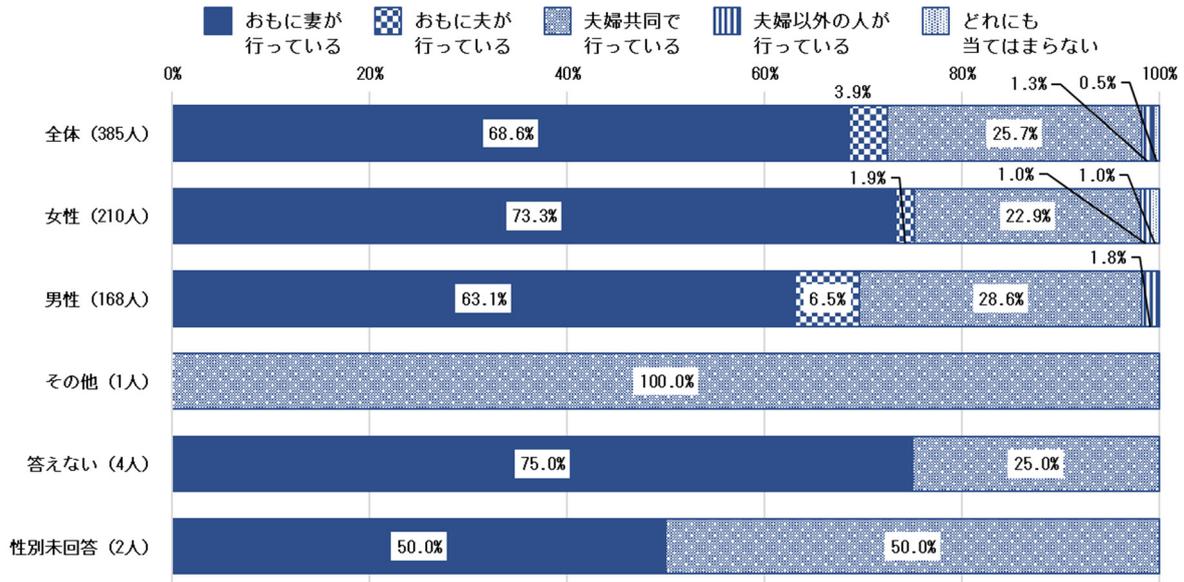
年代別にみると、『30代』は「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が41.7%であり他の年代より高くなっている。

全体的な傾向は平成30年度調査と同様である。

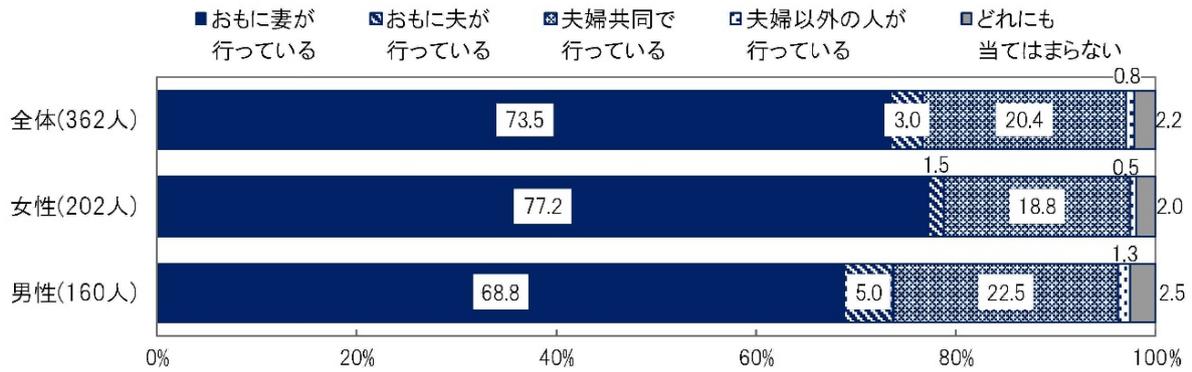
問9-3 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（385人）	68.6%	3.9%	25.7%	1.3%	0.5%
女性（210人）	73.3%	1.9%	22.9%	1.0%	1.0%
男性（168人）	63.1%	6.5%	28.6%	1.8%	0.0%
その他（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
答えない（4人）	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（2人）	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（6人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代（36人）	52.8%	5.6%	41.7%	0.0%	0.0%
40代（61人）	67.2%	8.2%	23.0%	1.6%	0.0%
50代（66人）	71.2%	3.0%	21.2%	4.5%	0.0%
60代（94人）	62.8%	3.2%	31.9%	1.1%	1.1%
70代以上（121人）	76.0%	2.5%	20.7%	0.0%	0.8%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-3 回答結果



問 9-3 平成 30 年度 (参考)



問 9-3 クロス集計

		標本数	おもに妻が 行っている	おもに夫が 行っている	夫婦共同で 行っている	夫婦以外の 人が行っ ている	どれにも当 てはまらな い	未回答	
全体		393	67.2%	3.8%	25.2%	1.3%	0.5%	2.0%	
F1. 性別	女性	216	71.3%	1.9%	22.2%	0.9%	0.9%	2.8%	
	男性	170	62.4%	6.5%	28.2%	1.8%	0.0%	1.2%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	4	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30代	36	52.8%	5.6%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40代	61	67.2%	8.2%	23.0%	1.6%	0.0%	0.0%	
	50代	67	70.1%	3.0%	20.9%	4.5%	0.0%	1.5%	
	60代	94	62.8%	3.2%	31.9%	1.1%	1.1%	0.0%	
	70代以上	128	71.9%	2.3%	19.5%	0.0%	0.8%	5.5%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	15	73.3%	0.0%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	10	70.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）	役員・管理職	26	53.8%	3.8%	38.5%	3.8%	0.0%	0.0%
		専門・技術職	54	66.7%	5.6%	24.1%	1.9%	0.0%	1.9%
		事務職	34	82.4%	8.8%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%
		販売・サービス・保安職	38	60.5%	2.6%	31.6%	5.3%	0.0%	0.0%
		農林漁業職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	11	45.5%	0.0%	45.5%	9.1%	0.0%	0.0%
	未回答	10	70.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	雇用されている者 （役員を含む）の 勤務形態	正規の職員・従業員	102	62.7%	5.9%	27.5%	2.9%	0.0%	1.0%
		非正規の職員・従業員 （パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	67	71.6%	3.0%	22.4%	3.0%	0.0%	0.0%
		未回答	5	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	128	71.1%	2.3%	20.3%	0.0%	0.8%	5.5%
		無職－学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職－その他	26	73.1%	0.0%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答		34	52.9%	11.8%	32.4%	0.0%	2.9%	0.0%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	67.2%	3.8%	25.2%	1.3%	0.5%	2.0%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	6	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	
	本人と配偶者のみ	187	66.8%	4.8%	25.7%	0.0%	0.0%	2.7%	
	本人と配偶者、子ども	166	70.5%	2.4%	24.7%	1.8%	0.6%	0.0%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	21	52.4%	9.5%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%	
	本人と子ども	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	8	50.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	68.6%	3.8%	24.1%	1.0%	0.6%	1.9%	
	いない	75	60.0%	4.0%	30.7%	2.7%	0.0%	2.7%	
	未回答	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

4. 育児（子どもがいる人のみ）

現在、結婚されていて（事実婚を含む）子どもがいるかたの家庭における役割のうち、育児について、全体では、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が52.7%で最も高く、次いで、「夫婦共同で行っている」が37.0%であった。この傾向は平成30年度調査と同様である。

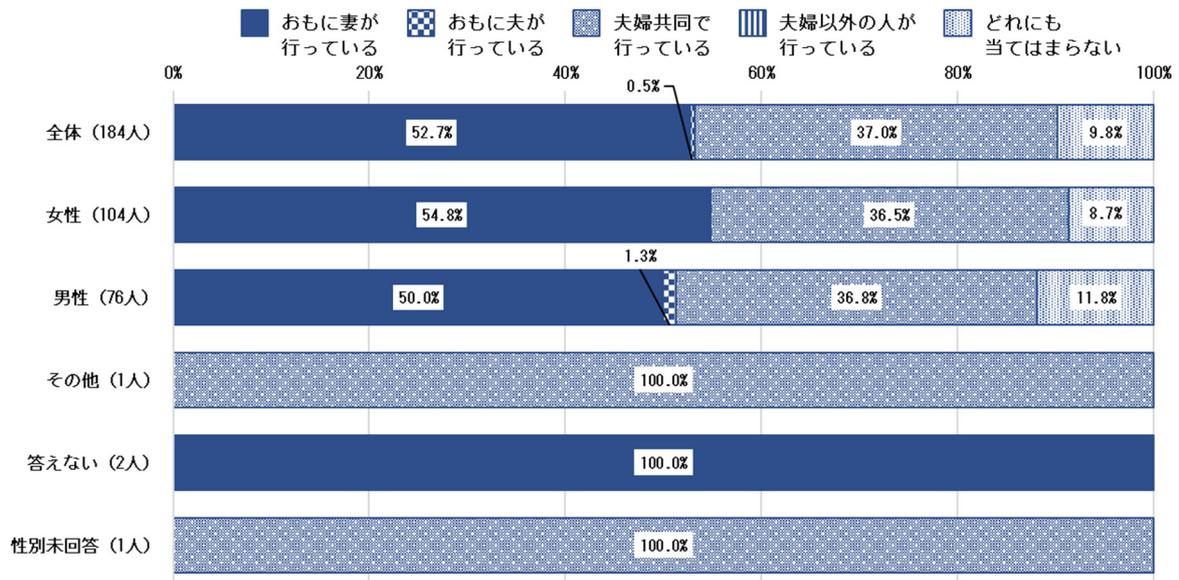
性別で見ると、「おもに妻が行っている」と答えた割合は、『女性』が54.8%、『男性』が50.0%と、女性が男性より高い割合を示している。

年代別にみると、『60代』は、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が48.7%であり、年代別で唯一、50%を下回っている。また、『20代』と『30代』は、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が50%以上であり、他の年代より高い割合を示している。

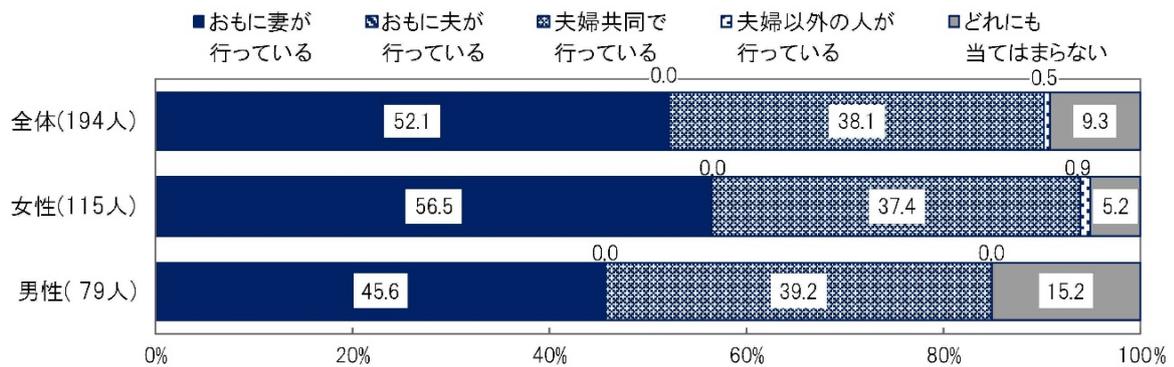
問9-4 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（184人）	52.7%	0.5%	37.0%	0.0%	9.8%
女性（104人）	54.8%	0.0%	36.5%	0.0%	8.7%
男性（76人）	50.0%	1.3%	36.8%	0.0%	11.8%
その他（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
答えない（2人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（4人）	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
30代（20人）	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
40代（37人）	62.2%	0.0%	37.8%	0.0%	0.0%
50代（41人）	53.7%	2.4%	41.5%	0.0%	2.4%
60代（39人）	48.7%	0.0%	38.5%	0.0%	12.8%
70代以上（42人）	50.0%	0.0%	21.4%	0.0%	28.6%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-4 回答結果



問 9-4 平成 30 年度 (参考)



問 9-4 クロス集計

		標本数	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない	未回答	
全体		315	30.8%	0.3%	21.6%	0.0%	5.7%	41.6%	
F 1. 性別	女性	171	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	5.3%	39.2%	
	男性	138	27.5%	0.7%	20.3%	0.0%	6.5%	44.9%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
	未回答	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
F 2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	4	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30代	20	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40代	38	60.5%	0.0%	36.8%	0.0%	0.0%	2.6%	
	50代	54	40.7%	1.9%	31.5%	0.0%	1.9%	24.1%	
	60代	83	22.9%	0.0%	18.1%	0.0%	6.0%	53.0%	
	70代以上	115	18.3%	0.0%	7.8%	0.0%	10.4%	63.5%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F 3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		商工業、製造業、サービス業	11	27.3%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	54.5%
		自由業（開業医、弁護士等）	8	37.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	37.5%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	20	45.0%	0.0%	20.0%	0.0%	5.0%	30.0%
		専門・技術職	39	38.5%	0.0%	43.6%	0.0%	2.6%	15.4%
		事務職	27	48.1%	0.0%	33.3%	0.0%	3.7%	14.8%
		販売・サービス・保安職	27	37.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	40.7%
		農林漁業職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	8	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	62.5%
		未回答	9	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	55.6%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	75	42.7%	32.0%	0.0%	0.0%	2.7%	22.7%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	52	36.5%	0.0%	25.0%	0.0%	1.9%	36.5%
		未回答	4	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	無職	無職－主婦・主夫	109	23.9%	0.0%	13.8%	0.0%	9.2%	53.2%
		無職－学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職－その他	22	27.3%	0.0%	13.6%	0.0%	13.6%	45.5%
		未回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
未回答		29	20.7%	3.4%	17.2%	0.0%	6.9%	51.7%	
F 4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	315	30.8%	0.3%	21.6%	0.0%	5.7%	41.6%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F 5. 世帯の構成	単身世帯	5	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
	本人と配偶者のみ	142	19.7%	0.0%	10.6%	0.0%	9.2%	60.6%	
	本人と配偶者、子ども	139	40.3%	0.0%	33.1%	0.0%	2.2%	24.5%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	19	42.1%	5.3%	36.8%	0.0%	5.3%	10.5%	
	本人と子ども	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	その他	6	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
F 6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	30.8%	0.3%	21.6%	0.0%	5.7%	41.6%	
	いない	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

5. 子どもの教育（子どもがいる人のみ）

現在、結婚されていて（事実婚を含む）子どもがいるかたの家庭における役割のうち、子どもの教育について、全体でみると、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が44.3%で最も高く、次いで、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が43.8%であった。

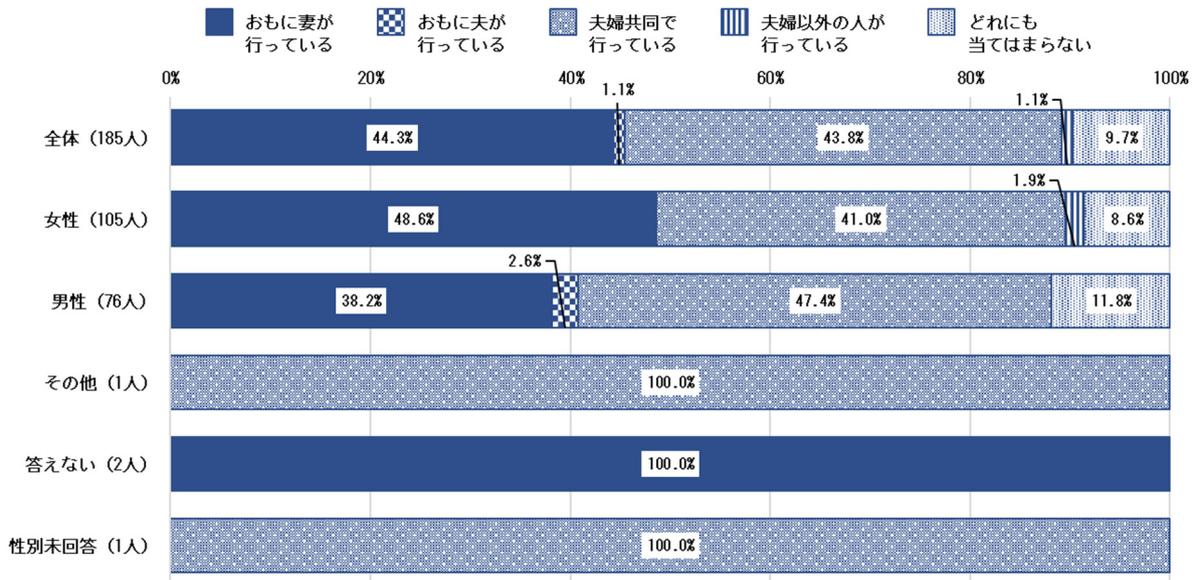
性別でみると、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が、『女性』は48.6%で『男性』は38.2%であり、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が、『女性』は41.0%で、『男性』は47.4%であり、『女性』と『男性』で認識の違いがみられた。

年代別にみると、若い年代ほど「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が高く、特に、『20代』（50.0%）と『30代』（60.0%）の割合が高い。これらの傾向は平成30年度調査と同様である。

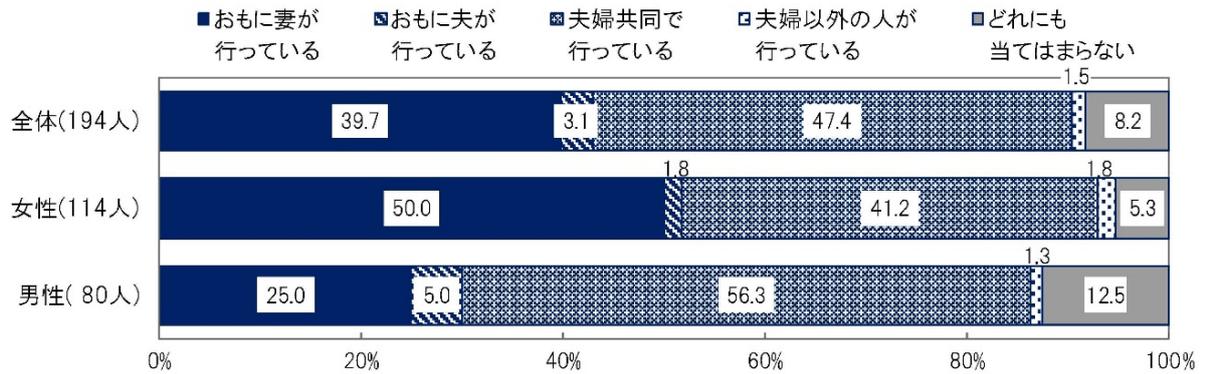
問9-5 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（185人）	44.3%	1.1%	43.8%	1.1%	9.7%
女性（105人）	48.6%	0.0%	41.0%	1.9%	8.6%
男性（76人）	38.2%	2.6%	47.4%	0.0%	11.8%
その他（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
答えない（2人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（4人）	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%
30代（20人）	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%
40代（37人）	56.8%	0.0%	40.5%	2.7%	0.0%
50代（42人）	40.5%	2.4%	50.0%	2.4%	4.8%
60代（41人）	41.5%	0.0%	43.9%	0.0%	14.6%
70代以上（40人）	45.0%	2.5%	30.0%	0.0%	22.5%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-5 回答結果



問 9-5 平成 30 年度



問 9-5 クロス集計

		標本数	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない	未回答	
全体		315	26.0%	0.6%	25.7%	0.6%	5.7%	41.3%	
F1. 性別	女性	171	29.8%	0.0%	25.1%	1.2%	5.3%	38.6%	
	男性	138	21.0%	1.4%	26.1%	0.0%	6.5%	44.9%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
	未回答	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
F2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	4	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
	30代	20	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40代	38	55.3%	0.0%	39.5%	2.6%	0.0%	2.6%	
	50代	54	31.5%	1.9%	38.9%	1.9%	3.7%	22.2%	
	60代	83	20.5%	0.0%	21.7%	0.0%	7.2%	50.6%	
	70代以上	115	15.7%	0.9%	10.4%	0.0%	7.8%	65.2%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		商工業、製造業、サービス業	11	9.1%	0.0%	45.5%	0.0%	0.0%	45.5%
		自由業（開業医、弁護士等）	8	25.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	37.5%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	20	40.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	30.0%
		専門・技術職	39	35.9%	0.0%	46.2%	0.0%	2.6%	15.4%
		事務職	27	40.7%	0.0%	40.7%	3.7%	3.7%	11.1%
		販売・サービス・保安職	27	29.6%	0.0%	25.9%	3.7%	0.0%	40.7%
		農林漁業職	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	8	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	62.5%
		未回答	9	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	75	36.0%	0.0%	41.3%	0.0%	1.3%	21.3%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	52	34.6%	0.0%	23.1%	3.8%	1.9%	36.5%
		未回答	4	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	無職	無職－主婦・主夫	109	20.2%	0.0%	16.5%	0.0%	10.1%	53.2%
		無職－学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職－その他	22	22.7%	4.5%	13.6%	0.0%	13.6%	45.5%
		未回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
未回答		29	17.2%	3.4%	17.2%	0.0%	6.9%	55.2%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	315	26.0%	0.6%	25.7%	0.6%	5.7%	41.3%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	5	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
	本人と配偶者のみ	142	14.1%	0.0%	15.5%	0.0%	9.9%	60.6%	
	本人と配偶者、子ども	139	36.7%	0.7%	35.3%	1.4%	2.2%	23.7%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	19	36.8%	5.3%	42.1%	0.0%	5.3%	10.5%	
	本人と子ども	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	その他	6	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	26.0%	0.6%	25.7%	0.6%	5.7%	41.3%	
	いない	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

6. 家族の介護や病人の世話

現在、結婚されているかた（事実婚を含む）の家庭における役割のうち、家族の介護や病人の世話について、全体で見ると、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が34.1%で最も高く、次いで「夫婦共同で行っている」が29.9%であった。この傾向は平成30年度調査と同様である。

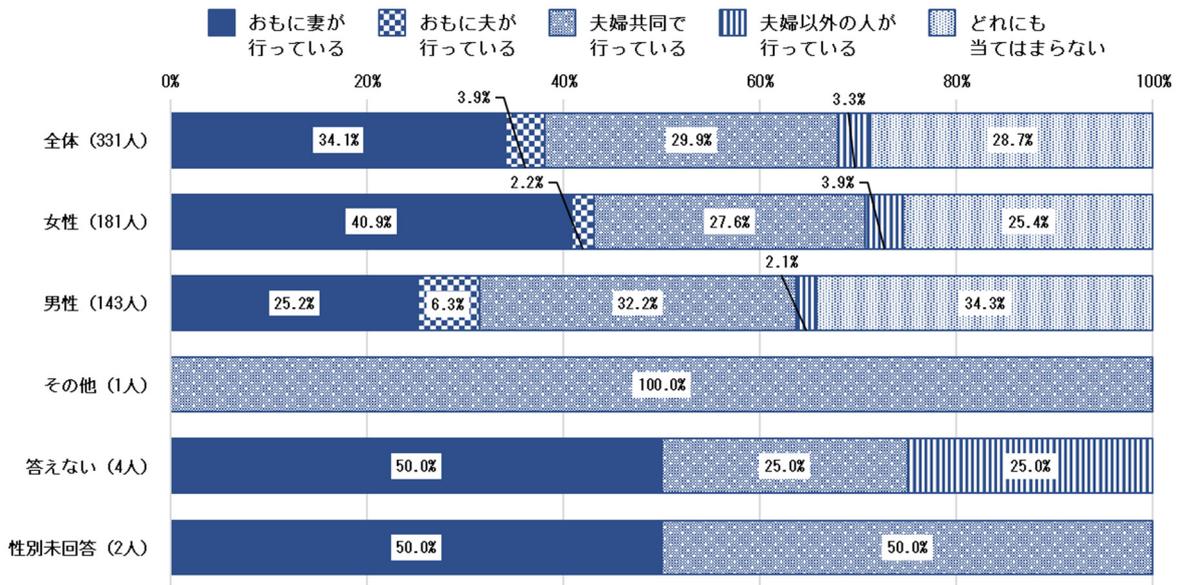
性別で見ると、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合は、『女性』の40.9%に対し『男性』は25.2%、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合は、『女性』の27.6%に対し『男性』は32.2%と、『女性』と『男性』で認識の違いがみられた。なお、この傾向は平成30年度調査と同様である。

年代別にみると、『50代』以外は、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合を上回っている。

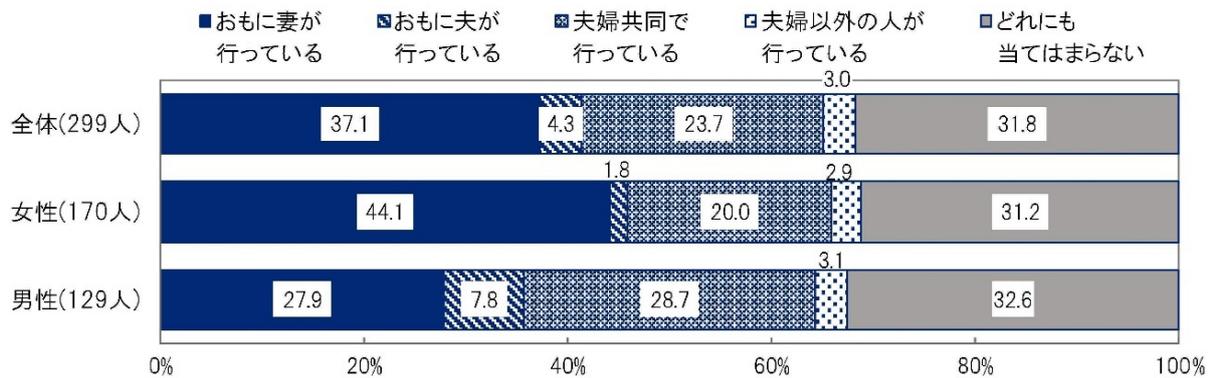
問9-6 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（331人）	34.1%	3.9%	29.9%	3.3%	28.7%
女性（181人）	40.9%	2.2%	27.6%	3.9%	25.4%
男性（143人）	25.2%	6.3%	32.2%	2.1%	34.3%
その他（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
答えない（4人）	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
性別未回答（2人）	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（6人）	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%
30代（34人）	41.2%	0.0%	26.5%	0.0%	32.4%
40代（60人）	33.3%	1.7%	28.3%	0.0%	36.7%
50代（63人）	33.3%	1.6%	34.9%	4.8%	25.4%
60代（81人）	33.3%	2.5%	28.4%	7.4%	28.4%
70代以上（86人）	33.7%	10.5%	30.2%	2.3%	23.3%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-6 回答結果



問 9-6 平成 30 年度 (参考)



問 9-6 クロス集計

		標本数	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない	未回答	
全体		393	28.8%	3.3%	25.2%	2.8%	24.2%	15.8%	
F 1. 性別	女性	216	34.3%	1.9%	23.1%	3.2%	21.3%	16.2%	
	男性	170	21.2%	5.3%	27.1%	1.8%	28.8%	15.9%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	4	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F 2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	6	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	
	30代	36	38.9%	0.0%	25.0%	0.0%	30.6%	5.6%	
	40代	61	32.8%	1.6%	27.9%	0.0%	36.1%	1.6%	
	50代	67	31.3%	1.5%	32.8%	4.5%	23.9%	6.0%	
	60代	94	28.7%	2.1%	24.5%	6.4%	24.5%	13.8%	
	70代以上	128	22.7%	7.0%	20.3%	1.6%	15.6%	32.8%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F 3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	15	33.3%	0.0%	13.3%	6.7%	26.7%	20.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	10	60.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	26	23.1%	7.7%	34.6%	3.8%	26.9%	3.8%
		専門・技術職	54	31.5%	0.0%	33.3%	5.6%	22.2%	7.4%
		事務職	34	38.2%	0.0%	26.5%	5.9%	26.5%	2.9%
		販売・サービス・保安職	38	28.9%	2.6%	15.8%	0.0%	39.5%	13.2%
		農林漁業職	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	11	9.1%	0.0%	45.5%	0.0%	27.3%	18.2%
		未回答	10	30.0%	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	102	23.5%	2.0%	33.3%	3.9%	32.4%	4.9%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	67	37.3%	1.5%	20.9%	3.0%	23.9%	13.4%
		未回答	5	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	無職	無職－主婦・主夫	128	27.3%	4.7%	25.0%	2.3%	21.1%	19.5%
		無職－学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職－その他	26	30.8%	7.7%	26.9%	0.0%	15.4%	19.2%
		未回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
未回答		34	17.6%	5.9%	17.6%	2.9%	26.5%	29.4%	
F 4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	28.8%	3.3%	25.2%	2.8%	24.2%	15.8%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F 5. 世帯の構成	単身世帯	6	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
	本人と配偶者のみ	187	23.0%	5.3%	27.8%	2.1%	20.9%	20.9%	
	本人と配偶者、子ども	166	34.9%	0.6%	19.9%	3.6%	30.1%	10.8%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	21	23.8%	4.8%	47.6%	0.0%	23.8%	0.0%	
	本人と子ども	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	その他	8	25.0%	12.5%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	
	未回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
F 6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	30.8%	3.2%	23.8%	2.5%	22.9%	16.8%	
	いない	75	20.0%	4.0%	32.0%	2.7%	30.7%	10.7%	
	未回答	3	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	

7. 家計の管理

現在、結婚されているかた（事実婚を含む）の家庭における役割のうち、家計の管理について、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が64.9%で最も高く、次いで「おもに夫が行っている」と答えた人の割合が13.6%であった。平成30年度調査（9.0%）と比べて、「おもに夫が行っている」と答えた人の割合が4.6ポイント増加している。

性別では、『女性』、『男性』いずれも、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が最も高く、『女性』が68.8%、『男性』が59.9%であった。「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合は、『女性』が19.7%、『男性』が21.0%となっており、平成30年度調査の結果（『女性』：20.2%・『男性』：17.8%）と比較して、『女性』と『男性』の割合の高さが逆転している。

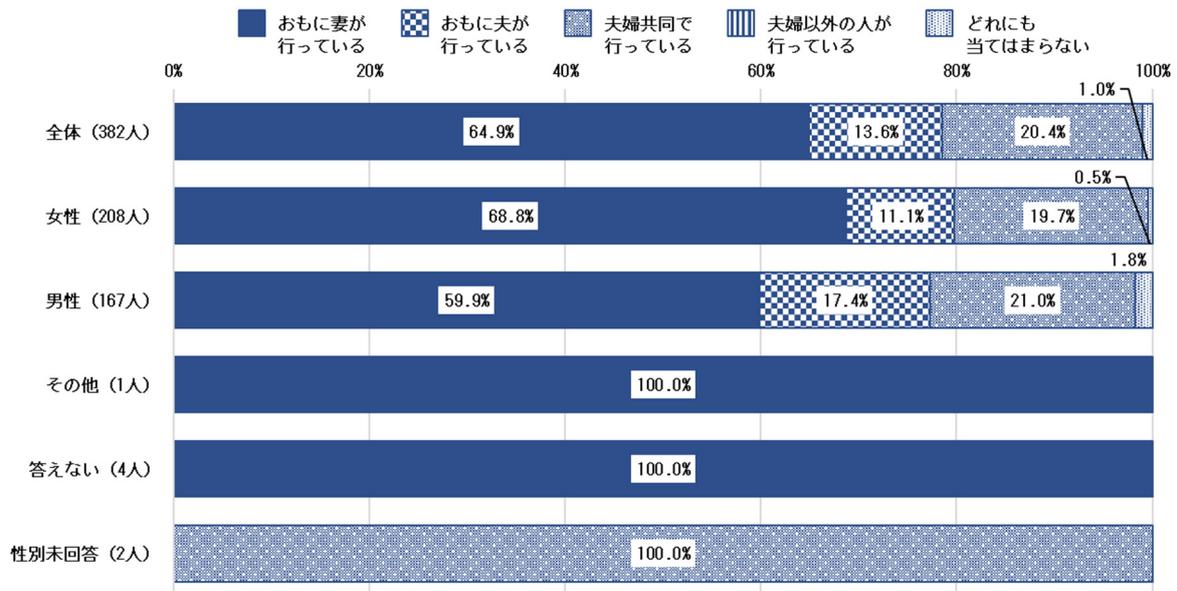
年代別にみると、『30代』は、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が27.8%で最も高く、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が63.9%で『70代以上』の62.7%に次いで低い。

この傾向は平成30年度調査と同様である。

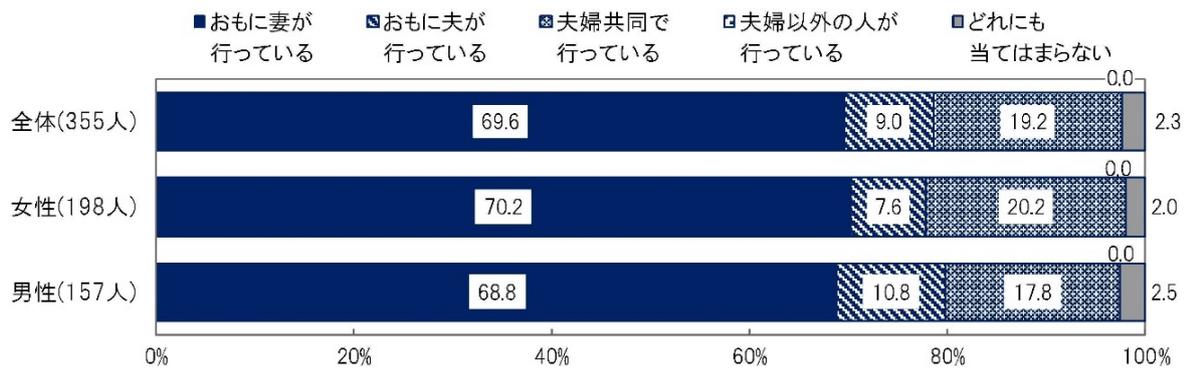
問9-7 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（382人）	64.9%	13.6%	20.4%	0.0%	1.0%
女性（208人）	68.8%	11.1%	19.7%	0.0%	0.5%
男性（167人）	59.9%	17.4%	21.0%	0.0%	1.8%
その他（1人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない（4人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（2人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（6人）	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
30代（36人）	63.9%	5.6%	27.8%	0.0%	2.8%
40代（61人）	70.5%	13.1%	14.8%	0.0%	1.6%
50代（66人）	65.2%	15.2%	19.7%	0.0%	0.0%
60代（94人）	64.9%	10.6%	23.4%	0.0%	1.1%
70代以上（118人）	62.7%	17.8%	18.6%	0.0%	0.8%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-7 回答結果



問 9-7 平成 30 年度 (参考)



問 9-7 クロス集計

		標本数	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない	未回答	
全体		393	63.1%	13.2%	19.8%	0.0%	1.0%	2.8%	
F1. 性別	女性	216	66.2%	10.6%	19.0%	0.0%	0.5%	3.7%	
	男性	170	58.8%	17.1%	20.6%	0.0%	1.8%	1.8%	
	その他	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	6	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30代	36	63.9%	5.6%	27.8%	0.0%	2.8%	0.0%	
	40代	61	70.5%	13.1%	14.8%	0.0%	1.6%	0.0%	
	50代	67	64.2%	14.9%	19.4%	0.0%	0.0%	1.5%	
	60代	94	64.9%	10.6%	23.4%	0.0%	1.1%	0.0%	
	70代以上	128	57.8%	16.4%	17.2%	0.0%	0.8%	7.8%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	15	46.7%	6.7%	40.0%	0.0%	6.7%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	10	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	26	57.7%	23.1%	15.4%	0.0%	3.8%	0.0%
		専門・技術職	54	66.7%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
		事務職	34	70.6%	8.8%	17.6%	0.0%	2.9%	0.0%
		販売・サービス・保安職	38	68.4%	13.2%	18.4%	0.0%	0.0%	0.0%
		農林漁業職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	11	54.5%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%
		未回答	10	70.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	102	59.8%	13.7%	24.5%	0.0%	2.0%	0.0%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	67	73.1%	13.4%	11.9%	0.0%	0.0%	1.5%
		未回答	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	128	64.1%	10.9%	18.0%	0.0%	0.0%	7.0%
		無職－学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職－その他	26	61.5%	15.4%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	未回答	34	52.9%	20.6%	20.6%	0.0%	2.9%	2.9%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	63.1%	13.2%	19.8%	0.0%	1.0%	2.8%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	6	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	
	本人と配偶者のみ	187	55.6%	15.0%	24.1%	0.0%	0.5%	4.8%	
	本人と配偶者、子ども	166	72.9%	10.2%	15.7%	0.0%	1.2%	0.0%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世代世帯）	21	66.7%	14.3%	14.3%	0.0%	4.8%	0.0%	
	本人と子ども	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	8	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	65.1%	14.3%	17.5%	0.0%	0.6%	2.5%	
	いない	75	54.7%	8.0%	30.7%	0.0%	2.7%	4.0%	
	未回答	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

8. 地域活動（自治会・PTA活動など）への参加

現在、結婚されているかた（事実婚を含む）の家庭における役割のうち、地域活動（自治会・PTA活動など）への参加について、全体で見ると、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合が45.3%と最も高く、次いで「夫婦共同で行っている」が20.0%、「おもに夫が行っている」が17.8%であった。この傾向は平成30年度調査と同様である。

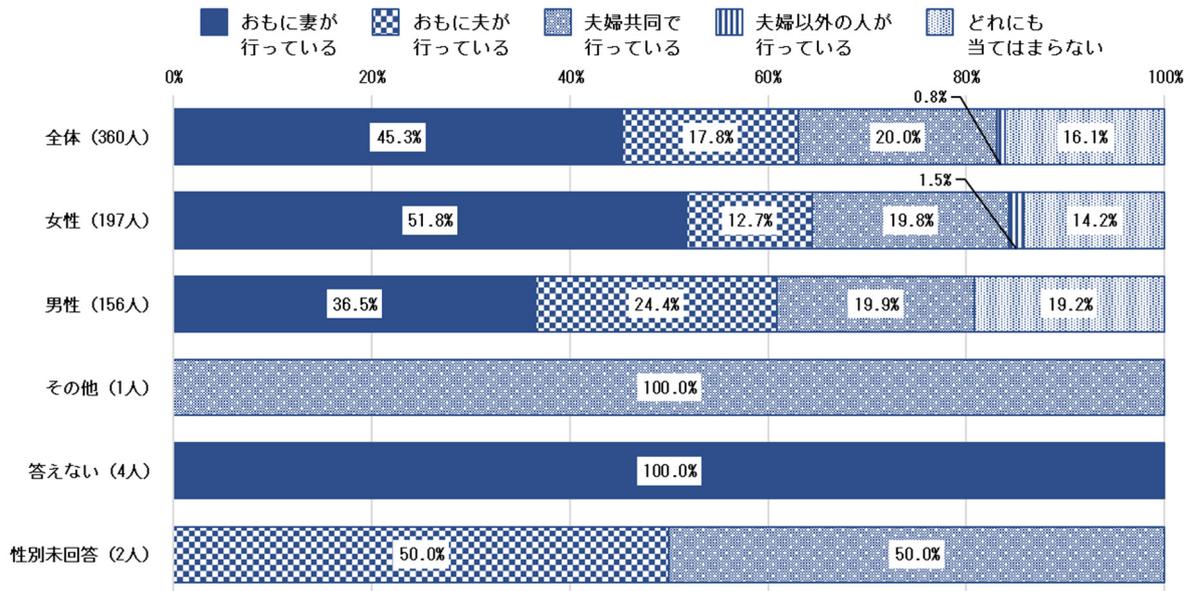
性別で見ると、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合は『女性』が19.8%、『男性』が19.9%でほぼ同じ割合であった。この結果は、平成30年度調査時（『女性』：27.5%、『男性』：17.0%）と大きく異なる。また、「おもに夫が行っている」と答えた人の割合は『女性』が12.7%、『男性』が24.4%であり、『男性』が『女性』より11.7ポイント高く、『女性』と『男性』で認識の違いがみられる。この点は平成30年度調査と同様である。

年代別にみると、『30代』、『60代』、『70代以上』が「おもに夫が行っている」と答えた人の割合が高い。

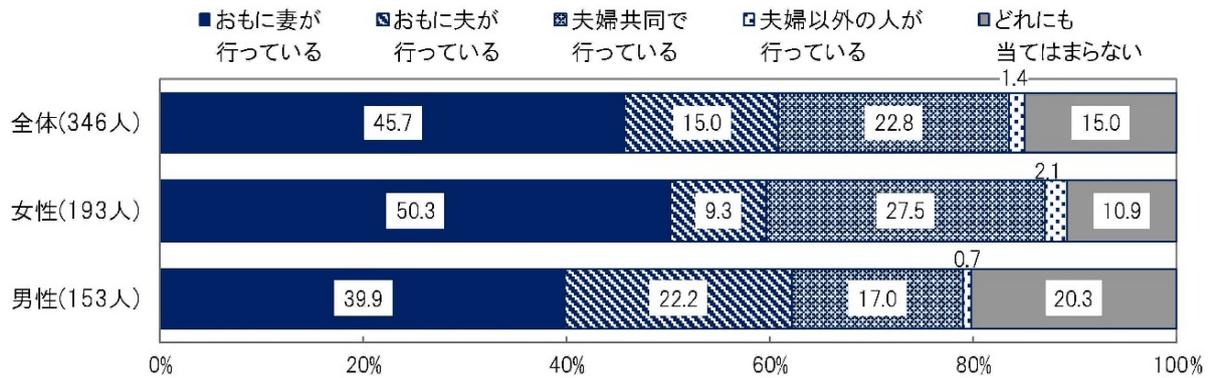
問9-8 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（360人）	45.3%	17.8%	20.0%	0.8%	16.1%
女性（197人）	51.8%	12.7%	19.8%	1.5%	14.2%
男性（156人）	36.5%	24.4%	19.9%	0.0%	19.2%
その他（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
答えない（4人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（2人）	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（6人）	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%
30代（36人）	30.6%	16.7%	27.8%	2.8%	22.2%
40代（61人）	57.4%	9.8%	19.7%	0.0%	13.1%
50代（66人）	50.0%	7.6%	18.2%	1.5%	22.7%
60代（89人）	43.8%	20.2%	21.3%	1.1%	13.5%
70代以上（101人）	41.6%	28.7%	15.8%	0.0%	13.9%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-8 回答結果



問 9-8 平成 30 年度 (参考)



問 9-8 クロス集計

		標本数	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない	未回答	
全体		393	41.5%	16.3%	18.3%	0.8%	14.8%	8.4%	
F1. 性別	女性	216	47.2%	11.6%	18.1%	1.4%	13.0%	8.8%	
	男性	170	33.5%	22.4%	18.2%	0.0%	17.6%	8.2%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	6	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	
	30代	36	30.6%	16.7%	27.8%	2.8%	22.2%	0.0%	
	40代	61	57.4%	9.8%	19.7%	0.0%	13.1%	0.0%	
	50代	67	49.3%	7.5%	17.9%	1.5%	22.4%	1.5%	
	60代	94	41.5%	19.1%	20.2%	1.1%	12.8%	5.3%	
	70代以上	128	32.8%	22.7%	12.5%	0.0%	10.9%	21.1%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	15	46.7%	20.0%	26.7%	0.0%	6.7%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	10	50.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	26	30.8%	23.1%	11.5%	0.0%	30.8%	3.8%
		専門・技術職	54	44.4%	11.1%	24.1%	3.7%	13.0%	3.7%
		事務職	34	52.9%	14.7%	20.6%	0.0%	11.8%	0.0%
		販売・サービス・保安職	38	63.2%	13.2%	15.8%	0.0%	7.9%	0.0%
		農林漁業職	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	11	27.3%	0.0%	36.4%	0.0%	27.3%	9.1%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	102	34.3%	16.7%	23.5%	1.0%	21.6%	2.9%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	67	67.2%	9.0%	11.9%	1.5%	9.0%	1.5%
		未回答	5	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職	128	35.9%	15.6%	18.8%	0.0%	15.6%	14.1%
	無職	無職－主婦・主夫	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職－学生	26	34.6%	30.8%	11.5%	0.0%	19.2%	3.8%
		無職－その他	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		未回答	34	35.3%	17.6%	11.8%	2.9%	11.8%	20.6%
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	41.5%	16.3%	18.3%	0.8%	14.8%	8.4%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	6	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
	本人と配偶者のみ	187	31.6%	21.4%	15.0%	0.5%	20.9%	10.7%	
	本人と配偶者、子ども	166	53.0%	12.7%	20.5%	0.0%	9.6%	4.2%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	21	52.4%	9.5%	23.8%	4.8%	9.5%	0.0%	
	本人と子ども	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	その他	8	12.5%	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	
未回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	45.4%	16.8%	17.5%	0.6%	12.1%	7.6%	
	いない	75	25.3%	14.7%	22.7%	1.3%	26.7%	9.3%	
	未回答	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	

9. 家庭問題における最終的な決定

現在、結婚されているかた（事実婚を含む）の家庭における役割のうち、家庭問題における最終的な決定について、全体で見ると、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が57.0%と最も高く、次いで「おもに夫が行っている」が28.9%、「おもに妻が行っている」が12.3%であった。なお、平成30年度調査では、「夫婦共同で行っている」が56.8%、「おもに夫が行っている」が31.5%「おもに妻が行っている」が8.9%であった。今回の調査と平成30年度調査を比較すると、「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合はほぼ同じであるが、「おもに夫が行っている」が2.6ポイント減少して、「おもに妻が行っている」が3.4ポイント増加している。

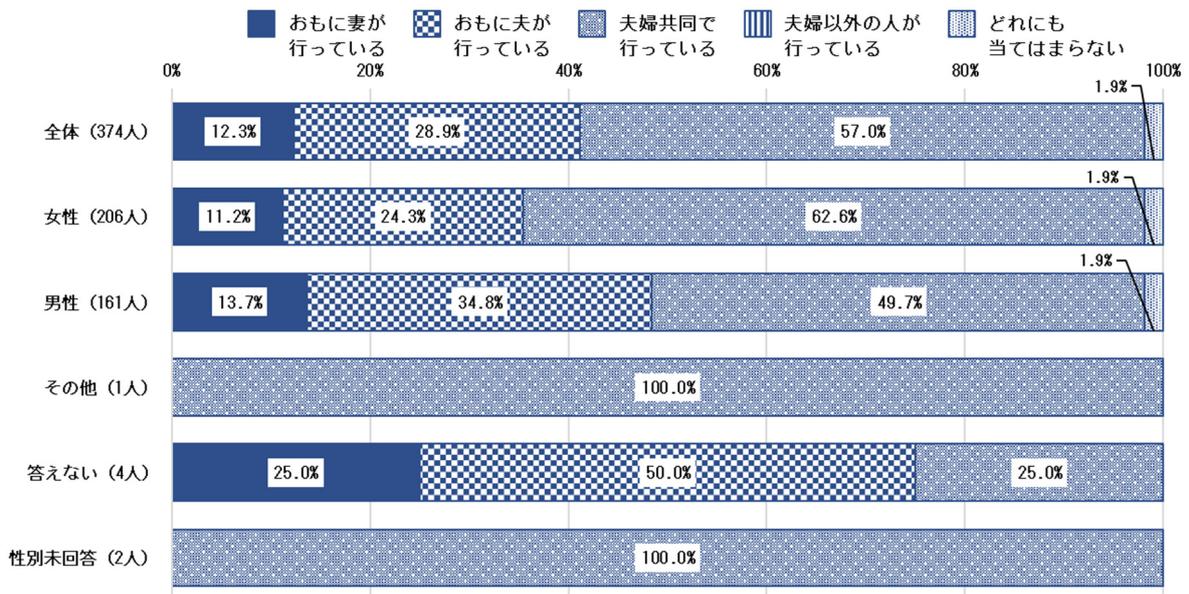
性別で見ると、「おもに妻が行っている」と答えた人の割合は、『女性』が11.2%、『男性』が13.7%であり、『女性』が『男性』より2.5ポイント低く、「おもに夫が行っている」と答えた人の割合は、『男性』が34.8%、『女性』が24.3%であり、『男性』が10.5ポイント高くなっており、『女性』と『男性』で認識の違いがみられる。

年代別にみると、『60代』以上では「夫婦共同で行っている」と答えた人の割合が他の年代より低く、「おもに夫が行っている」と答えた人の割合が他の年代より高くなっている。

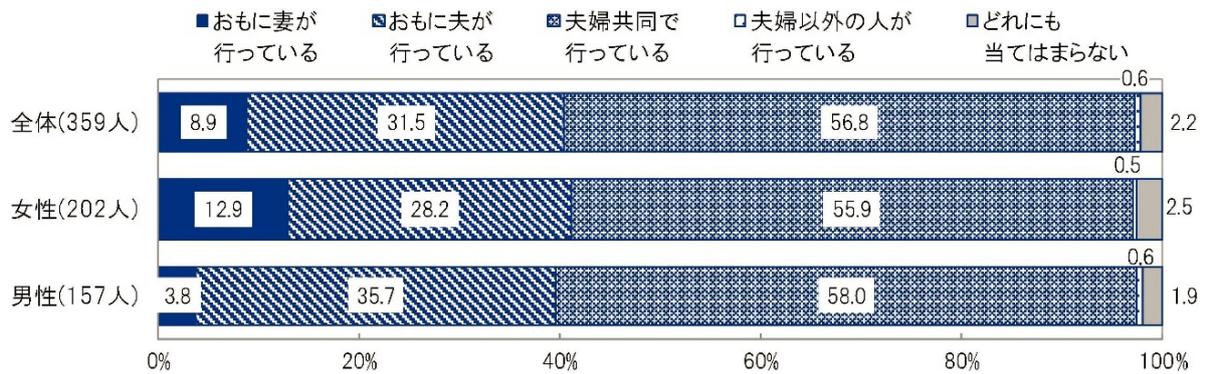
問9-9 回答結果

	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない
全体（374人）	12.3%	28.9%	57.0%	0.0%	1.9%
女性（206人）	11.2%	24.3%	62.6%	0.0%	1.9%
男性（161人）	13.7%	34.8%	49.7%	0.0%	1.9%
その他（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
答えない（4人）	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（2人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
18～19歳（0人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代（6人）	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%
30代（36人）	13.9%	19.4%	63.9%	0.0%	2.8%
40代（61人）	21.3%	13.1%	62.3%	0.0%	3.3%
50代（67人）	9.0%	25.4%	64.2%	0.0%	1.5%
60代（92人）	9.8%	29.3%	58.7%	0.0%	2.2%
70代以上（111人）	10.8%	44.1%	44.1%	0.0%	0.9%
年代未回答（1人）	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 9-9 回答結果



問 9-9 平成 30 年度 (参考)



問9-9 クロス集計

		標本数	おもに妻が行っている	おもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	どれにも当てはまらない	未回答	
全体		393	11.7%	27.5%	54.2%	0.0%	1.8%	4.8%	
F1. 性別	女性	216	10.6%	23.1%	59.7%	0.0%	1.9%	4.6%	
	男性	170	12.9%	32.9%	47.1%	0.0%	1.8%	5.3%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F2. 年代別	18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	6	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30代	36	13.9%	19.4%	63.9%	0.0%	2.8%	0.0%	
	40代	61	21.3%	13.1%	62.3%	0.0%	3.3%	0.0%	
	50代	67	9.0%	25.4%	64.2%	0.0%	1.5%	0.0%	
	60代	94	9.6%	28.7%	57.4%	0.0%	2.1%	2.1%	
	70代以上	128	9.4%	38.3%	38.3%	0.0%	0.8%	13.3%	
	未回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	15	13.3%	26.7%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	10	10.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	26	15.4%	23.1%	57.7%	0.0%	3.8%	0.0%
		専門・技術職	54	11.1%	24.1%	61.1%	0.0%	0.0%	3.7%
		事務職	34	5.9%	20.6%	70.6%	0.0%	2.9%	0.0%
		販売・サービス・保安職	38	18.4%	23.7%	55.3%	0.0%	2.6%	0.0%
		農林漁業職	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	11	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		未回答	10	0.0%	40.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	102	12.7%	21.6%	62.7%	0.0%	2.0%	1.0%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	67	7.5%	29.9%	58.2%	0.0%	1.5%	3.0%
		未回答	5	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	無職—主婦・主夫	128	11.7%	25.8%	55.5%	0.0%	0.8%	6.3%
		無職—学生	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職—その他	26	11.5%	46.2%	34.6%	0.0%	3.8%	3.8%
		未回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
未回答		34	14.7%	26.5%	41.2%	0.0%	5.9%	11.8%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	11.7%	27.5%	54.2%	0.0%	1.8%	4.8%	
	離別・死別	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未婚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	6	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	
	本人と配偶者のみ	187	8.6%	33.2%	50.8%	0.0%	1.1%	6.4%	
	本人と配偶者、子ども	166	16.3%	21.7%	58.4%	0.0%	1.8%	1.8%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世代世帯）	21	9.5%	19.0%	66.7%	0.0%	4.8%	0.0%	
	本人と子ども	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	本人と親	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	その他	8	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	未回答	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	315	10.8%	31.7%	51.1%	0.0%	1.9%	4.4%	
	いない	75	14.7%	10.7%	68.0%	0.0%	1.3%	5.3%	
	未回答	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	

4. 職業生活の中での男女共同参画について

問10 職業をお持ちのかたにおたずねします。あなたは、今の職場の仕事内容や待遇の面で、性別を理由とした男女間の差があると思いますか。(複数選択・2つまで)

職場における男女間の待遇の差(有職者)について、全体では「差はない」と答えた人の割合が、46.9%であり最も高く、次いで、「昇進、昇給に差がある」が16.1%、「正社員の中でも賃金に差がある」が15.4%であった。

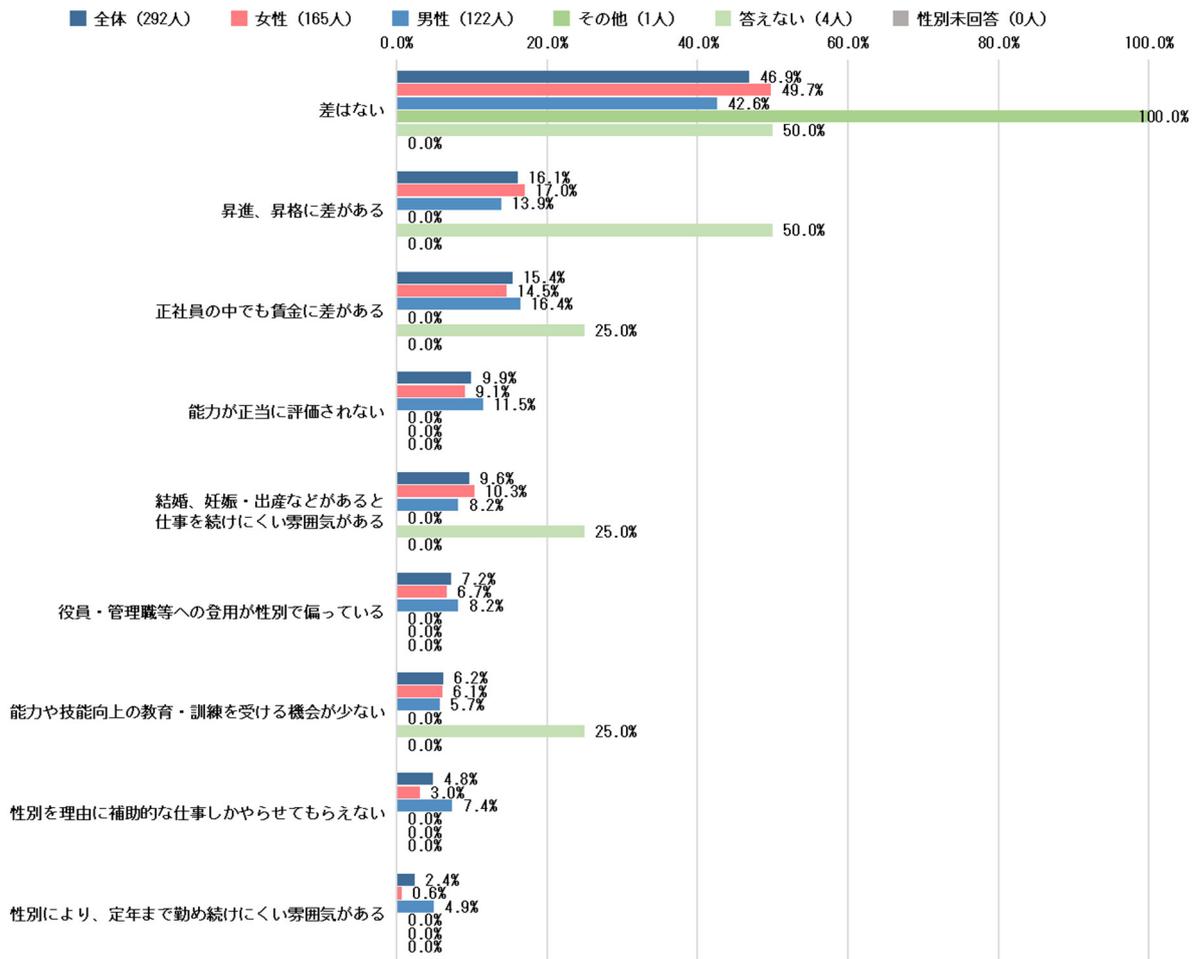
性別で見ると、「能力が正当に評価されない」と回答した人の割合は、『女性』が9.1%、『男性』が11.5%であり、『男性』の割合が高い。なお、平成30年度調査では、『女性』が14.0%、『男性』が10.9%であった。平成30年度調査と今回の調査を比べると、「能力が正当に評価されない」と回答した『女性』の割合が4.9ポイント減少していること及び、『女性』と『男性』の割合が逆転していることが分かる。

年代別にみると、「昇進、昇給に差がある」と答えた人の割合は『40代』が24.1%で最も高く、「正社員の中でも賃金に差がある」と答えた割合は『60代』が最も高くなっている。

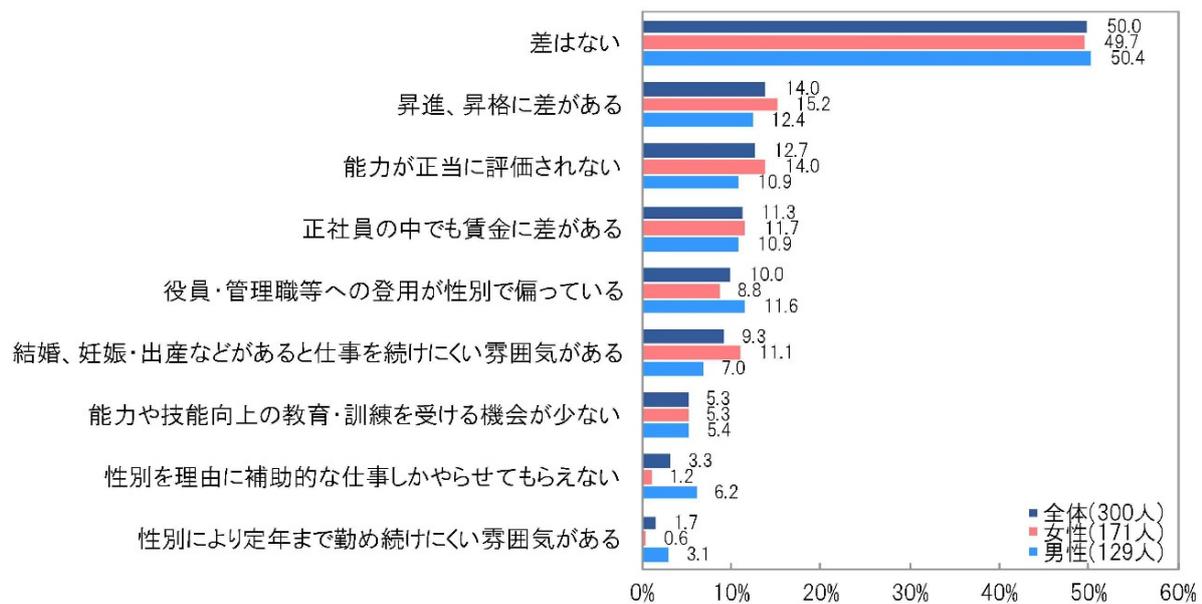
問10 回答結果

	差はない	昇進、昇給に差がある	正社員の中でも賃金に差がある	能力が正当に評価されない	結婚、妊娠・出産などがあると仕事を続けにくい雰囲気がある	役員・管理職等への登用が性別で偏っている	能力や技能向上の教育・訓練を受ける機会が少ない	性別を理由に補助的な仕事しかやらせてもらえない	性別により、定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	わからない	その他
全体 (292人)	46.9%	16.1%	15.4%	9.9%	9.6%	7.2%	6.2%	4.8%	2.4%	16.1%	2.7%
女性 (165人)	49.7%	17.0%	14.5%	9.1%	10.3%	6.7%	6.1%	3.0%	0.6%	14.5%	4.2%
男性 (122人)	42.6%	13.9%	16.4%	11.5%	8.2%	8.2%	5.7%	7.4%	4.9%	18.9%	0.0%
その他 (1人)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない (4人)	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
性別未回答 (0人)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18~19歳 (0人)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代 (21人)	71.4%	9.5%	4.8%	4.8%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
30代 (43人)	46.5%	11.6%	14.0%	7.0%	16.3%	2.3%	7.0%	11.6%	2.3%	9.3%	4.7%
40代 (83人)	43.4%	24.1%	14.5%	10.8%	8.4%	10.8%	7.2%	1.2%	0.0%	14.5%	3.6%
50代 (75人)	52.0%	12.0%	14.7%	10.7%	9.3%	6.7%	8.0%	8.0%	4.0%	16.0%	1.3%
60代 (56人)	39.3%	19.6%	23.2%	12.5%	7.1%	5.4%	5.4%	1.8%	3.6%	17.9%	3.6%
70代以上 (14人)	35.7%	0.0%	14.3%	7.1%	0.0%	21.4%	0.0%	7.1%	7.1%	42.9%	0.0%
年代未回答 (0人)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 10 回答結果



問 10 平成 30 年度 (参考)



問10 クロス集計

	標本数	差はない	正社員の中でも賃金に差がある	昇進、昇格に差がある	能力が正当に評価されない	性別を理由に補助的な仕事をやらせてもらえない	役員・管理職等への登用が性別で偏っている	結婚・妊娠・出産などがあることと仕事を続けにくい雰囲気がある	性別により、定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	能力や技術向上の機会・訓練を受ける機会が少ない	わからない	その他(具体的な)	未回答
F1. 性別	全体	43.5%	14.3%	14.9%	9.2%	4.4%	6.7%	8.9%	2.2%	5.7%	14.9%	2.5%	7.3%
	女性	46.9%	13.7%	16.0%	8.6%	2.9%	6.3%	9.7%	0.6%	5.7%	13.7%	4.0%	5.7%
	男性	38.5%	14.8%	12.6%	10.4%	6.7%	7.4%	7.4%	4.4%	5.2%	17.0%	0.0%	9.6%
	その他	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	答えない	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
F2. 年代別	18~19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	65.2%	4.3%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	8.7%
	30代	46.5%	14.0%	11.6%	7.0%	11.6%	2.3%	16.3%	2.3%	7.0%	9.3%	4.7%	0.0%
	40代	43.4%	14.5%	24.1%	10.8%	1.2%	10.8%	8.4%	0.0%	7.2%	14.5%	3.6%	0.0%
	50代	50.0%	14.1%	11.5%	10.3%	7.7%	6.4%	9.0%	3.8%	7.7%	15.4%	1.3%	3.8%
	60代	34.9%	20.6%	17.5%	11.1%	1.6%	4.8%	6.3%	3.2%	4.8%	15.9%	3.2%	11.1%
	70代以上	20.0%	8.0%	0.0%	4.0%	4.0%	12.0%	0.0%	4.0%	0.0%	24.0%	0.0%	44.0%
	未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自営業者(経営者)	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
	自営業(農業、漁業)	19.36.8%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	15.8%	5.3%	42.1%
	自営業(開業業、弁理士等)	41.7%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	25.0%	8.3%	8.3%	25.0%	0.0%	8.3%
	自営業(農業、漁業)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自営業(製造業、サービス業)	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自営業(開業業、弁理士等)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	役員・管理職	44.1%	20.6%	20.6%	8.8%	8.8%	11.8%	11.8%	5.9%	8.8%	5.9%	0.0%	0.0%
	専門・技術職	58.2%	11.0%	14.3%	8.8%	1.1%	3.3%	12.1%	0.0%	4.4%	14.3%	2.2%	0.0%
	事務職	39.6%	17.0%	17.0%	3.8%	5.7%	9.4%	7.5%	1.9%	5.7%	17.0%	3.8%	3.8%
	販売・サービス・保安職	35.4%	15.4%	18.5%	16.9%	6.2%	6.2%	7.7%	1.5%	9.2%	9.2%	3.1%	9.2%
	無所属者	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	生産・輸送・運送・労働職	21.1%	26.3%	5.3%	10.5%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	42.1%	5.3%	5.3%
	未回答	46.7%	6.7%	20.0%	6.7%	0.0%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	26.7%
	166	44.6%	19.3%	18.7%	9.0%	6.0%	7.2%	10.8%	2.4%	5.4%	12.0%	2.4%	2.4%
	正組の職員・従業員 (パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	42.7%	7.8%	9.7%	11.7%	2.9%	4.9%	6.8%	1.0%	6.8%	18.4%	2.9%	8.7%
	未回答	55.6%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職(主婦・主夫)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職(学生)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職(その他)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	71	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	結婚している(専業主婦を含む)	40.9%	12.3%	13.8%	9.9%	4.9%	7.9%	10.3%	3.0%	5.4%	14.8%	3.4%	7.4%
	離婚・死別	51.5%	18.2%	15.2%	12.1%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%	12.1%	15.2%	0.0%	6.1%
	未婚	52.2%	17.4%	15.9%	4.3%	2.9%	4.3%	5.8%	0.0%	2.9%	17.4%	1.4%	5.8%
	未回答	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	未婚世帯	58.7%	17.4%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%	2.2%	13.0%	2.2%	8.7%
	本人と配偶者のみ	47.2%	11.1%	6.9%	8.3%	5.6%	8.3%	9.7%	5.6%	0.0%	12.5%	4.2%	8.3%
	本人と配偶者、子ども	39.1%	13.9%	16.5%	9.6%	4.3%	6.1%	9.6%	1.7%	8.7%	15.7%	2.6%	6.1%
	本人と配偶者、子ども 父や母(三世帯世帯)	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%
	本人と子ども	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%
	本人と親	45.2%	16.1%	22.6%	12.9%	0.0%	6.5%	3.2%	0.0%	9.7%	19.4%	0.0%	3.2%
	その他	46.7%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%
	未回答	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	いる	37.9%	14.8%	14.3%	9.3%	4.9%	7.7%	11.0%	3.3%	7.1%	16.5%	2.7%	8.2%
	いない	54.5%	13.0%	14.6%	8.1%	3.3%	4.1%	5.7%	0.0%	3.3%	13.8%	2.4%	4.9%
	未回答	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
F6. お子さんの有無 (「嫁入しているお子さん、 別居しているお子さん含む)	10	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%

問 11 性別にかかわらず、各自の能力を発揮していきいきと働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数選択・2つまで）

性別にかかわらず各自が能力を発揮して働くために必要なことについては、全体で見ると、「同じ価値のある仕事については、パート・正社員で差をつけずに同じ賃金にする」(37.3%)、「短時間勤務制度など柔軟な勤務制度を整備し、地域活動や家庭生活などの時間を確保できる仕組みをつくる」(36.1%)、「育児休業制度や介護休業制度を男性・女性ともに取得しやすい環境を整える」(33.4%)の3つ回答が30%以上を占めた。この傾向は平成30年度調査と同様である。

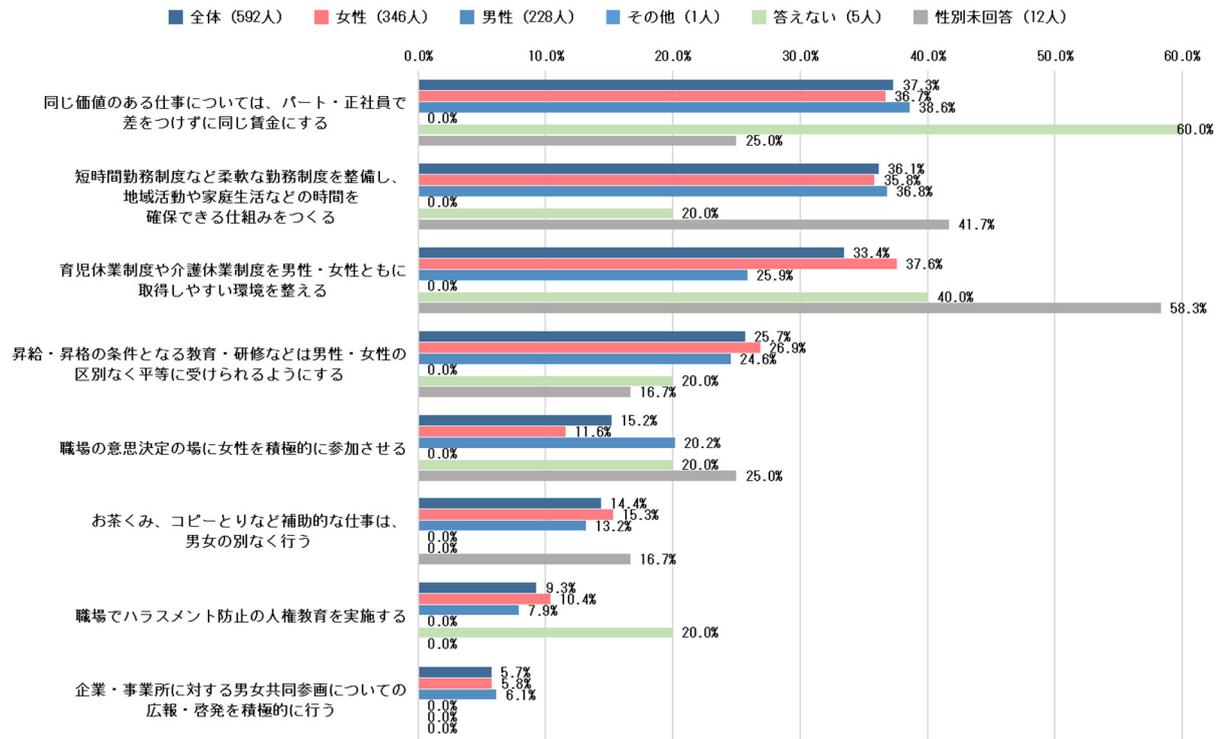
性別でみても全体と同様の傾向であるが、「育児休業制度や介護休業制度を男性・女性ともに取得しやすい環境を整える」と答えた人の割合が、『女性』は37.6%に対し『男性』は25.9%であった。『女性』と『男性』で11.7ポイントの差があり、認識の違いがみられる。なお、平成30年度調査では、『女性』が42.7%、『男性』が27.8%で14.9ポイントの差があった。今回の調査と平成30年度調査を比較すると、『女性』と『男性』の割合の差は3.2ポイント減少しており、『女性』と『男性』の割合の差が縮小している。

年代別にみると、平成30年度調査と同様に、『50代』以上で、「同じ価値のある仕事については、パート・正社員で差をつけずに同じ賃金にする」と答えた人の割合が、他の年代より高くなっている。

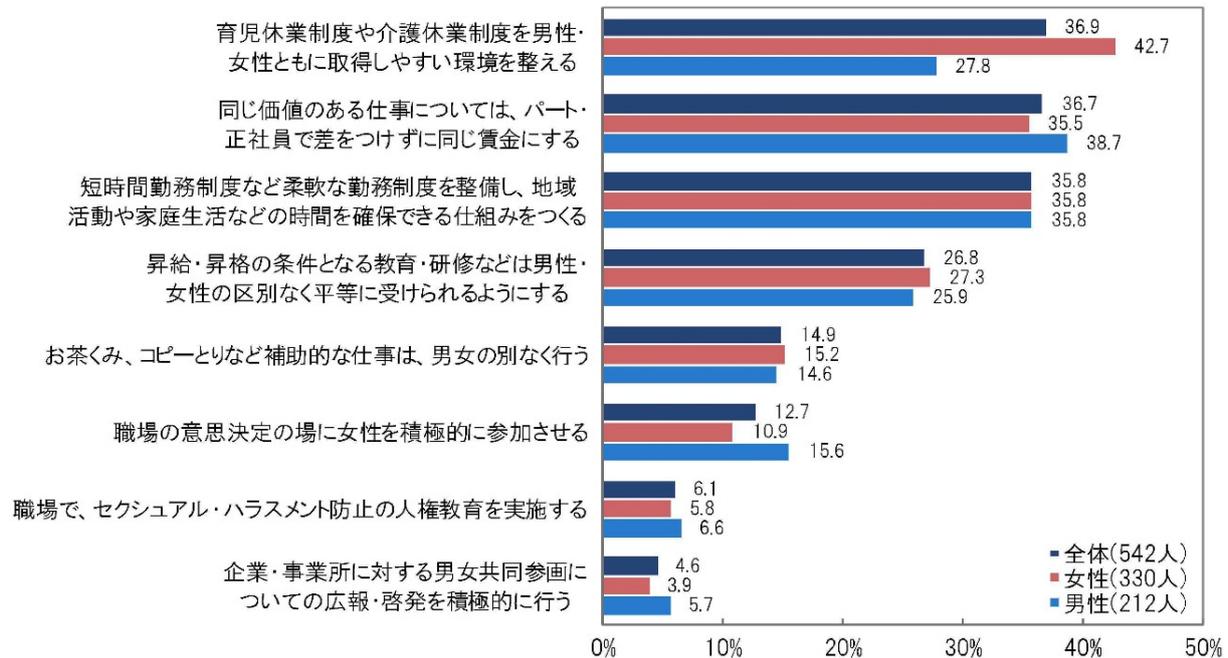
問 11 回答結果

	同じ価値のある仕事については、パート・正社員で差をつけずに同じ賃金にする	短時間勤務制度など柔軟な勤務制度を整備し、地域活動や家庭生活などの時間を確保できる仕組みをつくる	育児休業制度や介護休業制度を男性・女性ともに取得しやすい環境を整える	昇給・昇格の条件となる教育・研修などは男性・女性の区別なく平等に受けられるようにする	職場の意思決定の場に女性を積極的に参加させる	お茶くみ、コピーとりなど補助的な仕事は、男女の別なく行う	職場でハラスメント防止の実施する	企業・事務所に対する男女共同参画についての広報・啓発を積極的に行う	特にない	わからない	その他
全体 (592人)	37.3%	36.1%	33.4%	25.7%	15.2%	14.4%	9.3%	5.7%	3.9%	4.6%	1.9%
女性 (346人)	36.7%	35.8%	37.6%	26.9%	11.6%	15.3%	10.4%	5.8%	3.5%	4.0%	0.6%
男性 (228人)	38.6%	36.8%	25.9%	24.6%	20.2%	13.2%	7.9%	6.1%	4.4%	5.7%	2.6%
その他 (1人)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
答えない (5人)	60.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
性別未回答 (12人)	25.0%	41.7%	58.3%	16.7%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%
18～19歳 (5人)	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代 (32人)	18.8%	53.1%	53.1%	25.0%	6.3%	21.9%	9.4%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
30代 (56人)	25.0%	42.9%	48.2%	25.0%	7.1%	14.3%	14.3%	1.8%	3.6%	0.0%	1.8%
40代 (93人)	30.1%	40.9%	28.0%	21.5%	18.3%	19.4%	10.8%	4.3%	2.2%	2.2%	6.5%
50代 (93人)	44.1%	39.8%	26.9%	21.5%	14.0%	12.9%	8.6%	4.3%	6.5%	5.4%	2.2%
60代 (132人)	40.9%	31.8%	34.1%	29.5%	16.7%	11.4%	10.6%	7.6%	4.5%	4.5%	0.0%
70代以上 (174人)	42.5%	29.3%	30.5%	28.2%	16.1%	12.6%	6.3%	8.6%	4.0%	7.5%	1.1%
年代未回答 (7人)	28.6%	28.6%	57.1%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 11 回答結果



問 11 平成 30 年度（参考）



5. 地域活動などでの男女共同参画について

問12 あなたが参加している地域活動（自治会、PTA活動など）での現状について、あてはまるものをすべて選んでください。（複数選択・あてはまるものすべて）

地域活動での現状については、全体で見ると、「団体の会長に男性がつき、女性は補助的役職につく傾向がある」と答えた人の割合が31.2%と最も高く、次いで「日常の活動に男性の参加が少ない」が21.3%、「女性が役員につきたがらない」が19.8%で、これらは「特に男女差はない」の14.2%を上回った。この傾向は平成30年度調査と同様である。

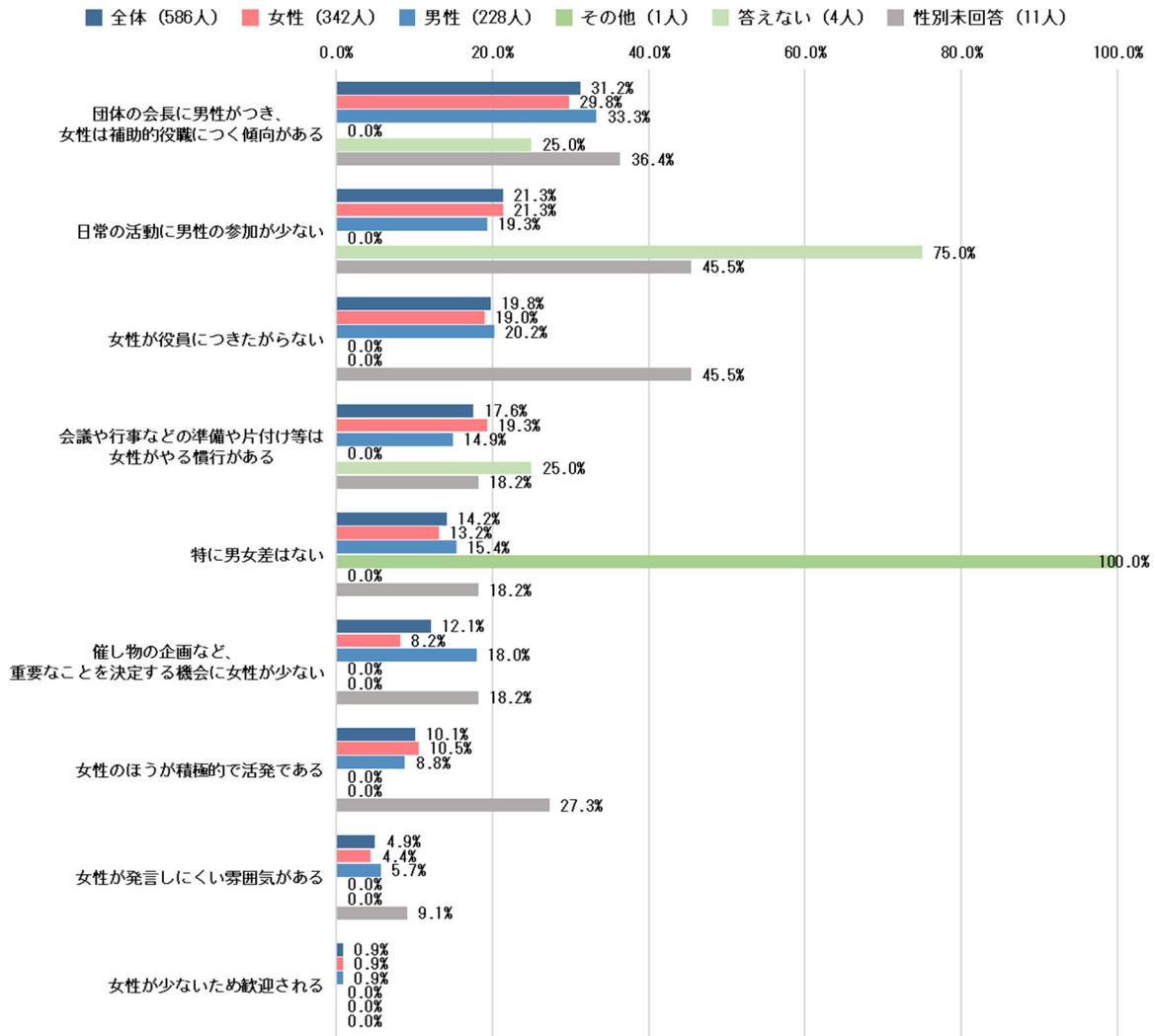
性別で見ると、「会議や行事などの準備や片付け等は、女性がやる慣行がある」と答えた人の割合は『女性』が19.3%、『男性』が14.9%であり、『女性』が4.4ポイント高い。また、「特に男女差はない」は『男性』が15.4%で『女性』の13.2%より2.2ポイント高い結果であった。

年代別にみると、『50代』以上で「女性が役員につきたがらない」、「特に男女差はない」と答えた人の割合が他の年代より高い。

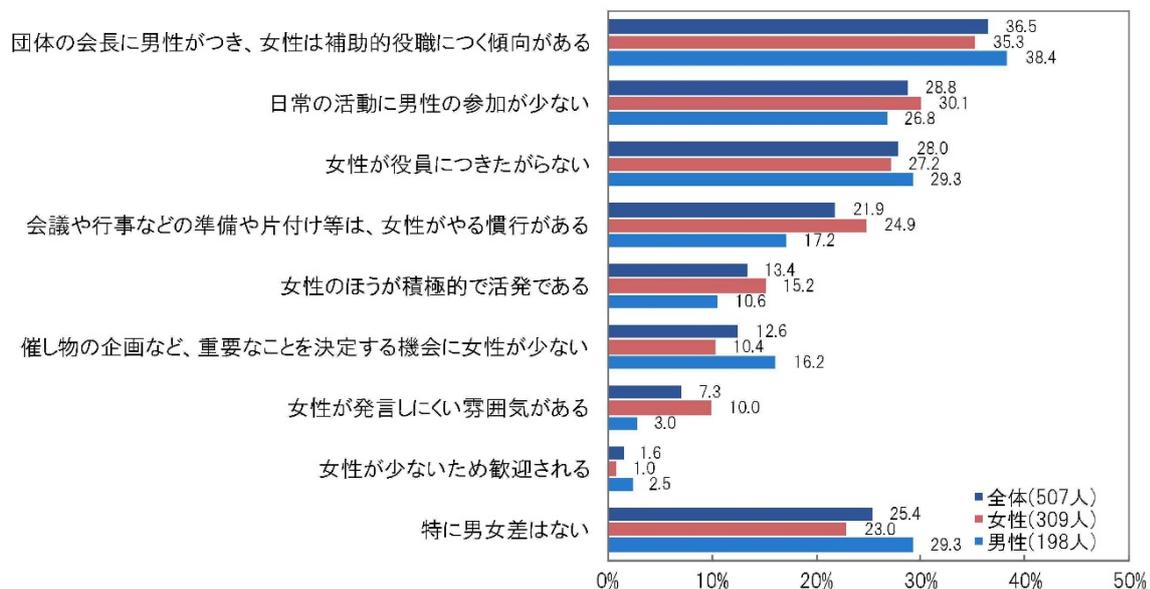
問12 回答結果

	団体の会長に男性がつき、女性は補助的役職につく傾向がある	日常の活動に男性の参加が少ない	女性が役員につきたがらない	会議や行事などの準備や片付け等は、女性がやる慣行がある	特に男女差はない	催し物の企画など、重要なことを決定する機会に女性が少ない	女性のほうが積極的に活発である	女性が発言しにくい雰囲気がある	女性が少ないため歓迎される	わからない	その他
全体 (586人)	31.2%	21.3%	19.8%	17.6%	14.2%	12.1%	10.1%	4.9%	0.9%	33.8%	4.9%
女性 (342人)	29.8%	21.3%	19.0%	19.3%	13.2%	8.2%	10.5%	4.4%	0.9%	35.4%	4.7%
男性 (228人)	33.3%	19.3%	20.2%	14.9%	15.4%	18.0%	8.8%	5.7%	0.9%	32.9%	5.7%
その他 (1人)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない (4人)	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
性別未回答 (11人)	36.4%	45.5%	45.5%	18.2%	18.2%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
18～19歳 (5人)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20代 (32人)	6.3%	6.3%	3.1%	6.3%	3.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	71.9%	9.4%
30代 (55人)	27.3%	12.7%	9.1%	30.9%	9.1%	12.7%	5.5%	5.5%	0.0%	38.2%	5.5%
40代 (93人)	22.6%	21.5%	15.1%	16.1%	10.8%	9.7%	5.4%	8.6%	3.2%	43.0%	3.2%
50代 (96人)	31.3%	25.0%	25.0%	19.8%	12.5%	8.3%	10.4%	6.3%	0.0%	31.3%	3.1%
60代 (129人)	34.9%	24.0%	23.3%	14.7%	15.5%	10.9%	12.4%	3.9%	0.0%	29.5%	3.1%
70代以上 (168人)	39.9%	22.6%	23.2%	17.9%	19.6%	17.9%	13.7%	3.6%	1.2%	23.8%	7.7%
年代未回答 (8人)	37.5%	37.5%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%

問 12 回答結果



問 12 平成 30 年度 (参考)



問12 クロス集計

標本数	母し物の企画など などを担当する機会に 女性が少ない	会議や行事などの準備や 片付け等は、女性がやる 慣行がある	団体の会長に男性がつく 女性には補助的役割につく 傾向がある	女性が得意しにくい 分野がある	女性が役員につく がらない	日常の活動に男性は 参加が少ない	女性が少ないため歓迎 されない	女性のほうが情緒的 で活発である	特に男女差は ない	わからない	その他 (具体的 に)	未回答
628	11.3%	16.4%	29.1%	27.1%	4.6%	18.5%	19.9%	9.4%	9.4%	31.5%	4.6%	6.7%
369	7.6%	17.9%	4.1%	17.6%	19.8%	17.6%	19.8%	0.8%	0.8%	32.8%	4.3%	7.3%
236	17.4%	14.4%	32.2%	32.2%	5.5%	19.5%	18.6%	8.5%	8.5%	31.8%	5.5%	3.4%
1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
5	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
17	11.8%	11.8%	23.5%	23.5%	5.9%	29.4%	29.4%	17.6%	17.6%	5.9%	0.0%	35.3%
5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
32	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	3.1%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%	71.9%	9.4%
30	12.5%	30.4%	26.8%	26.8%	5.4%	8.9%	12.5%	5.4%	5.4%	37.5%	5.4%	1.8%
93	9.7%	16.1%	22.6%	22.6%	8.6%	15.1%	21.5%	3.2%	3.2%	43.0%	3.2%	0.0%
98	8.2%	19.4%	30.6%	30.6%	6.1%	24.5%	24.5%	10.2%	10.2%	30.6%	3.1%	2.0%
60	10.3%	33.1%	33.1%	33.1%	3.7%	22.1%	22.8%	0.0%	0.0%	11.8%	14.7%	2.9%
136	10.3%	14.0%	34.0%	34.0%	3.0%	19.8%	19.3%	1.0%	1.0%	11.7%	16.8%	20.3%
197	15.2%	15.2%	15.2%	15.2%	9.1%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	18.2%	18.2%	9.1%
11	9.1%	9.1%	27.3%	27.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
3	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
19	15.8%	36.8%	42.1%	42.1%	5.3%	15.8%	31.6%	5.3%	5.3%	10.5%	10.5%	21.1%
12	16.7%	25.0%	41.7%	41.7%	8.3%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	25.0%	8.3%	0.0%
0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
34	14.7%	14.7%	38.2%	38.2%	8.8%	32.4%	29.4%	0.0%	0.0%	8.8%	8.8%	0.0%
91	5.5%	14.3%	23.1%	23.1%	5.5%	18.7%	18.7%	0.0%	0.0%	6.6%	13.2%	38.5%
53	15.1%	18.9%	20.8%	20.8%	3.8%	13.2%	22.6%	5.7%	5.7%	7.5%	47.2%	5.7%
65	9.2%	15.4%	35.4%	35.4%	3.1%	20.0%	23.1%	3.1%	3.1%	4.6%	38.5%	1.5%
1	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19	15.8%	10.5%	36.8%	36.8%	10.5%	15.8%	15.8%	5.3%	5.3%	15.8%	36.8%	5.3%
15	13.3%	26.7%	26.7%	26.7%	6.0%	13.3%	13.3%	13.3%	13.3%	46.7%	6.7%	0.0%
166	12.0%	16.3%	25.9%	25.9%	6.0%	16.3%	18.7%	4.2%	4.2%	44.6%	3.6%	1.2%
103	7.8%	16.5%	34.0%	34.0%	3.9%	22.3%	26.2%	1.9%	1.9%	10.7%	10.7%	33.0%
9	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	33.3%	0.0%
167	9.6%	13.8%	28.7%	28.7%	3.0%	18.6%	18.6%	12.6%	12.6%	19.2%	24.0%	6.6%
9	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%
61	19.7%	16.4%	36.1%	36.1%	4.9%	19.7%	21.3%	4.9%	4.9%	13.1%	27.9%	8.2%
5	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
71	9.9%	15.5%	22.5%	22.5%	4.2%	14.1%	19.7%	1.4%	1.4%	14.1%	19.7%	2.8%
393	13.7%	18.3%	32.6%	32.6%	4.1%	18.8%	21.4%	1.0%	1.0%	10.9%	14.0%	26.7%
93	9.7%	12.9%	30.1%	30.1%	7.5%	22.6%	25.8%	1.1%	1.1%	8.6%	14.0%	24.7%
111	7.2%	12.6%	18.0%	18.0%	5.4%	11.7%	9.0%	0.0%	0.0%	2.7%	8.1%	57.7%
31	0.0%	16.1%	22.6%	22.6%	0.0%	25.8%	22.6%	0.0%	0.0%	16.1%	19.4%	3.2%
102	5.9%	12.7%	21.6%	21.6%	5.9%	16.7%	18.6%	5.9%	5.9%	15.7%	40.2%	6.9%
189	13.8%	15.9%	33.3%	33.3%	4.8%	18.5%	20.6%	0.0%	0.0%	10.6%	12.7%	29.6%
166	14.5%	21.1%	33.7%	33.7%	3.6%	19.3%	22.3%	1.8%	1.8%	9.6%	13.3%	23.5%
24	8.3%	16.7%	29.2%	29.2%	4.2%	16.7%	20.8%	4.2%	4.2%	16.7%	16.7%	29.2%
30	13.3%	10.0%	23.3%	23.3%	6.7%	23.3%	16.7%	3.3%	3.3%	10.0%	6.7%	23.3%
51	9.8%	9.8%	23.5%	23.5%	7.8%	17.6%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	3.9%
37	13.8%	20.7%	31.0%	31.0%	3.4%	10.3%	17.2%	0.0%	0.0%	6.9%	17.2%	34.5%
29	0.0%	18.9%	24.3%	24.3%	0.0%	24.3%	18.9%	13.5%	13.5%	18.9%	2.7%	10.8%
399	14.3%	18.5%	35.6%	35.6%	4.3%	21.1%	22.8%	1.3%	1.3%	13.8%	23.6%	4.3%
193	7.3%	10.9%	17.6%	17.6%	5.7%	12.4%	13.5%	0.0%	0.0%	11.4%	50.8%	5.2%
36	0.0%	0.0%	19.4%	19.4%	2.8%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	13.9%	16.7%	16.7%

問 13 女性が自治会長などの地域活動における役職についたり、活動の意思決定の場へ参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数選択・2つまで)

女性が地域活動で役職についたり、意思決定の場へ参画していくために必要なことについて、全体でみると、「女性が役職につくことに対して、周囲の人の支援や協力が得られるようにすること」と答えた人の割合が 52.6%と最も高く、次いで「女性が役職につくことに対する男性の抵抗感をなくすこと」が 35.3%、「女性が役職につくことに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」が 30.0%であった。この傾向は平成 30 年度調査と同様である。

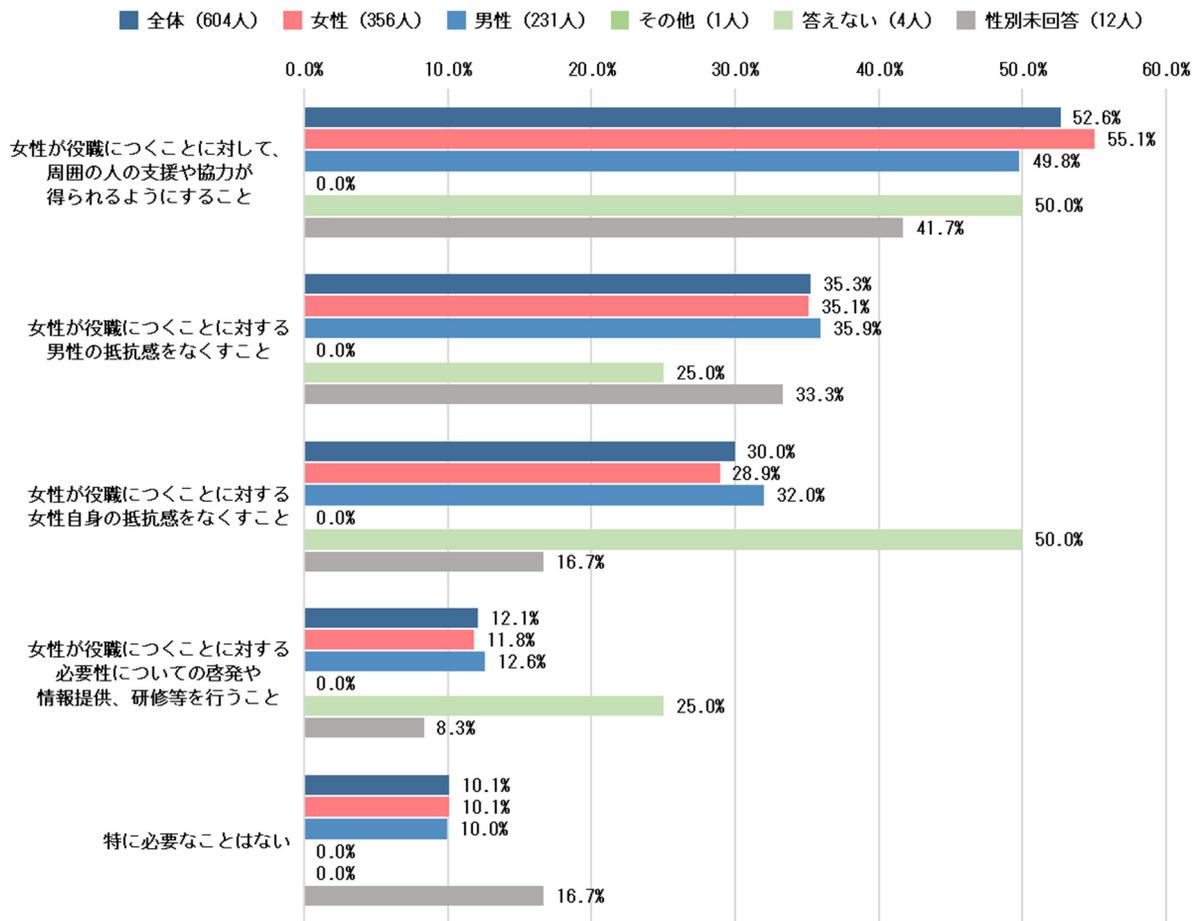
性別でみると、「女性が役職につくことに対する男性の抵抗感をなくすこと」と答えた人の割合は、『女性』が 35.1%、『男性』が 35.9%であり、『男性』が 0.8 ポイント高く、平成 30 年度調査と逆転している。「女性が役職につくことに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」と答えた人の割合は、『女性』が 28.9%、『男性』が 32.0%であり、男性が 3.1 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「女性が役職につくことに対する男性の抵抗感をなくすこと」と答えた人の割合は『70 代以上』が 28.9%と他の年代より低く、「女性が役職につくことに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」と答えた人の割合は『18～19 歳』が 40.0%、『40 代』が 35.5%であり、他の年代より高くなっている。

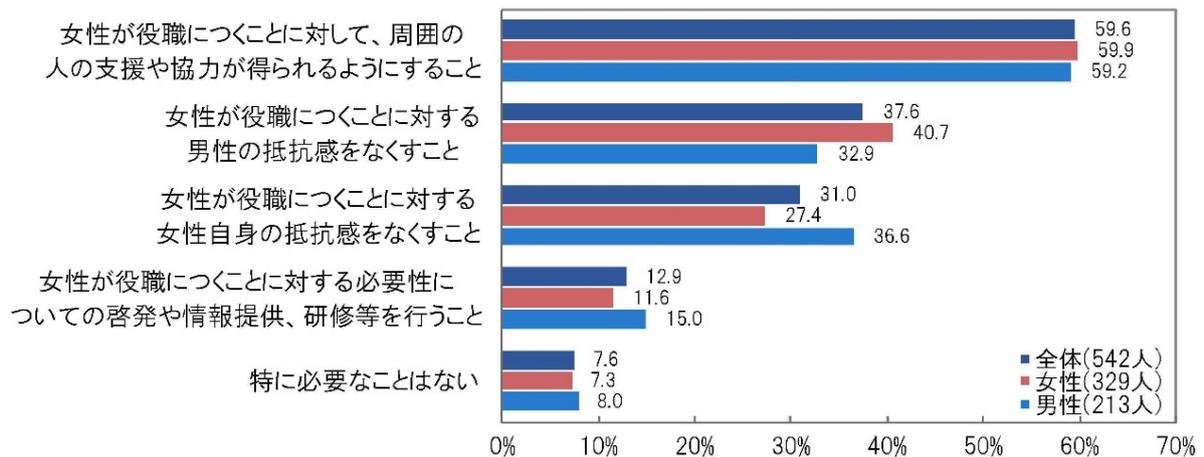
問 13 回答結果

	女性が役職につくことに対して、周囲の人の支援や協力が得られるようにすること	女性が役職につくことに対する男性の抵抗感をなくすこと	女性が役職につくことに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	女性が役職につくことに対する必要性についての啓発や情報提供、研修等を行うこと	特に必要なことはない	わからない	その他
全体 (604人)	52.6%	35.3%	30.0%	12.1%	10.1%	16.6%	1.8%
女性 (356人)	55.1%	35.1%	28.9%	11.8%	10.1%	16.0%	1.4%
男性 (231人)	49.8%	35.9%	32.0%	12.6%	10.0%	17.7%	1.3%
その他 (1人)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
答えない (4人)	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
性別未回答 (12人)	41.7%	33.3%	16.7%	8.3%	16.7%	16.7%	8.3%
18～19歳 (5人)	40.0%	60.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
20代 (32人)	37.5%	50.0%	28.1%	6.3%	0.0%	25.0%	3.1%
30代 (56人)	35.7%	32.1%	28.6%	3.6%	5.4%	26.8%	1.8%
40代 (93人)	52.7%	36.6%	35.5%	8.6%	11.8%	14.0%	4.3%
50代 (96人)	51.0%	41.7%	28.1%	8.3%	8.3%	15.6%	3.1%
60代 (134人)	56.7%	35.1%	30.6%	13.4%	10.4%	15.7%	0.7%
70代以上 (180人)	58.9%	28.9%	28.9%	18.3%	12.2%	15.0%	0.6%
年代未回答 (8人)	50.0%	37.5%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%

問 13 回答結果



問 13 平成 30 年度 (参考)



問 13 クロス集計

		標本数	女性が役職につくことに対する女性の抵抗感をなくすこと	女性が役職につくことに対する男性の抵抗感をなくすこと	女性が役職につくことに対する必要性についての啓発提供、研修等を行うこと	女性が役職につくことに対して、周囲の人の支援や協力が得られるようにすること	特に必要なことはない	わからない	その他（具体的に）	未回答	
全体		628	28.8%	33.9%	11.6%	50.6%	9.7%	15.9%	1.8%	3.8%	
F1. 性別	女性	369	27.9%	33.9%	11.4%	53.1%	9.8%	15.4%	1.4%	3.5%	
	男性	236	31.4%	35.2%	12.3%	48.7%	9.7%	17.4%	1.3%	2.1%	
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	答えない	5	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	
	未回答	17	11.8%	23.5%	5.9%	29.4%	11.8%	11.8%	5.9%	29.4%	
F2. 年代別	18～19歳	5	40.0%	60.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20代	32	28.1%	50.0%	6.3%	37.5%	0.0%	25.0%	3.1%	0.0%	
	30代	56	28.6%	32.1%	3.6%	35.7%	5.4%	26.8%	1.8%	0.0%	
	40代	93	35.5%	36.6%	8.6%	52.7%	11.8%	14.0%	4.3%	0.0%	
	50代	98	27.6%	40.8%	8.2%	50.0%	8.2%	15.3%	3.1%	2.0%	
	60代	136	30.1%	34.6%	13.2%	55.9%	10.3%	15.4%	0.7%	1.5%	
	70代以上	197	26.4%	26.4%	16.8%	53.8%	11.2%	13.7%	0.5%	8.6%	
	未回答	11	9.1%	27.3%	9.1%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	27.3%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	3	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
		商工業、製造業、サービス業	19	31.6%	42.1%	21.1%	52.6%	5.3%	15.8%	5.3%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	12	41.7%	33.3%	8.3%	41.7%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	34	23.5%	26.5%	17.6%	44.1%	11.8%	23.5%	2.9%	0.0%
		専門・技術職	91	26.4%	30.8%	5.5%	51.6%	13.2%	18.7%	2.2%	1.1%
		事務職	53	35.8%	43.4%	3.8%	54.7%	3.8%	15.1%	1.9%	0.0%
		販売・サービス・保安職	65	41.5%	40.0%	10.8%	38.5%	6.2%	16.9%	1.5%	1.5%
		農林漁業職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	21.1%	57.9%	5.3%	68.4%	5.3%	15.8%	5.3%	0.0%
		未回答	15	26.7%	40.0%	13.3%	33.3%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	166	31.3%	35.5%	7.2%	49.4%	8.4%	18.7%	2.4%	1.2%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	103	33.0%	38.8%	10.7%	46.6%	9.7%	16.5%	1.0%	0.0%
		未回答	9	11.1%	44.4%	0.0%	44.4%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	167	28.1%	26.9%	16.2%	61.1%	9.0%	14.4%	0.6%	4.2%
		無職－学生	9	22.2%	44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
		無職－その他	61	21.3%	39.3%	14.8%	57.4%	9.8%	11.5%	1.6%	4.9%
		未回答	5	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
		未回答	71	25.4%	31.0%	8.5%	33.8%	14.1%	14.1%	1.4%	16.9%
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	31.0%	31.8%	12.7%	53.4%	8.9%	15.0%	2.0%	2.5%	
	離別・死別	93	24.7%	29.0%	9.7%	49.5%	11.8%	18.3%	2.2%	6.5%	
	未婚	111	24.3%	43.2%	9.0%	45.0%	12.6%	17.1%	0.9%	3.6%	
	未回答	31	29.0%	41.9%	12.9%	38.7%	3.2%	16.1%	0.0%	12.9%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	27.5%	32.4%	9.8%	55.9%	12.7%	11.8%	2.0%	6.9%	
	本人と配偶者のみ	189	28.6%	32.3%	19.6%	57.7%	7.9%	15.3%	2.1%	2.6%	
	本人と配偶者、子ども	166	33.7%	31.3%	6.0%	47.0%	9.0%	15.7%	1.8%	2.4%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	24	29.2%	29.2%	8.3%	54.2%	16.7%	8.3%	4.2%	0.0%	
	本人と子ども	30	26.7%	26.7%	3.3%	33.3%	13.3%	26.7%	0.0%	10.0%	
	本人と親	51	25.5%	51.0%	9.8%	45.1%	11.8%	19.6%	0.0%	0.0%	
	その他	29	17.2%	48.3%	6.9%	55.2%	3.4%	20.7%	0.0%	3.4%	
	未回答	37	27.0%	32.4%	16.2%	32.4%	8.1%	18.9%	2.7%	10.8%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	399	28.1%	31.1%	13.3%	54.6%	9.3%	14.3%	2.0%	4.0%	
	いない	193	31.1%	38.3%	8.3%	44.6%	11.9%	19.2%	1.0%	1.6%	
	未回答	36	25.0%	41.7%	11.1%	38.9%	2.8%	16.7%	2.8%	13.9%	

6. 防災対策における男女共同参画について

問 14 大規模な災害時へ備えるには、女性の視点での意見も必要となります。今後、男女がともに安心・安全な防災体制を整えるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数選択・2つまで)

男女がともに安心・安全な防災体制を整えるために必要なことについては、全体で見ると、「男女がともに安全・安心に利用できる避難所運営マニュアルの作成」と答えた人の割合が39.9%と最も高く、次いで「防災に関する計画に女性の視点からの意見を反映させる」が28.8%、「女性の意見を反映させるための仕組みづくりや防災会議の委員への女性の積極的な登用」が27.0%という結果であった。この傾向は平成30年度調査と同様である。

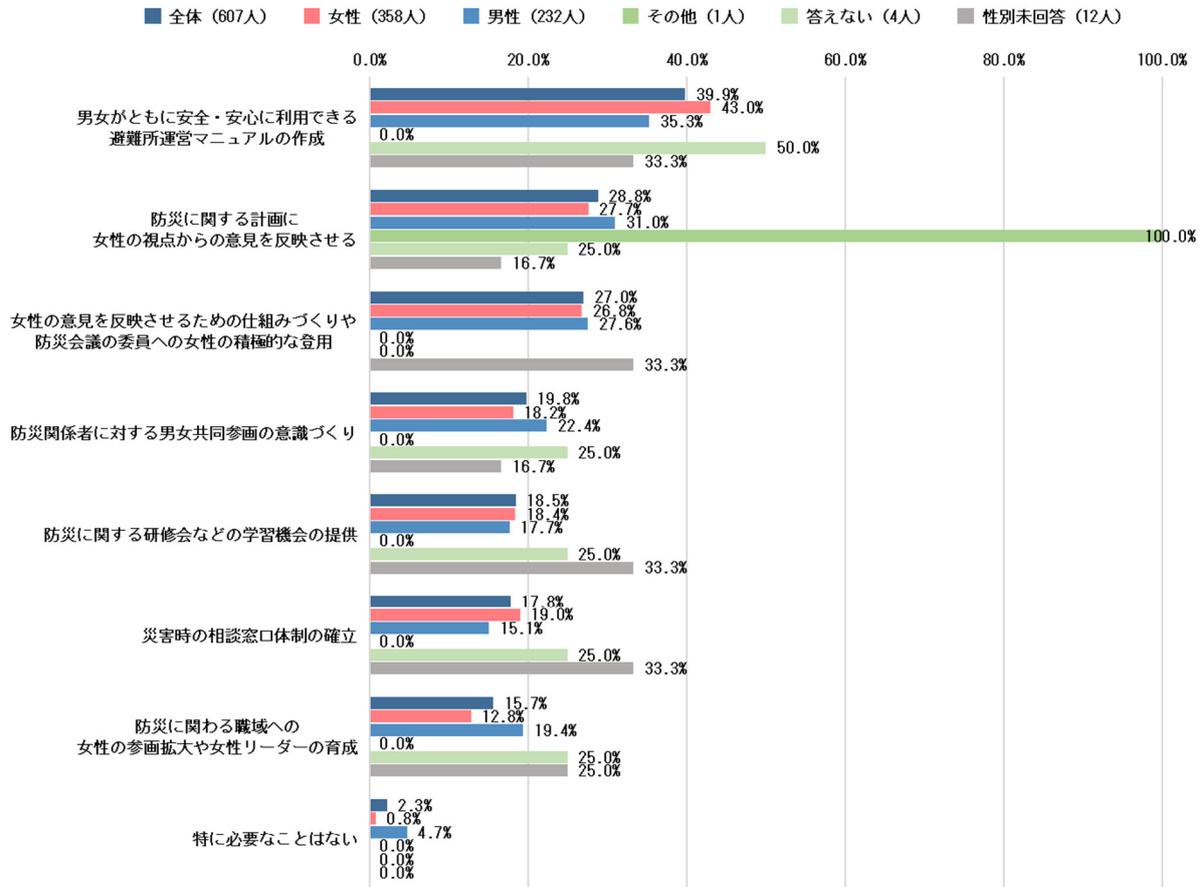
性別で見ると、「防災関係者に対する男女共同参画の意識づくり」について、『女性』が18.2%、『男性』が22.4%で平成30年度調査と同様に男性が上回っているが、差が12.3ポイントから4.2ポイントに減少している。また、「女性の意見を反映させるための仕組みづくりや防災会議の委員への女性の積極的な登用」は『女性』が26.8%、『男性』が27.6%であり、『男性』が11.1ポイント高かった平成30年度調査と異なり、差はほとんどない。

年代別にみると、「災害時の相談窓口体制の確立」は『18～19歳』が20.0%であるほか、『50代』以上で高くなっている。また、「防災に関する計画に女性の視点からの意見を反映させる」について、平成30年度調査では『30代』の割合が41.9%で最も高かったが、今回の調査では『40代』が40.9%で最も高かった。

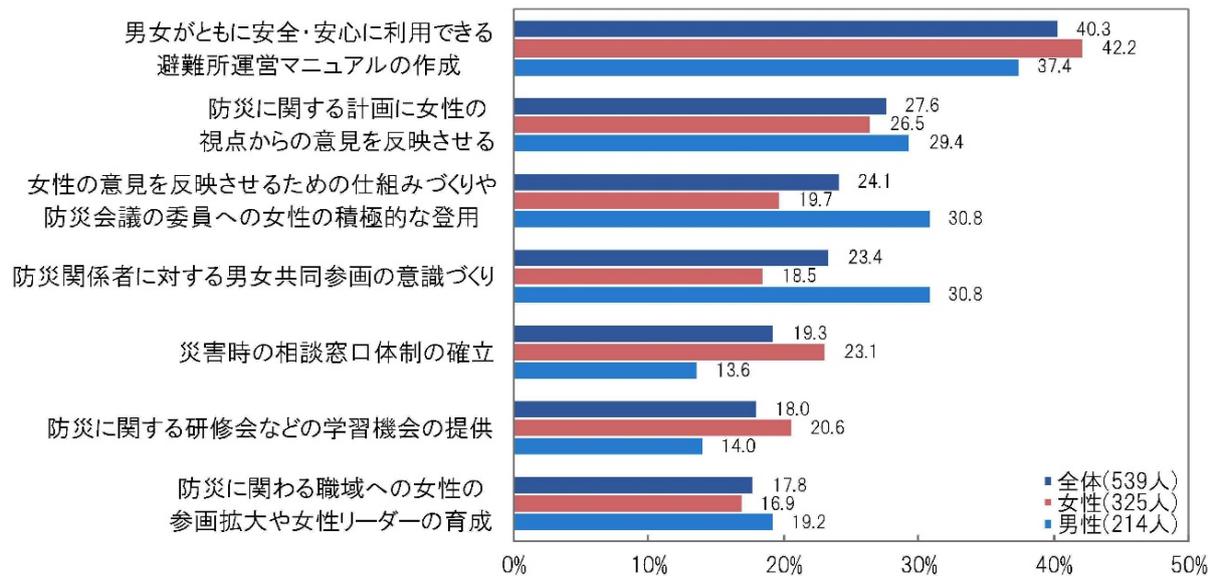
問 14 回答結果

	男女がともに安全・安心に利用できる避難所運営マニュアルの作成	防災に関する計画に女性の視点からの意見を反映させる	女性の意見を反映させるための仕組みづくりや防災会議の委員への女性の積極的な登用	防災関係者に対する男女共同参画の意識づくり	防災に関する研修会などの学習機会の提供	災害時の相談窓口体制の確立	防災に関わる職域への女性の参画拡大や女性リーダーの育成	特に必要なことはない	わからない	その他
全体 (607人)	39.9%	28.8%	27.0%	19.8%	18.5%	17.8%	15.7%	2.3%	8.2%	0.5%
女性 (358人)	43.0%	27.7%	26.8%	18.2%	18.4%	19.0%	12.8%	0.8%	9.5%	0.0%
男性 (232人)	35.3%	31.0%	27.6%	22.4%	17.7%	15.1%	19.4%	4.7%	6.9%	1.3%
その他 (1人)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない (4人)	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答 (12人)	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～19歳 (5人)	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代 (32人)	31.3%	31.3%	31.3%	9.4%	9.4%	12.5%	15.6%	0.0%	25.0%	0.0%
30代 (56人)	39.3%	37.5%	23.2%	12.5%	8.9%	10.7%	16.1%	3.6%	16.1%	0.0%
40代 (93人)	35.5%	40.9%	23.7%	21.5%	18.3%	7.5%	17.2%	5.4%	5.4%	1.1%
50代 (97人)	42.3%	32.0%	29.9%	22.7%	14.4%	16.5%	16.5%	2.1%	4.1%	0.0%
60代 (133人)	45.9%	29.3%	27.1%	13.5%	18.8%	28.6%	15.8%	0.0%	6.0%	0.0%
70代以上 (183人)	38.8%	16.9%	27.9%	26.8%	23.5%	18.0%	14.2%	2.7%	8.7%	1.1%
年代未回答 (8人)	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 14 回答結果



問 14 平成 30 年度（参考）



問 14 クロス集計

種本数	防災関係者に対する 男女共同参画の意識 づくり	防災に関する計画に女 性の視点からの意見を 反映させる	女性の要員を確保させる ための仕組みづくりや防災 議の委員への女性の積極的 な参画	防災に関わる職种への 女性の参画拡大や女性 リーダーの育成	防災に関する研修会 などの学習機会の提 供	男女がともに安全・安 心に利用できる避難所 運営マニュアルの作成	災害時の相談窓口 体制の確立	特に必要なこと はない	わからない	その他 (具体的に に)	未回答
全体	628	19.1%	27.9%	26.1%	15.1%	17.8%	38.5%	17.2%	2.2%	8.0%	3.3%
女性	369	17.6%	26.8%	26.0%	12.5%	17.9%	41.7%	18.4%	0.8%	9.2%	3.0%
男性	236	22.0%	30.5%	27.1%	19.1%	17.4%	34.7%	14.8%	4.7%	6.8%	1.7%
その他	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない	5	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
未回答	17	11.8%	11.8%	23.5%	17.6%	23.5%	23.5%	0.0%	0.0%	29.4%	0.0%
18~19歳	5	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	32	9.4%	31.3%	31.3%	15.6%	9.4%	31.3%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%
30代	56	12.5%	37.5%	23.2%	16.1%	8.9%	39.3%	10.7%	3.6%	16.1%	0.0%
40代	93	21.5%	40.9%	23.7%	17.2%	18.3%	35.5%	7.5%	5.4%	5.4%	1.1%
50代	98	22.4%	31.6%	29.6%	16.3%	14.3%	41.8%	16.3%	2.0%	4.1%	0.0%
60代	136	13.2%	28.7%	26.5%	15.4%	18.4%	44.9%	27.9%	0.0%	5.9%	0.0%
70代以上	197	24.9%	15.7%	25.9%	13.2%	21.8%	36.0%	16.8%	2.5%	8.1%	1.0%
未回答	11	9.1%	18.2%	18.2%	18.2%	27.3%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%
農業・林業・漁業	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
18~19歳	19	10.5%	42.1%	26.3%	26.3%	10.5%	42.1%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%
20代	12	8.3%	58.3%	8.3%	25.0%	8.3%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%
30代	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40代	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50代	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60代	34	26.5%	29.4%	32.4%	35.3%	14.7%	20.6%	11.8%	2.9%	5.9%	0.0%
70代以上	91	13.2%	37.4%	26.4%	15.4%	16.5%	47.3%	6.6%	3.3%	5.5%	1.1%
未回答	53	30.2%	30.2%	34.0%	34.0%	17.0%	37.7%	13.2%	1.9%	5.7%	0.0%
販売・サービス・保安職	65	16.9%	30.8%	26.2%	16.9%	16.9%	36.9%	10.8%	1.5%	16.9%	0.0%
農林漁業職	1	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生産・輸送・建設・労務職	19	21.1%	42.1%	21.1%	5.3%	26.7%	52.6%	21.1%	5.3%	5.3%	0.0%
未回答	15	6.7%	26.7%	6.7%	26.7%	10.5%	40.0%	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%
18~19歳	166	17.5%	36.1%	28.3%	21.1%	13.3%	35.5%	11.4%	3.6%	6.6%	1.2%
20代	103	20.4%	27.2%	28.2%	13.6%	23.3%	43.7%	9.7%	1.9%	11.7%	0.0%
30代	9	11.1%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%
40代	167	19.8%	18.6%	26.3%	12.6%	21.6%	37.1%	23.4%	1.2%	9.6%	0.6%
50代	9	0.0%	55.6%	11.1%	0.0%	33.3%	44.4%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%
60代	61	29.5%	24.6%	36.1%	11.5%	14.8%	31.1%	19.7%	0.0%	4.9%	1.6%
70代以上	5	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
未回答	71	18.3%	18.3%	19.7%	12.7%	19.7%	39.4%	23.9%	1.4%	7.0%	0.0%
18~19歳	393	18.3%	28.2%	27.7%	17.8%	17.0%	38.2%	17.6%	2.5%	6.9%	0.5%
20代	93	28.0%	19.4%	21.5%	12.9%	22.6%	34.4%	16.1%	1.1%	11.8%	0.0%
30代	111	14.4%	36.0%	27.0%	9.0%	17.1%	43.2%	14.4%	1.8%	8.1%	0.9%
40代	31	19.4%	19.4%	16.1%	9.7%	16.1%	38.7%	25.8%	3.2%	9.7%	0.0%
50代	102	23.5%	30.4%	24.5%	10.8%	20.6%	38.2%	11.8%	2.9%	7.8%	1.0%
60代	189	19.6%	25.4%	32.8%	19.0%	16.9%	39.2%	19.6%	2.1%	4.8%	1.1%
70代以上	166	17.5%	31.9%	24.1%	17.5%	15.7%	34.3%	14.5%	3.0%	9.6%	0.0%
未回答	24	16.7%	25.0%	16.7%	12.5%	29.2%	50.0%	16.7%	4.2%	12.5%	0.0%
18~19歳	30	20.0%	20.0%	13.3%	13.3%	13.3%	36.7%	23.3%	0.0%	10.0%	0.0%
20代	51	13.7%	35.3%	23.5%	9.8%	17.6%	51.0%	19.6%	0.0%	9.8%	0.0%
30代	29	17.2%	24.1%	37.9%	10.3%	20.7%	37.9%	10.3%	0.0%	10.3%	0.0%
40代	37	21.6%	16.2%	16.2%	10.8%	18.8%	32.4%	29.7%	2.7%	8.1%	0.0%
50代	399	19.8%	25.6%	25.8%	15.3%	20.1%	38.1%	18.3%	2.3%	8.3%	0.3%
60代	193	17.1%	34.2%	29.0%	15.5%	13.5%	39.4%	14.0%	2.1%	7.3%	1.0%
70代以上	36	22.2%	19.4%	13.9%	11.1%	16.7%	38.9%	22.2%	2.8%	8.3%	0.0%

7. 男女共同参画を阻害する暴力について

問 15 あなたは、配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者からの暴力（DV＝ドメスティックバイオレンス）や、その被害について、見たり聞いたりしたことがありますか。（複数選択・あてはまるものすべて）

身近なところでのDVの有無については、全体では「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」と答えた人の割合が77.5%で最も高く、次いで、「見たり聞いたりしたことはない」が24.2%であった。「身近に被害を受けた人がある」と答えた人の割合は14.9%で、平成30年度調査の17.5%から2.6ポイント減少している。

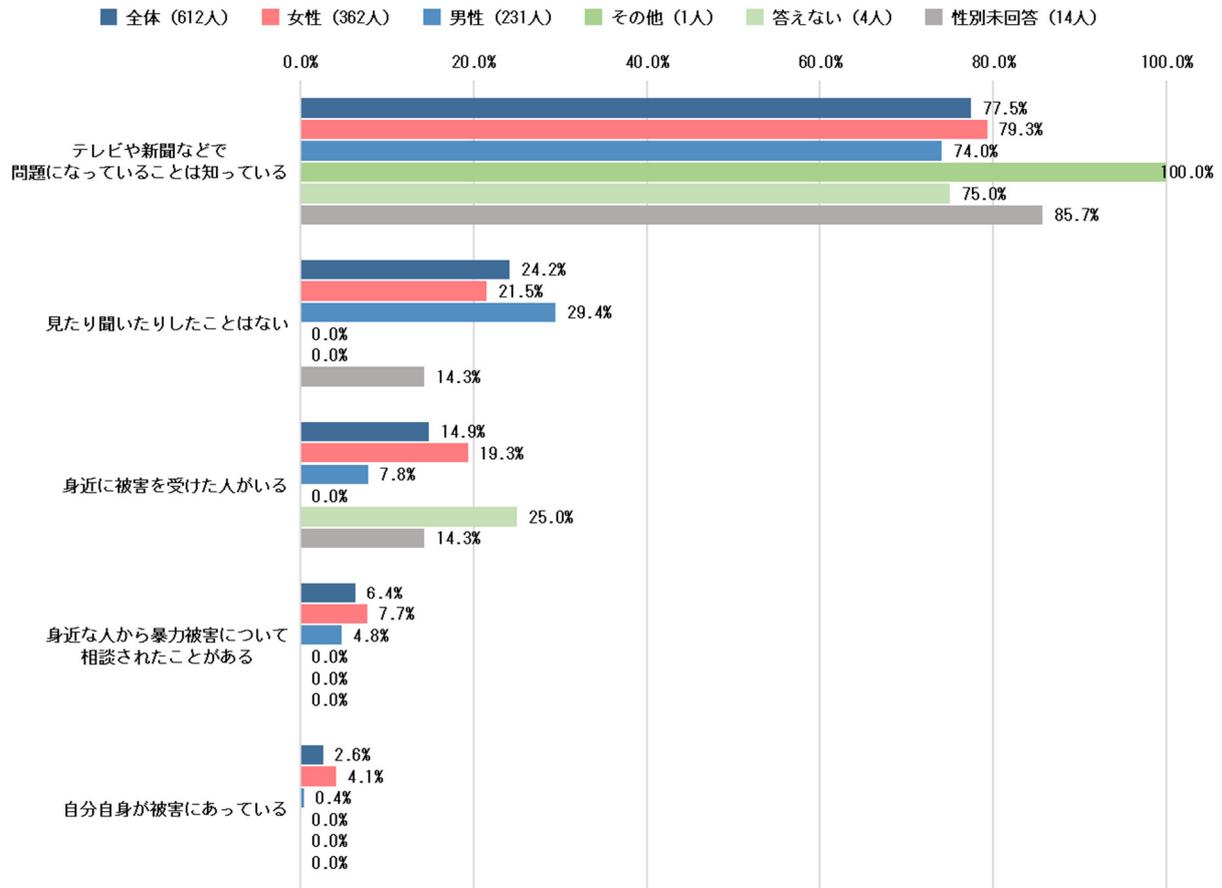
性別では、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」と答えた人の割合は、『女性』が79.3%、『男性』が74.0%と、女性が男性より5.3ポイント高い。また、「見たり聞いたりしたことはない」と答えた人の割合は、『女性』が21.5%、『男性』が29.4%であり、『男性』が7.9ポイント高い。「身近に被害を受けた人がある」や「身近な人から暴力被害について相談されたことがある」、「自分自身が被害にあっている」と答えた人の割合は、『女性』が『男性』より高い。特に「身近に被害を受けた人がある」については、『女性』の19.3%に対して『男性』は7.8%であり、11.5ポイントの差がある。なお、平成30年度調査では『女性』の割合が高いものの、1.5ポイント差であった。

年代別にみると、「見たり聞いたりしたことはない」と答えた人の割合は、『70代以上』が31.6%で最も高く、『40代』が16.1%で最も低かった。

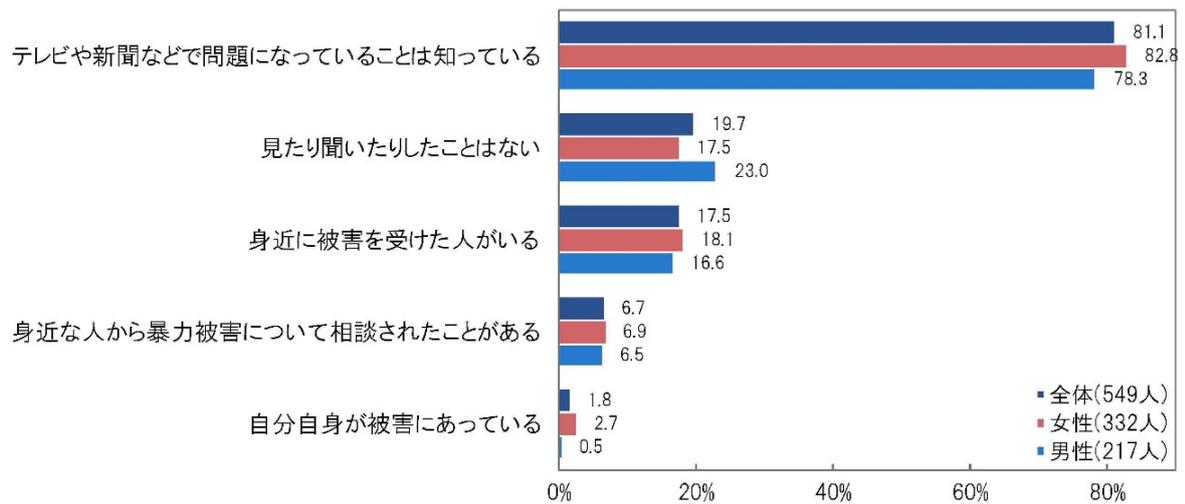
問 15 回答結果

	テレビや新聞 などで問題に なっていること は知っている	見たり 聞いたり したことは ない	身近に被害 を受けた人 がある	身近な人から 暴力被害につ いて相談され たことがある	自分自身が 被害にあっ ている	その他	わからない
全体（612人）	77.5%	24.2%	14.9%	6.4%	2.6%	1.8%	6.4%
女性（362人）	79.3%	21.5%	19.3%	7.7%	4.1%	1.9%	5.5%
男性（231人）	74.0%	29.4%	7.8%	4.8%	0.4%	1.3%	7.8%
その他（1人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない（4人）	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（14人）	85.7%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%
18～19歳（5人）	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
20代（32人）	62.5%	18.8%	6.3%	6.3%	3.1%	3.1%	6.3%
30代（56人）	66.1%	23.2%	14.3%	7.1%	5.4%	1.8%	5.4%
40代（93人）	71.0%	16.1%	23.7%	8.6%	2.2%	0.0%	5.4%
50代（96人）	77.1%	20.8%	20.8%	11.5%	5.2%	1.0%	3.1%
60代（134人）	81.3%	24.6%	13.4%	3.0%	1.5%	3.7%	6.0%
70代以上（187人）	85.0%	31.6%	10.7%	5.3%	1.1%	1.1%	8.6%
年代未回答（9人）	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%

問 15 回答結果



問 15 平成 30 年度 (参考)



問 15 クロス集計

		標本数	身近に被害を受けた人がいる	身近な人から暴力を受けて相談されたことがある	テレビや新聞などで問題になっていることを知っている	見たり聞いたことはない	自分自身が被害にあっている	その他	わからない	未回答	
全体		628	14.5%	6.2%	75.5%	23.6%	2.5%	1.8%	6.2%	2.5%	
F1. 性別	女性	369	19.0%	7.6%	77.8%	21.1%	4.1%	1.9%	5.4%	1.9%	
	男性	236	7.6%	4.7%	72.5%	28.8%	0.4%	1.3%	7.6%	2.1%	
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	5	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
	未回答	17	11.8%	0.0%	70.6%	11.8%	0.0%	5.9%	5.9%	17.6%	
F2. 年代別	18～19歳	5	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
	20代	32	6.3%	6.3%	62.5%	18.8%	3.1%	3.1%	6.3%	0.0%	
	30代	56	14.3%	7.1%	66.1%	23.2%	5.4%	1.8%	5.4%	0.0%	
	40代	93	23.7%	8.6%	71.0%	16.1%	2.2%	0.0%	5.4%	0.0%	
	50代	98	20.4%	11.2%	75.5%	20.4%	5.1%	1.0%	3.1%	2.0%	
	60代	136	13.2%	2.9%	80.1%	24.3%	1.5%	3.7%	5.9%	1.5%	
	70代以上	197	10.2%	5.1%	80.7%	29.9%	1.0%	1.0%	8.1%	5.1%	
	未回答	11	9.1%	0.0%	63.6%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	3	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	10.5%	5.3%	78.9%	21.1%	0.0%	10.5%	5.3%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	12	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者（役員を含む）	役員・管理職	34	8.8%	8.8%	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	8.8%	0.0%
		専門・技術職	91	22.0%	11.0%	70.3%	18.7%	5.5%	1.1%	4.4%	1.1%
		事務職	53	18.9%	5.7%	73.6%	17.0%	3.8%	0.0%	1.9%	0.0%
		販売・サービス・保安職	65	16.9%	9.2%	72.3%	23.1%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%
		農林漁業職	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	15.8%	0.0%	73.7%	26.3%	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%
		未回答	15	13.3%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
	雇用されている者（役員を含む）の勤務形態	正規の職員・従業員	166	16.3%	8.4%	72.9%	20.5%	3.6%	0.6%	3.6%	0.6%
		非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	103	20.4%	6.8%	73.8%	19.4%	1.9%	1.9%	5.8%	1.0%
		未回答	9	11.1%	11.1%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	167	10.2%	3.0%	84.4%	29.3%	3.0%	1.2%	6.0%	1.8%
		無職－学生	9	0.0%	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
		無職－その他	61	19.7%	9.8%	83.6%	19.7%	0.0%	1.6%	9.8%	3.3%
		未回答	5	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
		未回答	71	11.3%	2.8%	69.0%	23.9%	1.4%	2.8%	9.9%	11.3%
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	12.7%	5.3%	76.1%	25.4%	2.5%	2.3%	5.6%	2.3%	
	離別・死別	93	23.7%	9.7%	79.6%	25.8%	4.3%	0.0%	4.3%	3.2%	
	未婚	111	16.2%	8.1%	69.4%	16.2%	1.8%	1.8%	9.9%	1.8%	
	未回答	31	3.2%	0.0%	77.4%	19.4%	0.0%	0.0%	6.5%	6.5%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	23.5%	12.7%	77.5%	20.6%	2.0%	0.0%	7.8%	3.9%	
	本人と配偶者のみ	189	10.6%	4.8%	78.8%	28.0%	2.6%	3.2%	5.8%	1.6%	
	本人と配偶者、子ども	166	15.1%	6.0%	73.5%	22.9%	1.2%	1.8%	4.2%	2.4%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	24	16.7%	16.7%	75.0%	25.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	
	本人と子ども	30	13.3%	3.3%	86.7%	20.0%	3.3%	0.0%	0.0%	6.7%	
	本人と親	51	11.8%	3.9%	58.8%	19.6%	5.9%	3.9%	13.7%	0.0%	
	その他	29	20.7%	0.0%	79.3%	24.1%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	
	未回答	37	5.4%	0.0%	73.0%	18.9%	0.0%	0.0%	8.1%	8.1%	
F6. お子さんの有無（成人しているお子さん、別居しているお子さん含む）	いる	399	14.8%	6.8%	78.4%	23.8%	3.5%	1.8%	6.0%	2.5%	
	いない	193	15.5%	6.2%	69.4%	24.4%	1.0%	2.1%	6.7%	1.0%	
	未回答	36	5.6%	0.0%	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	

問 16 あなたが配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者からの暴力（DV=ドメスティック・バイオレンス）に含まれると思うものをすべて選んでください。
（複数選択・あてはまるものすべて）

DVに該当する行為の範囲について、全体でみると、「殴る、ける」と答えた人の割合が81.6%と最も高い。以下、70%を超えた回答は、「大声でどなる」が80.5%、「相手が嫌がっているのに性的行為を強要する」が77.1%、「相手のプライドが傷つくようなことを言う」が76.6%、「殴るふりや刃物などを使っておどす」が75.8%、「物をこわす」が73.4%、「生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかける」が72.9%、「相手の行動を監視したり、交友関係を制限して干渉する」が71.0%であった。なお、最も答えた人の割合が低い、「相手が嫌がっているのに性的な映像・雑誌などを見せる」においても66.0%であった。なお、平成30年度調査において、唯一60%を下回った（57.2%）、「長期間、無視する」は今回の調査では66.7%であり、9.5ポイント増加している。

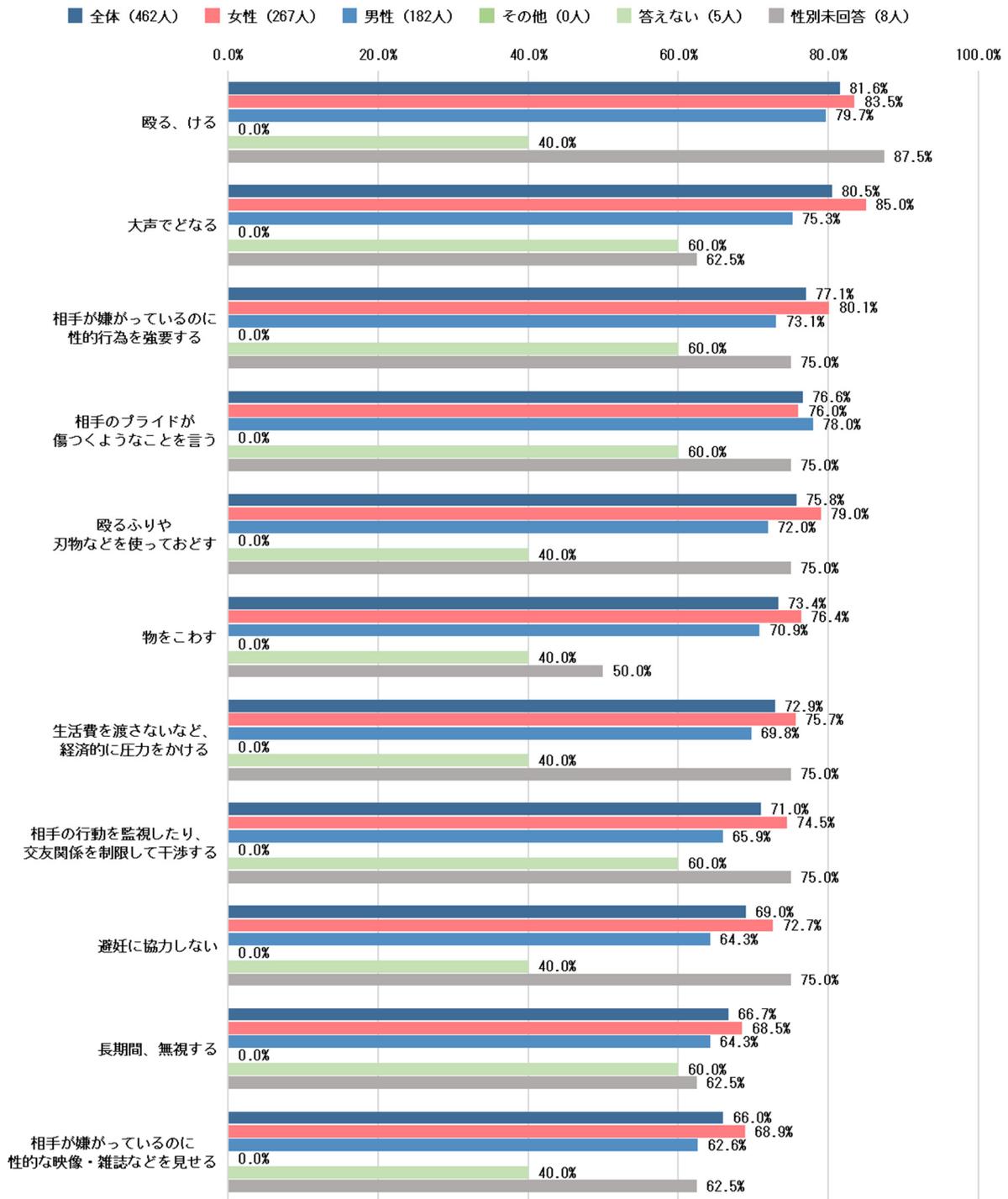
性別でみると、「大声でどなる」について、『女性』は85.0%、『男性』は75.3%で9.7ポイント差があり、『女性』と『男性』で最も開きがあった。この傾向は、平成30年度調査の10.1ポイント差と同様である。「生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかける」については、『女性』が75.7%、『男性』が69.8%で5.9ポイントの開きがあったが、平成30年度調査では『女性』が71.9%、『男性』が62.6%であり、差が9.3ポイントだったため、『女性』と『男性』の割合の開きは減少している。

年代別にみると、『60代』と『70代以上』は、他の年代に比べ全体的に割合が低くなっている。

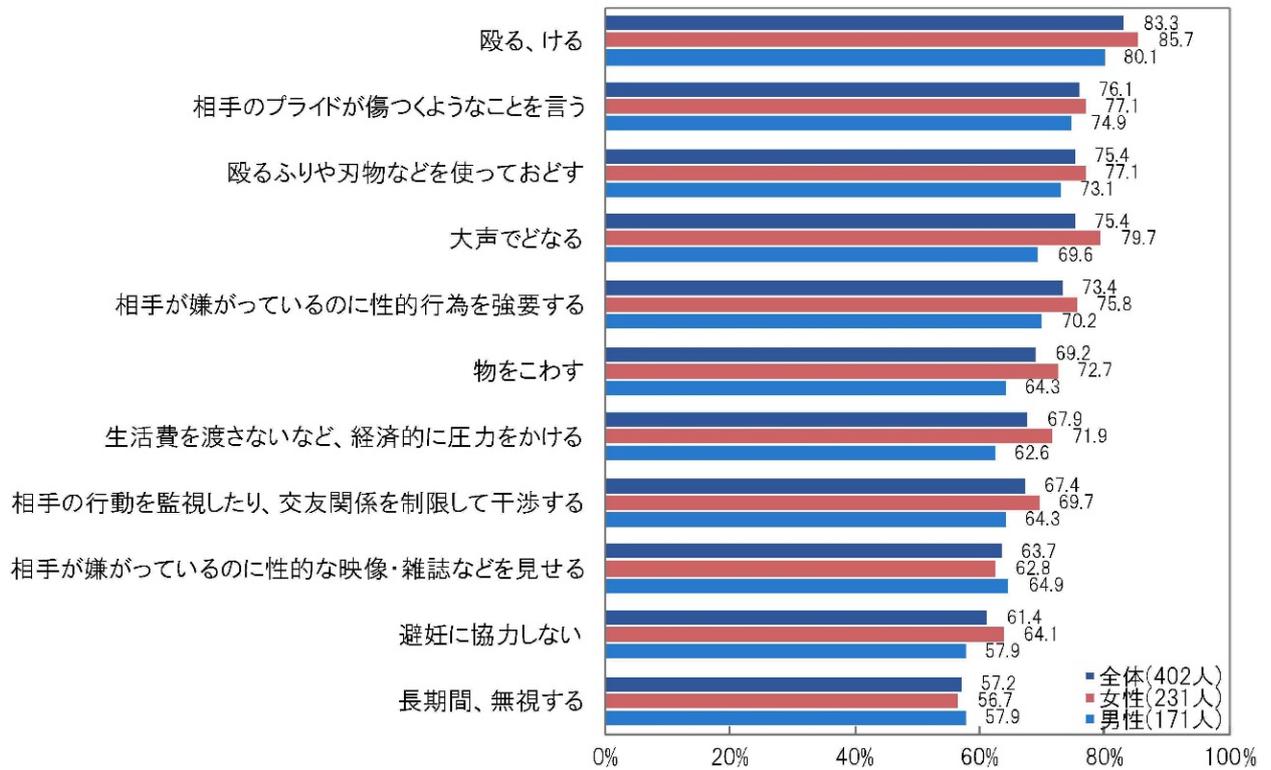
問 16 回答結果

	殴る、ける	大声でどなる	相手が嫌がっているのに性的行為を強要する	相手のプライドが傷つくようなことを言う	殴るふりや刃物などを使っておどす	物をこわす	生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかける	相手の行動を監視したり、交友関係を制限して干渉する	避妊に協力しない	長期間、無視する	相手が嫌がっているのに性的な映像・雑誌などを見せる
全体 (462人)	81.6%	80.5%	77.1%	76.6%	75.8%	73.4%	72.9%	71.0%	69.0%	66.7%	66.0%
女性 (267人)	83.5%	85.0%	80.1%	76.0%	79.0%	76.4%	75.7%	74.5%	72.7%	68.5%	68.9%
男性 (182人)	79.7%	75.3%	73.1%	78.0%	72.0%	70.9%	69.8%	65.9%	64.3%	64.3%	62.6%
その他 (0人)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない (5人)	40.0%	60.0%	60.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	60.0%	40.0%	60.0%	40.0%
性別未回答 (8人)	87.5%	62.5%	75.0%	75.0%	75.0%	50.0%	75.0%	75.0%	75.0%	62.5%	62.5%
18～19歳 (5人)	80.0%	80.0%	100.0%	40.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	60.0%	80.0%
20代 (32人)	90.6%	90.6%	87.5%	81.3%	84.4%	90.6%	81.3%	75.0%	84.4%	65.6%	78.1%
30代 (52人)	92.3%	88.5%	90.4%	84.6%	90.4%	84.6%	86.5%	84.6%	84.6%	82.7%	86.5%
40代 (87人)	81.6%	85.1%	78.2%	74.7%	78.2%	74.7%	75.9%	73.6%	72.4%	69.0%	67.8%
50代 (88人)	93.2%	88.6%	92.0%	85.2%	88.6%	93.2%	83.0%	83.0%	83.0%	73.9%	78.4%
60代 (100人)	76.0%	78.0%	72.0%	78.0%	72.0%	65.0%	68.0%	69.0%	66.0%	68.0%	63.0%
70代以上 (93人)	67.7%	63.4%	54.8%	64.5%	53.8%	49.5%	54.8%	48.4%	40.9%	47.3%	38.7%
年代未回答 (5人)	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	100.0%	80.0%	80.0%	80.0%

問 16 回答結果



問 16 平成 30 年度（参考）



問 16 クロス集計

	標本数	取る、ける	取るより刃物などを 使っておどす	相手が嫌がっているのに性的行為を強要する	選好に協力しない	相手の行動を監視したり、交際関係を制限して干渉する	相手のプライドが大失声となる	物をこわす	生活費を嫌まないなど感情的に圧力をかける	未回答
全体	628	60.0%	55.7%	56.7%	48.6%	49.0%	56.4%	59.2%	54.0%	26.4%
F.1. 性別										
女性	369	60.4%	57.2%	58.0%	49.9%	49.6%	55.0%	61.5%	55.3%	27.6%
男性	236	61.4%	55.5%	56.4%	48.3%	49.6%	60.2%	58.1%	53.8%	22.9%
その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
答えない	5	40.0%	40.0%	60.0%	40.0%	60.0%	60.0%	60.0%	40.0%	0.0%
F.2. 年代別										
18～19歳	5	80.0%	80.0%	100.0%	80.0%	60.0%	40.0%	80.0%	80.0%	0.0%
20代	32	90.6%	84.4%	87.5%	78.1%	65.6%	81.3%	90.6%	90.6%	0.0%
30代	56	85.7%	83.9%	83.9%	78.6%	76.8%	82.1%	80.4%	81.3%	0.0%
40代	93	76.3%	73.1%	73.1%	63.4%	64.5%	69.9%	79.6%	69.9%	6.5%
50代	98	83.7%	79.6%	82.7%	74.5%	66.3%	76.5%	79.6%	83.7%	10.2%
60代	136	55.9%	52.9%	52.9%	46.3%	50.7%	57.4%	57.4%	47.8%	26.5%
70代以上	197	32.0%	25.4%	36.4%	19.3%	22.3%	30.5%	29.9%	23.4%	25.9%
未回答	11	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	54.5%
F.3. 職業別										
自営業者(経営者)	3	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
農工業、製造業、サービス業	19	63.2%	63.2%	57.9%	57.9%	57.9%	57.9%	63.2%	68.4%	31.6%
自由業(副業、介護士等)	12	83.3%	91.7%	91.7%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	91.7%	83.3%
零労働者	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
農工業、製造業、サービス業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%
自由業(副業、介護士等)	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
役員・管理職	34	76.5%	73.5%	70.6%	64.7%	67.6%	76.5%	67.6%	70.6%	11.8%
専門・技術職	91	79.1%	76.9%	80.2%	72.5%	71.4%	80.2%	82.4%	73.6%	8.8%
事務職	53	86.8%	79.2%	84.9%	71.7%	73.6%	79.2%	88.7%	79.2%	5.7%
販売・サービス・保安職	65	73.8%	70.8%	69.2%	66.2%	56.9%	66.2%	70.8%	67.7%	15.4%
農林漁業職	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生産・輸送・建設・労務職	19	78.9%	68.4%	78.9%	63.2%	67.7%	73.7%	73.7%	78.9%	10.5%
未回答	15	60.0%	53.3%	53.3%	46.7%	46.7%	60.0%	66.7%	60.0%	20.0%
正規の職員・従業員	166	81.3%	75.9%	80.1%	71.1%	69.3%	74.7%	78.9%	75.9%	8.4%
非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等)	103	74.8%	71.8%	70.9%	61.2%	57.3%	71.8%	75.7%	68.9%	13.6%
未回答	9	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	66.7%	55.6%	66.7%	55.6%	22.2%
主婦・主夫	167	41.9%	37.1%	36.5%	26.3%	29.3%	35.3%	41.3%	32.3%	43.7%
無職	9	77.8%	77.8%	88.9%	66.7%	55.6%	71.8%	71.8%	77.8%	0.0%
無職一学生	9	49.2%	39.3%	42.0%	31.1%	37.7%	52.5%	42.6%	39.3%	32.8%
無職一その他	61	49.2%	39.3%	42.0%	31.1%	37.7%	52.5%	42.6%	39.3%	32.8%
未回答	5	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%
F.4. 未既婚別										
未婚	71	39.4%	38.0%	35.2%	33.8%	36.6%	42.3%	42.3%	38.0%	47.9%
結婚している(事実婚を含む)	393	62.3%	57.5%	58.3%	50.4%	51.1%	58.3%	60.8%	54.5%	25.2%
離別・死別	93	43.0%	38.7%	41.9%	35.5%	37.6%	41.9%	40.9%	43.0%	41.9%
未婚	111	73.0%	68.5%	63.1%	57.7%	56.8%	65.8%	75.7%	68.5%	15.3%
未回答	31	35.5%	38.7%	38.7%	32.3%	35.5%	41.9%	35.5%	35.5%	35.5%
単身世帯	102	51.0%	50.0%	47.1%	41.2%	46.1%	52.0%	53.9%	50.0%	33.3%
本人と配偶者のみ	189	59.3%	46.9%	52.4%	42.9%	46.0%	57.1%	50.3%	51.3%	28.0%
本人と配偶者、子ども	166	65.7%	61.4%	64.5%	59.0%	58.4%	63.3%	63.3%	59.0%	21.7%
本人と配偶者、子ども 父や母(三世帯世帯)	24	75.0%	66.7%	66.7%	50.0%	50.0%	62.5%	75.0%	62.5%	8.3%
本人と子ども	30	53.3%	53.3%	53.3%	50.0%	43.3%	46.7%	53.3%	53.3%	33.3%
本人と親	51	72.5%	64.7%	70.6%	58.8%	58.8%	62.7%	74.5%	64.7%	15.7%
その他	29	69.0%	65.5%	69.0%	62.1%	58.6%	62.1%	69.0%	65.5%	24.1%
未回答	37	35.1%	35.1%	37.8%	29.7%	29.7%	32.4%	32.4%	35.1%	43.2%
F.6. お子さんの有無 (成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む)										
いる	399	55.9%	51.1%	44.6%	47.1%	46.1%	52.1%	53.9%	48.4%	30.8%
いない	193	74.1%	69.4%	72.5%	60.6%	59.1%	68.4%	75.6%	69.9%	14.0%
未回答	36	30.6%	33.3%	33.3%	27.8%	27.8%	38.9%	30.6%	33.3%	44.4%

問 17 配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者から、さまざまな暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を受けたときの相談窓口として、あなたが知っているものをすべて選んでください。（複数選択・あてはまるものすべて）

配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者から、さまざまな暴力（DV）を受けたときの相談窓口について、「警察」と答えた人の割合が83.0%で最も高かった。なお、「警察」以外では、「長崎市役所（アマランス相談・市民相談）」が39.2%、「長崎県子ども・女性・障害者支援センター」が32.7%、「民間の機関（DV防止の啓発やDV被害者支援等の活動を行う団体）」が26.7%、「長崎県弁護士会」が20.0%で高い割合を示した。

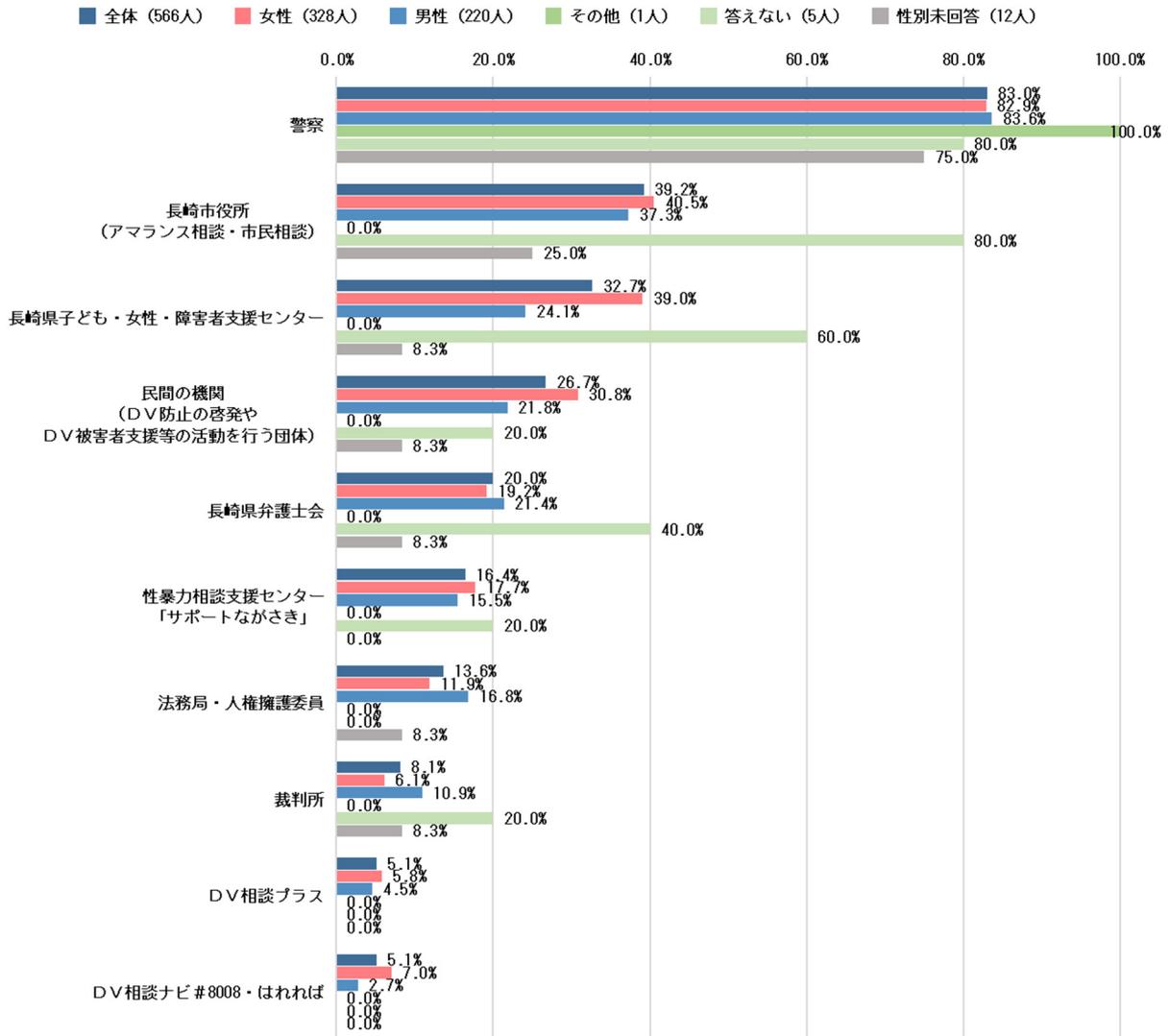
性別で見ると、「DV相談ナビ#8008・はれれば」について、『女性』が7.0%、『男性』が2.7%であり、『女性』が4.3ポイント上回った。一方、「裁判所」は『女性』が6.1%、『男性』が10.9%で、『男性』が4.8ポイント上回った。

年代別では、「裁判所」の割合が『18～19歳』と『20代』は20%を超えており、他の世代より高くなっている。また、「長崎県子ども・女性・障害者支援センター」と答えた人の割合について、「18～19歳」が0.0%、「70代以上」が11.7%と他の年代より低くなっている。

問 17 回答結果

	警察	長崎市役所 （アマランス 相談・市民相 談）	長崎県 子ども・女性・ 障害者支援 センター	民間の機関（DV 防止の啓発やDV 被害者支援等の 活動を行う団体）	長崎県 弁護士会	性暴力相談 支援センター 「サポート ながさき」	法務局・ 人権擁護 委員	裁判所	DV相談 プラス	DV相談ナ ビ#8008・ はれれば	その他 の機関	知らない ・わからない
全体（566人）	83.0%	39.2%	32.7%	26.7%	20.0%	16.4%	13.6%	8.1%	5.1%	5.1%	1.1%	10.4%
女性（328人）	82.9%	40.5%	39.0%	30.8%	19.2%	17.7%	11.9%	6.1%	5.8%	7.0%	0.3%	9.8%
男性（220人）	83.6%	37.3%	24.1%	21.8%	21.4%	15.5%	16.8%	10.9%	4.5%	2.7%	2.3%	11.4%
その他（1人）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない（5人）	80.0%	80.0%	60.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答（12人）	75.0%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
18～19歳（5人）	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
20代（32人）	81.3%	40.6%	46.9%	34.4%	9.4%	28.1%	6.3%	21.9%	12.5%	15.6%	3.1%	15.6%
30代（56人）	91.1%	39.3%	48.2%	39.3%	8.9%	21.4%	10.7%	5.4%	8.9%	7.1%	0.0%	5.4%
40代（89人）	82.0%	39.3%	42.7%	31.5%	12.4%	13.5%	5.6%	3.4%	5.6%	7.9%	2.2%	7.9%
50代（96人）	90.6%	42.7%	37.5%	29.2%	19.8%	17.7%	12.5%	8.3%	4.2%	4.2%	1.0%	7.3%
60代（126人）	84.9%	48.4%	40.5%	27.8%	31.0%	17.5%	17.5%	9.5%	4.8%	4.0%	0.8%	5.6%
70代以上（154人）	75.3%	31.8%	11.7%	16.2%	22.7%	13.0%	18.8%	7.1%	3.2%	2.6%	0.6%	18.2%
年代未回答（8人）	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%

問 17 回答結果



問17 クロス集計

	標本数	警察	法務局・ 人権擁護 委員	裁判所	長崎県弁護士会	民間の機関（DV防 止の啓蒙やDV被害 者支援等の活動を行 う団体）	長崎子ども・ 女性・障害者支 援センター	長崎市役所（ア マランクス相談・ 市長相談）	DV相談プラス D.V相談ブース	D.V相談ナビ 800番・はれはば	性暴力相談支援セン ター「サポートなが さき」	その他の機関	知らない・わか らない	未回答
	628	74.8%	12.3%	7.3%	18.0%	24.0%	29.5%	35.4%	4.6%	4.6%	14.8%	1.0%	9.4%	9.9%
	369	73.7%	10.6%	5.4%	17.1%	27.4%	34.7%	36.0%	5.1%	6.2%	15.7%	0.3%	8.7%	11.1%
F1. 性別	236	78.0%	15.7%	10.2%	19.9%	20.3%	22.5%	34.7%	4.2%	2.5%	14.4%	2.1%	10.6%	6.8%
	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5	80.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	60.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17	52.9%	5.9%	20.0%	5.9%	5.9%	5.9%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	29.4%
	18~19歳	5	60.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	32	81.3%	6.3%	21.9%	34.4%	46.9%	40.6%	12.5%	15.6%	28.1%	3.1%	15.6%	0.0%
	30代	56	91.1%	10.7%	5.4%	39.3%	48.2%	39.3%	8.9%	7.1%	21.4%	0.0%	5.4%	0.0%
	40代	93	78.5%	5.4%	3.2%	11.8%	30.1%	37.6%	5.4%	7.5%	12.9%	2.2%	7.5%	4.3%
	50代	98	88.8%	12.2%	8.2%	19.4%	28.6%	41.8%	4.1%	4.1%	17.3%	1.0%	7.1%	2.0%
	60代	136	78.7%	16.2%	8.8%	28.7%	37.5%	44.9%	4.4%	3.7%	16.2%	0.7%	5.1%	7.4%
	70代以上	197	58.9%	14.7%	5.6%	17.8%	12.7%	24.9%	2.5%	2.0%	10.2%	0.5%	14.2%	21.8%
	未回答	11	63.6%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%
	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	19	68.4%	10.5%	0.0%	10.5%	10.5%	10.5%	31.6%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	10.5%	10.5%
	12	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	58.3%	41.7%	33.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%
	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	34	82.4%	20.6%	5.9%	17.6%	26.5%	41.2%	41.2%	0.0%	2.9%	11.8%	0.0%	5.9%	2.9%
	91	81.3%	11.0%	5.5%	18.7%	31.9%	45.1%	40.7%	6.6%	9.9%	15.4%	1.1%	4.4%	3.3%
	53	90.6%	18.9%	15.1%	15.1%	34.0%	49.1%	50.9%	3.8%	5.7%	18.9%	3.8%	5.7%	1.9%
	65	87.7%	10.8%	13.8%	16.9%	27.7%	30.8%	33.8%	9.2%	6.2%	15.4%	0.0%	7.7%	1.5%
	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	19	89.5%	0.0%	0.0%	26.3%	31.6%	31.6%	31.6%	0.0%	0.0%	31.6%	5.3%	5.3%	0.0%
	15	93.3%	6.7%	6.7%	20.0%	33.3%	33.3%	40.0%	13.3%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	166	85.5%	13.9%	8.4%	15.7%	27.7%	45.8%	41.1%	6.6%	8.4%	16.9%	2.4%	5.4%	1.2%
	103	85.4%	10.7%	9.7%	23.3%	35.9%	33.0%	39.9%	5.8%	4.9%	18.4%	0.0%	5.8%	3.9%
	9	100.0%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	167	64.7%	13.8%	6.0%	21.0%	16.2%	24.0%	31.7%	4.2%	3.0%	13.8%	0.0%	12.6%	16.2%
	9	77.8%	11.1%	33.3%	0.0%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%
	61	72.1%	16.4%	9.8%	23.0%	21.3%	13.1%	36.1%	4.9%	3.3%	16.4%	0.0%	16.4%	8.2%
	5	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%
	71	60.6%	5.6%	1.4%	15.5%	15.5%	19.7%	28.2%	1.4%	1.4%	9.9%	0.0%	9.9%	26.8%
	393	76.3%	13.0%	6.4%	18.6%	23.2%	29.5%	37.2%	4.8%	4.6%	14.0%	0.8%	8.7%	9.9%
	93	59.1%	11.8%	3.2%	17.2%	19.4%	29.0%	30.1%	3.2%	3.2%	15.1%	0.0%	14.0%	15.1%
	111	82.9%	9.0%	13.5%	19.8%	34.2%	33.3%	36.9%	5.4%	6.3%	18.9%	1.8%	9.9%	3.6%
	31	74.2%	16.1%	9.7%	6.5%	12.9%	16.1%	22.6%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	16.1%
	102	67.6%	13.7%	8.8%	17.6%	26.5%	26.5%	32.4%	2.9%	3.9%	16.7%	2.0%	11.8%	12.7%
	189	77.2%	19.6%	8.5%	23.3%	22.8%	22.8%	37.6%	6.3%	5.3%	15.3%	1.6%	8.5%	10.6%
	166	74.7%	8.4%	5.4%	13.9%	22.9%	36.7%	36.1%	3.6%	4.8%	12.7%	0.0%	9.6%	9.6%
	24	79.2%	8.3%	8.3%	25.0%	29.2%	37.5%	45.9%	4.2%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30	72.3%	3.3%	0.0%	23.3%	26.7%	33.3%	26.7%	3.3%	3.3%	6.7%	0.0%	3.3%	16.7%
	51	80.4%	3.9%	9.8%	13.7%	31.4%	37.3%	35.3%	5.9%	7.8%	19.6%	0.0%	15.7%	0.0%
	29	82.8%	10.3%	6.9%	20.7%	27.6%	37.9%	44.8%	6.9%	3.4%	27.6%	0.0%	3.4%	6.9%
	37	67.6%	10.8%	8.1%	5.4%	10.8%	13.5%	21.6%	2.7%	2.7%	10.8%	2.7%	10.8%	16.2%
	399	72.2%	13.5%	6.5%	19.8%	20.8%	27.8%	36.8%	4.5%	4.0%	14.5%	0.3%	9.8%	11.5%
	193	81.3%	9.8%	8.8%	16.6%	32.6%	34.7%	34.2%	5.2%	6.2%	16.6%	2.1%	9.8%	4.1%
	36	69.4%	11.1%	8.3%	5.6%	13.9%	19.4%	25.0%	2.8%	2.8%	8.3%	2.8%	2.8%	22.2%

問 18 長崎市では、配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者からの様々な暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を防止するための広報・啓発を行っています。あなたはそれを知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。（単数選択）

暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を防止するための広報・啓発の認知度について、「知らない」と答えた人の割合が58.1%と半数を超えており、「知っている」と回答した割合は26.2%、「わからない」が15.8%であった。

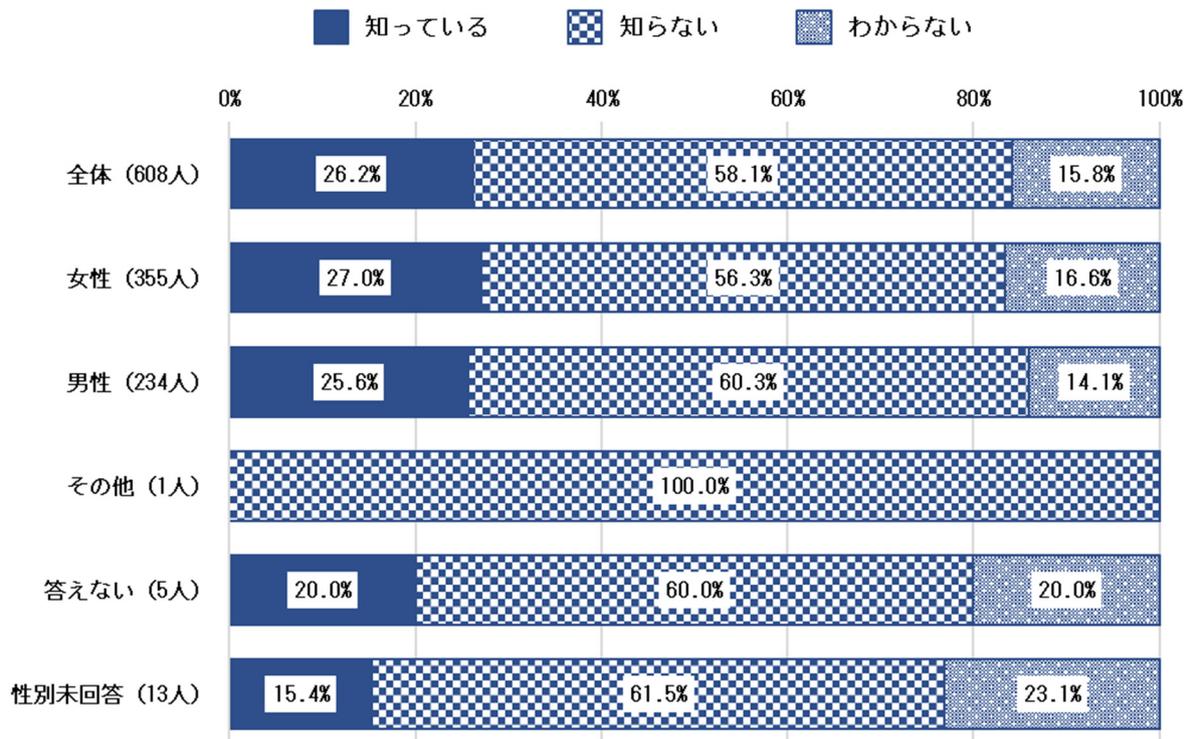
性別で見ると、「知っている」と答えた割合は、『女性』が27.0%、『男性』が25.6%でほぼ同じ割合であったが、「知らない」と答えた人の割合は、『女性』が56.3%、『男性』が60.3%で、『男性』が4.0ポイント上回った。

年代別にみると、『18～19歳』と『20代』の認知度が他の年代と比べて低い。なお、『60代』は「知っている」が30.8%で最も高く、「知らない」が53.1%で最も低い割合であった。

問 18 回答結果

	知っている	知らない	わからない
全体（608人）	26.2%	58.1%	15.8%
女性（355人）	27.0%	56.3%	16.6%
男性（234人）	25.6%	60.3%	14.1%
その他（1人）	0.0%	100.0%	0.0%
答えない（5人）	20.0%	60.0%	20.0%
性別未回答（13人）	15.4%	61.5%	23.1%
18～19歳（5人）	0.0%	80.0%	20.0%
20代（32人）	12.5%	62.5%	25.0%
30代（56人）	21.4%	62.5%	16.1%
40代（93人）	23.7%	62.4%	14.0%
50代（98人）	30.6%	60.2%	9.2%
60代（130人）	30.8%	53.1%	16.2%
70代以上（186人）	26.9%	54.8%	18.3%
年代未回答（8人）	12.5%	75.0%	12.5%

問 18 回答結果



問 18 クロス集計

		標本数	知っている	知らない	わからない	未回答	
全体		628	25.3%	56.2%	15.3%	3.2%	
F1. 性別	女性	369	26.0%	54.2%	16.0%	3.8%	
	男性	236	25.4%	59.7%	14.0%	0.8%	
	その他	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	答えない	5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	
	未回答	17	11.8%	47.1%	17.6%	23.5%	
F2. 年代別	18～19歳	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	
	20代	32	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	
	30代	56	21.4%	62.5%	16.1%	0.0%	
	40代	93	23.7%	62.4%	14.0%	0.0%	
	50代	98	30.6%	60.2%	9.2%	0.0%	
	60代	136	29.4%	50.7%	15.4%	4.4%	
	70代以上	197	25.4%	51.8%	17.3%	5.6%	
	未回答	11	9.1%	54.5%	9.1%	27.3%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	3	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	12	25.0%	66.7%	8.3%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）	役員・管理職	34	23.5%	64.7%	11.8%	0.0%
		専門・技術職	91	30.8%	56.0%	12.1%	1.1%
		事務職	53	35.8%	50.9%	13.2%	0.0%
		販売・サービス・保安職	65	20.0%	64.6%	13.8%	1.5%
		農林漁業職	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%
		未回答	15	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）の 勤務形態	正規の職員・従業員	166	29.5%	59.0%	10.8%	0.6%
		非正規の職員・従業員 （パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	103	28.2%	53.4%	17.5%	1.0%
		未回答	9	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	167	26.9%	49.7%	18.6%	4.8%
		無職－学生	9	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%
		無職－その他	61	24.6%	59.0%	16.4%	0.0%
未回答		5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	
未回答		71	12.7%	53.5%	19.7%	14.1%	
F4. 未婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	27.2%	56.5%	13.7%	2.5%	
	離別・死別	93	22.6%	50.5%	21.5%	5.4%	
	未婚	111	22.5%	61.3%	15.3%	0.9%	
	未回答	31	19.4%	51.6%	16.1%	12.9%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	24.5%	55.9%	15.7%	3.9%	
	本人と配偶者のみ	189	29.1%	56.6%	11.6%	2.6%	
	本人と配偶者、子ども	166	22.9%	56.6%	18.1%	2.4%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	24	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	
	本人と子ども	30	23.3%	53.3%	16.7%	6.7%	
	本人と親	51	13.7%	66.7%	19.6%	0.0%	
	その他	29	34.5%	44.8%	17.2%	3.4%	
	未回答	37	18.9%	54.1%	16.2%	10.8%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	399	26.3%	54.6%	15.5%	3.5%	
	いない	193	23.3%	61.7%	14.0%	1.0%	
	未回答	36	25.0%	44.4%	19.4%	11.1%	

8. その他

問19 男女共同参画に関する講座や講演会を受講したことがありますか。
(複数選択・あてはまるものすべて)

男女共同参画に関する講座や講演会の受講について、全体では、「参加したことがない」と答えた人の割合が88.0%を占めた。

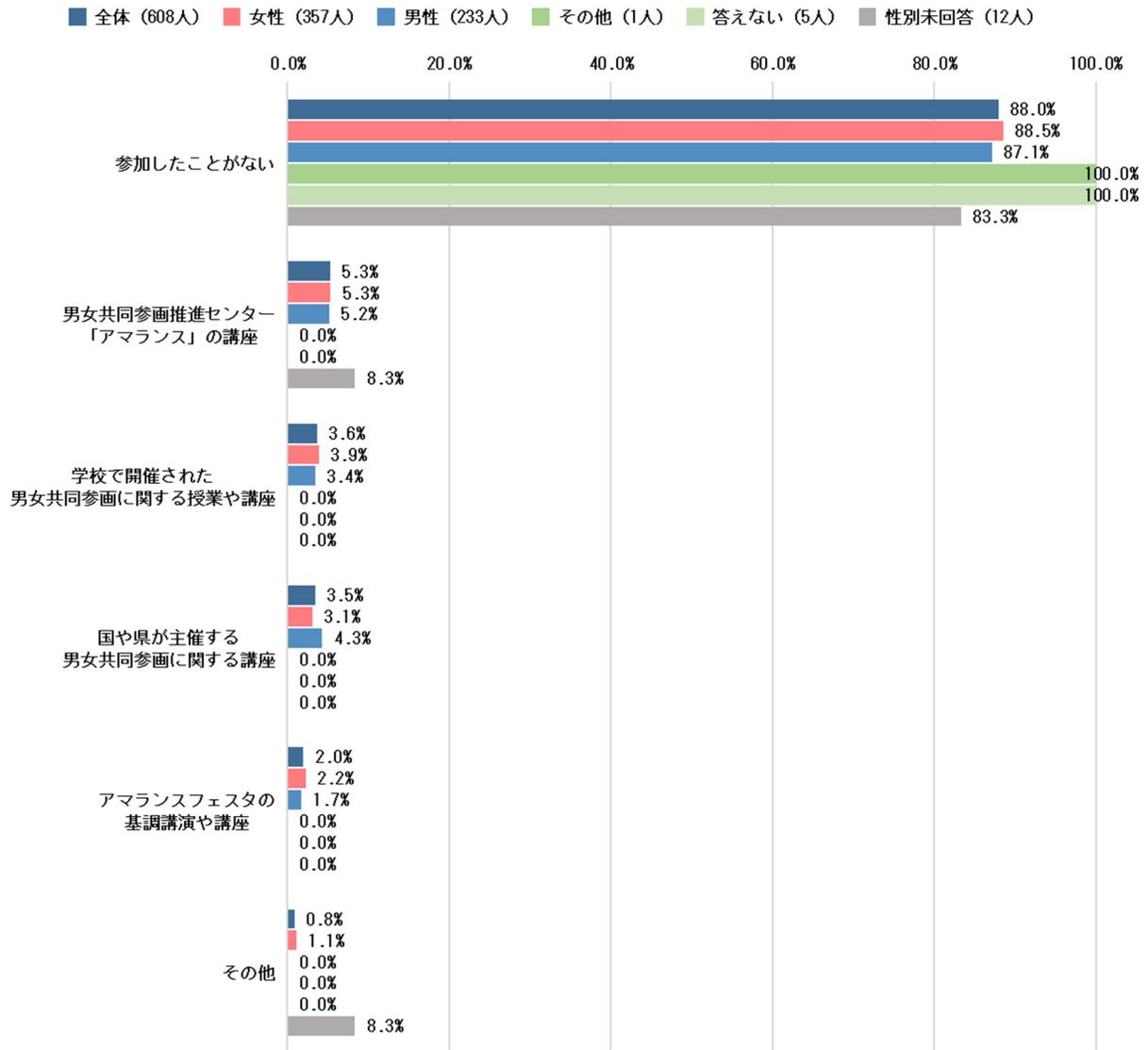
性別でみると「参加したことがない」と答えた割合は、『女性』が88.5%で『男性』が87.1%とほぼ同じであった。各講座に参加したことがある割合も、『女性』、『男性』ともほぼ同じであるが、「国や県が主催する男女共同参画に関する講座」と答えた人の割合は『女性』が3.1%、『男性』が4.3%であり、『男性』が1.2ポイント高い。

年代別では、「参加したことがない」と答えた割合が、『18～19歳』は60.0%、『20代』は74.2%であり、他の年代と比べて割合が低く、「学校で開催された男女共同参画に関する授業や講座」に参加した割合は、『18～19歳』が40.0%、『20代』が22.6%で、他の年代より高くなっている。

問19 回答結果

	参加したことがない	男女共同参画推進センター「アマランス」の講座	学校で開催された男女共同参画に関する授業や講座	国や県が主催する男女共同参画に関する講座	アマランスフェスタの基調講演や講座	その他
全体 (608人)	88.0%	5.3%	3.6%	3.5%	2.0%	0.8%
女性 (357人)	88.5%	5.3%	3.9%	3.1%	2.2%	1.1%
男性 (233人)	87.1%	5.2%	3.4%	4.3%	1.7%	0.0%
その他 (1人)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない (5人)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別未回答 (12人)	83.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
18～19歳 (5人)	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代 (31人)	74.2%	0.0%	22.6%	3.2%	0.0%	0.0%
30代 (56人)	87.5%	5.4%	5.4%	1.8%	0.0%	0.0%
40代 (93人)	92.5%	3.2%	0.0%	3.2%	2.2%	0.0%
50代 (97人)	87.6%	6.2%	3.1%	3.1%	2.1%	0.0%
60代 (133人)	84.2%	6.8%	3.8%	5.3%	3.0%	2.3%
70代以上 (185人)	91.9%	5.9%	1.1%	3.2%	2.2%	0.5%
年代未回答 (8人)	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%

問 19 回答結果



問 19 クロス集計

		標本数	男女共同 参画推進 センター「ア マラス」の 講座	アマラン スフェス タの基調 講演や講 座	国や県が 主催する 男女共同 参画に関 する講座	学校で開 催された 男女共同 参画に関 する授業 や講座	その他 (具体的 に)	参加した ことがな い	未回答	
全体		628	5.1%	1.9%	3.3%	3.5%	0.8%	85.2%	3.2%	
F1. 性別	女性	369	5.1%	2.2%	3.0%	3.8%	1.1%	85.6%	3.3%	
	男性	236	5.1%	1.7%	4.2%	3.4%	0.0%	86.0%	1.3%	
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	答えない	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	未回答	17	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	58.8%	29.4%	
F2. 年代別	18～19歳	5	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
	20代	32	0.0%	0.0%	3.1%	21.9%	0.0%	71.9%	3.1%	
	30代	56	5.4%	0.0%	1.8%	5.4%	0.0%	87.5%	0.0%	
	40代	93	3.2%	2.2%	3.2%	0.0%	0.0%	92.5%	0.0%	
	50代	98	6.1%	2.0%	3.1%	3.1%	0.0%	86.7%	1.0%	
	60代	136	6.6%	2.9%	5.1%	3.7%	2.2%	82.4%	2.2%	
	70代以上	197	5.6%	2.0%	3.0%	1.0%	0.5%	86.3%	6.1%	
	未回答	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	63.6%	27.3%	
F3. 職業別	自営業者（経営者）	農業、林業、漁業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	19	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	94.7%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	12	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%
	家族従業者	農業、林業、漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		商工業、製造業、サービス業	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
		自由業（開業医、弁護士等）	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）	役員・管理職	34	2.9%	0.0%	2.9%	5.9%	0.0%	85.3%	2.9%
		専門・技術職	91	6.6%	1.1%	5.5%	6.6%	0.0%	83.5%	0.0%
		事務職	53	5.7%	5.7%	0.0%	11.3%	0.0%	81.1%	0.0%
		販売・サービス・保安職	65	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	95.4%	1.5%
		農林漁業職	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		生産・輸送・建設・労務職	19	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		未回答	15	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.3%	0.0%
	雇用されている者 （役員を含む）の 勤務形態	正規の職員・従業員	166	4.8%	1.8%	3.6%	7.8%	0.0%	83.1%	0.6%
		非正規の職員・従業員 （パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）	103	2.9%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	95.1%	1.0%
		未回答	9	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%
	無職	無職－主婦・主夫	167	6.6%	3.0%	6.0%	2.4%	1.8%	83.8%	3.6%
		無職－学生	9	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
無職－その他		61	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.4%	3.3%	
未回答		5	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	
未回答		71	5.6%	1.4%	2.8%	1.4%	1.4%	74.6%	14.1%	
F4. 未既婚別	結婚している（事実婚を含む）	393	5.6%	2.0%	3.8%	3.3%	0.8%	85.5%	2.0%	
	離別・死別	93	6.5%	2.2%	2.2%	0.0%	2.2%	84.9%	6.5%	
	未婚	111	0.0%	0.0%	1.8%	8.1%	0.0%	87.4%	2.7%	
	未回答	31	12.9%	6.5%	6.5%	0.0%	0.0%	74.2%	9.7%	
F5. 世帯の構成	単身世帯	102	2.9%	1.0%	2.0%	3.9%	1.0%	84.3%	6.9%	
	本人と配偶者のみ	189	6.9%	2.6%	4.8%	2.6%	1.1%	84.7%	2.6%	
	本人と配偶者、子ども	166	4.8%	1.2%	3.6%	4.2%	0.6%	84.9%	1.2%	
	本人と配偶者、子ども 父や母（三世帯世帯）	24	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	87.5%	0.0%	
	本人と子ども	30	6.7%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	83.3%	6.7%	
	本人と親	51	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	94.1%	0.0%	
	その他	29	3.4%	3.4%	3.4%	6.9%	3.4%	82.8%	3.4%	
	未回答	37	8.1%	5.4%	2.7%	0.0%	0.0%	81.1%	8.1%	
F6. お子さんの有無 （成人しているお子さん、 別居しているお子さん含む）	いる	399	6.3%	2.3%	3.5%	3.0%	1.0%	84.2%	3.3%	
	いない	193	2.1%	0.5%	3.1%	5.2%	0.5%	88.6%	1.6%	
	未回答	36	8.3%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%	77.8%	11.1%	

問 20 長崎市が行っている男女共同参画に関する広報・啓発を知っていますか。
(複数選択・あてはまるものすべて)

長崎市が行っている男女共同参画に関する広報・啓発の認知度については、「広報ながさき」と答えた人の割合が40.6%で最も高く、次いで「知らない」が27.9%であった。なお、「知らない」以外で、「広報ながさき」に続く割合の高いものとして、「ポスター・ちらし」が9.1%、「長崎市ホームページ（男女共同参画のページ）」が6.6%、「男女共同参画推進センター「アマランス」の講座」が5.8%であった。

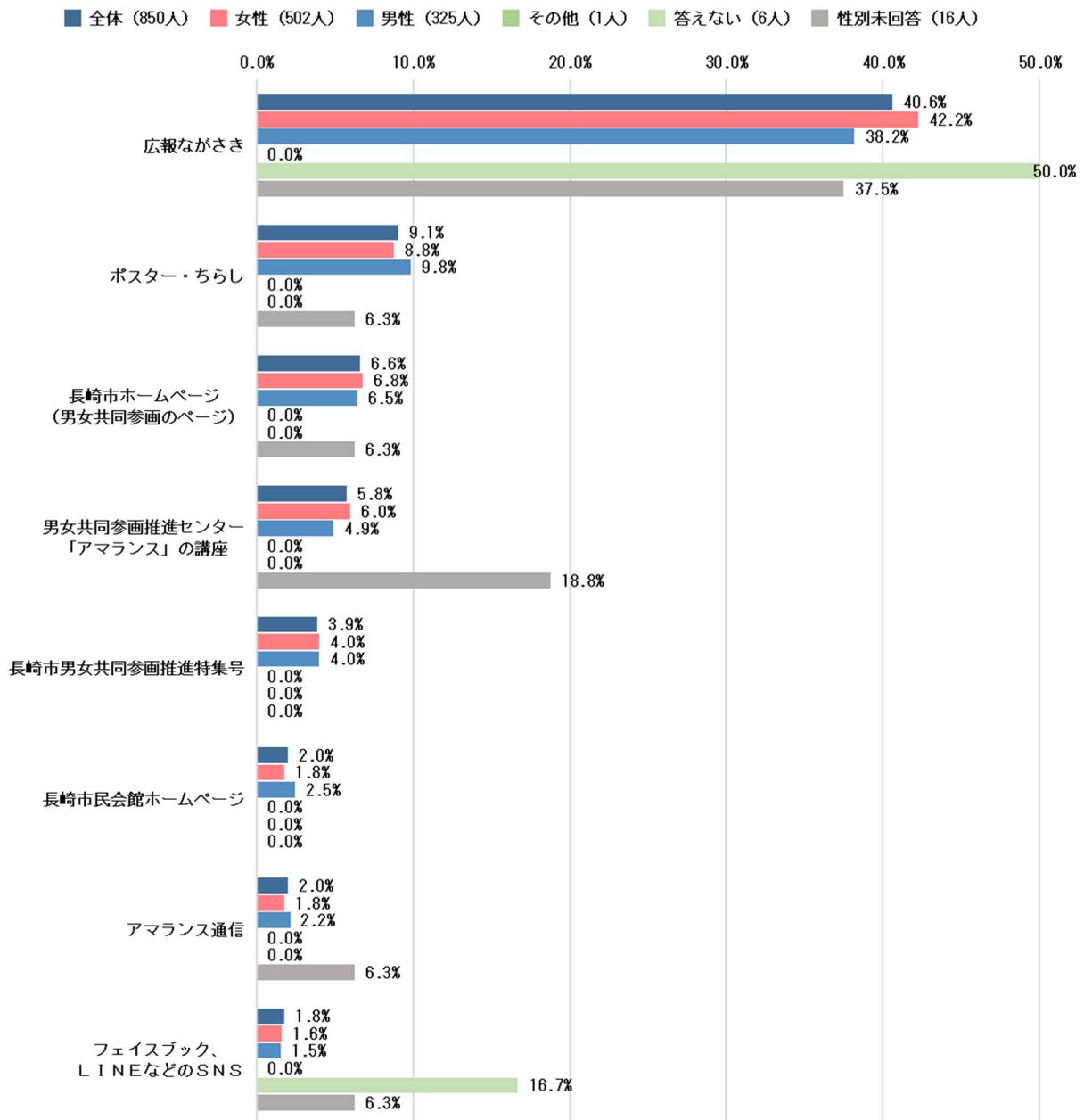
性別でみると、「知らない」と答えた人の割合は、『女性』が26.5%、『男性』が30.2%で『男性』が3.7ポイント上回った。また、「広報ながさき」と答えた人の割合は、『女性』が42.2%、『男性』が38.2%で、『女性』が4.0ポイント上回った。

年代別では「長崎市ホームページ（男女共同参画のページ）」と答えた割合が『18～19歳』が0.0%、『70代以上』は3.9%であり、他の年代より低くなっている。また、「広報ながさき」と答えた割合は、『60代』以上の年代で40%を超えている。

問 20 回答結果

	広報ながさき	ポスター・ちらし	長崎市ホームページ（男女共同参画のページ）	男女共同参画推進センター「アマランス」の講座	長崎市男女共同参画推進特集号	長崎市民会館ホームページ	アマランス通信	フェイスブック、LINEなどのSNS	知らない	その他
全体（850人）	40.6%	9.1%	6.6%	5.8%	3.9%	2.0%	2.0%	1.8%	27.9%	0.5%
女性（502人）	42.2%	8.8%	6.8%	6.0%	4.0%	1.8%	1.8%	1.6%	26.5%	0.6%
男性（325人）	38.2%	9.8%	6.5%	4.9%	4.0%	2.5%	2.2%	1.5%	30.2%	0.3%
その他（1人）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
答えない（6人）	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%
性別未回答（16人）	37.5%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%
18～19歳（5人）	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%
20代（38人）	31.6%	7.9%	10.5%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	47.4%	0.0%
30代（75人）	32.0%	6.7%	8.0%	9.3%	4.0%	2.7%	0.0%	1.3%	36.0%	0.0%
40代（128人）	32.0%	8.6%	7.8%	4.7%	2.3%	2.3%	1.6%	4.7%	34.4%	1.6%
50代（140人）	37.9%	8.6%	5.7%	8.6%	2.1%	2.1%	3.6%	2.1%	29.3%	0.0%
60代（194人）	43.3%	9.3%	9.3%	6.2%	5.7%	1.0%	2.1%	0.0%	22.7%	0.5%
70代以上（259人）	48.6%	10.8%	3.9%	3.9%	5.0%	2.3%	1.9%	1.5%	21.6%	0.4%
年代未回答（11人）	36.4%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	27.3%	0.0%

問 20 回答結果



問20 クロス集計

	標本数	広報ながさき	長崎市男女共同 参画推進特委号	長崎市ホームページ(男 女共同参画のページ)	男女共同参画推進センター 「アマランス」の講座	長崎市居全館 ホームページ	アマランス通信	ポスター・ちらし	フェイスブッ ク、LINEな どのSNS	知らない	その他	未回答
	868	39.7%	3.8%	6.5%	5.8%	2.0%	2.0%	8.8%	1.7%	27.3%	0.5%	2.1%
	512	41.4%	3.9%	6.6%	5.9%	1.8%	1.8%	8.6%	1.6%	26.0%	0.6%	2.0%
F1. 性別	327	37.9%	4.0%	6.4%	4.9%	2.4%	2.4%	9.8%	1.5%	30.0%	0.3%	0.6%
	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	6	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	22	27.3%	0.0%	4.5%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%	4.5%	13.6%	0.0%	27.3%
	5	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%
	38	31.6%	0.0%	10.5%	0.0%	2.6%	2.6%	7.9%	0.0%	47.4%	0.0%	0.0%
	75	32.0%	4.0%	8.0%	9.3%	2.7%	2.7%	6.7%	1.3%	36.0%	0.0%	0.0%
F2. 年代別	129	31.8%	2.3%	7.8%	4.7%	2.3%	2.3%	8.5%	4.7%	34.1%	1.6%	0.8%
	141	37.6%	2.1%	5.7%	8.5%	2.1%	3.5%	8.5%	2.1%	29.1%	0.0%	0.7%
	197	42.6%	5.8%	9.1%	6.1%	1.0%	2.0%	9.1%	0.0%	22.3%	0.0%	1.5%
	270	46.7%	4.8%	3.7%	3.7%	2.2%	1.9%	10.4%	1.5%	20.7%	0.4%	4.1%
	13	30.8%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	15.4%
	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	21	28.6%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	4.8%
	15	33.3%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	40.0%	6.7%	0.0%
	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	46	34.8%	2.2%	8.7%	2.2%	4.3%	2.2%	6.5%	2.2%	37.0%	0.0%	0.0%
	130	36.9%	0.8%	11.5%	9.2%	1.5%	1.5%	9.2%	2.3%	30.0%	0.0%	0.0%
	89	32.6%	6.7%	4.5%	11.2%	2.2%	3.4%	13.5%	3.4%	21.3%	1.1%	0.0%
	91	37.4%	4.4%	5.5%	5.5%	4.4%	4.4%	8.8%	2.2%	30.8%	0.0%	0.0%
	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30	40.0%	3.3%	16.7%	3.3%	6.7%	6.7%	10.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	21	47.6%	4.8%	9.5%	9.5%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	19.0%	0.0%	0.0%
	249	32.5%	4.0%	8.8%	7.8%	2.8%	2.8%	9.6%	2.8%	29.7%	0.4%	0.0%
	145	44.8%	2.1%	9.0%	4.8%	3.4%	3.4%	7.6%	1.4%	23.4%	0.0%	0.0%
	14	28.6%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
	231	46.3%	5.6%	4.3%	5.2%	1.7%	1.7%	9.1%	0.4%	21.6%	0.4%	3.0%
	9	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
	82	45.1%	4.9%	6.1%	3.7%	0.0%	0.0%	9.8%	2.4%	25.6%	0.0%	2.4%
	6	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	90	35.6%	2.2%	3.3%	5.6%	1.1%	3.3%	6.7%	3.3%	30.0%	0.0%	8.9%
	551	42.1%	3.8%	6.4%	6.0%	1.6%	2.2%	9.4%	1.6%	25.0%	0.7%	1.1%
	126	37.3%	4.8%	4.8%	5.6%	1.6%	1.6%	7.9%	2.4%	27.0%	0.0%	7.1%
	142	31.7%	2.8%	8.5%	3.5%	2.1%	2.1%	8.5%	1.4%	40.1%	0.0%	1.4%
	49	42.9%	4.1%	6.1%	8.2%	6.1%	6.1%	6.1%	2.0%	16.3%	0.0%	2.0%
	137	35.8%	3.8%	6.8%	3.8%	2.2%	2.2%	9.5%	0.7%	31.4%	0.0%	5.1%
	267	43.8%	5.6%	6.7%	4.5%	1.1%	2.2%	10.9%	1.5%	22.1%	0.7%	0.7%
	224	41.1%	1.8%	5.4%	7.8%	4.4%	2.2%	6.3%	1.8%	29.9%	0.4%	1.3%
	45	33.3%	4.4%	15.6%	8.9%	4.4%	2.2%	11.1%	4.4%	15.6%	0.0%	0.0%
	40	42.5%	2.5%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	15.0%	2.5%	22.5%	0.0%	5.0%
	62	30.6%	3.2%	3.2%	1.6%	3.2%	0.0%	6.5%	3.2%	48.4%	0.0%	0.0%
	38	34.2%	2.6%	7.9%	10.5%	7.9%	0.0%	7.9%	0.0%	31.6%	2.6%	2.6%
	55	41.8%	5.5%	5.5%	7.3%	3.6%	5.5%	5.5%	1.8%	18.2%	0.0%	5.5%
	569	41.7%	4.4%	6.0%	6.3%	1.8%	2.3%	9.8%	1.4%	23.7%	0.4%	2.3%
	245	34.3%	2.4%	7.8%	3.7%	2.0%	0.4%	7.3%	2.0%	38.4%	0.0%	0.8%
	54	44.4%	3.7%	5.6%	7.4%	3.7%	5.6%	5.6%	3.7%	14.8%	0.0%	5.6%

問 21 「男女共同参画社会」の実現に向けて、今後、行政はどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。(複数選択・あてはまるものすべて)

「男女共同参画社会」の実現に向けて、今後、行政はどのようなことに力をいれていくべきかについて、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」と答えた人の割合が、57.7%で最も高く、「職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する」が43.3%、「法律や制度の面で見直しを行う」及び「学校教育や社会教育等の生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実させる」が41.3%で続く。

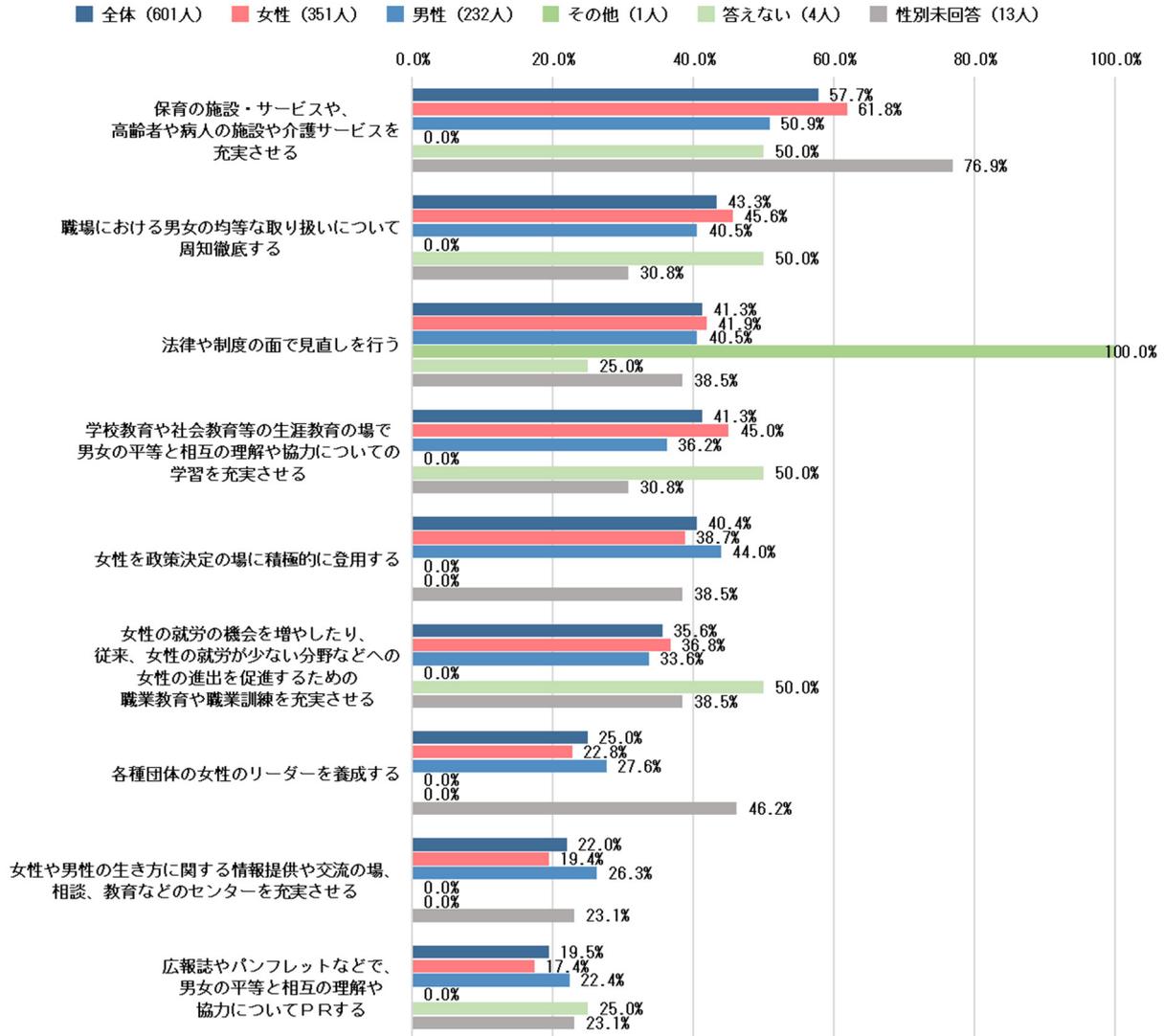
性別では、『女性』と『男性』ともに「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」の割合が最も高い。なお、次点は、『女性』が「職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する」(45.6%)であるのに対し、『男性』は「女性を政策決定の場に積極的に登用する」(44.0%)であった。

年代別でみると、「女性の就労の機会を増やしたり、従来、女性の就労が少ない分野などへの女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実させる」について、『40代』が43.5%で最も高い割合であった。また、「広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする」と答えた割合が『60代』以上は20%を超えており、他の年代よりも高くなっている。

問 21 回答結果

	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる	職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する	法律や制度の面で見直しを行う	学校教育や社会教育等の生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実させる	女性を政策決定の場に積極的に登用する	女性の就労の機会を増やしたり、従来、女性の就労が少ない分野などへの女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実させる	各種団体の女性のリーダーを養成する	女性や男性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実させる	広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする	特になし	分からない	その他
全体 (601人)	57.7%	43.3%	41.3%	41.3%	40.4%	35.6%	25.0%	22.0%	19.5%	1.5%	7.0%	1.0%
女性 (351人)	61.8%	45.6%	41.9%	45.0%	38.7%	36.8%	22.8%	19.4%	17.4%	0.9%	8.5%	0.3%
男性 (232人)	50.9%	40.5%	40.5%	36.2%	44.0%	33.6%	27.6%	26.3%	22.4%	2.6%	5.2%	1.7%
その他 (1人)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えない (4人)	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
性別未回答 (13人)	76.9%	30.8%	38.5%	30.8%	38.5%	38.5%	46.2%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
18～19歳 (5人)	40.0%	20.0%	60.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代 (32人)	46.9%	62.5%	50.0%	34.4%	37.5%	31.3%	18.8%	25.0%	3.1%	0.0%	15.6%	0.0%
30代 (56人)	58.9%	51.8%	32.1%	48.2%	41.1%	25.0%	17.9%	25.0%	14.3%	1.8%	7.1%	1.8%
40代 (92人)	51.1%	41.3%	43.5%	33.7%	38.0%	43.5%	22.8%	22.8%	14.1%	2.2%	3.3%	2.2%
50代 (97人)	59.8%	44.3%	52.6%	48.5%	39.2%	38.1%	29.9%	15.5%	13.4%	3.1%	6.2%	1.0%
60代 (131人)	63.4%	47.3%	45.8%	54.2%	43.5%	38.2%	27.5%	24.4%	21.4%	0.8%	6.9%	0.0%
70代以上 (180人)	56.7%	35.6%	31.1%	31.7%	40.6%	31.7%	23.9%	21.1%	27.8%	1.1%	8.3%	1.1%
年代未回答 (8人)	87.5%	37.5%	50.0%	12.5%	37.5%	62.5%	62.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 21 回答結果



第4章 基礎数値

単純集計の結果を以下に示す。単数回答の設問には文末に（S A）、複数回答の設問には文末に（MA）と記している。また、表の「全体」は不明（未回答）を含めた数値（%）であり、「除不」は不明（未回答）を除外した数値（%）である。

1 男女共同参画に関する意識について

問1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどう思いますか。次の1～6の中から、あなたの考えにもっとも近いものを1つだけ選んで○で囲んでください。（S A）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 そう思う	15	2.4	2.4
2 どちらかといえばそう思う	54	8.6	8.8
3 どちらともいえない	106	16.9	17.2
4 どちらかといえばそう思わない	97	15.4	15.7
5 そう思わない	332	52.9	53.8
6 わからない	13	2.1	2.1
不明	11	1.8	
N (%ベース)	628	100	617

問2 今後、社会のあらゆる分野で、男女が対等な立場でともに参画していくためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の1～8の中から、あなたが必要だと思うものを2つまで選んで○で囲んでください。（MA）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 法律や制度の見直しを行い、男女が対等になるよう改めること	192	30.6	31.2
2 性別による様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること	352	56.1	57.1
3 女性の意識向上や、知識・技術を習得するなど力の向上を図ること	156	24.8	25.3
4 女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	237	37.7	38.5
5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用すること	138	22.0	22.4
6 特に必要なことはない	23	3.7	3.7
7 わからない	31	4.9	5.0
8 その他	27	4.3	4.4
不明	12	1.9	
N (%ベース)	628	100	616

問3 今後、男女共同参画社会を進めるために、女性が増えた方がよいと思う職業や役職などはどれですか。次の1～13の中から、2つまで選んで○で囲んでください。(MA)

項目	件数	(全体)%	(除不)%
1 都道府県、市(区)町村の首長	205	32.6	33.1
2 国会議員、都道府県議会議員、市(区)町村議会議員	263	41.9	42.4
3 都道府県、市(区)町村の審議会等の委員	68	10.8	11.0
4 国家公務員・地方公務員の管理職	99	15.8	16.0
5 裁判官、検察官、弁護士、医師	94	15.0	15.2
6 大学教授	15	2.4	2.4
7 企業の経営者・管理職	166	26.4	26.8
8 労働組合の幹部	39	6.2	6.3
9 農協・漁協の役員	7	1.1	1.1
10 自治会長	27	4.3	4.4
11 特にない	70	11.1	11.3
12 わからない	63	10.0	10.2
13 その他	16	2.5	2.6
不明	8	1.3	
N(%ベース)	628	100	620

問4 次の1～8の男女共同参画に関する言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉をすべて選んで○で囲んでください。(MA)

項目	件数	(全体)%	(除不)%
1 男女共同参画社会	434	69.1	71.6
2 女性活躍推進法	274	43.6	45.2
3 アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)	98	15.6	16.2
4 固定的な性別役割分担	210	33.4	34.7
5 配偶者からの暴力(DV=ドメスティック・バイオレンス)	534	85.0	88.1
6 セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	545	86.8	89.9
7 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	353	56.2	58.3
8 性的少数者	383	61.0	63.2
9 見たり聞いたりしたものはない	7	1.1	1.2
不明	22	3.5	
N(%ベース)	628	100	606

2 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問5 生活の中での「家庭生活」「仕事」「地域活動」の優先度について、「1 あなたの希望・理想」と「2 あなたの現状・現実」について、それぞれア～クの中からあなたにあてはまるものを1つ選んで○で囲んでください。（SA）

1 あなたの希望・理想

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア 家庭生活を優先	155	24.7	26.3
イ 仕事を優先	14	2.2	2.4
ウ 地域活動を優先	4	0.6	0.7
エ 家庭生活と仕事をともに優先	259	41.2	43.9
オ 仕事と地域活動をともに優先	10	1.6	1.7
カ 家庭生活と地域活動をともに優先	32	5.1	5.4
キ 家庭生活、仕事、地域活動をいずれも優先	84	13.4	14.2
ク わからない	32	5.1	5.4
不明	38	6.1	
N (%ベース)	628	100	590

2 あなたの現状・現実

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア 家庭生活を優先	203	32.3	34.5
イ 仕事を優先	153	24.4	26.0
ウ 地域活動を優先	3	0.5	0.5
エ 家庭生活と仕事をともに優先	138	22.0	23.5
オ 仕事と地域活動をともに優先	4	0.6	0.7
カ 家庭生活と地域活動をともに優先	18	2.9	3.1
キ 家庭生活、仕事、地域活動をいずれも優先	23	3.7	3.9
ク わからない	46	7.3	7.8
不明	40	6.4	
N (%ベース)	628	100	588

問6 一般的に、女性が職業を持つことについて、どのように思いますか。次の1～8の中から、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んで○で囲んでください。(S A)

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 女性は職業を持たない方がよい	0	0.0	0.0
2 結婚するまでは、職業を持つ方がよい	4	0.6	0.7
3 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい	10	1.6	1.6
4 仕事と家庭生活の両立ができるのであれば、職業をもつ方がよい	329	52.4	53.9
5 子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい	60	9.6	9.8
6 結婚、出産、育児にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい	170	27.1	27.9
7 わからない	19	3.0	3.1
8 その他	18	2.9	3.0
不明	18	2.9	
N (%ベース)	628	100	610

問7 育児休業取得率は、令和4年度長崎県労働実態等調査によると、女性の91.4%に対し男性は16.3%と、男性の取得率は増加傾向にあるものの、女性に比べて男性の制度利用はなかなか進んでいません。その理由としてどのようなことが考えられますか。次の1～7の中から、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んで○で囲んでください。(S A)

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 職場の理解が得られないから	232	36.9	38.6
2 昇進や昇給に影響する恐れがあるから	42	6.7	7.0
3 取得後の職場復帰への不安があるから	87	13.9	14.5
4 経済的に影響があるから	122	19.4	20.3
5 周囲に利用した男性がいないから	62	9.9	10.3
6 女性のほうが育児に向いているから	27	4.3	4.5
7 その他	29	4.6	4.8
不明	27	4.3	
N (%ベース)	628	100	601

問8 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の1～13の中から、必要だと思うものを2つまで選んで○で囲んでください。(MA)

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	192	30.6	31.3
2 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	31	4.9	5.1
3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	239	38.1	39.0
4 年配者やまわりの人が夫婦間における家事等の役割分担について、当事者の考え方を尊重すること	77	12.3	12.6
5 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること	156	24.8	25.4
6 労働時間短縮や休暇制度、柔軟な勤務制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	216	34.4	35.2
7 男性が家事や子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと	73	11.6	11.9
8 国や自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護などの技能を高めること	36	5.7	5.9
9 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)づくりをすすめること	36	5.7	5.9
10 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	50	8.0	8.2
11 特に必要なことはない	11	1.8	1.8
12 わからない	28	4.5	4.6
13 その他	16	2.5	2.6
不明	15	2.4	
N (%ベース)	628	100	613

3 家庭生活の中での男女共同参画について

問9 現在ご結婚されているかた(事実婚を含む)におたずねします。あなたの家庭では、実際にどなたが次の1～9までの役割を行っていますか。それぞれア～オの中から当てはまるものを1つ選んで○で囲んでください。(SA)

1 掃除

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	238	60.6	62.5
イ おもに夫が行っている	24	6.1	6.3
ウ 夫婦共同で行っている	117	29.8	30.7
エ 夫婦以外の人が行っている	2	0.5	0.5
オ ア～エどれにも当てはまらない	0	0.0	0.0
不明	12	3.1	
N (%ベース)	393	100	381

2 洗濯

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	279	71.0	72.7
イ おもに夫が行っている	22	5.6	5.7
ウ 夫婦共同で行っている	80	20.4	20.8
エ 夫婦以外の人が行っている	3	0.8	0.8
オ どれにも当てはまらない	0	0.0	0.0
不明	9	2.3	
N (%ベース)	393	100	384

3 食事の支度、あとかたづけ

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	264	67.2	68.6
イ おもに夫が行っている	15	3.8	3.9
ウ 夫婦共同で行っている	99	25.2	25.7
エ 夫婦以外の人が行っている	5	1.3	1.3
オ どれにも当てはまらない	2	0.5	0.5
不明	8	2.0	
N (%ベース)	393	100	385

4 育児（子どもがいる人のみ）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	97	30.8	52.7
イ おもに夫が行っている	1	0.3	0.5
ウ 夫婦共同で行っている	68	21.6	37.0
エ 夫婦以外の人が行っている	0	0.0	0.0
オ どれにも当てはまらない	18	5.7	9.8
不明	131	41.6	
N (%ベース)	315	100	184

5 子どもの教育（子どもがいる人のみ）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	82	26.0	44.3
イ おもに夫が行っている	2	0.6	1.1
ウ 夫婦共同で行っている	81	25.7	43.8
エ 夫婦以外の人が行っている	2	0.6	1.1
オ どれにも当てはまらない	18	5.7	9.7
不明	130	41.3	
N (%ベース)	315	100	185

6 家族の介護や病人の世話

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	113	28.8	34.1
イ おもに夫が行っている	13	3.3	3.9
ウ 夫婦共同で行っている	99	25.2	29.9
エ 夫婦以外の人が行っている	11	2.8	3.3
オ どれにも当てはまらない	95	24.2	28.7
不明	62	15.8	
N (%ベース)	393	100	331

7 家計の管理

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	248	63.1	64.9
イ おもに夫が行っている	52	13.2	13.6
ウ 夫婦共同で行っている	78	19.8	20.4
エ 夫婦以外の人が行っている	0	0.0	0.0
オ どれにも当てはまらない	4	1.0	1.0
不明	11	2.8	
N (%ベース)	393	100	382

8 地域活動（自治会・PTA活動など）への参加

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	163	41.5	45.3
イ おもに夫が行っている	64	16.3	17.8
ウ 夫婦共同で行っている	72	18.3	20.0
エ 夫婦以外の人が行っている	3	0.8	0.8
オ どれにも当てはまらない	58	14.8	16.1
不明	33	8.4	
N (%ベース)	393	100	360

9 家庭問題における最終的な決定

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
ア おもに妻が行っている	46	11.7	12.3
イ おもに夫が行っている	108	27.5	28.9
ウ 夫婦共同で行っている	213	54.2	57.0
エ 夫婦以外の人が行っている	0	0.0	0.0
オ どれにも当てはまらない	7	1.8	1.9
不明	19	4.8	
N (%ベース)	393	100	374

4 職業生活の中での男女共同参画について

問 10 職業をお持ちのかたにおたずねします。あなたは、今の職場の仕事内容や待遇の面で、性別を理由とした男女間の差があると思いますか。次の1～11の中から、あてはまるものを2つまで選んで○で囲んでください。(MA)

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 差はない	137	43.5	46.9
2 正社員の中でも賃金に差がある	45	14.3	15.4
3 昇進、昇格に差がある	47	14.9	16.1
4 能力が正当に評価されない	29	9.2	9.9
5 性別を理由に補助的な仕事しかやらせてもらえない	14	4.4	4.8
6 役員・管理職等への登用が性別で偏っている	21	6.7	7.2
7 結婚、妊娠・出産などがあると仕事を続けにくい雰囲気がある	28	8.9	9.6
8 性別により、定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	7	2.2	2.4
9 能力や技能向上の教育・訓練を受ける機会が少ない	18	5.7	6.2
10 わからない	47	14.9	16.1
11 その他	8	2.5	2.7
不明	23	7.3	
N (%ベース)	315	100	292

問 11 性別にかかわらず、各自の能力を発揮していきいきと働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の1～11の中から、あなたが必要だと思うものを2つまで選んで○で囲んでください。(MA)

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 同じ価値のある仕事については、パート・正社員で差をつけずに同じ賃金にする	221	35.2	37.3
2 短時間勤務制度など柔軟な勤務制度を整備し、地域活動や家庭生活などの時間を確保できる仕組みをつくる	214	34.1	36.1
3 職場の意思決定の場に女性を積極的に参加させる	90	14.3	15.2
4 お茶くみ、コピーとりなど補助的な仕事は、男女の別なく行う	85	13.5	14.4
5 育児休業制度や介護休業制度を男性・女性ともに取得しやすい環境を整える	198	31.5	33.4
6 職場でハラスメント防止の人権教育を実施する	55	8.8	9.3
7 昇給・昇格の条件となる教育・研修などは男性・女性の区別なく平等に受けられるようにする	152	24.2	25.7
8 企業・事業所に対する男女共同参画についての広報・啓発を積極的に行う	34	5.4	5.7
9 特にない	23	3.7	3.9
10 わからない	27	4.3	4.6
11 その他	11	1.8	1.9
不明	36	5.7	
N (%ベース)	628	100	592

5 地域活動などでの男女共同参画について

問 12 あなたが参加している地域活動（自治会、PTA活動など）での現状について、次の1～11の中から、あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。（MA）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 催し物の企画など、重要なことを決定する機会に女性が少ない	71	11.3	12.1
2 会議や行事などの準備や片付け等は、女性がやる慣行がある	103	16.4	17.6
3 団体の会長に男性がつき、女性は補助的役職につく傾向がある	183	29.1	31.2
4 女性が発言しにくい雰囲気がある	29	4.6	4.9
5 女性が役員につきたがらない	116	18.5	19.8
6 日常の活動に男性の参加が少ない	125	19.9	21.3
7 女性が少ないため歓迎される	5	0.8	0.9
8 女性のほうが積極的で活発である	59	9.4	10.1
9 特に男女差はない	83	13.2	14.2
10 わからない	198	31.5	33.8
11 その他	29	4.6	4.9
不明	42	6.7	
N（%ベース）	628	100	586

問 13 女性が自治会長などの地域活動における役職についたり、活動の意思決定の場へ参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の1～7の中から、あなたが必要だと思うものを2つまで選んで○で囲んでください。（MA）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 女性が役職につくことに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	181	28.8	30.0
2 女性が役職につくことに対する男性の抵抗感をなくすこと	213	33.9	35.3
3 女性が役職につくことに対する必要性についての啓発や情報提供、研修等を行うこと	73	11.6	12.1
4 女性が役職につくことに対して、周囲の人の支援や協力が得られるようにすること	318	50.6	52.6
5 特に必要なことはない	61	9.7	10.1
6 わからない	100	15.9	16.6
7 その他	11	1.8	1.8
不明	24	3.8	
N（%ベース）	628	100	604

6 防災対策における男女共同参画について

問 14 大規模な災害時へ備えるには、女性の視点での意見も必要となります。今後、男女がともに安心・安全な防災体制を整えるためには、どのような取り組みが必要だと思えますか。次の1～10の中から、あなたが必要だと思うものを2つまで選んで○で囲んでください。(MA)

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 防災関係者に対する男女共同参画の意識づくり	120	19.1	19.8
2 防災に関する計画に女性の視点からの意見を反映させる	175	27.9	28.8
3 女性の意見を反映させるための仕組みづくりや防災会議の委員への女性の積極的な登用	164	26.1	27.0
4 防災に関わる職域への女性の参画拡大や女性リーダーの育成	95	15.1	15.7
5 防災に関する研修会などの学習機会の提供	112	17.8	18.5
6 男女がともに安全・安心に利用できる避難所運営マニュアルの作成	242	38.5	39.9
7 災害時の相談窓口体制の確立	108	17.2	17.8
8 特に必要なことはない	14	2.2	2.3
9 わからない	50	8.0	8.2
10 その他	3	0.5	0.5
不明	21	3.3	
N (%ベース)	628	100	607

7 男女共同参画を阻害する暴力について

問 15 あなたは、配偶者や恋人など親密な関係にある(あった)者からの暴力(DV=ドメスティック・バイオレンス)や、その被害について、見たり聞いたりしたことがありますか。次の1～7の中から、あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。(MA)

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 身近に被害を受けた人がいる	91	14.5	14.9
2 身近な人から暴力被害について相談されたことがある	39	6.2	6.4
3 テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	474	75.5	77.5
4 見たり聞いたりしたことはない	148	23.6	24.2
5 自分自身が被害にあっている	16	2.5	2.6
6 その他	11	1.8	1.8
7 わからない	39	6.2	6.4
不明	16	2.5	
N (%ベース)	628	100	612

問 16 次の1～11の中から、あなたが配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者からの暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）に含まれると思うものをすべて選んで○で囲んでください。（MA）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 殴る、ける	377	60.0	81.6
2 殴るふりや刃物などを使っておどす	350	55.7	75.8
3 相手が嫌がっているのに性的行為を強要する	356	56.7	77.1
4 避妊に協力しない	319	50.8	69.0
5 相手が嫌がっているのに性的な映像・雑誌などを見せる	305	48.6	66.0
6 長期間、無視する	308	49.0	66.7
7 相手の行動を監視したり、交友関係を制限して干渉する	328	52.2	71.0
8 相手のプライドが傷つくようなことを言う	354	56.4	76.6
9 大声でどなる	372	59.2	80.5
10 物をこわす	339	54.0	73.4
11 生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかける	337	53.7	72.9
不明	166	26.4	
N (%ベース)	628	100	462

問 17 次の1～12の中から、配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者から、さまざまな暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を受けたときの相談窓口として、あなたが知っているものをすべて選んで○で囲んでください。（MA）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 警察	470	74.8	83.0
2 法務局・人権擁護委員	77	12.3	13.6
3 裁判所	46	7.3	8.1
4 長崎県弁護士会	113	18.0	20.0
5 民間の機関（DV防止の啓発やDV被害者支援等の活動を行う団体）	151	24.0	26.7
6 長崎県子ども・女性・障害者支援センター	185	29.5	32.7
7 長崎市役所（アマランス相談・市民相談）	222	35.4	39.2
8 DV相談プラス	29	4.6	5.1
9 DV相談ナビ#8008・はれれば	29	4.6	5.1
10 性暴力相談支援センター「サポートながさき」	93	14.8	16.4
11 その他の機関	6	1.0	1.1
12 知らない・わからない	59	9.4	10.4
不明	62	9.9	
N (%ベース)	628	100	566

問 18 長崎市では、配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者からの様々な暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を防止するための広報・啓発を行っています。あなたはそれを知っていますか。次の1～3の中から、あてはまるものを1つ選んで○で囲んでください。（SA）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 知っている	159	25.3	26.2
2 知らない	353	56.2	58.1
3 わからない	96	15.3	15.8
不明	20	3.2	
N (%ベース)	628	100	608

8 その他

問 19 男女共同参画に関する講座や講演会を受講したことがありますか。次の1～6の中から、あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。（MA）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 男女共同参画推進センター「アマランス」の講座	32	5.1	5.3
2 アマランスフェスタの基調講演や講座	12	1.9	2.0
3 国や県が主催する男女共同参画に関する講座	21	3.3	3.5
4 学校で開催された男女共同参画に関する授業や講座	22	3.5	3.6
5 その他	5	0.8	0.8
6 参加したことがない	535	85.2	88.0
不明	20	3.2	
N (%ベース)	628	100	608

問 20 長崎市が行っている男女共同参画に関する広報・啓発を知っていますか。次の1～10の中から、あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。（MA）

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 広報ながさき	345	54.9	56.6
2 長崎市男女共同参画推進特集号	33	5.3	5.4
3 長崎市ホームページ（男女共同参画のページ）	56	8.9	9.2
4 男女共同参画推進センター「アマランス」の講座	49	7.8	8.0
5 長崎市民会館ホームページ	17	2.7	2.8
6 アマランス通信	17	2.7	2.8
7 ポスター・ちらし	77	12.3	12.6
8 フェイスブック、LINEなどのSNS	15	2.4	2.5
9 知らない	237	37.7	38.9
10 その他	4	0.6	0.7
不明	18	2.9	
N (%ベース)	628	100	610

問 21 「男女共同参画社会」の実現に向けて、今後、行政はどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。次の1～12までの中から、あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。(MA)

項 目	件数	(全体)%	(除不)%
1 法律や制度の面で見直しを行う	248	39.5	41.3
2 女性を政策決定の場に積極的に登用する	243	38.7	40.4
3 各種団体の女性のリーダーを養成する	150	23.9	25.0
4 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する	260	41.4	43.3
5 女性の就労の機会を増やしたり、従来、女性の就労が少ない分野などへの女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実させる	214	34.1	35.6
6 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる	347	55.3	57.7
7 学校教育や社会教育等の生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実させる	248	39.5	41.3
8 女性や男性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実させる	132	21.0	22.0
9 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする	117	18.6	19.5
10 特にない	9	1.4	1.5
11 分からない	42	6.7	7.0
12 その他	6	1.0	1.0
不明	27	4.3	
N (%ベース)	628	100	601

第5章 記述データ

問22 長崎市で「男女共同参画社会」を実現するため、あなたのアイデアやご意見などをお聞かせください。

- ・ 高齢男性、特に権力を持つ議員や役所、企業幹部への正しい知識を持つための研修
(性別未記入・40代)
- ・ 子育てや介護等を社会としてバックアップする体制が必要。女性の社会参加が広がれば、もっと暮らしやすい長崎市になるはず。(女性・60代)
- ・ 男女平等の言葉や見え方が優先され、女性の頭数合わせ施策は論点がズレていると感じる。出産という身体の作りが違う女性を男性と同等に考えることに無理があることを男女共に理解しなければいけないと思う。その上で平等に近く扱うためには制度・施設などの行政の在り方が重要。(女性・50代)
- ・ 男性が子育てを自分ごととして捉えるようになれば、社会も変わっていくのではないかと思います。(男性・40代)
- ・ 男性、女性問わず、今は育休自体は、取れやすくなっていると、思います。会社が、有休処理するだけだし。(女性・40代)
- ・ まず問題なのは、何においても賃金が少ないということです。これは男女ともに言えますが、そもそも性別関係なく給料が安すぎるのが大問題です。
長崎は特にヒドすぎる。
家賃も高ければガソリン代も高すぎますし、生活の中で必ず必要なものにかかる割合が大きいです。全体的に賃金が上がれば、女性も出産等でキャリアが途絶えても職種を選ばなくてもよくなるので再就職しやすくなります。
女性が出産等で仕事を辞めなくて良いようにするためには、やはり出産や産休・育休の給付をもっと充実させる必要がありますが、そもそも賃金がしっかりとあればそれは問題ではなくなります。
長崎駅周辺の開発でどの程度のリターンがあるかわかりませんが、市民にきちんと還元していただけるのでしょうか？
幸町のスタジアムなんてスポーツ好きにしか興味ありませんし、北部との道路を作るためにいろいろな施設を壊すなど市民の声をちゃんと聞いていると言えますか？
こうやってお伝えしていることに対してしっかり真摯に受け止めていただけるような態度がなければ、どうしてもまだ男性上位社会である中で男女共同参画などは無理があるように思いま

す。長崎市はまず無駄なプライドを捨て、本当に必要なものを見極めて行政を行っていく必要があるのではないのでしょうか。(男性・30代)

- ・基本的に平等にするのは良いと思いますが、職種にもよると思います。
なかなか難しい問題だと思います。(男性・50代)
- ・男性、女性では得意とするものが違うと思う。性別だけでなく人それぞれでも得意なものは違う。なので、女性にも男性と同じ役割をと言われても、ピンとこないのが本音である。志が高い人ならば実現するために自身で動いているのではないかと思う。
ニュースなどを見ていたら、年配の世代に男尊女卑の考えが残っていると思う。なので、そのような年配の方を役職に登用している限り男女共同参画社会の実現は難しいのではないかと思う。女性には出産もある。私も出産し育休を取得したが、自分の給料は6割保証なので、主人が休めば収入は激減、休んでほしいとは思わなかった。育児休暇を取れるようになっていても、実際に取らなかつたらと思う。それは、育児は女性がとか言う意識の問題ではなく、金銭的な問題が大きい。(女性・40代)
- ・関東から来ましたが、長崎では、表だつてはいないものの潜在的に特に中高年年輩の方々を中心に、まだまだ性別による役割意識が関東の比ではないレベルで根強く残っていることを感じています。これでは若い方々が益々減るのではないのでしょうか。中高年以上の方の意識を変えるのは容易ではないと思いますが、そういった方々をターゲットに広報やメディア経由で、もっと啓発された方が良いかと…。(女性・40代)
- ・国や自治体が制度を変えたり、啓発していることは知っているが、実際は浸透していない。
※大企業や大きい法人は多少反映されているが…
もっと個人事業や小さい法人でも浸透させる政策が必要だと思う。
苦しんでいる人はたくさんいます。(女性・30代)
- ・実現以前に何が問題で不平等であるか明確にするべき。
政治家になろうと、専業主婦、専業主夫になろうと個人の自由であり、配分を操作しようとするのは社会主義的である。
仕事内容と労働時間に対する報酬に性差があるなら労働関連法の問題であり新法は不要。
ジェンダーギャップ指数は活動家の飯の種でありセミナー、マニュアル、広報に税金を投じて幸せになるのは特定の団体だけ。
当事者の意見を置き去りにしているのはLGBT界限と同じ。
根拠なく法律、教育に軽々しく手を加えるのは論外で愚行。
あと「7男女共同参画を阻害する暴力について」の意味する男女共同参画ってなんですか？暴行傷害は刑事、離婚は民事で裁判可能です。無理やり男女共同参画に結び付けるのはDV関連の利権でもあるのかと疑いますね。(男性・40代)

- ・管理職等の役職には、最低 50%の女性比率にする。(男性・40代)
- ・色々とされているかと思いますが、大人になった人の考えを変えるのは難しいと思います。必要なのは教育だと思います。義務教育の段階で、子ども達にこれから目指す社会のあり方に1人ひとりがどう考えていくのか教育していくことが大切だと思います。
無闇に女性のリーダーを掲げても、結局、皆が目指す方向が同じでないとこれまでのやり方に流されて社会は変わらないと思います。
人間は付度する生き物で、どんなに素晴らしい人でも、そうなる事があるのに、能力がない人が上に立つと、結局世の中は変わらない。市民が不幸になるだけです。
女性のリーダーを掲げる事が目標になり、社会の変革が蔑ろになるのは本末転倒です。
惰性でされている活動など、一度棚卸しされてはどうでしょうか。税金の無駄です。
ただでさえ子育てしづらい、暮らしにくい町だと感じているので、誰もが住みやすい社会を早急に作る事、男性女性関係なく、大きく舵を切れる人材を育てること、それが人口減少しているながさきの生き残る術ではないでしょうか。(女性・40代)
- ・他県から夫の郷里に移住してきた者です。地域性もあるのではないかと思います男女自認する性別関係なく人として対等であるという感覚が薄いと感じます。ただ、それを表明すると、よそ者なのにということを夫にも言われます。共に中高年なので、特に考え方が変わるようになるには難しいかなと思います。若い世代は子育て等も男女関係なく携わっている印象があるので、いきなりは効果はでなくても地道に考え方を教えていけるように教育現場等で浸透するのが良いのかなと。後は、何はともあれ議員等数の差を無くすことから始めて、サポートも充実させ、継続できるようにしていくことでしょうか。(女性・40代)
- ・子育て世代の私たちにとってまだまだ育児休暇や、子の看護休暇を男性が取りにくいように感じる。子育ては女の仕事ではないので、女の仕事というような風習を変えてほしい。また、女性でも正社員としてバリバリ働くこの世の中。少子化を問題としているわりに子供ができて、子育てしにくい現実にある。子供の体調不良で休みをもらいにくい雰囲気もあり、もっと子育てしやすい環境を整えて欲しい。(女性・30代)
- ・PTA役員で副会長をしていますが、会長職は男性、副会長や庶務会計は女性、という状況です。属人ではなく、世帯で担う考えもあってよいのではと思います。(男性・40代)
- ・育児休暇や時短などサービスを利用している時に経済的にサポートしてもらうのが必要だと思う。(男性・60代)
- ・男女共同参画社会…ずいぶん長いこと取り組んできて、ようやく浸透してきたと感じています。男性だから女性だからという考え方もなくなりつつあるように思います。次のステップとして、子育て世代、介護世代の共同参画を期待します。現状、子育て世代にばかり焦点が当て

られているような気がします。コロナが蔓延した時に親の介護のため休まなければならなかった時、何の補助もなかったのはとても残念でした。(女性・40代)

- ・中小企業では人的余力がなく、次元を飛び越えた検討であり、論外としか思わない。
もっと現実路線で足固めをすれば、個々の意識が自然と醸成されるのではないかと考えます
(男性・40代)
- ・まずは働き方改革で女性も活躍しやすい場を作る (女性・30代)
- ・お互い尊敬し合うことが大切だと思います。それぞれの良さを理解し合い、得意なところを得意な人がしていく世の中になれば男女関係ない社会になると思います。(女性・50代)
- ・こどもの頃からの意識づけで個々を取り巻く環境や社会で変化があると思います。育った場所や生まれた年で考え方に違いがあります。
結婚を機に子育てでの両親学級で父親ができることの確認が出来たら出産を控える妊婦はとても助かるとおもいます。両親学級も開催時間帯など日曜日や夕方開催してもらえるとありがたいです。
両親学級だけでなく衣食住をテーマにしたイベント(料理教室や収納、インテリアDIY教室など)も学びになると思います。
市役所だけでなく イベント広場などの活用もありなのかと。
未来をつくる長崎市であってほしいと思います。(女性・40代)
- ・子供が幼い時から男女平等、しかし男女の特性を活かした育て方を親ができるような啓蒙が必要ではないでしょうか。幼い時から男だから女だからで決められた事が多く、子供は、自然にそうあるべきと言う考えの中で育っていくような気がする。そういう障壁を取り払うためには簡単な事ではないけれど常に念頭に男女がそれぞれの個性を發揮できてお互いを補いながら進めていく道筋を作り続けていかなければならないと思う。
(女性・70代以上)
- ・学校教育に取り入れ男女だけではなく個人尊重の教育をしていく事が重要(性別・年代未記入)
- ・家事や育児などをある程度他人に任せても文句を言われたい、言わない社会。保育士やシッターの給料を上げるように行政が補助を充実させ人材の質を上げることで、安心して任せられるようにする。(男性・50代)
- ・賃金を上げる (男性・40代)

- ・ただ女性を起用したらいいわけではないと思います。男女関係なく、個人の能力で判断する。家庭の問題がある場合、男女関係なくフォローできることが望ましく、そう出来るなら仕事などに対してもっと能力も発揮しやすくなります。まず、男女平等に対して理解していない人が多すぎ。今回の質問にもいくつかそう感じる問がありました。まずはそこから。そして私達女性も頑張って、能力を高めたいと思います。能力が無いのにただ抜擢しても何も変わらない。男性の強み、女性の強みを理解して長崎が発展すれば良いですね。そう望みます。(女性・50代)
- ・男女共同参画社会については漠然としたイメージを皆さん持っていると思いますが、無条件に女性だからという理由で雇用を増やすことは同意できかねます。男性も努力していることは変わらないため、線引きは難しいと思いますが、平等な制度の確立をお願いします。学校教育の段階で生涯働き続けることができるという教育の増進が一番必要ではないかと思います。(男性・20代)
- ・ 1. 保育所、軽傷の病児保育所を充実させ、安心して働ける環境の整備
 2. 同一業務、同一賃金（男女及びパート、派遣、社員）の法制化
 3. 女性自身の意識改革（受動→能動へ）（男性・70代以上）
- ・問に対する回答が女性中心になっていて、何かおかしい。（参画社会だからかな？）いつこの統計結果を発表するのでしょうか。（男性・70代以上）
- ・一度男性に「主夫」をさせてみるのも良いと思う。家庭と仕事の両立がどんな大変なのか身をもって知って欲しい。
 女性が向上していくには育ってきた環境もあるので、まずは男性目線が変わっていかないといけないのではないかと思う。（女性・50代）
- ・女性を必要以上に優遇するのではなく、冷遇をしない。（男性・20代）
- ・明治以来の学歴尊重、男尊女卑、職業差別など日本人の意識が残っているので本当の民主主義の意識が浸透するのは、まだ50年はかかると考えています。
 女性自身の思考も変わり、（例えば足の引っ張り合い）など思考を変える必要があると考えるのです。そういう思考をもっと変える必要があると思う。（男性・70代以上）
- ・男性女性アンバランス バランスを整えればいい （男性・40代）
- ・妊娠や出産などは女性しかできないので、その事が職業や地域活動にあたる影響を少なくするために、男性がうまくサポートできる部分をしっかり行うことが当たり前になるような制度や風土が必要だと思う。（男性・40代）

- ・1985年に「男女雇用機会均等法」が施行され、男女平等という意識が生まれました。
 今だにこのようなアンケートが来るということは、まだ根が深い差別があるのかなあと残念に
 思います。
 女性の社会進出という言葉はもう古いし、実力さえあればどういうポストも用意されている環
 境はととのっていると感じます。しかし女性だからという甘えがあり、向上心やスキルを磨こ
 うとしない女性が多いのでは？女性が働くというスタートラインに立ってそこから動こうとし
 ない。男性は女性のそういうだらしなさに、昔ながらの上から目線で見下すような 社会になっ
 ていないのかなあ？「男女共同参画社会」は男女が平等に努力し、それぞれが尊重し合うこと
 から。それが課題解決の近道だと思います。(男性・70代以上)
- ・とにかくいろんな行事には必ず女性主体のリーダーを指名して、事を進めるようにする。
 (男性・70代以上)
- ・人が集まる機会(祭り、イベントなど)に、手渡しで広報誌やパンフレットを渡す。
 長崎市議会議員、長崎市の職員、まず足元の長崎市の関係から女性の人数増員するように、条
 例や法律を変えていく。(女性・60代)
- ・女性が働きやすく、なにより賃金UPしてほしい。(女性・40代)
- ・世代や固まった価値観がバラバラな為、大変ではあるが互いの立場に立って寄り添いあえる余
 裕のある社会を実現するのが一番早い気がします。
 「参画社会」だけを扱うと少子化は加速し他の問題につながったりもするので。まずは社会全
 体が「週4勤務」に対する理解を深める。もちろん不可能な職もありますが効率は悪くなる
 という古き考思を捨ててもらうことが重要だと思います。それを実現したところで別の問題が生
 じるのは目に見えていますが、それよりもまずは余裕のある時間を確保しないと変な思考しか
 生まれません。
 そうすれば優秀な人が就くべき役職に、性別で枠を作るといった意味不明なことをしなくなる
 でしょう。まずは余裕のある暮らし、お金というより時間の確保が重要だと思います。
 (男性・20代)
- ・男女の枠を50年後になくす(目標)/長崎市をすてきな場所に！(男性・50代)
- ・安定し、優れた女性をリーダーとしてあらゆる方面で育成していくのは大切だと思う。
 (女性・70代以上)
- ・「男女共同参画社会」が広く知れ渡ったことにより、以前と比べると男女ともに活躍できる環
 境になったと思う。だが、そのような社会を”つくるため”を目的として女性管理職を増や
 したり女性が働きやすい環境を急速に作ったりすることに対して少し違和感をいだいている。

たしかに大事だとは思いますが、無理に管理職へ昇進させられたり、有能な男性社員の活躍の場が失われたりする可能性があると思う。「男性だから／女性だから」ということではなく、フラットに「人として」能力や感性が高い人をのばしていくとよいのではと考えている。

(女性・20代)

- ・男性の時短制度も作る→育児、家事に参加
保育園の時間を少し長くしてほしい
時間も必要だがお金も必要
希望者の休日出勤制度も作ってほしい（平日、子の病気などで早退してしまったけど、どこかでその分カバーしたい方に）(女性・30代)

- ・2030年を達成年限とし、持続可能な開発目標（SDGs）がある。「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。17あるなかで「⑤ジェンダー平等を実現しよう」ジェンダー平等は女性が社会的に男性同様の力を持つための取り組みを意味するが、多様性社会でひとりひとりが生きやすい社会の活性化経済の活性化が必要と思う。ジェンダーギャップ指数（GGGI）日本の総合順位は146ヶ国中116位。（1位はアイスランド）政治分野139位、経済分野121位、健康分野63位、教育分野1位。（2022年7月発表）。毎年12月に発表されるそうですが今年はどうなっているのでしょうか？

(女性・70代)

- ・介護士が今から多くなるから、介護士などを公務員にしたらいいと思う。

(女性・70代以上)

- ・男女共同参画の概念は古い。しかも現状では過っている。成立したLGBT法の考えに従い、長崎市の取り組みも改革すべきと考える。（70代以上・男性）

- ・「知る」入口が少ない、見つからない、分かりづらい、そのため、問題に対する取り組みが…の前に問題そのものの具体例を誰でもオープンに知ることができるようにしないと現実味がわかず、他人事のようになってしまうので、もっと「知る」方法から広めてほしい。

(女性・40代)

- ・例えば、せっかく高い志を持って女性が自衛隊に入隊してもセクハラやモラハラなどで辞めてしまわなければいけないのはとても残念な事。どんなにセクハラは悪い事だと知っていても社会の根底には脈々と男性は女性をそういう風に扱ってもいいという考えが蔓延している。たぶんこれは永遠になくならないものだと思うけど、でもどうにかならないものか…。

(女性・50代)

- ・企業の幹部クラスにおける女性比率を半分にするなど、初期段階では強制的に女性活躍の場を

増やす…が必要と考える。働いている女性は損をするような税制上の対策も考えてみてはどうかと思う。(男性・50代)

- ・無理をせずに能力ある人を登用して、男女お互いの意見が出る社会とすべきだと思います。能力がない人（男女どちらでも）を登用するとトラブルの元になり本人も苦労します。数合わせはやめてリーダーを養成すべきだと思います。最近問題になった学校の合格※問題などもってのほかで「女性を落とす」などという事はこの社会から無くすべきだ。

※男女の数合わせ (男性・60代)

- ・男女で性格や特性に若干異なる面はあるが、お互いに助け合って、いろいろなことをしていくことが必要だと思います。(男性・60代)

- ・病児保育施設の充実 長時間保育施設の充実が必要だと思います。(女性・60代)

- ・特にない。誰の為の共同？何に役に立つのかわからない。(女性・70代以上)

- ・全般的に余り私には関係ないことが多かったのですが、市が頑張っておられるので、かげながら応援したいと思います。特にDVはダメです。人として男として最低です。(男性・60代)

- ・女性自身がしようと思わないと変えられない。(女性・40代)

- ・このアンケートを集約しても、紙上だけの事で終わっていると思う。スピードをもって解決するには、女性を登用すべき。長崎の中から女性の声を多く取り入れ、美しい住みやすい環境を日本のモデルとなる様急ぐべき。台所の中の細かいことなど男性は分からない。スピードを持って行動を起こす為に早く女性を表舞台に立たせるべき。市長も県長も女性！社長も校長も女性！男性は後で支えるべき。(女性・50代)

- ・長崎市でも臨時職員（パート）は大部分ほぼ女性であり、言っていることと、やっていることが矛盾している。あえて男性高齢者をパート採用してみてはどうか。(男性・50代)

- ・まずは長崎市役所が、手本となる組織になるべきだと思います。女性が長く働き続けられるように、男性も「残業をしない」「育休を取る」「介護を担う」等男性側の意識の変化がとても大切だと思います。(女性・30代)

- ・まず政治の透明化ではないでしょうか。(男性・40代)

- ・女性が働きやすいような環境づくりはもっと必要だと思います。昔と比べると結婚後も働く人

が増えてきた事はとても良い事だと思いますが、子供達のひきこもりなど問題も多いです。そういう子供達への援助やサポートも大事な問題だと思います。

(女性・70代以上)

- ・無理して男女対等にしないでよい。男性には男性の、女性には女性の役割がある。

(女性・60代)

- ・パワハラされてきました。私の子供達三人やられました。ゆるせないと思います。アルバイト生達が働いて、楽しいアルバイトした気持ちをとらえてやってもらいたい。※今は自分の子供は強くなって今は楽しくやっています。本人はストレスがなくなって、主婦、アルバイト、みんな仲良くやっています。変わってよかったです。たまには調査した方がいいと思います。お願いします。(女性・60代)

- ・男女が同じ数であることが平等だとは思いません。議員の数が、男が多いとか会社の役員の女が少ないとかではなく、その前の個々の考え方が大切だと思います。“男らしく女らしく”ということばも少し問題はあると思いますが、やはり男は力が強い人が多いし、女は弱い。ただそうでない人もいることを認める事が大切だと思うのですが…

(女性・70代以上)

- ・男女共同参画については日本がOECDの中で遅れている等云われており、長年女性にゲタをはかせようとか主婦を働かせようとしているのは知っていますが、それには反対です。男女機会平等や女性が色々な分野に自発的に行くことは大いに賛同しますが、個人の心情にまでふみこんで意識を変えようとする事には反対です。(女性・60代)

- ・具体的な事例を映像等わかりやすい媒体を通して、広報していく。(男性・70代以上)

- ・男女とも職場における理解協力が取りにくい空気があり、なかなか平等にはならないので中小こそ経営者の協力、理解が必要。(女性・50代)

- ・ジェンダーの多様性を平等にみとめる。(男性・60代)

- ・保育や介護のサービスを充実させて社会に出てゆく女性の支援 (女性・60代)

- ・男女の共同参画にせよ何にせよ、啓発とかリーダー育成に重点を置くと「やる気のある人」と「やる気のない人」との意識の格差が大きくなる。個人的な感想ではあるが、「前者」と「後者」はあまりわかりあえないので、少数の前者が多数の後者を引っばっていくと空中分解がちです。なので、積極的に何か施策するのであれば「後者」に対する深めの働きかけだろうし、逆に消極的な策としては、何かをしようとしている前者をジャマしない制度を作ったり、

物心両面で支援したり。結果的に「格差が開けど具体的な進展はない」となると思われることに注力すると費用対効果がよろしくないので、やるのであれば強めのアプローチであってほしい。(男性・40代)

- ・女性の中で意欲がある人に対しての相談窓口を設置して、男性と同じようなことが出来るように促す。(男性・40代)

- ・多様性をみとめ合い、思いやりのある社会を目指すには、やはり、教育の重要性を痛感します。未来の希望のためには、学校教育、社会教育に重点をおいて欲しいと思います。(女性・70代)

- ・今の若い方達は違うかも知れませんが、男性は家事を手伝うのではなく自分の分担として出来るようにならないといけない。夫に育休を取ってもらっても、女性が夫の世話が增えたような気分になるようでは何にもならない。男性だけの責任ではないとは思いますが。(女性・70代)

- ・男女共同参画社会と言っているが、10年前とそんなに変わっていない。教育訓練等では前進しない。法律改正が必要。女性が50%に達しない議会、委員会は認めないとするぐらいの荒治療が必要と思う。(男性・70代以上)

- ・女性の役職をつくるために能力がない人を役職につける事は良くないので、能力がある人を役職につけるようにしてほしい。(男性・50代)

- ・女性だけでなく、男性への差別にも目を向けるべき。(男性・30代)

- ・年配の方の昔ながらの固定観念をなくしたい。(女性・60代)

- ・昔からの慣習にとらわれてしまい、頭では分かっているけど、なかなか男だから、女だからという固定観念を口にしてしまう自分がいます。お互いの個性を尊重し、「認め合う事から始めないと」と思いますが、今の時代の多様性についていけない所も正直感じています。誰もが納得できる様な社会を創造する事は難しいですね。(女性・60代)

- ・(1) 市におかれては、これまで多くの市内企業や法人等を優良企業として表彰されていますが、そのような企業の現状や新たな課題・反省点などもご紹介頂くと、改善に取り組み中の多くの企業の参考になるのではと思います。また、市役所ご自身の具体的な取り組みなどあれば併せ紹介されると良いPRになると思います。

- ・(2) 長崎県も同様のテーマを掲げ啓蒙活動を行っていますが、県と市で活動がダブっていいないでしょうか。情報の分散による非効率性や無駄な出費を生まないようにご配慮とメッセージが必要かと思えます。さらに言えば、今回のご案内の活動は、県や市ごとのそれ

ぞれの取り組みではなく、複数の代表自治体を選んで、情報収集・ゴールの確認及び統一的な取り組み方針の策定などにつなげられてはいかがでしょうか。その方が国民・市民により強いメッセージを発信できるのではと思います。

- (3) 「男女共同参画」のスムーズな実現を阻む風土として、日本特有の男尊女卑文化が少なからず影響しているように感じます。欧米並みの男女平等意識をはぐくむには、職場での改革のみならず、学校や家庭においても、子供の意見や自主性がより尊重される風土が必要ではないでしょうか。手間と時間はかかりますが、海外（特に欧米）の実態なども調査いただき、参考にされては如何かと思います。(男性・70代以上)

- ・ 幼少期、小学生の頃からの教育。メディアにおける啓発。
日常生活において男女間のバイアスがかからない様な教育を行うこと。
被害に遭った方、(特に痴漢) 又は見てしまった方が、どうすべきかを促す広告をもっと広げるべきではないでしょうか。
中小企業においても、抜きうちで差別的な労働条件がないかなどチェックする機関を作るべきだと思います。(女性・50代)
- ・ 男女が…という前に、全国平均より低い賃金、全国平均より高い物価をどうにかしないと長崎市はダメだと思います。一般企業への働きかけをしっかりとやって下さい。
(性別未記入・40代)
- ・ 家事は女がするものという考えがまだまだあるし、男性からしてみれば専業主婦は楽だと思っている人が沢山いると思う。(特に年配の人) そういう考えを変えないと社会が女性に対しての対応も変わる事はないと思う。会社は能力よりも性別で採用している傾向がある感じがします。面接の時点で仕事もしていないのに決める事自体なにが分かるのか疑問に思います。まず雇用し採用・不採用を決めても良いのではと思います。採用され、仕事をしてみて自分に合ないとすぐ辞めたり、会社側も面接だけでは力を発揮出来る人は見抜けないのでは…と常々思っています。上に立つ者の考えが変わってほしいです。(女性・40代)
- ・ 市議に一定割合女性を入れましょう。そのための制度づくりに期待します。(男性・50代)
- ・ 生涯現役という考え方もあるが、古い考えのリーダーがいつまでもトップをつとめていると、変わるものも変わらない。そのようなリーダーこそ教育すべき。天下りも禁止すべき。
(性別・年代未記入)
- ・ 社会実験として、各業種での男性の育休取得と、役割分担の交差体験の実施。
法的割合で、事業者に実行させるのもやる事になる個人の意思の有無が影響するため、実行困難と思われる。強制的となる？
制度利用者への優遇制度の強化(モデル・パターンの制定) その後の保障制度。
(男性・50代)

- ・人口流出をくい止める魅力ある長崎市づくり。
男女ともに自分の能力や特性を生かして働きがいを感じることができる雇用先（会社、工場、事業所等々）の確保に努める。（男性・50代）
- ・SNSで発信する。（女性・40代）
- ・夫婦やカップルで揃って参加すると特典や優遇のあるイベントやセミナー。これからの高齢化社会、少子化に向けて男女が同等の権利を主張でき、介護や子育てを協力して行っていけるような風潮になるように教育や支援制度を設ける（市町村オリジナル）
3組に1組が離婚する時代<女性の自立支援>経済的困窮者や社会的弱者が自立して、経済的に豊かになれるよう手に職をつけるなどして、ひとり起業家になるための教育、技術習得、起業に向けての手続き支援、金銭的な補助など自立への道をつくってほしい。すでに起業で成功している方で組織を作ったかどうか。まず自分が自立することで、いずれは他者や社会に還元していくことができると思う。（女性・40代）
- ・年収の壁の撤廃。社内外で女性社員の意識教育の実施。企業人としての責任を負い、経験を経た後は管理者としてマネジメントを行う。（男性・60代）
- ・「男女共同参画社会」という言葉をよく耳にしますが、まだまだ時間が必要かと。70才の私には今だ男性が上、女性が下という思いがあります。これから先、女性にもっと活躍してほしいと強く願っています。長崎も女医さんが多くなったように感じます。質の高い知識、経験をもつ女性が長崎で誕生する事を願います。魅力的な長崎であってほしいです。（女性・70代）
- ・男性の料理教室を多く作ってほしい。そうすれば女性がいかに仕事して、家の事をして、料理の後片づけ迄が大変なのかを知ると思う。思いやりが双方に出て来ると思います。
（女性・60代）
- ・男女雇用機会均等法、男女共同参画社会とありますが、男女の差に昔よりは改善傾向にあるのかもしれませんが、現社会のあらゆる活動分野では男女平等とは言えず、男女がお互いを尊重し合う職場、社会とは言えないと思います。（女性の負担が多すぎる）
（女性・60代）
- ・今回市民意識調査票が届けられホームページ開いてみました。今後長崎市を住みやすい町にする為「人権男女共同参画室」で具体的に活動をされているのか関心をもっていきたいと考えます。（女性・60代）
- ・経済的な支援：女性の社会進出を支援するため、育児休暇制度や保育施設の増設など働きやすい環境整備が必要だと思います。

また、女性の起業を促進するための支援策や賃金面でのサポートも重要。

性別による差別の撤廃：長崎市では男女が平等な権利をもつようになるために、職場や学校、地域社会などで性別による差別を撤廃する取り組みが必要だと思う。啓発活動や意識改革の推進、差別を是正するための条例の整備などが必要です。(女性・20代)

- ・男女に限らず、性的少数者、高齢者、障害者、全ての人々が参画する共生社会で在ってほしい。弱者が暮らしやすい家庭や社会インフラ、働きやすい労働環境や処遇を整え、人々の理解と寛容を得て、不断の努力を継続する意思を持たねばならない。
 1. 人々が賛同できる未来社会のありようと目標を考える
 2. 人権、平等、公平、多様性、個の尊重等々の基本的観点から問題点を提起し整理して達成すべき目標とする。(男性・70代以上)
- ・「男はこうあるべきだ」「女性はこうあるべきだ」という固定観念を持つ我々世代も含め意識改革が必要性別にとらわれない教育が必要。(女性・60代)
- ・家庭、仕事、収入に余裕があつて初めて他人に対し思いやりや、施し等協力出来るのであつて、まず環境を築く事が第一と考える。(男性・70代以上)
- ・私は高齢なので、今から若い人が男女ともに生きやすい世の中を作れる様にお互いに努力して下さい。(女性・70代以上)
- ・広報誌、HP等でのPRの場を増やしていく。(女性・60代)
- ・子育てしながらの女性の正規職員はとても大変。実際夫や祖父母など身近な人の理解やサポートが必要。正規職員の早出、遅出、残業など子育て世代は悩みの一つ。又、子どもが病気の時に預ける病児保育の充実。しかし保育士(介護士も)の不足問題…(給与面で職を離れる人も多い→給与UP、支援が必要。)働き手がいないと保育園なども成り立たず、子育て支援につながらないと思う。(女性・30代)
- ・幼少期からのしつけを含めた家庭教育が必須。(男性・50代)
- ・教育の場で何を教わったかが、社会に出たり、高校、大学での男女の考え方や、差別の考え方がお互いに決まると思う。もっと授業で熟議をしてみたり、考える時間を与えるべきだと感じた。(女性・20代)
- ・男女ともに育休を取りやすい様、代わりに職務を担当してくれる人的なサポートの充実(産休育休代替の充実)またその制度をとり入れる企業、職場への金銭的補助。性別問わず、若い世

代の意見が取り入れられる職場、行政の体制。一部市議の性別差別意識の是正。(研修の充実) (女性・50代)

- ・女性の自立、意識の向上。女性の自立は経済力が必要で家庭、仕事の両立が出来る社会体制意識向上は世界、社会、家庭のあり方を考える。育児をないがしろにしない、育児は母親の分野(中学生頃から男性参加) 家庭が男女共同参加の基本だと思います。
日本の女性の意識向上がアップすれば社会が変わると思います。(女性・70代以上)
- ・啓発活動を行ってほしい (男性・60代)
- ・昭和世代の人達が今の時代の考えを受け入れて、今の世代の人には若い頃から「これからの社会について」もっと教えていく。(女性・30代)

「その他」記述された意見

問2 今後、社会のあらゆる分野で、男女が対等な立場でともに参画していくためには、どのようなことが必要だと思われますか。

- ・人類は女性から産まれるため女性を1番に尊重すること、男性側の妊娠出産育児への意識改善と勉強（男性・30代）
- ・男性の育児参加を支援（男性・40代）
- ・女性には仕事を続ける上で出産という大きな壁があります。正直現状の産休・育休の制度では全く足りていないので、まずはそこからかと思います。
（男性・30代）
- ・どこが対等でないか明確にするのが先。ジェンダー指数は科学的でないことが多い。
（男性・40代）
- ・男性の意識改革（女性・40代）
- ・男性も子育てに協力しやすいシステムが必要（女性・30代）
- ・性別に因らず、個の能力を重視した上で、公にとっての最大限の利益をなるべく個人の力が発揮できる社会を目指す。（男性・30代）
- ・106万円の壁を3倍くらいにする（男性・50代）
- ・実際に制度としてあっても、それを利用できない現状があるので、強制力のある程度持たせる必要があるとおもう。旦那の会社は三菱で大きい会社だが、大きくて古いが故に、昔の固定観念を平気で押し付けられるため、出産予定日前日に出張に行ってくれ、お産に男は必要ないからと言われた。（女性・20代）
- ・子育て支援だと思います。キャリアをとるか子供をとるか迷う女性は多いはずですが。私の周りにもいます。実際私はキャリアをとり、子どもは諦めました。産休育休制度があるとはいえ、職場に迷惑をかけると思うと気持ちよく休めませんし、復職してからも結局迷惑をかけることになると思います。子どもを持つ働く女性に対してもっと手厚いサポートがあれば、女性の社会進出も進むのではないかと思います。（女性・30代）
- ・妻が家庭の中に居ては夫と対等になれるのはおかしい。もうそんな時代ではないはず。この

質問自体女性を軽視していると思う。 選択の中に社会的なものしかないのはおかしい。
(女性・50代)

- ・女性自身が男性と違うという事を認めた上で行動、発言する事が対等になれると考える。
(女性・60代)
- ・女性考え方を女性の目線で考えましたとか、女性ならではの発言ですね。などほめた言葉を男性も女性も使ってほしくない。(女性・70代以上)
- ・平等に参画していくことは大変良いと思います。女性だから数合わせで参加させるのではなく、男女にとらわれずその個人の能力、実力があれば良いと考えます。女性もすごく考え方に賛同できる人がいますが、その能力をつぶす事がないように、政府、企業のトップも考えてほしい。ぜひとも女性を参加させる必要があるのか。特別扱いも少しおかしいと思います。
(女性・70代以上)
- ・専業主婦が大切な仕事であることを理解すること (男性・70代以上)
- ・本当に能力のある人を育て、重要な役職でも仕事ができる様にする。(男性・60代)
- ・無理して男女が対等にならなくても良い。(女性・60代)
- ・法や偏見は十分に尽くされているので、あとは夫々の分野の仕事の魅力を教育現場でおしえる。メディアで伝えるべき。(女性・60代)
- ・性別による給料の格差をなくすこと (女性・40代)
- ・無意識の偏見をなくす為、教育の現場から意識改革が必要。幼少期からの学習の充実
(女性・40代)
- ・子どもに鍵をもたせても、安心できる世の中になってほしい。家にいないと誰かが勝手に入ってくるので気持ち悪い。法律や制度の見直しよりもまず、基本の生活ができる世の中にしてほしい。鍵でなく物をつかって入ってきている人がいるのでやめてほしい。(性別未記入・40代)
- ・保育施設、学童、フリースクールの充実、利用費の軽減 (女性・40代)
- ・働き方改革。男性も、時短、定時で帰宅できるように (男性・40代)
- ・2つまで選ぶということが出来ません。何故2つまでなのでしょう。まずは正当な男女間の

資金格差を是正することだと思います。女性の社会的地位が低いというだけでなく、同じ職場、同じ職種であっても賃金格差があります。法律で厳しく罰するべきです(企業側に対してです) 上記で挙げられた具体策は全て地続きのはずです。長い目で見ればまずは幼児教育の段階から、特に男児に対して男女が平等に(社会的に)扱われるべきであることを学ばせなければならぬのではないのでしょうか。女性に優秀な方はたくさんいらっしゃいます。企業は能力で人を判断し、その人の人生において出産や育児があった場合は協力体制を整えておくべきです。(女性・50代)

- ・給与が上がってどちらか1人で生活が成り立てば、もうP8が家庭を中心にできるのでは。得意な方が、得意な方を受け持てば良いのでは？(性別未記入・40代)
- ・偏見がある限り改善しないと思う。(女性・40代)
- ・「男女共同参画」よく言われるが、一般の人が理解できる活動内容の表示をして欲しい。(女性・60代)

問3 今後、男女共同参画社会を進めるために、女性が増えた方がよいと思う職業や役職などはどれですか。

- ・男女関わらず能力がある人が相応の地位につけるようにすることが大事です。逆に能力のない人間がリーダーになっている等、おかしな人事が多いと思います。(男性・30代)
- ・全職業増えれば良いと思う(女性・40代)
- ・職業や役職関係なく、能力に応じた人間が携わることが重要だと考える。(男性・18~19歳)
- ・逆に男性が「専業主婦」というのが増える事も良いと思う。(女性・50代)
- ・正直女性側がその業務を望んでいるかが重要な為、どの職業が…とは言えない。枠を増やしても皆が避ける職もあるので性別の問題ではないと思う。(男性・20代)
- ・男女の差にかかわらず、適任な者がその職業や役職に就くこと(男性・70代以上)
- ・女性が増えるのではなく、平等であればそれでよい。数の問題ではない。その職業や役職等を選ぶ側の人の目が大切になる。数合わせではない。(女性・60代)

- ・どんな職業役職でも、慣習や固定的な社会通念等が変わらないかぎりには女性の活動は難しいと思うので選べない。(女性・40代)
- ・2つまで絞れない。どの分野も大事。(女性・60代)
- ・男女問わず、なりたい人がなりたい職につければよいので、特定の職を作為的に増やさなくてよい。(男性・40代)
- ・男女関係なく才能のある人がなったらいいと思います。(女性・70代以上)
- ・何故2つまでなののでしょうか。全てにおいて増えるべきではないですか。(女性・50代)
- ・優秀な人が役職につけば良いので男女は関係ない。この考え方がナンセンス、ありえない。(性別未記入・40代)
- ・働きたいと思う人を雇えばいいし、個人の自由 受け入れる会社が増えない限り無理だと思う(女性・40代)
- ・1～10 すべてに女性増えたほうがいい(女性・60代)

問6 一般的に、女性が職業を持つことについて、どのように思いますか。

- ・選択肢の内容、女性が家庭の事をするのが前提のように思う。各個人の考えと状況に応じていいのではと思う。(女性・50代)
- ・男女に関わらず、仕事・家庭・子供の優先したいものを優先した方がいい(女性・30代)
- ・価値観は様々なので持ちたい人は持てば良いし、持ちたくない人は持たなくても良いと思う。ただ、持ちたい人が持てなくなるような環境や社会情勢は改善する必要があると思う。(女性・30代)
- ・経済状況を踏まえて自由意思で職業を持てばよい。経済政策の問題は別の話。(男性・40代)
- ・仕事をするのが得意な人は職業をもてばよい。家庭を守るのが得意な人は主婦をするとよい。(男性・30代)
- ・女性がきちんと選択できる世の中になると良い(女性・40代)

- ・旦那と離婚した後のことを考えたりすると、女性はどうしても不利になるので離婚という選択肢もなかなか勇気がいるし、そういう意味でも自立のために職業を持った方がいいとは思いますが、実際には男女平等で女も働こう！という割に男も家事しよう！子育てしよう！は浸透できてないため、結局働きたくても働けないのが現状で、とにかく女の方は不利だと思う。(女性・20代)
- ・お金に余裕があるのであれば5番が理想です。(男性・40代)
- ・仕事したい人、育児を楽しみ専念したい人、それぞれの希望がかなう方が…(女性・50代)
- ・職を持つ、持たないは、その人の自由である(男性・40代)
- ・職業を持っていない女性も男性もいない。会社に勤めたり事業をしたり、家庭を持ったり。この職業の問い方は本文問1の内容と考え方にかたよりがあり、家庭を守ることは働くことである”職業”の枠の外にある表現になってないのか？(男性・50代)
- ・その仕事を行う意欲があり、適任と認められる間は職業を持つのが良い(男性・70代以上)
- ・夫婦で納得出来る方法を選択するのが良い(男性・70代以上)
- ・本人の希望(男性・50代)
- ・個々人の自由(男性・40代)
- ・優秀な人がすれば良いとは思いますが出産があるため、引継ぎ等の問題はあと思う。
(性別未記入・40代)
- ・人それぞれ意見が違うので、各々優先したい事をすれば良い。別に個人の意見なので一般的にと言っている所がおかしい。(女性・40代)
- ・その方とご家族がしたいようにすべき(女性・20代)
- ・人それぞれですので一概には言えませんが、この様な女性にだけ「職業を持つべきか否か」といった質問が無い世の中になって欲しいものです。(女性・50代)
- ・職業を持つ、持たないは個々人の自由であって自由に職業を選択出来るよう環境を整えることが必要です。(男性・70代以上)

問7 育児休業取得率は、令和4年度長崎県労働実態等調査によると、女性の91.4%に対し男性は16.3%と、男性の取得率は増加傾向にあるものの、女性に比べて男性の制度利用はなかなか進んでいません。その理由としてどのようなことが考えられますか。

- ・ 法的整備の不足（性別未記入・40代）
- ・ 育児中の代替職員の確保が難しいから（女性・60代）
- ・ 代わりとなる人員が職場にいない（男性・30代）
- ・ 男性の日頃から家事・育児に対する協力意識が低いいため休職しても出来る出来ないと思
っていること。休職中の賃金カット。（女性・50代）
- ・ 職場の環境が悪いから。休んでも代理でしてくれる人的要因がない（女性・30代）
- ・ 年代が上の人、上司に当たる人物が男性の育児取得に理解が乏しい。男性の育児取得が必須と
なれば、皆が取りやすい風潮になるのでは。（女性・20代）
- ・ 小さな会社は、誰か一人でも休むと大変なため、長期休みが取り難い（女性・50代）
- ・ 人手不足の現状を理解しない政府が悪い（男性・40代）
- ・ 職場への影響が大きい一方で、育児の制度やサービスに男性を受け入れる風土が少ないから
（男性・40代）
- ・ 職場自体現実的に育児がなく、会社が育児を取れるのが限られている。
（女性・70代以上）
- ・ 家庭内の役割分担について妻と夫の間で合意ができていないから（男性・70代以上）
- ・ 制度の利用方法が良く分からない 別々の日に休むのか？夫婦同時に休んで何をする？取るタ
イミングが難しい？（男性・60代）
- ・ 自営業であった為、この選択は無い（男性・70代以上）
- ・ 休業中、自分の仕事を同僚に負担（分担）させることになるから（男性・70代以上）
- ・ 短期的な休みでは「ただの休み」にすぎず、意味がないから。中途半端な休みなら、休まれて

自宅に居る方が困る。※男性が取得する事を目標にしていますか？重要な事は「その休み」が育児に使われているかどうかです。ただ隣でゲームしたり、祝いの飲み会ばかりに使用される方が迷惑です。(女性・40代)

- ・女性が育児するという考えが残っているし、男性は甘やかされて育てられているので、自分から大変な事はしないように思える。(女性・30代)
- ・日本特有の「同調圧力」があるから。(男性・70代以上)
- ・1つ選ぶことが難しく思います。この選択肢全てが重なっての理由ではないでしょうか。(女性・50代)
- ・大半の男性は育児に協力的ではない。育児休業しても旦那の食事等、奥さんの負担になるのでなくていいと思う。(女性・40代)
- ・私生活において家事育児の男性の実績が少なく、分担がうまくいっていない。計画的に実働することが必要かと。(男性・50代)
- ・大企業は積極的で、それ以外の事業所はまだまだ消極的に感じます。子育ては女性がするものだという古い考え方が根づいている(潜在的に)(女性・40代)
- ・取得率が低い(女性・60代)
- ・育休取得時の人的カバーの充実(女性・50代)
- ・他の社員への負担が増すから(男性・60代)
- ・女性の賃金が低い。(男性・70代以上)

問8 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- ・経済的余裕があること(女性・50代)
- ・幼少期からの教育が必要です。男性も家事育児をしっかりやる意識を子供の頃から根付かせた方が良いと思います。(男性・30代)

- ・個人の自由な時間を確保するため、過剰サービスと消費を拡大していく社会意識を考え直す。
(男性・30代)
- ・抵抗をなくすではなく、当たり前です。(女性・50代)
- ・中小企業の実態を自治体、政府が認識すること。(男性・40代)
- ・情報提供や、制度の存在ぐらいじゃ覆せない空気感が会社によってはある。実際に「出産に立ち会いたいから」と出張を断ったが、空気が気まずいらしく、会社として制度があっても利用できにくい空気なら何も意味がないので、もう少し強制力を持たせなければ何の意味もないと思う。(女性・20代)
- ・それに対して国からの手当てが出れば皆やると思います。(男性・40代)
- ・給与据え置き 週休3日制 (男性・40代)
- ・男性と女性を区別しないこと (男性・50代)
- ・夫婦や家族と一緒に受けられる講座等の実施。参加条件として「夫婦や家族と一緒に受けられる」を必須にするなど。一人での参加ではなくなる方法をつくる。(女性・20代)
- ・男性が子供の頃から、男性も家事、育児をするものだという価値観を持たせる事。その為には父親が家事、育児をする姿(義務的ではなく率先して)を見せるべきである。義務的にイヤイヤでしてしまうと家事、育児はイヤなものだという価値観を植え付けてしまうので逆効果になってしまう。(女性・50代)
- ・夫婦で同じ事をするのではなく、お互いが出来る日時を決める事が必要。無理に男が、女がやる必要は無いと思う。(男性・60代)
- ・親世代が、男性は外で働くものと教え育てているので、その考えをどうにかしないといけないと思う。(女性・30代)
- ・啓発したくらいで社会構造は変わらないので、本気で動かすのであればアメ(助成金)とムチ(罰則)で。(男性・40代)
- ・男性が家事などに参加することと言うことがおかしい。参加するのではなく生きているうえでやるべきことがやれていないということを感じてほしい。子どものころからの教育がいけないとわからなければいけない。男がやるとか、女がやるとかではなく、人間として生活するう

えで息ぬきをしながら、家事を男女ともできるようにしなければいけない。
(性別未記入・40代)

- ・義務教育の時から生理痛のつらさ、痛み、出産時の陣痛の体験等をさせておけば女性のつらい痛みも分かり、子育ても一緒にするのがあたりまえと思って男性の方から進んで家事、子育てするのは？※質問の男性が女性とともに書いているが、自分の子どもを世話する事は、2人するのが当然と思っていない方が作成したのでしょうか？(女性・40代)
- ・給料を上げ、自由な時間をふやせるようにすること。(女性・20代)
- ・収入が十分であること(男性・70代以上)

問10 職業をお持ちのかたにおたずねします。あなたは、今の職場の仕事内容や待遇の面で、性別を理由とした男女間の差があると思いますか。

- ・産休、育休代替の制度がしっかりしていない為、女性は退職を選択しがち(女性・60代)
- ・女性のみの職場なので分かりません(女性・30代)
- ・男性社会で働いていますが、正社員にはなれない。なりにくい。(女性・50代)
- ・体力的な差により受け持つ仕事は区別されている。(性別未記入・40代)
- ・上司には柔軟に対応していただいている。(女性・40代)
- ・役職につくと、業務の負担が増えるため、家庭を持つ女性が現実的、物理的に役職につくことが難しい。(性別・年代未記入)
- ・従業員が自分一人しかいない(女性・40代)
- ・子がない者に過重な業務がわりふられる(男性・50代)

問 11 性別にかかわらず、各自の能力を発揮していきいきと働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- ・税金含め手取りを増やして余裕ある生活、精神面を整える環境を財政府、自治体を作る
(性別未記入・40代)
- ・性別も含めた上で、個人の能力を正しく見極める (男性・30代)
- ・男女それぞれの本質の違いがあり、発揮できる場面も異なることなど、構造的な組立てを企業に示す必要がある (男性・40代)
- ・具体的に男女問わず、向いた人が向いたことをやれる環境さえあればよい (不当な妨害さえなければよい) (男性・40代)
- ・賃金格差をまず失くすこと。そのためには給与を明確に提示し、男女差がある場合は企業側に罰則を設けるべき。(女性・50代)
- ・古い価値観の排除、議員の70歳定年。(性別未記入・40代)
- ・会社自体が(年配の方)女はこうあるべき等の偏見がある為、それを無くせば良いと思う。
(女性・40代)
- ・妊娠・出産で職場を一時的に離れざるを得ない人へのサポート (男性・40代)
- ・補助的な仕事 だれもしない。それぞれ。(男性・50代)
- ・全ての業務において能力中心に判断し、男女の差を考慮しない。(男性・70代以上)
- ・お茶くみ、コピーとりを自分でせず、当然に女性がするものと思っている男性の意識を変える。
こういう男性が9割いる。(男性・50代)
- ・男女問わず、向いた人が向いたことをやれる環境さえあればよい。(不当な妨害さえなければよい) (男性・40代)
- ・差別的なことは最優先で対処すべし。(男性・70代以上)

問12 あなたが参加している地域活動（自治会、PTA活動など）での現状について、必要だと思うものをすべて選んでください。

- ・地域に「女のくせに」という意識がある（女性・60代）
- ・身近な女性が重たい判断を必要とする役職を嫌がる傾向が強い（男性・30代）
- ・社会性が向いている人がやれば良い（女性・50代）
- ・活動なし（男性・70代以上）
- ・参加していない（女性・60代）
- ・参加していない（女性・20代）
- ・自治会が子供会になっている？（男性・70代以上）
- ・自治会の役員の役職において男性のつく役職、女性のつく役職が現存する。（女性・60代）
- ・地域活動に参加していない（女性・20代）
- ・女性が重要事項の決定を嫌う、男性に判断を委ねる（男性・70代以上）
- ・参加していない（女性・40代）
- ・参加した事ないので（女性・70代以上）
- ・健康上、活動の参加はしていない（男性・70代以上）
- ・PTA研修会等、日中時間があると女性が行かされる（パートを休まなければならない）（女性・40代）
- ・自治会はいらないと思う。お金がかかる。必要ない。（女性・50代）
- ・活動には何も参加していない（女性・60代）
- ・自治会に入っていない 子供は成人している（男性・70代以上）
- ・女性は家事で手がまわらないので、男性に活動してもらった方が助かる（女性・40代）

- ・当地区は自治会がありませんので解答はしていません。(男性・70代以上)
- ・高齢で参加していない(男性・70代以上)
- ・現在は地域活動に参加していない(男性・70代以上)
- ・参加していない(男性・50代)
- ・自治会不参加(男性・70代以上)
- ・参加していない(女性・30代)
- ・活動に不参加(男性・70代以上)
- ・地域活動には参加していない(女性・30代)
- ・参加していない(女性・20代)

問13 女性が自治会長などの地域活動における役職についたり、活動の意思決定の場へ参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- ・高齢男性に公平な考えを持てるようにするための研修(性別未記入・40代)
- ・立候補制をやめる(男性・30代)
- ・役職につくことによって生じる責任を全うできる女性を育てる(人に嫌われることをいとわない女性を育てる。決定したことに最後まで責任をとれる女性を育てる。)
(男性・70代以上)
- ・参画することも大切だと思うが、家での生活をまず大事にする。子どもがいる家庭だと、子どもと一緒にいるとか、役職よりも家族がいる家庭では女性は大変だと思うので...。
(性別未記入・40代)
- ・地域活動が必要かどうかわかりません。(女性・50代)
- ・地域活動など無償での協力を求めることをしない。(性別未記入・40代)

- ・参加したことがないので分からない。(女性・20代)
- ・女性が役職につくことに対して、周囲の人の支援や協力が得られるようにすること。そのためには男性が協力する必要がある。(女性・50代)
- ・地位の高い職業についていた女性は、自治会の役員に選ばれるが、無職の主婦だった女性は選ばれない。(女性・70代以上)

問 14 大規模な災害時へ備えるには、女性の視点での意見も必要となります。今後、男女がともに安心・安全な防災体制を整えるためには、どのような取り組みが必要だと思えますか。

- ・「女性の視点での意見」という言葉が気になりました。防災は男女、老人、子供に関係なく全ての人がお互いに助け合う事だと思いました。(女性・70代以上)
- ・女性の視点がどこに必要か分析できていればこのような抽象的な質問にならない。無策にセミナーマニュアルに税金を投じてでもNPOや活動家を肥えさせるだけ。(男性・40代)
- ・自分の意見を積極的に発言する女性が少ない(男性・70代以上)
- ・性差によって求める備えがあることを両性が認める(男性・70代以上)

問 19 男女共同参画に関する講座や講演会を受講したことがありますか。

- ・内閣府 東京都(女性・60代)
- ・手話講座(女性・60代)
- ・アマランスの講師として参加したことがある(性別・年代未記入)

問 20 長崎市が行っている男女共同参画に関する広報・啓発を知っていますか。

- ・テレビ、ラジオ(女性・60代)
- ・知らないというよりも、意識して情報を得てはいない(存在だけは知っている)(男性・40代)

- ・ラジオで聞いたことある（女性・70代以上）

- ・TVで（女性・40代）

問21 「男女共同参画社会」の実現に向けて、今後、行政はどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。

- ・高齢男性が正しい知識を持てるようにするための研修（性別未記入・40代）

- ・現行法で問題ない。性別により採用不採用を決めるのは差別。男女とも自由意思で就職すればよい。それを阻害する明確な問題や不平等があれば対処すればよい。（男性・40代）

- ・男女という先入観をもたず能力を見る意識を公のものとするように広報する。（男性・30代）

- ・長崎市役所の職員の方の意識を進化すること（男性・50代）

- ・人間を生物学的性別で区別しない。LGBTQを含め、全ての人間が平等であることを教育する必要がある。（男性・70代以上）

- ・男性、女性それぞれいい所あるから難しいように思う（女性・70代以上）

(参考) 調査票

令和5年度 男女共同参画に関する市民意識調査・調査票

1. 調査の対象
長崎市にお住いの18歳以上のかた 1,500人(無作為による抽出)
 2. ご回答方法
下記のいずれかの方法でご回答ください。
 - ① インターネットによる回答
下記のURL または QR コードからご回答ください。

【URL】
https://apply.e-tumo.jp/city-nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=3104
 - ② 郵送による回答
調査票をご記入後、同封の返信用封筒(切手不要)に封入し、郵便ポストに投函してください。
- 
3. ご回答期限 令和5年11月30日(木)
 4. データの取り扱い等
 - ・ご住所やお名前の記入は不要です。
 - ・この調査票に記入された内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
 - ・この調査は、他の目的に利用することはありません。

お問合せ 長崎市市民生活部人権男女共同参画室
〒850-8685 長崎市魚の町4-1 市役所10階
電話 095-826-0026 FAX 095-826-0062

それぞれの設問について、該当する記号を○で囲んでください。

ご回答にあたっては、令和5年11月1日時点の内容でお答えください。

1 男女共同参画に関する意識について

問1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

次の1～6の中から、あなたの考えにもっとも近いものを 1つだけ選んで○で囲んでください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそう思わない
- 5 そう思わない
- 6 わからない

問2 今後、社会のあらゆる分野で、男女が対等な立場でともに参画していくためには、どのようなことが必要だと思われますか。

次の1～8の中から、あなたが必要だと思うものを 2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 法律や制度の見直しを行い、男女が対等になるよう改めること
- 2 性別による様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
- 3 女性の意識向上や、知識・技術を習得するなど力の向上を図ること
- 4 女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
- 5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用すること
- 6 特に必要なことはない
- 7 わからない
- 8 その他（具体的に)

問3 今後、男女共同参画社会を進めるために、女性が増えた方がよいと思う職業や役職などはどれですか。

次の1～13の中から、2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 都道府県、市（区）町村の首長
- 2 国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員
- 3 都道府県、市（区）町村の審議会等の委員
- 4 国家公務員・地方公務員の管理職
- 5 裁判官、検察官、弁護士、医師
- 6 大学教授
- 7 企業の経営者・管理職
- 8 労働組合の幹部
- 9 農協・漁協の役員
- 10 自治会長
- 11 特にない
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に _____)

問4 次の1～8の男女共同参画に関する言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉をすべて選んで○で囲んでください。

用語		本調査における用語の説明
1	男女共同参画社会	男女が社会の対等な構成員として、自らの意思であらゆる分野の社会活動に参画する機会が確保される社会。
2	女性活躍推進法	「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」。平成 27 年 9 月施行。女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を図ることを目的とする。
3	アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)	自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」を言い、自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれる。
4	固定的な性別役割分担	男女の性別を理由として役割を固定的に分けること。「男は仕事・女は家庭」「男は主要業務・女は補助的業務」などが一例。
5	配偶者からの暴力 (DV=ドメスティック ・バイオレンス)	配偶者暴力防止法における「配偶者からの暴力」とほぼ同義語として、配偶者・恋人・パートナーなどからの身体的暴力および心身に有害な影響を及ぼす言動を指す。
6	セクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)	様々な生活の場における人間関係において、優位な力関係を背景に、相手の意思に反して行われる性的な言動。

7	ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、多様な生き方ができるように、個人、企業、社会による仕事と生活の両立のための取り組み。
8	性的少数者	女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー（性同一性障害など）をはじめとする、性のあり方が多数派と異なる人。
9	見たり聞いたりしたものはない	

2 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問5 生活の中での「家庭生活」「仕事」「地域活動」の優先度について、「1 あなたの希望・理想」と「2 あなたの現状・現実」について、それぞれア～クの中からあなたにあてはまるものを1つ選んで○で囲んでください。

項 目	家庭生活を優先	仕事を優先	地域活動を優先	家庭生活と仕事をともに優先	仕事と地域活動をともに優先	家庭生活と地域活動をともに優先	家庭生活、仕事、地域活動をいづれも優先	わからない
1 あなたの希望・理想	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
2 あなたの現状・現実	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク

問6 一般的に、女性が職業を持つことについて、どのように思いますか。
次の1～8の中から、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んで○で囲んでください。

- 1 女性は職業を持たない方がよい
- 2 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
- 3 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
- 4 仕事と家庭生活の両立ができるのであれば、職業をもつ方がよい
- 5 子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 6 結婚、出産、育児にかかわらず、ずっと職業を持つ方がよい
- 7 わからない
- 8 その他（具体的に)

問7 育児休業取得率は、令和4年度長崎県労働実態等調査によると、女性の91.4%に対し男性は16.3%と、男性の取得率は増加傾向にあるものの、女性に比べて男性の制度利用はなかなか進んでいません。その理由としてどのようなことが考えられますか。

次の1～7の中から、あなたの考えにもっとも近いものを 1つ選んで○で囲んでください。

- 1 職場の理解が得られないから
- 2 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
- 3 取得後の職場復帰への不安があるから
- 4 経済的に影響があるから
- 5 周囲に利用した男性がいないから
- 6 女性のほうが育児に向いているから
- 7 その他（具体的に)

問8 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

次の1～13の中から、必要だと思うものを 2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- 4 年配者やまわりの人が夫婦間における家事等の役割分担について、当事者の考え方を尊重すること
- 5 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること
- 6 労働時間短縮や休暇制度、柔軟な勤務制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 7 男性が家事や子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
- 8 国や自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護などの技能を高めること
- 9 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること
- 10 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
- 11 特に必要なことはない
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に)

3 家庭生活の中での男女共同参画について

問9 現在ご結婚されているかた（事実婚を含む）におたずねします。

（該当されないかたは問10へ）

あなたの家庭では、実際にどなたが次の1～9までの役割を行っていますか。

それぞれア～オの中から当てはまるものを1つ選んで○で囲んでください。

項 目	ておもに妻が行っている	ておもに夫が行っている	夫婦共同で行っている	夫婦以外の人が行っている	ア～エどれにも当てはまらない
1 掃除	ア	イ	ウ	エ	オ
2 洗濯	ア	イ	ウ	エ	オ
3 食事の支度、あとかたづけ	ア	イ	ウ	エ	オ
4 育児（子どもがいる人のみ）	ア	イ	ウ	エ	オ
5 子どもの教育（子どもがいる人のみ）	ア	イ	ウ	エ	オ
6 家族の介護や病人の世話	ア	イ	ウ	エ	オ
7 家計の管理	ア	イ	ウ	エ	オ
8 地域活動（自治会・PTA活動など）への参加	ア	イ	ウ	エ	オ
9 家庭問題における最終的な決定	ア	イ	ウ	エ	オ

4 職業生活の中での男女共同参画について

問 10 職業をお持ちのかたにおたずねします。(該当されないかたは問 11へ)

あなたは、今の職場の仕事内容や待遇の面で、性別を理由とした男女間の差があると思いますか。

次の 1～11 の中から、あてはまるものを2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 差はない
- 2 正社員の中でも賃金に差がある
- 3 昇進、昇格に差がある
- 4 能力が正当に評価されない
- 5 性別を理由に補助的な仕事しかやらせてもらえない
- 6 役員・管理職等への登用が性別で偏っている
- 7 結婚、妊娠・出産などがあると仕事を続けにくい雰囲気がある
- 8 性別により、定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 9 能力や技能向上の教育・訓練を受ける機会が少ない
- 10 わからない
- 11 その他(具体的に)

問 11 性別にかかわらず、各自の能力を発揮していきいきと働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。

次の 1～11 の中から、あなたが必要だと思うものを2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 同じ価値のある仕事については、パート・正社員で差をつけずに同じ賃金にする
- 2 短時間勤務制度など柔軟な勤務制度を整備し、地域活動や家庭生活などの時間を確保できる仕組みをつくる
- 3 職場の意思決定の場に女性を積極的に参加させる
- 4 お茶くみ、コピーとりなど補助的な仕事は、男女の別なく行う
- 5 育児休業制度や介護休業制度を男性・女性ともに取得しやすい環境を整える
- 6 職場でハラスメント防止の人権教育を実施する
- 7 昇給・昇格の条件となる教育・研修などは男性・女性の区別なく平等に受けられるようにする
- 8 企業・事業所に対する男女共同参画についての広報・啓発を積極的に行う
- 9 特にない
- 10 わからない
- 11 その他(具体的に)

5 地域活動などでの男女共同参画について

問 12 あなたが参加している地域活動（自治会、PTA活動など）での現状について、次の 1～11の中から、あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 催し物の企画など、重要なことを決定する機会に女性が少ない
- 2 会議や行事などの準備や片付け等は、女性がやる慣行がある
- 3 団体の会長に男性がつき、女性は補助的役職につく傾向がある
- 4 女性が発言しにくい雰囲気がある
- 5 女性が役員につきたがらない
- 6 日常の活動に男性の参加が少ない
- 7 女性が少ないため歓迎される
- 8 女性のほうが積極的で活発である
- 9 特に男女差はない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に)

問 13 女性が自治会長などの地域活動における役職についたり、活動の意思決定の場へ参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の 1～7の中から、あなたが必要だと思うものを2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 女性が役職につくことに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 女性が役職につくことに対する男性の抵抗感をなくすこと
- 3 女性が役職につくことに対する必要性についての啓発や情報提供、研修等を行うこと
- 4 女性が役職につくことに対して、周囲の人の支援や協力が得られるようにすること
- 5 特に必要なことはない
- 6 わからない
- 7 その他（具体的に)

6 防災対策における男女共同参画について

問 14 大規模な災害時へ備えるには、女性の視点での意見も必要となります。今後、男女がともに安心・安全な防災体制を整えるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

次の1～10の中から、あなたが必要だと思うものを2つまで選んで○で囲んでください。

- 1 防災関係者に対する男女共同参画の意識づくり
- 2 防災に関する計画に女性の視点からの意見を反映させる
- 3 女性の意見を反映させるための仕組みづくりや防災会議の委員への女性の積極的な登用
- 4 防災に関わる職域への女性の参画拡大や女性リーダーの育成
- 5 防災に関する研修会などの学習機会の提供
- 6 男女がともに安全・安心に利用できる避難所運営マニュアルの作成
- 7 災害時の相談窓口体制の確立
- 8 特に必要なことはない
- 9 わからない
- 10 その他（具体的に _____)

7 男女共同参画を阻害する暴力について

問 15 あなたは、配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者からの暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）や、その被害について、見たり聞いたりしたことがありますか。

次の1～7の中から、あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 身近に被害を受けた人がいる
- 2 身近な人から暴力被害について相談されたことがある
- 3 テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
- 4 見たり聞いたりしたことはない
- 5 自分自身が被害にあっている
- 6 その他
- 7 わからない

問 16 次の 1～11の中から、あなたが配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者からの暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）に含まれると思うものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 殴る、ける
- 2 殴るふりや刃物などを使っておどす
- 3 相手が嫌がっているのに性的行為を強要する
- 4 避妊に協力しない
- 5 相手が嫌がっているのに性的な映像・雑誌などを見せる
- 6 長期間、無視する
- 7 相手の行動を監視したり、交友関係を制限して干渉する
- 8 相手のプライドが傷つくようなことを言う
- 9 大声でどなる
- 10 物をこわす
- 11 生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかける

問 17 次の 1～12の中から、配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者から、さまざまな暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を受けたときの相談窓口として、あなたが知っているものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 警察
- 2 法務局・人権擁護委員
- 3 裁判所
- 4 長崎県弁護士会
- 5 民間の機関（DV防止の啓発やDV被害者支援等の活動を行う団体）
- 6 長崎県子ども・女性・障害者支援センター
- 7 長崎市役所（アマランス相談・市民相談）
- 8 DV相談プラス
- 9 DV相談ナビ#8008・はれれば
- 10 性暴力相談支援センター「サポートながさき」
- 11 その他の機関
- 12 知らない・わからない

問 18 長崎市では、配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者からの様々な暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）を防止するための広報・啓発を行っています。あなたはそれを知っていますか。

次の 1～3 の中から、あてはまるものを 1つ 選んで ○ で囲んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない
- 3 わからない

8 その他

問 19 男女共同参画に関する講座や講演会を受講したことがありますか。

次の 1～6 の中から、あてはまるものを すべて 選んで ○ で囲んでください。

- 1 男女共同参画推進センター「アマランス」の講座
- 2 アマランスフェスタの基調講演や講座
- 3 国や県が主催する男女共同参画に関する講座
- 4 学校で開催された男女共同参画に関する授業や講座
- 5 その他（具体的に _____)
- 6 参加したことがない

問 20 長崎市が行っている男女共同参画に関する広報・啓発を知っていますか。

次の 1～10 の中から、あてはまるものを すべて 選んで ○ で囲んでください。

- 1 広報ながさき
- 2 長崎市男女共同参画推進特集号
- 3 長崎市ホームページ（男女共同参画のページ）
- 4 男女共同参画推進センター「アマランス」の講座
- 5 長崎市民会館ホームページ
- 6 アマランス通信
- 7 ポスター・ちらし
- 8 フェイスブック、LINE などの SNS
- 9 知らない
- 10 その他（ _____)

問 21 「男女共同参画社会」の実現に向けて、今後、行政はどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。

次の 1～12 までの中から、あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

- 1 法律や制度の面で見直しを行う
- 2 女性を政策決定の場に積極的に登用する
- 3 各種団体の女性のリーダーを養成する
- 4 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する
- 5 女性の就労の機会を増やしたり、従来、女性の就労が少ない分野などへの女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実させる
- 6 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる
- 7 学校教育や社会教育等の生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実させる
- 8 女性や男性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実させる
- 9 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
- 10 特にない
- 11 分からない
- 12 その他（具体的に _____)

問 22 長崎市で「男女共同参画社会」を実現するため、あなたのアイデアやご意見などをお聞かせください。

※最後に、今回の調査回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについて、おたずねします。1～6について、それぞれ当てはまるものを○で囲んでください。

① あなたの性別（※自認する性で構いません）

- 1 男性 2 女性 3 その他 4 答えない

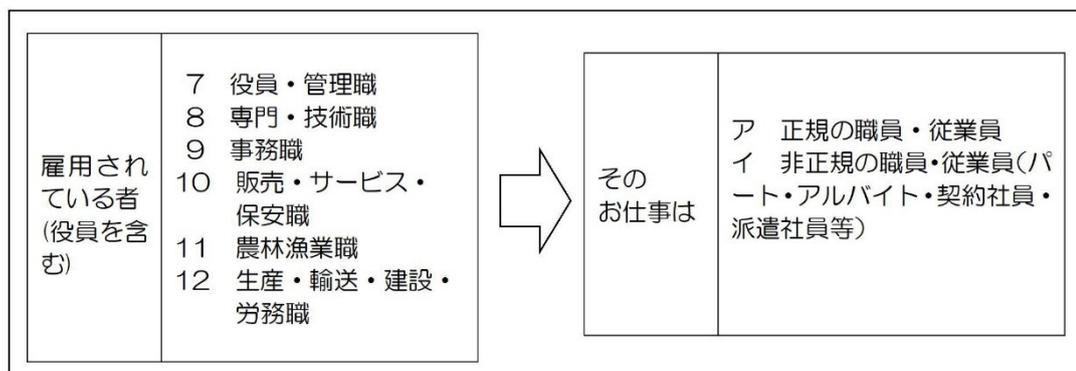
② あなたの年齢

1. 18～19歳 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
6. 60代 7. 70代以上

③ あなたの職業

自営業者 (経営者)	1 農業、林業、漁業 2 商工業、製造業、サービス業（各種卸・小売店、飲食店など） 3 自由業（開業医、弁護士等）
---------------	---

家族従業者	4 農業、林業、漁業 5 商工業、製造業、サービス業（各種卸・小売店、飲食店など） 6 自由業（開業医、弁護士等）
-------	---



無職	13 主婦・主夫 14 学生 15 その他
----	-----------------------------

